

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第562集

あまたき

雨滝遺跡発掘調査報告書

畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区関連遺跡発掘調査

2010

岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室

(財)岩手県文化振興事業団

雨滝遺跡発掘調査報告書

畠地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区関連遺跡発掘調査



遺物包含層



遺物包含層 土器出土状況



注口土器



ミニチュア土器



土偶



岩偶



岩版

序

本県には、旧石器時代をはじめとする1万箇所を超す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されています。それらは、地域の風土と歴史が生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県上づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。

当事業団埋蔵文化財センターは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査の記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、畠地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区に関連して平成20年度に発掘調査された二戸市兩流域の調査成果をまとめたものです。本遺跡は縄文時代晚期前半の大規模かつ良好な遺物包含層が存在することで知られ、当該期の著名な遺跡の一つとされております。今回の調査でも同様の遺物包含層が確認され、多量の遺物が出土しました。これは、当該期における各種遺物、特に上器様相を考える上で極めて貴重な資料となるものであります。本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書の作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室、二戸市埋蔵文化財センターをはじめとする関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

平成22年3月

財團法人 岩手県文化振興事業団

理事長 武田牧雄

例　　言

- 1 本報告書は、岩手県二戸市釜沢字白山5ほかに所在する雨滝遺跡の発掘調査結果を収録したものである。
- 2 本遺跡の調査は、畠地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室と岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課との協議を経て、岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室の委託を受けた㈲岩手県文化振興事業團埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 岩手県遺跡台帳における遺跡番号はIE79-1126、遺跡略号がAT-08である。
- 4 調査に関わる期間と面積、担当者は次のとおりである。

野外調査

期間：平成20年7月1日～9月30日／面積：398m²／担当者：丸山浩治・菅野紀子

室内整理

期間：平成20年11月1日～平成21年3月31日、平成21年5月1日～8月31日

担当者：丸山浩治

- 5 報告書の執筆は、第Ⅰ章を岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室、それ以外は編集・構成を含め丸山が担当した。
- 6 動物骨の同定・分析は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所の石丸恵利子氏にお願いし、玉稿を賜った（VI章1節）。
- 7 試料の分析・鑑定・保存処理は次の機関と団体に委託した。
放射性炭素年代測定(AMS測定)…………株式会社加速器分析研究所
植物珪酸体分析……………パリノ・サーヴェイ株式会社
石器石材鑑定……………花崗岩研究会
- 8 空中写真撮影は、東邦航空株式会社に委託した。
- 9 調査および報告書作成にあたり、次の方々から御指導と助言をいただいた。（順不同・敬称略）
忽那敬三・高瀬克範・田口慎（明治大学）、石丸恵利子（人間文化研究機構総合地球環境学研究所）、松井章・山崎健（独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所）、吉川純子（古代の森研究会）、安斎正人（東北芸術工科大学）、関豊・横井猛志・鈴木雄一郎（二戸市埋蔵文化財センター）、八木勝枝（岩手県立博物館）
- 10 発掘調査資料は、岩手県立埋蔵文化財センターにおいて保管している。
- 11 調査成果は当センターホームページ、調査概報等に発表してきたが、本書の内容が優先するものである。

凡　　例

1 遺構実測図の用例は、下記のとおりである。

- (1) 遺構実測図の縮尺は、基本的に次のとおりである。ただし一部異なるものもあるため各図にスケールおよび縮尺を付した。

基本層序等断面図……………1：50

堅穴住居状遺構……………1：40

土坑……………1：40

柱穴状土坑……………1：40

溝……………1：50

- (2) 推定線は、破線で示した。

(3) 層位の表記には、基本層序にローマ数字、各遺構埋土にアラビア数字を使用した。

(4) 土層色調の観察には、農林水産省農林水産技術会議事務局監修「新版標準土色軸」を使用した。

混入物量（%）の目安もこれを参考にした。

- (5) 図面中の土器は「p」、石器および礫は「s」の略号で表記した。

2 遺物実測図の用例は、下記のとおりである。

- (1) 各遺物の縮尺は、基本的に次のとおりである。ただし一部異なるものもあるため各図にスケールおよび縮尺を付した。

縄文土器……………1：3

縄文土器(ミニチュア)…1：2

土製品……………1：2

剥片石器……………1：2

礫石器……………1：3

石製品……………1：2～1：3

土師器……………1：3

- (2) スクリーントーンの用例は、凡例図のとおりである。

(3) 計測値は、残存値の場合（ ）で表記した。

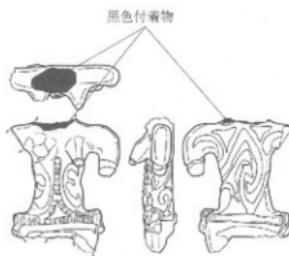
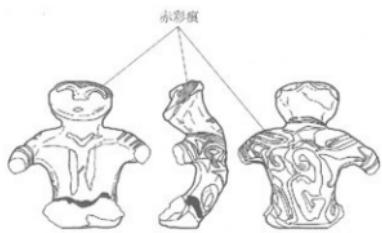
3 國土地理院発行の地形図を転載したものは、図中に図幅名と縮尺を付した。

4 引用・参考文献は、巻末にまとめて記した。

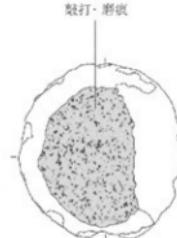
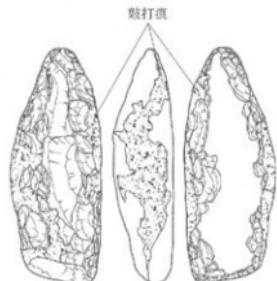
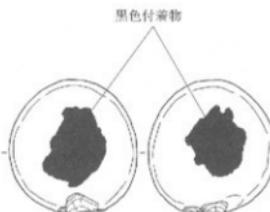
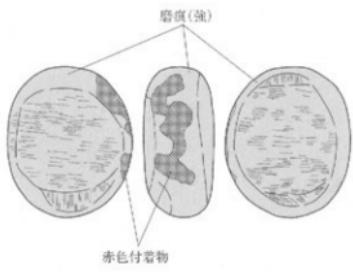
土 器



土製品



石器・石製品



凡 例 図

目 次

| | |
|------------------------------|-----|
| I 調査に至る経過 | 1 |
| II 遺跡の立地と環境 | 1 |
| 1 遺跡の位置 | 1 |
| 2 地理・地形的環境 | 1 |
| 3 これまでの発掘調査と位置 | 3 |
| 4 基本層序および搅乱の状況 | 5 |
| 5 周辺の遺跡 | 8 |
| III 調査と整理の方法 | 11 |
| 1 野外調査 | 11 |
| 2 室内整理 | 15 |
| IV 検出遺構 | 17 |
| 1 住居状遺構 | 17 |
| 2 土坑 | 17 |
| 3 柱穴状土坑 | 19 |
| 4 溝 | 20 |
| 5 遺物包含層 | 20 |
| V 出土遺物 | 49 |
| 1 繩文土器 | 49 |
| 2 土製品 | 56 |
| 3 石器 | 58 |
| 4 石製品 | 64 |
| 5 動物遺存体 | 66 |
| 6 植物遺存体 | 66 |
| 7 土師器 | 66 |
| VI 自然科学的分析 | 191 |
| 1 雨滝遺跡出土の動物遺存体と内陸部における動物資源利用 | 191 |
| 2 雨滝遺跡縄文時代晩期遺物包含層の植物珪酸体分析報告 | 199 |
| 3 雨滝遺跡における放射性炭素年代 (A M S 測定) | 204 |
| VII 総括 | 209 |
| 1 まとめ | 209 |

| | |
|----------|-----|
| 2 各事象の検討 | 209 |
| 報告書抄録 | 327 |

図版目次

| | |
|---|----|
| 第 1 図 遺跡の位置 | 2 |
| 第 2 図 周辺の地形と過去の調査地点 | 4 |
| 第 3 図 基本層序 | 6 |
| 第 4 図 調査区 1 の等高線と小段丘の位置 | 7 |
| 第 5 図 周辺の遺跡 | 9 |
| 第 6 図 グリッド配置と調査区の名称 | 13 |
| 第 7 図 工事掘削高と調査掘削高 | 14 |
| 第 8 図 造構配図 | 23 |
| 第 9 図 1 号竪穴住居状遺構、1 号土坑、P3 | 24 |
| 第 10 図 2~5 号土坑 | 25 |
| 第 11 図 P1・2・4~9 | 26 |
| 第 12 図 1・2 号溝 | 27 |
| 第 13 図 遺物包含層完掘面（V 層上面） 等高線図 | 28 |
| 第 14 図 遺物包含層 A 層上面 3a 層上面等高線図 | 29 |
| 第 15 図 遺物包含層 2b 層上面 1 層上面等高線図 | 30 |
| 第 16 図 遺物包含層 0 層上面等高線図 | 31 |
| 第 17 図 遺物包含層断面図（1） | 32 |
| 第 18 図 遺物包含層断面図（2） | 33 |
| 第 19 図 遺物包含層 A' 層・A 層グリッド別 土器出土重量図 | 34 |
| 第 20 図 遺物包含層 3b 層・3a 層グリッド別 土器出土重量図 | 35 |
| 第 21 図 遺物包含層 2b 層・2a 層グリッド別 土器出土重量図 | 36 |
| 第 22 図 遺物包含層 1~2a・1 層・0 層グリッド別 土器出土重量図 | 37 |
| 第 23 図 遺物包含層 A' 層 A 層出土土器点取り分 | 38 |
| 第 24 図 遺物包含層 3b 層出土土器点取り分 | 39 |
| 第 25 図 遺物包含層 3a 層出土土器点取り分 | 40 |
| 第 26 図 遺物包含層 2b 層出土土器点取り分 | 41 |
| 第 27 図 遺物包含層 2a 層出土土器点取り分 | 42 |
| 第 28 図 遺物包含層 1 層以上出土土器点取り分 | 43 |
| 第 29 図 遺物包含層出土土製品点取り分 | 44 |
| 第 30 図 遺物包含層 A' 層 | |
| A 層出土石器点取り分 | 45 |
| 第 31 図 遺物包含層 3b 層以上出土 石器点取り分 | 46 |
| 第 32 図 遺物包含層出土石製品点取り分 | 47 |
| 第 33 図 遺物包含層 3b 層出土土器 70・ 131・132 出土状況 | 48 |
| 第 34 図 窪穴住居状遺構・土坑・ 遺物包含層出土土器（1） | 49 |
| 第 35 図 遺物包含層出土土器（2） | 68 |
| 第 36 図 遺物包含層出土土器（3） | 69 |
| 第 37 図 遺物包含層出土土器（4） | 70 |
| 第 38 図 遺物包含層出土土器（5） | 71 |
| 第 39 図 遺物包含層出土土器（6） | 72 |
| 第 40 図 遺物包含層出土土器（7） | 73 |
| 第 41 図 遺物包含層出土土器（8） | 74 |
| 第 42 図 遺物包含層出土土器（9） | 75 |
| 第 43 図 遺物包含層出土土器（10） | 76 |
| 第 44 図 遺物包含層出土土器（11） | 77 |
| 第 45 図 遺物包含層出土土器（12） | 78 |
| 第 46 図 遺物包含層出土土器（13） | 79 |
| 第 47 図 遺物包含層出土土器（14） | 80 |
| 第 48 図 遺物包含層出土土器（15） | 81 |
| 第 49 図 遺物包含層出土土器（16） | 82 |
| 第 50 図 遺物包含層出土土器（17） | 83 |
| 第 51 図 遺物包含層出土土器（18） | 84 |
| 第 52 図 遺物包含層出土土器（19） | 85 |
| 第 53 図 遺物包含層出土土器（20） | 86 |
| 第 54 国 遺物包含層出土土器（21） | 87 |
| 第 55 国 遺物包含層出土土器（22） | 88 |
| 第 56 国 遺物包含層出土土器（23） | 89 |
| 第 57 国 遺物包含層出土土器（24） | 90 |
| 第 58 国 遺物包含層出土土器（25） | 91 |
| 第 59 国 遺物包含層出土土器（26） | 92 |
| 第 60 国 遺物包含層出土土器（27） | 93 |
| 第 61 国 遺物包含層出土土器（28） | 94 |
| 第 62 国 遺物包含層出土土器（29） | 95 |
| 第 63 国 遺物包含層出土土器（30） | 96 |
| 第 64 国 遺物包含層出土土器（31） | 97 |

| | | |
|--------|-------------------------------------|-----|
| 第 65 図 | 遺物包含層出土土器 (32)..... | 98 |
| 第 66 図 | 遺物包含層出土土器 (33)..... | 99 |
| 第 67 図 | 遺物包含層出土土器 (34)..... | 100 |
| 第 68 図 | 遺物包含層出土土器 (35)..... | 101 |
| 第 69 図 | 遺物包含層出土土器 (36)..... | 102 |
| 第 70 図 | 遺物包含層出土土器 (37)..... | 103 |
| 第 71 図 | 遺物包含層出土土器 (38)..... | 104 |
| 第 72 図 | 遺物包含層出土土器 (39)..... | 105 |
| 第 73 図 | 遺物包含層出土土器 (40)..... | 106 |
| 第 74 図 | 遺物包含層出土土器 (41)..... | 107 |
| 第 75 図 | 遺物包含層出土土器 (42)..... | 108 |
| 第 76 図 | 遺物包含層出土土器 (43)..... | 109 |
| 第 77 図 | 遺物包含層出土土器 (44)..... | 110 |
| 第 78 図 | 遺物包含層出土土器 (45)..... | 111 |
| 第 79 図 | 遺物包含層出土土器 (46)、 遺構外出土土器 (1)..... | 112 |
| 第 80 図 | 遺構外出土土器 (2)..... | 113 |
| 第 81 図 | 土坑・遺物包含層出土土製品 (1)..... | 114 |
| 第 82 図 | 遺物包含層出土土製品 (2)..... | 115 |
| 第 83 図 | 遺物包含層出土土製品 (3)..... | 116 |
| 第 84 図 | 遺物包含層出土土製品 (4)..... | 117 |
| 第 85 図 | 遺物包含層出土土製品 (5)..... | 118 |
| 第 86 図 | 遺物包含層出土土製品 (6)、 遺構外出土土製品 | 119 |
| 第 87 図 | 土坑・柱穴状土坑・溝出土石器 | 120 |
| 第 88 図 | 遺物包含層出土石器 (1)..... | 121 |
| 第 89 図 | 遺物包含層出土石器 (2)..... | 122 |
| 第 90 図 | 遺物包含層出土石器 (3)..... | 123 |
| 第 91 図 | 遺物包含層出土石器 (4)..... | 124 |
| 第 92 図 | 遺物包含層出土石器 (5)..... | 125 |
| 第 93 図 | 遺物包含層出土石器 (6)..... | 126 |
| 第 94 図 | 遺物包含層出土石器 (7)..... | 127 |
| 第 95 図 | 遺物包含層出土石器 (8)..... | 128 |
| 第 96 図 | 遺物包含層出土石器 (9)..... | 129 |
| 第 97 図 | 遺物包含層出土石器 (10)..... | 130 |
| 第 98 図 | 遺物包含層出土石器 (11)..... | 131 |
| 第 99 図 | 遺物包含層出土石器 (12)..... | 132 |
| 第100図 | 遺物包含層出土石器 (13)..... | 133 |
| 第101図 | 遺物包含層出土石器 (14)..... | 134 |
| 第102図 | 遺物包含層出土石器 (15)..... | 135 |
| 第103図 | 遺物包含層出土石器 (16)..... | 136 |
| 第104図 | 遺物包含層出土石器 (17)..... | 137 |
| 第105図 | 遺構外出土石器 (1)..... | 138 |
| 第106図 | 遺構外出土石器 (2)..... | 139 |
| 第107図 | 土坑・遺物包含層出土石製品 (1)..... | 140 |
| 第108図 | 遺物包含層出土石製品 (2)..... | 141 |
| 第109図 | 遺物包含層出土石製品 (3)..... | 142 |
| 第110図 | 遺物包含層出土石製品 (4)..... | 143 |
| 第111図 | 遺構外出土石製品、土師器 | 144 |

目 次

| | | |
|-----|----------------|-----|
| 第1表 | 周辺の遺跡一覧表 | 10 |
| 第2表 | 柱穴状土坑観察表 | 19 |
| 第3表 | 縄文土器観察表 | 145 |
| 第4表 | 土製品観察表 | 172 |
| 第5表 | 石器観察表 | 176 |
| 第6表 | 石製品観察表 | 188 |
| 第7表 | 土師器観察表 | 190 |

写真図版目次

| | | |
|---------|-------------------------------|-----|
| 写真図版 1 | 航空写真 | 219 |
| 写真図版 2 | 調査前風景 | 220 |
| 写真図版 3 | 基本層序 (1) | 221 |
| 写真図版 4 | 基本層序 (2) | 222 |
| 写真図版 5 | 基本層序 (3)、 土壤分析試料採取土層 | 223 |
| 写真図版 6 | 堅穴住居状遺構 (1) | 224 |
| 写真図版 7 | 堅穴住居状遺構 (2)、土坑 (1) | 225 |
| 写真図版 8 | 土坑 (2)、柱穴状土坑 (1) | 226 |
| 写真図版 9 | 柱穴状土坑 (2)、溝 | 227 |
| 写真図版 10 | 遺物包含層 (1) | 228 |
| 写真図版 11 | 遺物包含層 (2) | 229 |
| 写真図版 12 | 遺物包含層 (3) | 230 |
| 写真図版 13 | 遺物包含層 (4) | 231 |
| 写真図版 14 | 遺物包含層 (5) | 232 |
| 写真図版 15 | 遺物包含層 (6) | 233 |
| 写真図版 16 | 遺物包含層 (7) | 234 |
| 写真図版 17 | 遺物包含層 (8) | 235 |
| 写真図版 18 | 遺物包含層 (9) | 236 |
| 写真図版 19 | 遺物包含層 (10) | 237 |
| 写真図版 20 | 遺物包含層 (11) | 238 |
| 写真図版 21 | 遺物包含層 (12) | 239 |

| | | |
|----------|------------------------------|-----|
| 写真図版 22 | 遺物包含層（13） | 240 |
| 写真図版 23 | 遺物包含層（14） | 241 |
| 写真図版 24 | 遺物包含層（15） | 242 |
| 写真図版 25 | 遺物包含層（16） | 243 |
| 写真図版 26 | 遺物包含層（17） | 244 |
| 写真図版 27 | 調査区2 | 245 |
| 写真図版 28 | 豎穴住居状遺構、土坑、 遺物包含層出土上石器（1） | 246 |
| 写真図版 29 | 遺物包含層出土土器（2） | 247 |
| 写真図版 30 | 遺物包含層出土土器（3） | 248 |
| 写真図版 31 | 遺物包含層出土上石器（4） | 249 |
| 写真図版 32 | 遺物包含層出土土器（5） | 250 |
| 写真図版 33 | 遺物包含層出土土器（6） | 251 |
| 写真図版 34 | 遺物包含層出土土器（7） | 252 |
| 写真図版 35 | 遺物包含層出土上石器（8） | 253 |
| 写真図版 36 | 遺物包含層出土土器（9） | 254 |
| 写真図版 37 | 遺物包含層出土土器（10） | 255 |
| 写真図版 38 | 遺物包含層出土上石器（11） | 256 |
| 写真図版 39 | 遺物包含層出土土器（12） | 257 |
| 写真図版 40 | 遺物包含層出土土石器（13） | 258 |
| 写真図版 41 | 遺物包含層出土上石器（14） | 259 |
| 写真図版 42 | 遺物包含層出土土器（15） | 260 |
| 写真図版 43 | 遺物包含層出土土器（16） | 261 |
| 写真図版 44 | 遺物包含層出土上石器（17） | 262 |
| 写真図版 45 | 遺物包含層出土土器（18） | 263 |
| 写真図版 46 | 遺物包含層出土土器（19） | 264 |
| 写真図版 47 | 遺物包含層出土上石器（20） | 265 |
| 写真図版 48 | 遺物包含層出土土器（21） | 266 |
| 写真図版 49 | 遺物包含層出土土器（22） | 267 |
| 写真図版 50 | 遺物包含層出土上石器（23） | 268 |
| 写真図版 51 | 遺物包含層出土土器（24） | 269 |
| 写真図版 52 | 遺物包含層出土土石器（25） | 270 |
| 写真図版 53 | 遺物包含層出土上石器（26） | 271 |
| 写真図版 54 | 遺物包含層出土土器（27） | 272 |
| 写真図版 55 | 遺物包含層出土土器（28） | 273 |
| 写真図版 56 | 遺物包含層出土土器（29） | 274 |
| 写真図版 57 | 遺物包含層出土土器（30） | 275 |
| 写真図版 58 | 遺物包含層出土上石器（31） | 276 |
| 写真図版 59 | 遺物包含層出土土器（32） | 277 |
| 写真図版 60 | 遺物包含層出土土器（33） | 278 |
| 写真図版 61 | 遺物包含層出土上石器（34） | 279 |
| 写真図版 62 | 遺物包含層出土土器（35） | 280 |
| 写真図版 63 | 遺物包含層出土土器（36） | 281 |
| 写真図版 64 | 遺物包含層出土上石器（37） | 282 |
| 写真図版 65 | 遺物包含層出土土器（38） | 283 |
| 写真図版 66 | 遺物包含層出土土器（39） | 284 |
| 写真図版 67 | 遺物包含層出土土器（40） | 285 |
| 写真図版 68 | 遺物包含層出土土器（41） | 286 |
| 写真図版 69 | 遺物包含層出土上石器（42） | 287 |
| 写真図版 70 | 遺物包含層出土土器（43） | 288 |
| 写真図版 71 | 遺物包含層出土土器（44） | 289 |
| 写真図版 72 | 遺構外出土土器（1） | 290 |
| 写真図版 73 | 遺構外出土土器（2） | 291 |
| 写真図版 74 | 土坑・遺物包含層出土 土製品（1） | 292 |
| 写真図版 75 | 遺物包含層出土土製品（2） | 293 |
| 写真図版 76 | 遺物包含層出土製品（3） | 294 |
| 写真図版 77 | 遺物包含層出土製品（4） | 295 |
| 写真図版 78 | 遺物包含層出土土製品（5） | 296 |
| 写真図版 79 | 遺物包含層出土上製品（6） | 297 |
| 写真図版 80 | 遺物包含層出土土製品（7）、 遺構外出土土製品 | 298 |
| 写真図版 81 | 土坑・柱穴状土坑・溝出土石器 | 299 |
| 写真図版 82 | 遺物包含層出土石器（1） | 300 |
| 写真図版 83 | 遺物包含層出土石器（2） | 301 |
| 写真図版 84 | 遺物包含層出土石器（3） | 302 |
| 写真図版 85 | 遺物包含層出土石器（4） | 303 |
| 写真図版 86 | 遺物包含層出土石器（5） | 304 |
| 写真図版 87 | 遺物包含層出土石器（6） | 305 |
| 写真図版 88 | 遺物包含層出土石器（7） | 306 |
| 写真図版 89 | 遺物包含層出土石器（8） | 307 |
| 写真図版 90 | 遺物包含層出土石器（9） | 308 |
| 写真図版 91 | 遺物包含層出土石器（10） | 309 |
| 写真図版 92 | 遺物包含層出土石器（11） | 310 |
| 写真図版 93 | 遺物包含層出土石器（12） | 311 |
| 写真図版 94 | 遺物包含層出土石器（13） | 312 |
| 写真図版 95 | 遺物包含層出土石器（14） | 313 |
| 写真図版 96 | 遺物包含層出土石器（15） | 314 |
| 写真図版 97 | 遺物包含層出土石器（16） | 315 |
| 写真図版 98 | 遺物包含層出土石器（17） | 316 |
| 写真図版 99 | 遺物包含層出土石器（18） | 317 |
| 写真図版 100 | 遺物包含層出土石器（19） | 318 |
| 写真図版 101 | 遺構外出土石器（1） | 319 |
| 写真図版 102 | 遺構外出土石器（2） | 320 |
| 写真図版 103 | 土坑・柱穴状土坑・ 遺物包含層出土石製品（1） | 321 |
| 写真図版 104 | 遺物包含層出土石製品（2） | 322 |
| 写真図版 105 | 遺物包含層出土石製品（3） | 323 |
| 写真図版 106 | 遺物包含層出土石製品（4） | 324 |
| 写真図版 107 | 遺物包含層出土石製品（5）、 遺構外出土石製品 | 325 |
| 写真図版 108 | 土師器・植物遺存体 | 326 |

I 調査に至る経過

雨滝遺跡は、畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区の農道整備に伴い、その事業区域内に位置することから、発掘調査を実施することとなったものである。

舌崎地区は、二戸市北部の青森県との県境に位置し、地区のほぼ中央を北に貫流する馬淵川に沿って耕地が拓けている。耕地の70%は畑地となっており、果樹、野菜を中心とした複合經營がなされているが、地区の大半は丘陵地であるため農道の幅員が狭小であり作業効率が悪く、また農業用水も不足しているため、栽培管理および品質向上が阻害されている現状である。当事業では、畑地かんがいおよび農道の総合的な整備により、野菜および果樹の収量の高位安定と品質の向上を図り、農業経営の安定と所得の向上を図ることを目的として、平成12年度に事業着手したものである。

当事業の施行に係る埋蔵文化財の取扱いについては、二戸地方振興局農政部農村整備室から平成14年9月6日付二地農（整）第223-1号「畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区実施計画における埋蔵文化財の試掘調査について（依頼）」により岩手県教育委員会に対して試掘調査依頼を行った。

依頼を受けた岩手県教育委員会は、平成14年11月14・15日に試掘調査を実施し、工事着手するには雨滝遺跡の発掘調査が必要となる旨を平成14年11月27日付教生第1238号「畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区実施計画における埋蔵文化財の試掘調査について（回答）」により回答してきた。

その結果を踏まえ、岩手県教育委員会の調整を受けて平成20年5月30日付けで財団法人岩手県文化振興事業団との間で委託契約を締結し、発掘調査を実施したものである。

（岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室）

II 遺跡の立地と環境

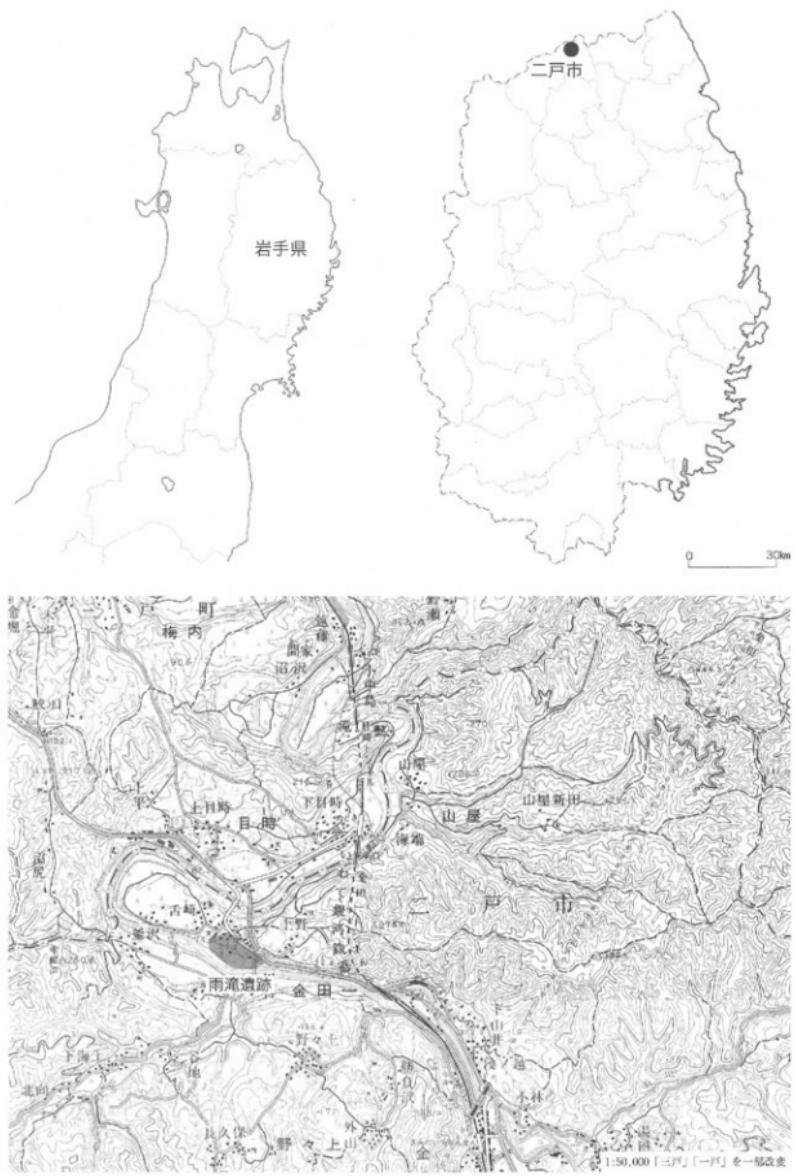
1 遺跡の位置（第1図）

雨滝遺跡は、IGRいわて銀河鉄道金田一温泉駅の北西約3.3km、岩手・青森県境付近に位置する。国土地理院発行の5万分の1地形図「三戸」および2万5千分の1地形図「三戸」の図幅中に含まれ、緯度・経度上の位置は、北緯40度20分26秒、東経141度16分28秒付近である。

遺跡の所在する二戸市は、岩手県内における区分でいうところの内陸北部に位置し、西は八幡平市、南は一戸町、東は九戸村・軽米町、北は青森県三戸町・南部町・田子町と接する。平成18年の統計によれば、年間の最高気温は34.9℃、最低気温は水点下16.2℃と気温差が激しく、平均気温は9.8℃で本県内でもかなり冷涼な地域である。年間降水量は1,075mmと県平均より少なく、低温低雨の地域といえる。

2 地理・地形的環境

二戸市は西を奥羽山脈、東を北上山地に挟まれた盆地で、北上山地北部の葛巻町多々良山を水源と



第1図 遺跡の位置

し青森県八戸市で太平洋に注ぐ馬瀬川が市域を縦断する形で北流する。当地域最大の河川であるこの馬瀬川によって、市南部の石切所地区から北部の金田・地区にかけて、数段の段丘と狭い沖積平野が形成されている。この段丘群は、高位から仁左平段丘、福岡段丘、長嶺段丘、米沢段丘、堀野段丘、中曾根段丘と呼称・区分されている。さらに、米沢段丘は馬瀬川東岸の中町段丘と西岸の堀野段丘に区分される（松山 1981）。

青森県南部地域から岩手県北部地域にかけては、十和田火山を給源とするテフラが複数種堆積しており、これが地形形成に大きく関わっている。現在の十和田カルデラを形成したとされる約32,000年前の噴火（十和田大不動テフラ）と約12,700年前の噴火（十和田八戸テフラ、以降「To-H」と呼称）は大規模な火砕流を伴う噴火であり、低位部を覆って火砕流台地が形成されている。完新世以降としては十和田南部テフラ（以降「To-Nb」と呼称）、十和田中振テフラ（以降「To-Cu」と呼称）、十和田bテフラ（以降「To-b」と呼称）、十和田aテフラ（以降「To-a」と呼称）などがあるが、岩手県北部地域におけるこれらはいずれも降下テフラである。仁左平段丘は、チャート・頁岩からなる礫層の上に高館テフラ以降の火山灰が堆積している。福岡段丘はTo-Hによる火砕流台地である。米沢段丘は沖積段丘の古面に相当し、To-Nb以後のテフラが堆積している。低位の中曾根段丘はTo-Nbを乗せない段丘であるとされ、To-Cu以後のテフラが確認されている。

本遺跡は、馬瀬川右（北東）岸の南西向きの緩斜面に立地する。標高は今次調査区で70～74mを測る。段丘区分では、福岡段丘から中曾根段丘にまたがる。馬瀬川は本遺跡付近で舌状に大きく蛇行しており、北西から南東～北東へと流路を変える。地名「舌崎」の所以である。

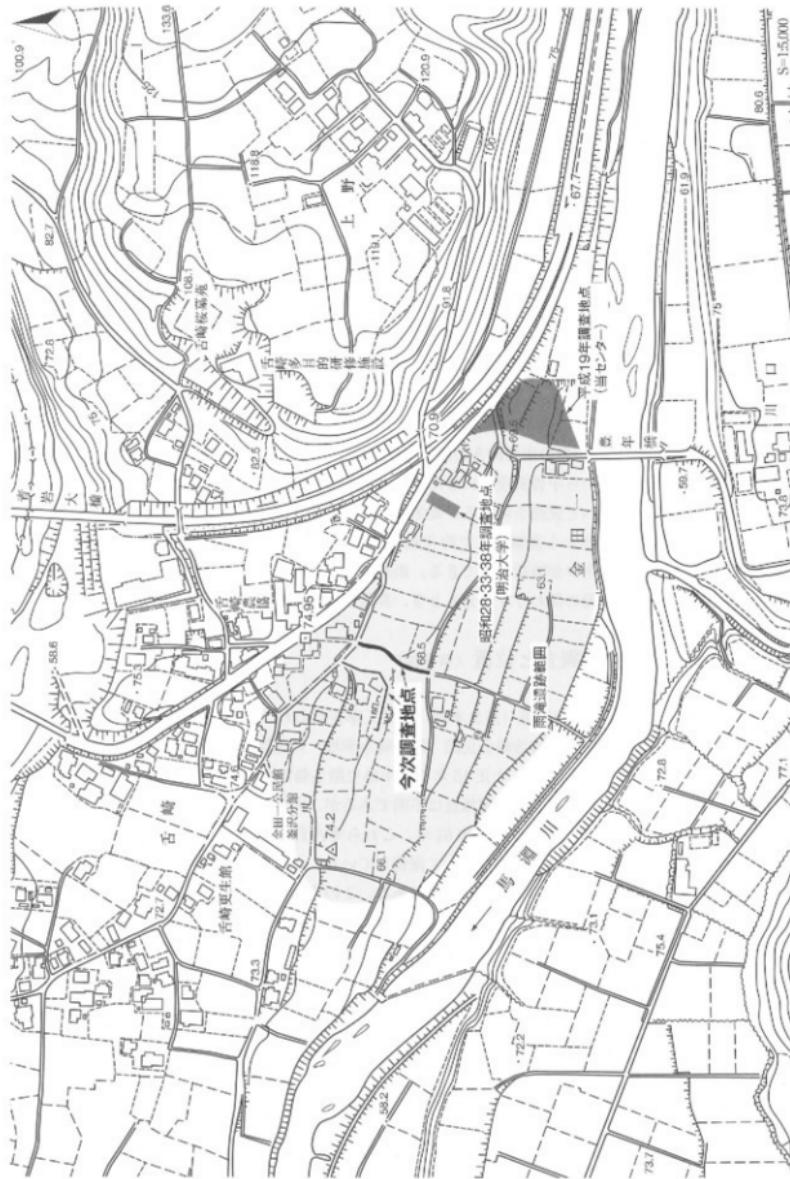
なお、本遺跡は太平洋岸から直線距離で約35km離れた内陸部であるが、おそらく馬瀬川に沿って飛来したのであろうウミネコが時折確認できる。距離だけでは推し量れない生物の営みと、それに影響されるであろう人類活動の関わりを考えるとき、非常に興味深い事象である。

3 これまでの発掘調査と位置（第2図）

明治24年頃、本遺跡付近で鉄道（東北本線）敷設工事が行われ、その際に大量の遺物が出土したという。現在、この資料の一部は舌崎公民館（旧舌崎小学校）に保管されている。

調査記録として最も古いものは、大正15年に岩手県史蹟名勝調査会委員であった小田島祿郎氏により発掘されたという記録である。発掘地点は不明であるが、大量の土器・石器が出土したとされ、その資料は小田島氏が所有していた。昭和61年、これら考古資料を一括して岩手県立博物館が購入および寄贈を受け、小田島コレクションとして保管している。この内容を見る限り、当時の発掘で出土した資料は繩文時代晩期を中心であったようである。この発掘の情報は、当時、東北帝国大学に在籍していた喜田貞吉氏にも届き、喜田氏は現地に赴いて出土遺物を箱詰めして大学へ送っている。この資料は、現在、東北大学が所蔵している。また、昭和5年、考古学研究のため渡仏していた中谷治宇二郎氏から小田島氏のもとへ出土品の写真を送って欲しいとの依頼があった。中谷氏に対し、フランスの出版社から日本先史美術に関する執筆依頼があったことによるものだという。翌年、今度は写真的資料をフランスの博物館が購入したいといっているので売却してほしいとの依頼が来る。中谷氏に説得され、小田島氏は繩文土器7点と土偶2点をフランスに送ったとされるが、先方には到着せず、行方不明となつたらしい。

戰後、本遺跡は明治大学により3度にわたり学術的な発掘調査がなされた。1回目は昭和28年4月5～9日、2回目は昭和33年10月30日～11月8日、3回目は昭和38年7月11日～20日に実施さ



第2図 周辺の地形と過去の調査地点

れている。調査地点は遺跡範囲の北西部で、今次調査区の東方約150mの位置にあたる。この一連の調査により、厚さ2mにおよぶ遺物包含層が確認された。この包含層では、最下層から縄文時代後期後半の金剛寺式が、最上層では大洞A式が出土したとされ、主体となるのは晩期初頭から中葉の大洞B・BC・C1式であったという。これは出土層位から下層の大洞B・BC式混在層と上層の大洞C1式出土層に分けられ、当時の調査担当者である岸沢長介氏がその状況を鑑みてこれらを同時期の所産とし、「雨滴式土器」を設定・提唱したことはあまりにも有名である。この他では、「小円環をもって半円形に下半部の欠失した上鋸をかこみ、土器破片2個をもってこれを蔽った状態」(岸沢1959)の特殊な遺構が発見されたとされ、遺物包含層より下層からは後期の配石遺構の一部もみつかつたとされている。この3度の調査で出土した膨大な量の遺物は、明治大学が所蔵している。なお、その遺物総量については明らかにされていない。

平成19年、一般県道上斗米金田一線農橋工区緊急地方道路整備事業に伴い遺跡の一部が破壊されることとなり、事前の緊急発掘調査が当センターにより実施された。地点は、今次調査区の南東方約200m、豊平橋の北側にあたる。この調査では、晩期前半の小規模な遺物包含層、中世の堅穴建物、時期不明の焼土1基、ピット87個が検出されている。

本遺跡は、「雨滴式土器」の標識遺跡として、また一方でその賛否検討の大本として注目されてきた。この論議を抜きにしても、晩期前半の大遺跡であることは疑いなく、該期の拠点的遺跡として重要といえる。

4 基本層序および搅乱の状況（第3・4図、写真図版2~5）

今次調査区の現況は農道および宅地である。この農道はいつ敷かれたものか定かではないが、少なくとも近年に砂利敷設の改修がなされており、それ以前は側溝を伴う未舗装路であったようである。この路面直下から遺構が検出され、側溝埋土から遺物が大量に出土することから、前段階の敷設時点での遺跡上位がある程度破壊されたと考えられる。加えて、路線中央には水道管が埋設されており（第8図。平成に施工されたもの）、これに伴い幅1m弱・深さ1m強の掘削が行われたため、同部分の遺構・遺物はすべて破壊・搅乱されている。

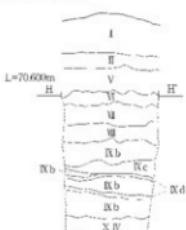
さて、この農道部分の形状は、長さ約70m×幅約3~4mと北東~南西に細長く、今次調査は斜面に直交するトレンチを開けているような状況を呈する。確認された基本層序は第3図のとおりである。地形調査の結果、現地形には表れていない小規模な段丘が3面確認され、それぞれで堆積様相が異なる（以降、この小段丘を上位から順に「上段」「中段」「下段」と呼称する）。この地形の相違が遺跡形成に影響していると考えられる。

上段は調査区北端の12D~12E7~9グリッド付近に位置する。旧地形に対し現地形の傾斜が緩く、北部ほど削平されている。傾斜があるためであろう、Ⅲ層（To-a）、Ⅳ層（To-Cu）が欠落している。X I層（To-Nb 純層）およびX II・X III層（赤褐色バミス…十和田二ノ倉テフラ「To-Nk」と思われる…の混入層）が堆積しているのは上段のみである。なお、上段から中段にかけては遺物包含層が形成されている。

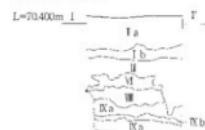
中段は10I6~7グリッド以北に位置する。北部は上段段丘縁から12E21~23・12F1~3グリッド付近を中心大きく窪んでおり、おそらく東西方向に延びる旧流路が存在するものと思われる。この付近にはⅢa層（To-a）が成層している。今次調査区内でⅢa層が成層する地点はここだけである。これ以南は段丘縁まで概ね平坦である。平坦部分の窪以下には水成堆積のⅤ層があり、X I層の

4 基本層序および擾乱の状況

小段丘中段南側

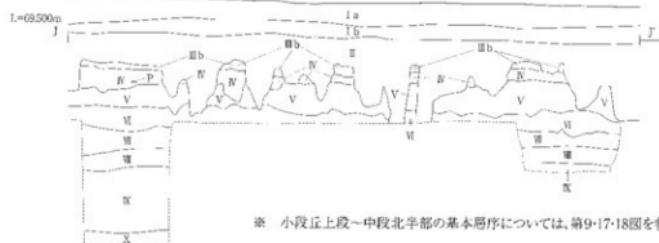


小段丘中段南側



- I a 黄褐色シルト
I b 10YR1.7/1 黒色シルト-10YR2.1 黑褐色シルト-10YR3.2 密褐色シルトの風化土。粘性中-しまり強 To-Cu10% 遠赤鉄鉱化風化土
II 10YR3.2 黑褐色 シルト 粘性中-しまり中 To-E7% To-Cu
III a 10YR7.1-2 黒色-に赤い黄褐色 アンシス To-a(数) エヤ状 20%
III b 2.5Y3/1-2 黑褐色 シルト 粘性中-しまり強 To-a(数) エヤ状 20%
IV 10YR1.7/1 黑色 シルト 粘性中-1.より中 To-E7%
V 10YR2.5 (1.より)~2.2 (下部) 黑-黒褐色 シルト 粘性中-しまり中 To-Cu
VI 10YR2.5 黑褐色 シルト 粘性強-しまり中 To-Cu0~20%
2.3Y4/4-4/4.4 オリーブ褐色-に赤い黄色 バニス 粘性を-し
VII 5.5Y3/2 黑褐色 シルト 粘性中-しまり中 To-Nh7%
Xa 10YR4/2 に赤い黄褐色 沈積シルト 粘性中-しまり中
Xb 10YR4/2 黄褐色シルト 粘性中-しまり中
Xc 10YR4/1.5 黑色-灰黑色シルト 粘性中-しまり中
Xd 10YR3.5/2 黑褐色-褐色シルト 粘性中-しまり中
XI 10YR4/2 明るい黄褐色 シルト 粘性中-しまり中
XII 10YR3.2 黑色 粘土質強-しまり強 10YR4-3.6 黑褐色
XIII 黃褐色バニス (To-Nh 3%) 3%
XIV 10YR4/2 灰黑色シルト 粘性強-しまり強 To-Nh 5%
XV 10YR4/3 に赤い黄褐色 硫化鉄シルト 粘性強-しまり強
To-H バニス 3% 以下
XV 10YR4/1 黑褐色 粘土質シルト 粘性強-しまり強 To-H バニ
ス 7~10% (下部は多量)

小段丘下段



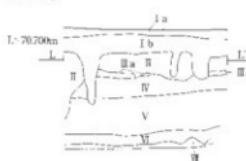
※ 小段丘上段～中段北半部の基本層序については、第9-17-18図を参照。

トレンチ2

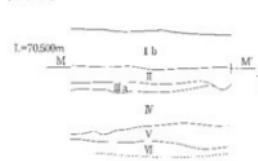


1 10YR2/1 黒色 シルト 粘性中-L20中 To-Nh10% 遠赤鉄鉱化(A層)に対応

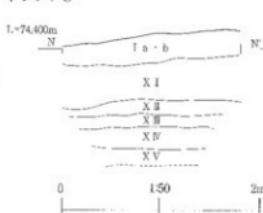
トレンチ5



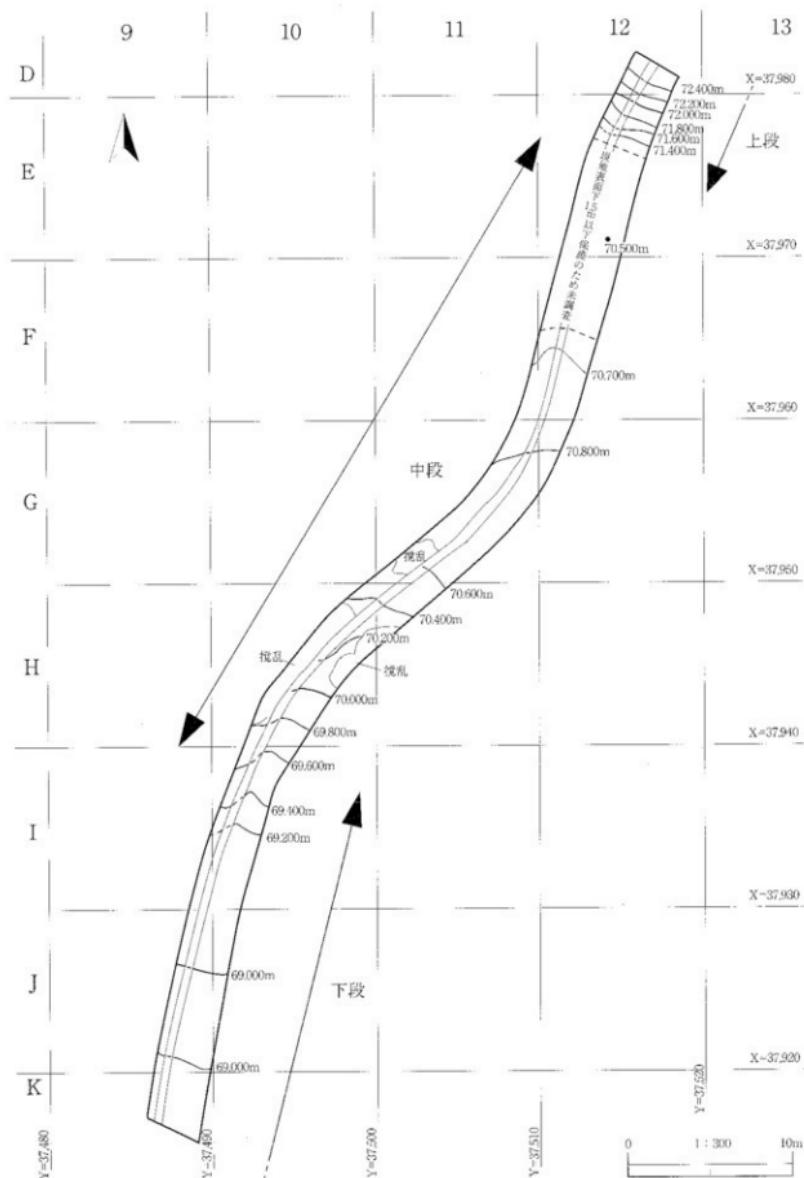
トレンチ7



トレンチ8



第3図 基本層序



第4図 調査区1の等高線と小段丘の位置

To-Nb 純層およびX II・X III層等の To-Nk ? 混入層は存在せず、水成層下では To-H が混入する X IV層が確認される。なお、本段丘北半部には大規模な遺物包含層が形成されている。

下段は調査区南部に位置する。各層とも概ね平坦に堆積している。中段と同様にⅢ層下は水成堆積のⅣ層となり、その下は砂層（X層）が堆積している。同じくX I～X III層は欠落するものと推定されるが、X IV層が欠落するかどうかは不明である。

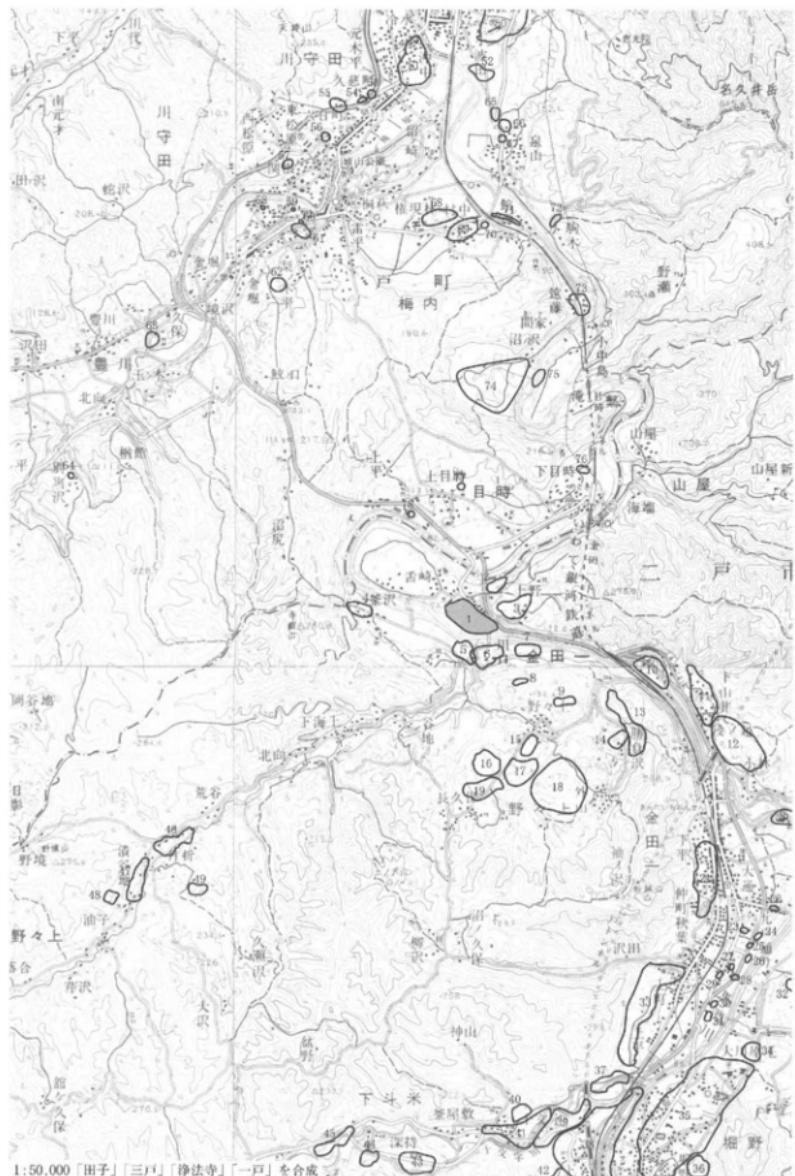
5 周辺の遺跡（第5図、第1表）

平成18年の時点で、岩手県遺跡台帳に登録されている二戸市内の遺跡数は603箇所を数える。このうち、本遺跡近隣の縄文時代遺跡を抽出し、第5図および第1表に掲載した。なお、本遺跡は岩手・青森県境に位置しているため、青森県境の近隣遺跡についても同様に抽出した。

これらの中で、縄文時代晩期に関わる遺跡は、二戸市雨滝遺跡（報告遺跡・1）、山道遺跡（2）、石造遺跡（3）、仏壇遺跡（17）、ハッ長II遺跡（24）、上田面II遺跡（31）、上町遺跡（33）、米沢遺跡（38）、荒谷遺跡（46）、青森県三戸町沖中遺跡（51）、関根遺跡（57）、上川原遺跡（58）、熊ノ林遺跡（59）、八日町遺跡（60）である。このうち、ハッ長II、上田面II、上町、米沢、荒谷の各遺跡については、発掘調査が行われ、当該期の遺物が出土している。土器型式でいえば、ハッ長IIでは大洞BC式・A式、上田面IIでは大洞B式・C2式、上町では大洞C2式、米沢では大洞C1・C2・A'式、荒谷では大洞C1式である。なお、遺構はいずれの遺跡からも検出されていない。

二戸市域において当該期の集落もしくは遺物包含層（ここではいわゆる「捨て場」を指す）の検出された遺跡は、長瀬D遺跡、沢内遺跡、中曾根遺跡、足沢遺跡、上杉沢遺跡、飛鳥台地I遺跡、海上II遺跡、五庵I遺跡、五庵III遺跡である。うち、上杉沢遺跡では、晩期中葉～末葉までの住居跡が検出されており、当該地域における拠点的集落と考えられる。飛鳥台地I遺跡では、前葉の住居跡5棟が確認されている。これ以外の遺跡については、いずれも住居跡数棟の検出に止まる。

さらに範囲を隣接市町村まで広げてみると、大規模な遺跡が散見される。すなわち、軽米町大日向II遺跡、駒板遺跡、一戸町蔵前遺跡（越田橋遺跡）、山井遺跡、八幡平市（旧安代町）曲田I遺跡である。蔵前遺跡は、いわゆる「鼻曲がり十面」が出土したことで著名である。山井遺跡は大洞B～C2式期の大規模な捨て場が確認された遺跡である。曲田I遺跡は、晩期初頭～中葉にかけての住居跡が30棟以上確認されており、当該期を代表する一大集落である。このうちの1棟、E III-011住居跡の埋土中から大洞B式およびBC式土器が多量に混在した状態で出土し、この現象が本来的な同時併存によるものか、別時期の混在かで議論となつた。「雨滌式」土器型式問題の再燃である。今日まで多くの研究者により分析がなされたが、その見解は分かれている。また、大洞BC式をBC1とBC2式に細分する立場を探る研究者間でも、B2・BC1・BC2の細分案は各者各様である（金子1991a・1992a・1992b・1993a・1993・1996、鈴木1993、須藤1996、小林2003・2004・2005など）。



第1表 周辺の遺跡一覧表

| No. | 遺跡名 | 類別 | 時代 | 遺構・遺物 |
|-----|---------|------------|----------------|---|
| 1 | 雨瀬 | 更湯跡 | 绳文・古代・中世 | 绳文土器(後・中期)、土葺跡 |
| 2 | 山道 | 祭祀遺跡 | 绳文 | 绳文土器(晚期) |
| 3 | 石塚 | 祭祀遺跡・牧布地 | 绳文 | 绳文土器(中期) |
| 4 | 史の下 A | 祭祀地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 5 | 史の下 B | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 6 | 川口 I | 祭祀地 | 绳文 | 绳文土器、弥生上器、石器 |
| 7 | 川口 II | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 8 | 野々上 I | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 9 | 野々上 II | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 10 | 小野 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器(中期) |
| 11 | 下山井 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 12 | 段丘 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 13 | 種免西丘 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 14 | 種免沢Ⅱ | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 15 | 野々上 III | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 16 | 林前 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 17 | 化保 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器(晚期) |
| 18 | 上ノ渡Ⅱ | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 19 | 七ノ山 I | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器(中期) |
| 20 | 八郎 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 21 | 秋葉 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 22 | 沖 | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、土師器 |
| 23 | ハツ美 I | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、中后器 |
| 24 | ハツ美 II | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、上层器 |
| 25 | ハツ美 III | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、土师器 |
| 26 | ハツ美 IV | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、土师器 |
| 27 | 鬼田 I | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、上层器 |
| 28 | 荒田 I | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、土师器 |
| 29 | 光山里 | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器 |
| 30 | 荒田Ⅱ | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、土師器 |
| 31 | 上山廻丘 | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、土师器 |
| 32 | 芦花 | 牧布地 | 绳文 | 绳文 |
| 33 | 上町 | 牧布地 | 绳文・既往 | 绳文土器、弓場跡 |
| 34 | 大草夏毛 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 35 | 與田遺跡群 | 集落跡・祭祀跡・古墳 | 绳文・古墳・古代 | 古墳、矛手刀、堅穴住居、配石、土師器、绳文土器 少室、平地、土師器、绳文土器 |
| 36 | 御所跡 | 城郭跡・牧布地 | 中世・绳文 | 绳文土器、一部器 |
| 37 | 清水山 | 牧布地 | 绳文 | 整穴住居跡、工具跡、土堵跡 |
| 38 | 糸の山遺跡群 | 集落跡・城垣跡 | 绳文・古代・中世 | 绳文土器、土師器 |
| 39 | 網船 | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、土師器 |
| 40 | 十文字 | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、土師器 |
| 41 | 差屋敷 | 牧布地 | 绳文・古代 | 绳文土器、土師器 |
| 42 | 佐ノ木堀 | 牧布地・城垣跡 | 绳文・古代・中世 | 绳文土器、土師器、瓶 |
| 43 | 上野寺 | 华岳跡・献布地 | 绳文・奈良・平安 | 绳文土器、土師器 |
| 44 | 上野寺 | 献布地 | 绳文 | 绳文土器片数点 |
| 45 | 米山下 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 46 | 鹿谷 | 牧布地・城垣跡 | 绳文・中世 | 绳文土器、蟹切 |
| 47 | 清合地 I | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 48 | 清合地 II | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 49 | 月折 | 牧布地 | 绳文・弥生 | 绳文土器、弥生土器 |
| 50 | 化野下 | 集落跡・城垣跡 | 绳文・中世 | 绳文土器、土師器 |
| 51 | 沖中 | 牧布地・無落窓 | 绳文 | 绳文土器 |
| 52 | 訓井野 | 牧布地 | 绳文 | 绳文土器 |
| 53 | 赤坂 | 牧布地 | 绳文(早) | 绳文土器 |
| 54 | 第 | 兜落跡 | 绳文(早) | 绳文土器 |
| 55 | 東強漢 | 牧布地 | 绳文(前・中) | 绳文土器 |
| 56 | 寺ノ沢 | 牧布地 | 绳文(早) | 绳文土器 |
| 57 | 岡坂 | 牧布地 | 绳文(後・晚) | 绳文土器 |
| 58 | 上日東 | 牧布地 | 绳文(後) | 绳文土器 |
| 59 | 熊ノ森 | 牧布地 | 绳文(晚) | 绳文土器 |
| 60 | 八日町 | 牧布地 | 绳文(晚) | 绳文土器 |
| 61 | 洲内古跡 | 牧布地・城垣跡 | 绳文(中・晚)・中世 | 绳文土器(中・晚)・中世 |
| 62 | 海内川平 | 牧布地 | 绳文(晚) | 绳文土器 |
| 63 | 久保 | 牧布地 | 绳文(中) | 绳文土器 |
| 64 | 別当沢 | 牧布地 | 绳文(前) | 绳文土器 |
| 65 | 東山 | 牧布地・集落跡 | 绳文(前・中・後・晚)・平安 | 绳文土器 |
| 66 | 中野 | 牧布地 | 绳文(晚) | 绳文土器 |
| 67 | 小野(2) | 集落跡・盆地 | 绳文(前・中・後)・奈良 | 绳文土器 |
| 68 | 松坂(1) | 牧布地 | 绳文(前・晚) | 绳文土器 |
| 69 | 村中(2) | 牧布地 | 绳文(中・後) | 绳文土器 |
| 70 | 村中(1) | 牧布地 | 绳文(前) | 绳文土器 |
| 71 | 梅内原 | 牧布地 | 绳文(前) | 绳文土器 |
| 72 | 勘木 | 牧布地 | 绳文(後) | 绳文土器 |
| 73 | 尾根 | 牧布地 | 绳文(前・中) | 绳文土器 |
| 74 | 沼ノ沢 | 牧布地 | 绳文(前・中・後) | 绳文土器 |
| 75 | 溝出山原 | 牧布地 | 绳文(前) | 绳文土器 |
| 76 | 下益野 | 牧布地 | 绳文(前) | 绳文土器 |
| 77 | 白崎平 | 牧布地 | 绳文(前・中) | 绳文土器 |
| 78 | 日向平野 | 牧布地 | 绳文(晚) | 绳文土器 |

III 調査と整理の方法

1 野外調査

今次調査区（調査区1）はりんご畑に向した未舗装路で、このは場に入るための経路となっている。よって、全城を常時通行止とすることが不可能であり、以下の3区間に分けて調査している。

1区間目…調査区南端から 10I6・7 グリッド

2区間目…10I6・7 グリッドから 11F25・12G1 グリッド

3区間目…11F25・12G1 グリッドから調査区北端

なお、今次調査の調査対象面積は当初 300m² であったが、事業計画上バイオラインの設置が必要な箇所が新たに発生し、98m² の追加となり、最終的な調査面積は 398m² となった。便宜的に、当初調査区を「調査区1」、追加調査区を「調査区2」と呼称した（第6図）。

（1）調査経過

7月1日 資材搬入、現場設営。

7月2日 調査区1・1区間目調査開始。重機による道路構築土除去。試掘。

7月3日 遺構検出、精査開始。

7月4日 基準杭打設。

7月10日 1区間目調査終了。重機による埋め戻し（～11日）。

追加調査区確認のための現地協議（岩手県教育委員会生涯学習文化課斎藤主任主査）。

7月11日 2区間目調査開始。重機による道路構築土除去。試掘。大規模な遺物包含層を確認。

7月15日 遺構検出・精査開始。

7月29日 追加調査区（調査区2）の範囲決定に関わる現地協議。

8月4日 2区間目南部調査終了。3区間目調査開始。重機による埋め戻しと道路構築土除去（～5日）。

8月5日 遺構検出・精査開始。

8月19日 3区間日の一部および調査区2の調査深度に関わる現地協議。これにより、農道整備予定部分（調査区1）の調査深度は現地表面下 1.5 m まで、バイオライン設置予定部分（調査区2）は 1.2 m までと決定される。

8月20日 近隣住民に対する現地説明会開催（13:30～15:30）。参加者 25 名。

8月25日 調査区2 試掘（～9月3日）。

9月5日 岩手県二戸地方振興局職員他 22 名現場見学のため来跡。

9月9日 航空写真撮影実施。

9月10日 3区間日の遺物包含層保存箇所に対する人力および重機による埋め戻し（1回目）。厚さ 40cm の砂層で保護。

9月17日 調査区2の調査開始。重機による表土除去（～18日）。

9月18日 遺構検出・精査開始。

9月26日 終了確認。

9月29日 3区間日の遺物包含層保存箇所に対する人力および重機による埋め戻し（2回目）およ

び残り全城の重機による埋め戻し（～30日）。

9月30日 調査終了。撤収。

（2）グリッド設定（第6図）

グリッド設定の軸には世界測地系の座標を用い、このメッシュに沿うよう設定した。起点は北西方向である。大グリッドの規模は10m角とし、北から南へ向かってA～Kのアルファベット大文字を、西から東に向かって1～13のアラビア数字を付した。各大グリッド内をさらに2m角で25分割し、北西隅から東へ1～5のアラビア数字を、次に1列南へ下がって6～10の数字を付すという方法で小グリッドを設定した。小グリッドの呼称方法は、大・小グリッドの組み合わせにより「IA1」、「12F25」のようになる。報文中のグリッド呼称は基本的に小グリッド名を用いている。

なお、現場に打設し基点として用いた杭の名称、グリッド、座標値、標高値は次のとおりである。

基準点1 (8K15) X=37,916.000, Y=37,478.000, H=69.872 m

基準点2 (12F16) X=37,964.000, Y=37,510.000, H=72.240 m

補助点1 (8K10) X=37,918.000, Y=37,478.000, H=70.042 m

補助点2 (10H10) X=37,948.000, Y=37,498.000, H=71.128 m

（3）粗掘・遺構検出

調査区1は砂利敷の道路であり人力での試掘が極めて困難であるため、まずバックホーにより砂利および搅乱土の除去を行い、その後、遺構・遺物の検出層位と状態および旧地形とその堆積土層の確認と把握を目的として調査区東壁際に幅30cmのトレンチを設定し、試掘を行った。試掘作業に際しては、遺構・遺物検出箇所付近はその検出面まで、それ以外の部分は最終遺構検出面とされる褐色土～黄褐色土を目安に掘り下げ、層理面にて順次検出を行った。この結果から、全体の検出層位をⅢ層上面、Ⅳ層上面、V層上面とし、包含層範囲については0～3b層及び0～A'層の各上面と決定した。

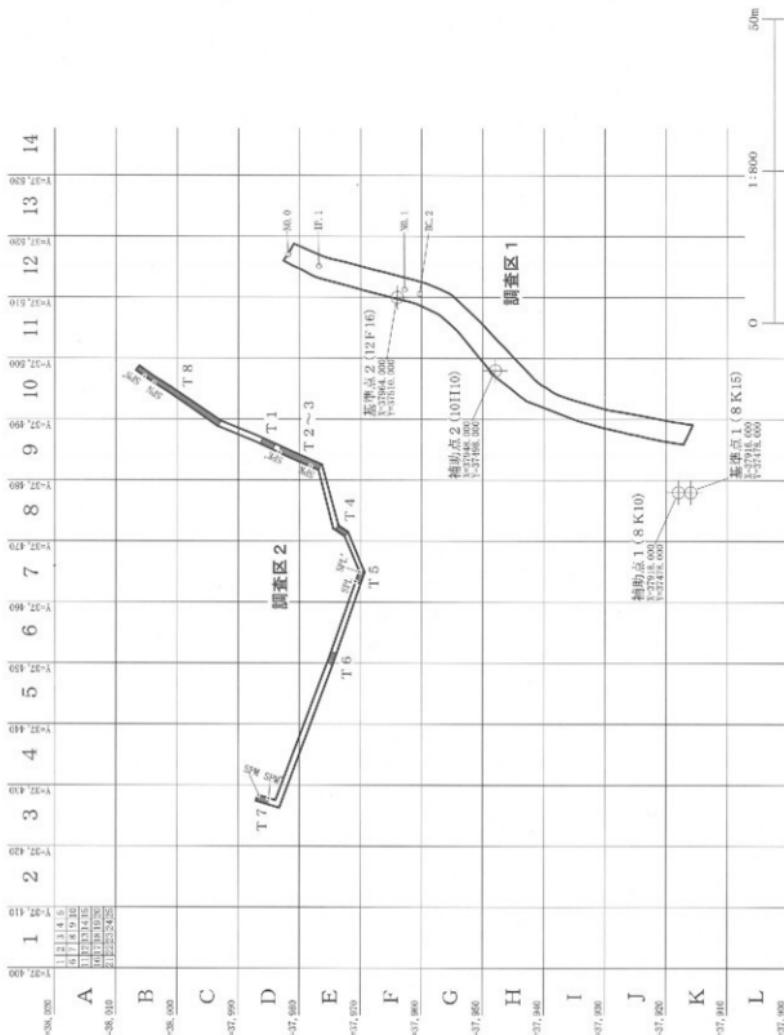
（4）遺構の調査方法・遺物の取り上げ方

今次調査区の範囲は幅3～4mと細長く、かつそのほぼ中央に水道管が埋設された状態であったため、連続して掘削できた幅は1.5m程度である。調査環境としては良い状況とは決して言えないものの、この状況を逆に利用し、残ざるを得ない断面をすべて土層観察に利用し、特に遺物包含層精査に用いた。いっぽう、掘り込みを伴う遺構に関しては、堅穴住居のような大形遺構が検出されなかつたこともあり、すべて二分法で行っている。いずれの精査においても、上層の堆積状態、遺物の出土状態、遺構の完掘状況を中心に写真撮影および実測を順次行った。

遺物の取り上げ方は、遺物包含層出土遺物に関しては完形品や土製品・石製品などの優品をトータルステーションで個別に点取りし、その他については小グリッドごとに出土層名を記して取り上げている。遺構内出土分については遺構名と出土層位名または相対的層位（上位、中位、下位、床・底面直上、床・底面）を記し、このうち床・底面直上以下出土分については個々に出土位置を記録した。

（5）遺物包含層土壤のサンプリングと微細遺物の回収方法

1号遺物包含層の2b層、3a層、A層は、土壤内に炭化物粒や焼土粒が多く混入しており、この中に炭化した動物・植物遺存体が残存している可能性が想定された。このため、同層中でも特に炭化物粒・焼土粒の混入量が多い2地点（「2・3区間目ベルト」「3区間目ベルト」）の土壤をそれぞれ



第6図 グリッド配置と調査区の名称



第7図 工事掘削高と調査掘削高

120×50×50cm・120×50×20cmの範囲でコラムサンプリングし、ウォーターフローテーション・セパレーションを実施した。浮遊物、沈殿物の回収にはいずれも0.5mmの篩を用いている。採取地点は第8図に示したとおりである。なお、検出遺物については、V章5・6節、VI章1節を参照いただきたい。動物遺存体の鑑定・分析は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所の石丸恵利子氏に、植物遺存体の鑑定は、古代の森研究会の吉川純子氏にそれぞれお願いした。

土壤水洗選別法の必要性が叫ばれて久しいが、本県においてはまだ「当たり前」というほど実施されていないのが現状である。しかし、今回も部分採取でありながら確実に重要な成果が出ている。時代を問わず、有効と判断される遺構については、一般的に実施していくことが望まれる。

(6) 写 真 撮 影

写真撮影にあたっては、6×9判モノクロームのフィルムカメラ (FUJI GSW690 III) とデジタル一眼レフカメラ (Canon EOS 5D) を使用した。撮影にあたっては、撮影状況を記した「撮影カード」を事前に写し、整理時の混乱を防止した。その他、調査終了間際にセスナ機による航空写真撮影を実施している(平成20年9月9日)。

(7) 現地表面下1.5mを超える箇所についての対応(第7図)

12E7・8・14グリッド以南から12F11・12グリッド以北の区域は1号遺物包含層の範囲内にあたるが、土壤の堆積が厚くかつ深く、トレンチ調査により現地表面下約2.1mまで同遺物包含層の堆積が確認された。本来、このすべてが調査対象であり、そのためには土留めを行った上で深度掘削、もしくは調査区の拡幅のいずれかが必要となるが、堆積土壤が脆弱であること、また調査区の拡幅も不可ということから、いずれの方法も不可能であった。しかし、本調査の原因である農道整備に伴う工事掘削深度が現地表面下1m以下に及ばないことから、調査は現地表面下1.5mまでに止め、以下は未調査のまま保護・保存されることとなった。なお、この保護範囲には、調査最下位面(現地表面下1.5m)から砂を40cm厚で敷設し、保護層とした。

2 室 内 整 理

(1) 遺物整理の方法と掲載基準

遺物は、各種別に分類したのち出土地点ごとに重量計測を行い、接合作業を実施して掲載分と不掲載分に細分類し、前者については仮番号を付し登録を行った。登録にあたっては、種別ごとに異なる種類の番号を付している。その後、報告書掲載遺物が最終的に決定した段階で、新たに各種別共通となるアラビア数字の迷番による掲載番号を付した。

なお、掲載遺物の選択に際しては、各遺物種別共通してまず第1に出土地点を優先し、I層あるいは搅乱出土遺物は基本的に除外した。遺物別および遺物種別毎の出土量については、IV・V章に記述している。各遺物種別の掲載基準は下記のとおりである。

本報告書では、出土遺物量の記載を遺物種により3種類の方法で行っている。基本は「g」あるいは「kg」単位での重量表記である。土器の計量は出土地点単位(採取した袋単位)ごとに実施し、全体量を把握するための重量台帳を作成した。掲載分として抽出したものについては仮番号を付して個々に計量を行い、登録台帳を作成している。土製品、石器、石製品は点数記載を主とし、これに重量記載を併記している。土製品、石製品については全点に仮番号を付して個々に計量し、登録台帳を

作成した。石器は事前にトゥールと剥片および素材に分類し、トゥールについては個々に仮番号を付して登録台帳作成と計量を行っている。剥片および素材については個々の計量はせず出土地点単位で計量し重量台帳を作成する段階までに留めた。

縄文土器

- a. 掲載遺物の選択基準……器形全体が判断できるもの、および全体の1/2以上が判断できるもの(口縁部～胴部もしくは胴部～底部にかけて「復元実測」が可能な個体)は全点掲載した。破片資料では、文様および形態変化が集中するため口縁部が残存するものを優先している。出土量の少ない時期のものはこの限りではない。
- b. 実測……文様の表現については客観性を重要視し、拓本を多用した。祥の推定可能なもの(1/4以上残存)は復元実測を行った。

石器

- a. 掲載遺物の選択基準……最低限、各器種（細分類ごと）1点は掲載することとし、完形品を優先した。写真掲載のみとしたものも多数存在する。

- b. 実測……調整部位や打面・打点など、最低限必要と判断した部位のみ展開し、省力化に努めた。

土製品・石製品

- a. 掲載遺物の選択基準……細片で器種不明かつ出土地点不明のものを除き、当該遺物と判断できたものは全点掲載した。ただし、写真掲載のみとしたものもある。

- b. 実測……文様、調整の入り方により展開面数を決定した。

土師器

1点のみの出土であるため、掲載した。

鉄製品

近世～現代のものであるため、文章での記載に止めた。

(2) 写 真 撮 影

遺物の写真撮影は、当センター写真室において、専属の写真撮影技師がデジタル一眼レフカメラ(Canon EOS1 Mark II)を用い実施した。

IV 検出遺構

今回の調査で検出された遺構は、竪穴住居状遺構1基、土坑5基、柱穴状土坑9個、溝2条、遺物包含層1箇所(111m)である。以下、遺構種別毎に記述する。

1 住居状遺構

1号竪穴住居状遺構

遺構(第9図、写真図版6・7)

[位置・検出状況] 12E4 グリッド付近に位置する。1号遺物包含層下、V層中位で検出された。北側に5号土坑が隣接する。

[重複] 本遺構埋没過程で1号遺物包含層が形成され始める。

[微地形] 小段丘上段縁にあたり、南側へ約16度で下る斜面である。

[規模・平面形] 開口部径2.41m、底面径2.21mを測る。東半が調査区外へ延びるため平面形の詳細は不明であるが、円形を呈するものと思われる。

[断面形・底面・深さ] 北側壁は垂直気味に立ち上がる。底面は南側へ約5度で下り、平坦である。深さは最深部で81cmである。

[埋土] 5層に分層される(8~12層)。いずれも黒~黒褐色シルト主体であるが、混入物が異なる。12層は壁の崩落土で、黒褐色シルトにTo-Cuを多量に含む。11~9層はTo-Cuに加えTo-Nbを少量含む。最上位の8層はTo-Nbの混入率が最も高く、且つ炭化物も混じる。この現象は、人為的な施肥行為に起因するものと推定される。

遺物(第34図、写真図版28)

[土器] 465.0g出土し、底面および底面上出上の2点・405.58gを掲載した(1・2)。

時期 出土土器から、縄文時代後期末葉と考えられる。

2 土 坑

1号土坑

遺構(第9図、写真図版7)

[位置・検出状況] 9K10 グリッド付近に位置する。V層上面で検出された。東側約1/3が調査区外へはみ出す。北側にP3が隣接する。

[規模・平面形] 全体形は正確に確認できないが、楕円形を呈するものと考えられる。なお、遺構上位は耕作によるトレンチャーによって破壊されている。平面長軸は1.69mを測る。

[断面形・深さ] 断面形は逆台形を呈し、深さは最深部で90cmを測る。

[埋土] 9層に分層される(6~14層)。いずれも黒~黒褐色シルト主体で、To-Cuが混入する。下位ほどその混入量が多い。自然堆積と考えられる。

遺物

[土器] 埋土から148.3gが出土した。すべて地紋のみの胴部片である。

時期 検出層位から、縄文時代の所産と推定される。

2号土坑

遺構（第10図、写真図版7）

【位置・検出状況】12G1 グリッド付近に位置する。I層道路搅乱層直下で検出された。遺構中央が水道管敷設時の搅乱により破壊されている。

【重複】1号遺物包含層と重複し、これを切る。

【規模・平面形】規模約1.5m程度の円形基調と考えられる。

【断面形・深さ】底面が平坦で、壁は垂直に立ち上がり、断面形はピーカー形を呈する。深さは最深部で62cmを測る。

【埋土】黒褐色土主体で、埋土上位の一部にTo-aテフラブロックが堆積する。人為堆積と推定される。

遺物（第34・87・107図、写真図版28・81・103）

埋土中に遺物を多く含むが、本来的にはいずれも1号遺物包含層に含まれていたものが再堆積したものと考えられる。

【土器】埋土から6,920.8g出土し、うち2点・15.7gを掲載した（3・4）。

【石器】埋土から石範1点、石核2点、磨製石斧1点、石核石器片1点、磨石1点、敲石2点、台石1点の計9点・4,333.0gが出土し、このうち石範1点、石核2点、磨製石斧1点、磨石1点、敲石1点、台石1点の計7点・4,090.6gを掲載した（624～630）。

【石製品】埋土から円盤状石製品1点・24.6gが出土した（957）。

【時期】埋土中にTo-aの人為堆積が確認されたことから、平安時代中期以降と考えられる。

3号土坑

遺構（第17図、写真図版7）

【位置・検出状況】12G6 グリッド付近に位置する。1号遺物包含層精査用トレンチ掘削後、調査区東壁で確認した。II層上面以上から構築されている。東側約1/2が調査区外へはみ出す。

【規模・平面形】規模は80cm以上である。平面形は不明である。

【断面形・深さ】断面形はU字形を呈し、深さは最深部で70cmを測る。

【埋土】黒色土と暗褐色土の混合土である。人為堆積と考えられる。

遺物（第34・87図、写真図版28・81）

【土器】埋土から1,098.6g出土し、うち1点・12.7gを掲載した（5）。

【石器】埋土から二次加工ある剥片1点、敲石1点の計2点・144.9gが出土し、後者（631・137.1g）を掲載した。

【時期】検出面から、平安時代以降と考えられる。

4号土坑

遺構（第10図、写真図版8）

【位置・検出状況】10I2 グリッド付近に位置する。V層上面で検出された。北西側約1/3が水道管搅乱より破壊され、西側の一部が調査区外へはみ出す。

【規模・平面形】規模約2.4m程度の円形基調と考えられる。

【断面形・深さ】底面は平坦で、断面形は逆台形を呈する。深さは最深部で47cmを測る。

【埋土】5層に分層される。4・5層は壁付近に少量堆積するのみで、大半は黒褐～暗褐色の1～3層で占められる。2・3層には黄褐色土ブロックが多く混入しており、人為堆積と考えられる。

遺物（第87図、写真図版81）

【土器】埋土から3,481.4g出土した。すべて地紋のみの胴部片である。

[石器] 1層から石核1点、敲石1点の計2点・970.4gが出土し、前者(632・4.6g)を掲載した。
[鉄製品] 1層からかんざし1点が出土した。

時期 墓土中からかんざしが出土したことから、近世以降と考えられる。

5号土坑

遺構(第10図、写真図版8)

[位置・検出状況] 12D24グリッドに位置する。V層中で検出された。1b層道路碎石層直下にあたり、遺構上位は道路敷設時に削平されたと考えられる。加えて、北東側が調査区外へはみ出す。南側に1号竪穴住居状遺構が隣接する。

[規模・平面形] 判然としないが、長軸1m程度の長楕円形を呈するものと考えられる。

[断面形・深さ] 断面形は不正な逆台形を呈し、深さは最深部で41cmを測る。

[埋土] 黒褐色シルトの単層である。人為堆積と考えられる。

遺物(第34・81図、写真図版28・74)

[土器] 墓土から474.4g出土し、うち下位出土の1点・147.6gを掲載した(6)。

[土製品] 墓土から土器片円板1点・10.9gが出土し、掲載した(522)。

[動物遺存体] 底面付近から大形動物骨の一部が出土した。ウマもしくはウシと推定される。

時期 動物遺存体の残存状態から、近世以降に構築された家畜の土葬墓と考えられる。

3 柱穴状土坑

開口部の直径が50cm以下の土坑を柱穴状土坑として登録した。

遺構(第9・11図、第2表、写真図版8・9)

[位置・検出状況] 調査区各地に散在している。いずれもV層上面で検出された。

[規模・平面形] いずれも円形基調であるが、P1、P2、P5、P6は南北方向に長い椭円形を呈する。傾斜の影響であろうか。長径の規模は、26~60cmである。

[断面形・深さ] いずれもU字形基調である。深さは21~59cmである。

[埋土] 黒色~黒褐色土を基調とする。人為堆積と判断されるものはない。

第2表 柱穴状土坑観察表

| 番号名 | グリッド | 開口部溝(㎝) | 深さ(㎝) | 上層注記 | | | | |
|-----|--------|-----------|-------|-----------|-----------|-----|----------|--------------------------|
| | | | | 10YR1.7/1 | 黒色 | シルト | 粘性中・しまり中 | To-Cu5% |
| P 1 | 10J 1 | 51×32 | 31 | 10YR1.7/1 | 黒色 | シルト | 粘性中・しまり中 | To-Cu5% |
| P 2 | 9K 5 | 60×36 | 40 | 10YR1.7/1 | 黒色 | シルト | 粘性中・しまり中 | To-Cu5% |
| P 3 | 9K 5 | 26×24 | 21 | 10YR2/1 | 黒色 | シルト | 粘性中・しまり中 | To-Cu5% |
| P 4 | 10J 5 | 33×36 | 25 | 10YR1.7/1 | 黒色 | シルト | 粘性中・しまり中 | To-Cu3% |
| P 5 | 9J 20 | 65×44 | 30 | 10YR2/1 | 黒色 | シルト | 粘性中・しまり中 | To-Cu5% |
| P 6 | 10I 11 | 47×36 | 34 | 10YR2/1 | 黒色 | シルト | 粘性中・しまり中 | To-Cu5% |
| P 7 | 10I 1 | 32×28 | 22 | 10YR2/1 | 黒色 | シルト | 粘性中・しまり中 | To-Cu・To-Nb各2% V肩超深 |
| P 8 | 12E 9 | (33)×(32) | 39 | 10YR2/1.5 | 黒~黒褐色 | シルト | 粘性中・しまり中 | To-Cu50% To-Nb1% |
| P 9 | 12D 23 | 48×46 | 56 | 1 10YR2/2 | 黒褐色 | シルト | 粘性中・しまり中 | To-Nb5% To-Cu3% 炭化物粒2% |
| | | | | 2 | 10YR1.7/1 | 黒色 | シルト | 粘性中・しまり中 To-Nb2% To-Cu1% |

* () は推定値

遺物(第87・107図、写真図版81・103)

[土器] P2墓土から143.3g、P9墓土中位から8.6g出土した。すべて地紋のみの細片である。

[石器] P2墓土から敲石1点・155.0gが出土した(633)。

5 遺物包含層

〔石製品〕 P 5 埋土から円盤状石製品 1 点・18.8 g が出土した (958)。

時期 検出面から、いずれも縄文時代と考えられる。

4 溝

1号溝

遺構 (第 12 図、写真図版 9)

〔位置・検出状況〕 12E～F グリッドに位置する。Ⅲ層上面で検出された。南西側は水道管敷設時の搅乱により破壊されている。東側に 2 号溝が隣接し並走する。

〔微地形〕 小段丘中段北部の窪地部分に立地する。

〔規模・平面形〕 北東一南西方向に直線的に延びる。本来は両方向にさらに延びていたものと推定される。検出長は 12.4 m、幅は 1.15 m である。

〔断面形・深さ〕 梶状を呈する。深さは最深部で 53cm を測る。

〔埋土〕 黒色土主体で、下位層には To-a テフラがブロック状に混入する。自然堆積と考えられる。

遺物 (第 87 図、写真図版 74・81)

〔土器〕 埋土から 2,363.8 g 出土した。すべて地紋のみの胴部片である。

〔土製品〕 12E13 グリッドの埋土中から中空の土偶片 1 点・3.9 g が出土し、掲載した (523)。

〔石器〕 埋土から石鍬、石鎌、石匙、石核、敲石、台石各 1 点の計 6 点・2,697.2 g が出土し、前 4 者 28.1 g を掲載した (634～637)。

時期 Ⅲ層の To-a テフラ層を切って構築されていることから、平安時代中期以降といえる。

2号溝

遺構 (第 12 図、写真図版 9)

〔位置・検出状況〕 12F2～12 グリッド付近に位置する。Ⅲ層上面で検出された。北西側が調査区外へ延びる。西側に 1 号溝が隣接し並走する。

〔微地形〕 小段丘中段北部の窪地部分に立地する。

〔規模・平面形〕 北東一南西方向に直線的に延びる。本来は両方向にさらに延びていたものと推定される。検出長は 5.2 m、幅は 34cm である。

〔断面形・深さ〕 梶状を呈する。深さは最深部で 9 cm を測る。

〔埋土〕 黒色土主体の単層である。To-a テフラがブロック状に混入する。自然堆積と考えられる。

遺物

〔土器〕 埋土から 33.5 g 出土した。すべて地紋のみの細片である。

時期 Ⅲ層の To-a テフラ層を切って構築されていることから、平安時代中期以降といえる。

5 遺物包含層

1号遺物包含層

遺構 (第 13～33 図、写真図版 10～26)

〔位置・検出状況〕 調査区北半の 12D～11G グリッド東半部に位置する。11G グリッドにおいて、I 層道路敷設土直下で検出された。12E グリッド南半～12F グリッド北半以外は、道路敷設時の搅乱・削平で上位が破壊され消失している。また、この路線中央に水道管が敷設されており、同部分は現地

表面下約1mまで破壊されている。

〔微地形〕 小段丘上段縁から中段中位に立地している。中段北部の12Eグリッド南半～12Fグリッド北半付近が深く削んでおり、包含層の堆積層高が現地表面下1.5mより下位であるため、Ⅲ章1節に記述のとおりこの対象範囲については調査せず、保存扱いとしている。いっぽう、中段中位付近の遺物包含層形成前の自然地形は、ほぼ平坦である。

〔規模・形態・調査面積・層厚〕 南側以外、すべて調査区外へ続くため全体規模・平面形ともに不明である。今回調査した面積は111m²である。V層上面から構築され始める。中段中位付近については、上述のように遺物包含層形成前の自然地形はほぼ平坦で、包含層形成により12Gグリッド北部付近をピークとした山状を呈するようになる。最大層厚は96cmである。

〔堆積土〕 大きく8層に分層される（遺物包含層0層・1層・2a層・2b層・3a層・3b層・A層・A'層）。1～3b層としたものは包含層範囲南半に、A～A'層は北半に堆積している。おそらく、本来的には3b層とA'層が同一層序であるものと推定されるが、途中に未調査区域を挟み確実な連続性を捉えていないため、別名を付し処理した。0層は南北両範囲に堆積している。よって、堆積の連続性を持つのは、0層（最上位）→1層→2a層→2b層→3a層→3b層（最下位）という関係と、0層（最上位）→A層→A'層（最下位）という関係の2者である。

全層に共通する特徴として、To-Nbテフラ（バミス）が破碎状態で混入する点が挙げられる。なお、本遺構の構築開始面である基本層面V層上位にはTo-Nbがほとんど混入しないことから、破碎状態であることも相まって人為的な再堆積土ということに疑いはない。

〔各層の位置・堆積確認面積・堆積土の様相・層厚〕

遺物包含層0層…上段縁X=37,977.5から中段X=37,961付近に堆積する。本来は南北へさらには伸びるが、道路敷設時に破壊されている。堆積確認面積は48m²である。黒色土で、混入物が比較的少ない。最大層厚は20cmである。

遺物包含層1層…中段X=37,959付近に堆積する。道路敷設時の破壊が著しく、本来的な広がりはほとんど不明である。堆積確認面積は1m²程度である。黒～黒褐色土で、炭化物粒を少量含む。最大層厚は11cmである。この他、1層と2a層との区別が難しく、中間的な様相を呈する層があり、これを1層とも2a層とも区分し「1～2a層」として調査した。X=37,960からX=37,951.5付近に堆積し、その面積は20m²である。黒～黒褐色土で、炭化物粒量が1層より若干少ない。最大層厚は26cmである。

遺物包含層2a・b層…中段X=37,966からX=37,951付近に堆積する。調査面積は46m²である。いずれも黒色土と暗褐色土の混合土で、2b層のほうが暗褐色土の混入量が多い。両層のTo-Nb混入量は他層に比して多く、15～20%である。また、2b層は炭化物粒、焼土粒の混入量も多い。最大層厚は2a層が23cm、2b層が53cmである。

遺物包含層3a・b層…中段X=37,967からX=37,953.5付近に堆積する。調査面積は49m²である。3a層は黒色土、3b層は黒～黒褐色土が主体である。3a層は炭化物粒、焼土粒の混入量が多い。なお、同層は黒褐色シルトの混入状態により上位と下位に細分している。最大層厚は3a層が51cm、3b層が19cmである。

遺物包含層A層…調査区北端のX=37,982.5からX=37,970付近に堆積するが、南端については未調査のためほとんど不明である。調査面積は13m²である。黒褐色土で、混入物が比較的少ない。最大層厚は30cmである。

A'層…調査区北端のX=37,980付近に堆積する。調査面積は3m²である。黒色土で、混入物が比

較的少ない。最大層厚は30cmである。

遺物（第34～79・81～86・88～104・107～110図、写真図版28～71・74～80・82～100・103～108）

〔土器〕出土総重量は923,582.2gである。各層の出土重量は、0層が29,370.9g、1層および1～2a層が53,435.8g、2a層が115,969.3g、2b層が262,214.1g、3a層が324,625.0g、3b層が78,885.5g、A層が52,652.7g、A'層が6,428.9gである。このうち、0層8点・1,108.1g、1層および1～2a層16点・1,614.9g、2a層51点・6,668.2g、2b層140点・20,324.6g、3a層128点・18,709.5g、3b層80点・17,366.4g、A層54点・11,309.8g、A'層9点・5,836.9gの計486点・82,938.4gを掲載した（7～492）。

なお、包含層最下位の3b層にて埋設の可能性がある個体3点を確認した。12F11グリッドの70、12F11・12F12グリッド境界付近に位置する131と132である。いずれも破損率が低く、正立状態で検出された。3点とも周辺土層を立ち割り埋設痕跡の精査を行ったが、いずれについてもその痕跡は確認されなかった（第33図）。しかしながら、非人為でこの状態を保っていたとは考えにくく、埋設の可能性が高いものと判断される。

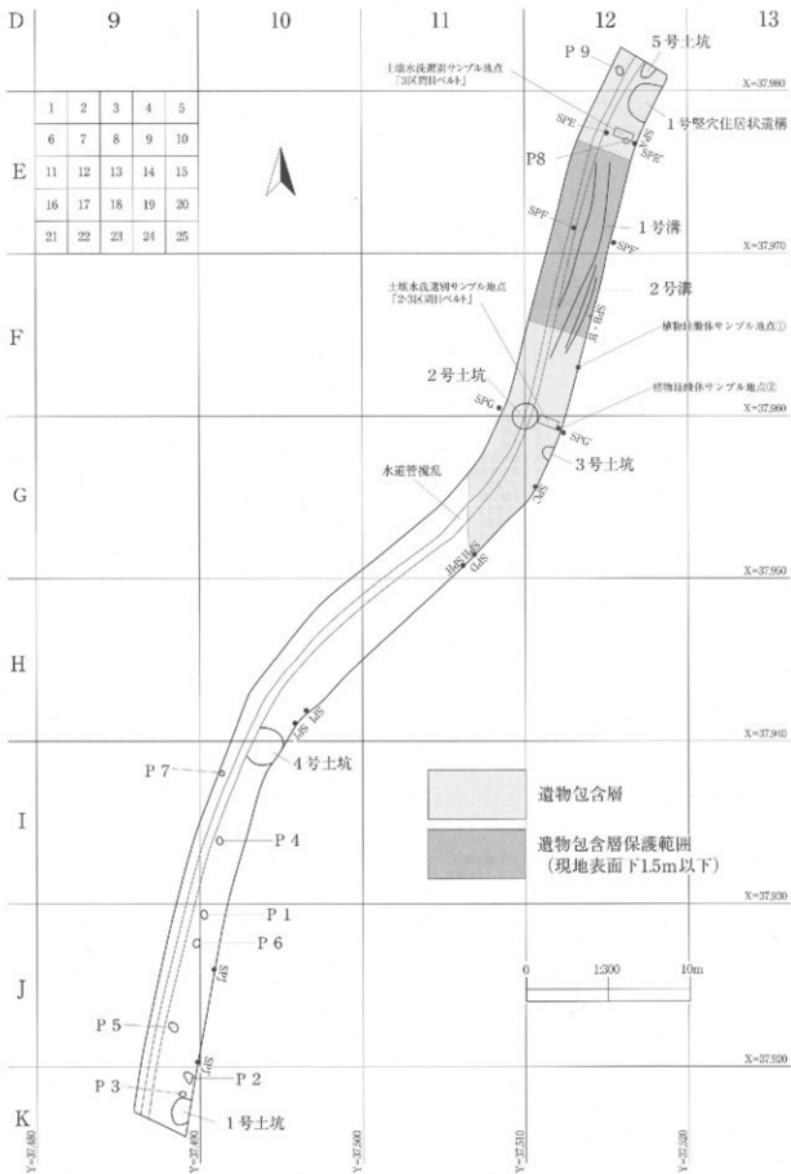
〔土製品〕出土総数・重量は92点・2,377.2gである。各層の出土点数・重量は、0層が2点・18.3g、1～2a層が2点・8.7g、2a層が12点・106.7g、2b層が38点・773.8g、3a層が30点・1,051.3g、3b層が5点・49.2g、A層が3点・369.2gである。このうち、0層・1～2a層・3a層・3b層・A層の全点および2a層9点・87.1g、2b層33点・719.2gの計81点・2,303.0gを掲載した（524～607）。

〔石器〕出土総数・重量は924点・183,417.8gである。各層の出土点数・重量は、0層が60点・4,646.6g、1層および1～2a層が41点・5,674.1g、2a層が91点・9,754.9g、2b層が234点・36,577.2g、3a層が303点・72,348.6g、3b層が105点・31,183.3g、A層が83点・21,214.1g、A'層が7点・2,019.0gである。このうち、0層11点・515.4g、1層および1～2a層8点・1,025.2g、2a層19点・2,284.0g、2b層68点・13,065.8g、3a層105点・28,372.3g、3b層44点・18,806.7g、A層30点・13,639.1g、A'層4点・1,562.8gの計289点・79,271.3gを掲載した（638～926）。

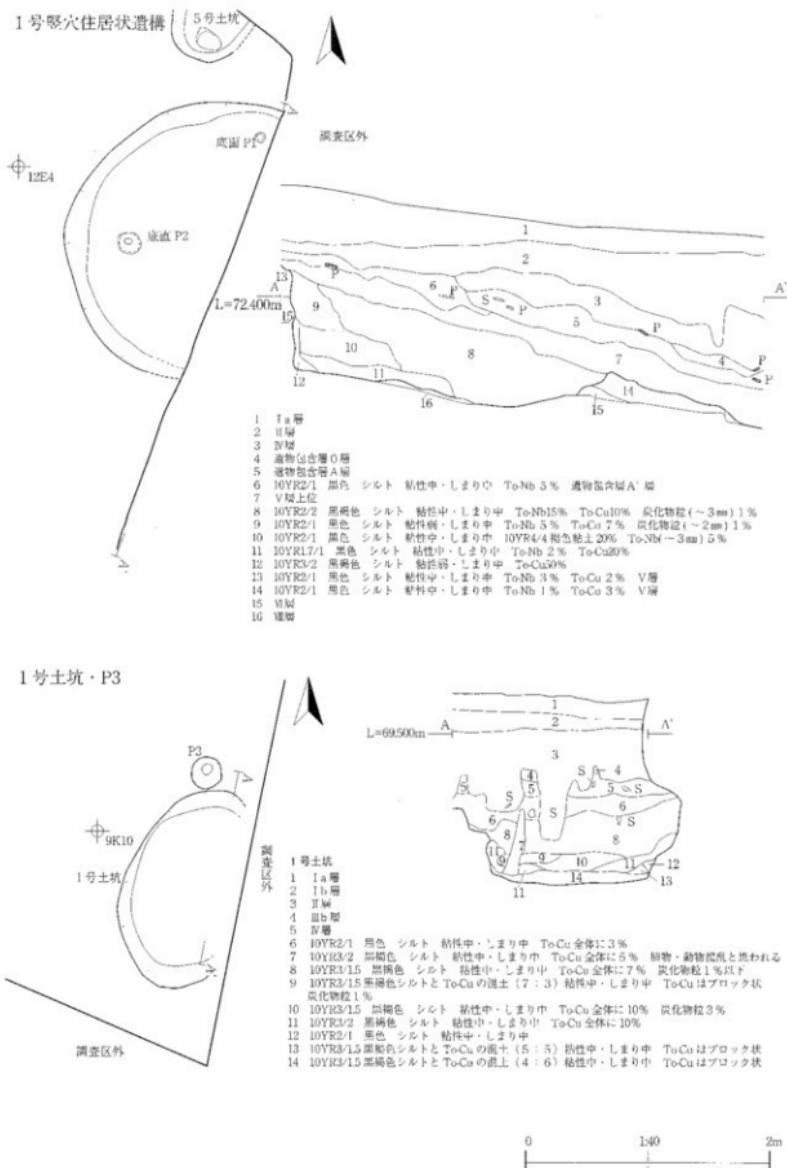
〔石製品〕出土総数・重量は73点・5,747.0gである。各層の出土重量は、0層が1点・0.6g、1～2a層が1点・11.1g、2a層が7点・182.7g、2b層が21点・789.2g、3a層が29点・1,796.7g、3b層が8点・331.2g、A層が6点・2,635.5gである。このうち、0層・1～2a層・A層の全点および2a層6点・157.8g、2b層19点・700.5g、3a層27点・1,751.2g、3b層7点・302.8gの計67点・5,559.5gを掲載した（959～1025）。

〔動・植物遺存体〕いずれも大半は2・3区間目ベルトの2b・3a層土壌および3区間目ベルトのA層土壌をコラムサンプリングし、土壤水洗選別法により抽出されたものである。包含層土壌全量に対し実施したものではないため、今回の検出量が本来的な埋蔵量を示すものではないことをお断りしておく。動物遺存体の検出量は乾燥重量で43.4gを測り、3綱7科8種類の動物種が確認された（VI章1節参照）。植物遺存体の検出量は乾燥重量で392.5gを測り、9種の炭化種子等が確認された（V章6節参照）。

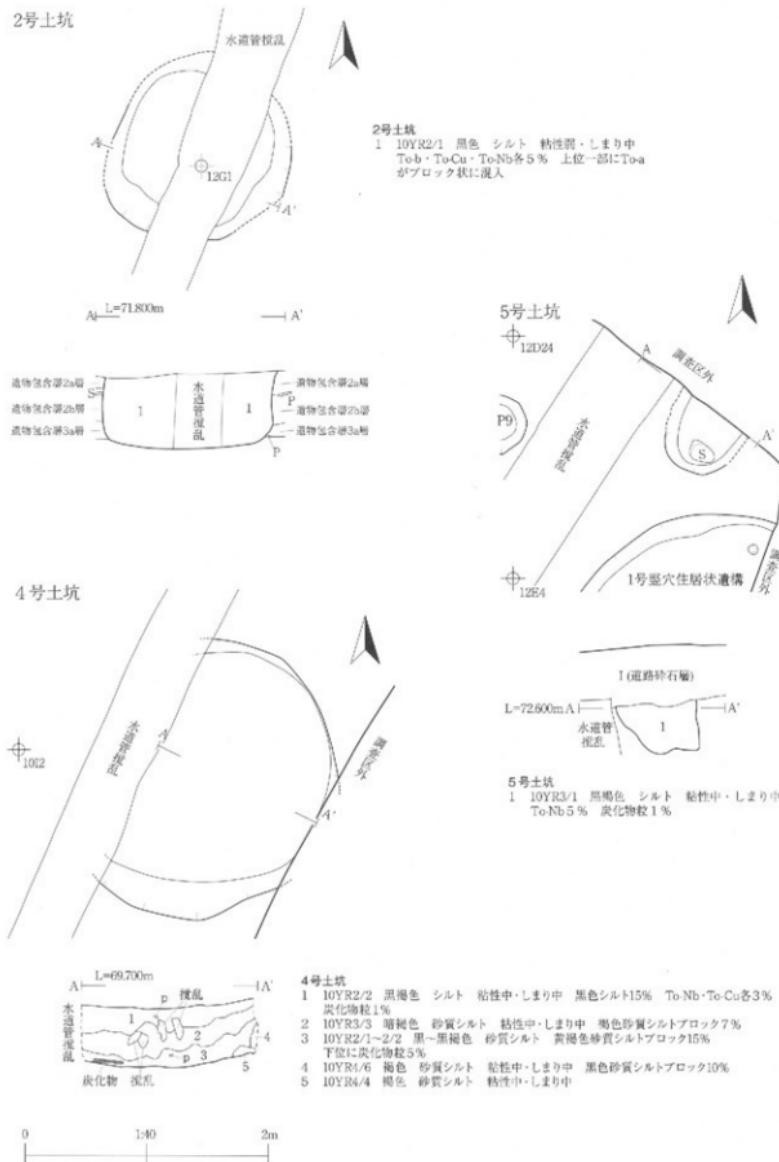
時期 大洞B2式期からC2式期初頭までの間に形成されたものといえる。なお、各層形成時期の検討は、VII章2節で行う。



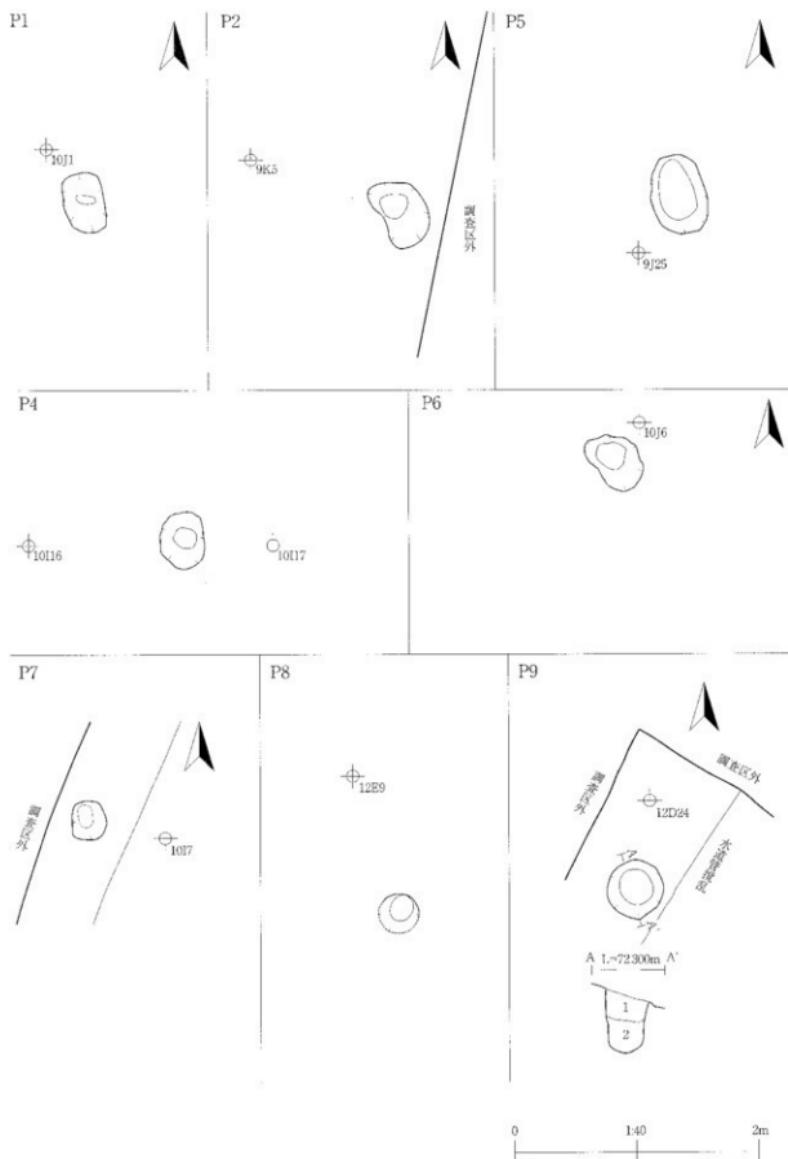
第8図 遺構配置図



第9図 1号堅穴住居状構造、1号土坑、P3

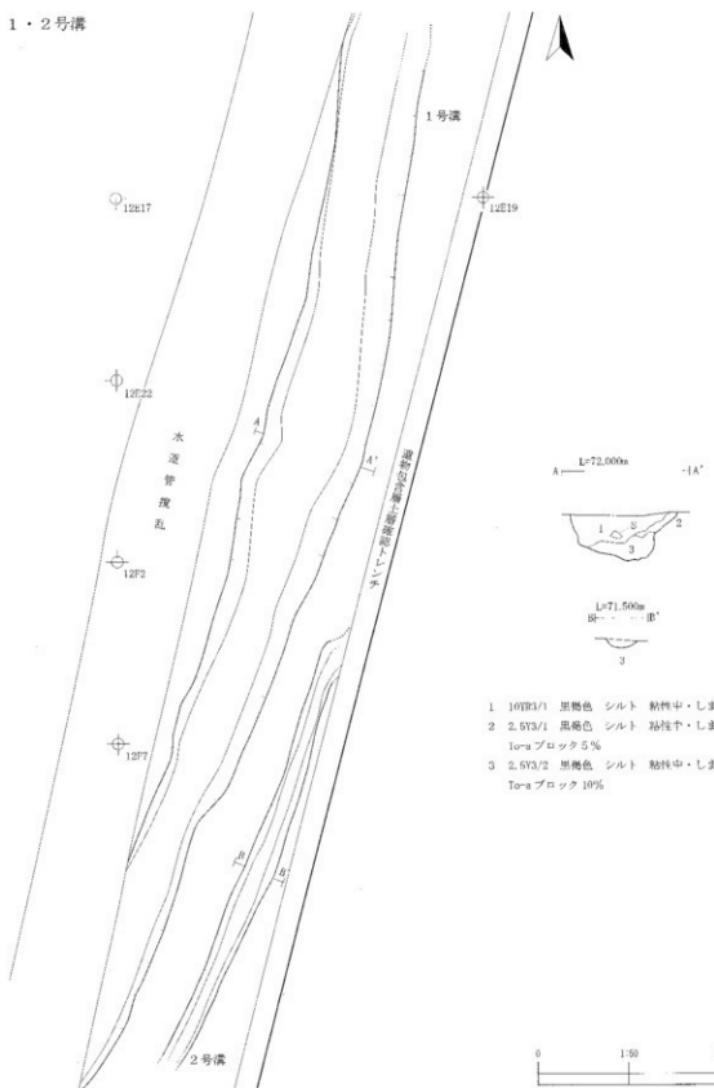


第10図 2～5号土坑

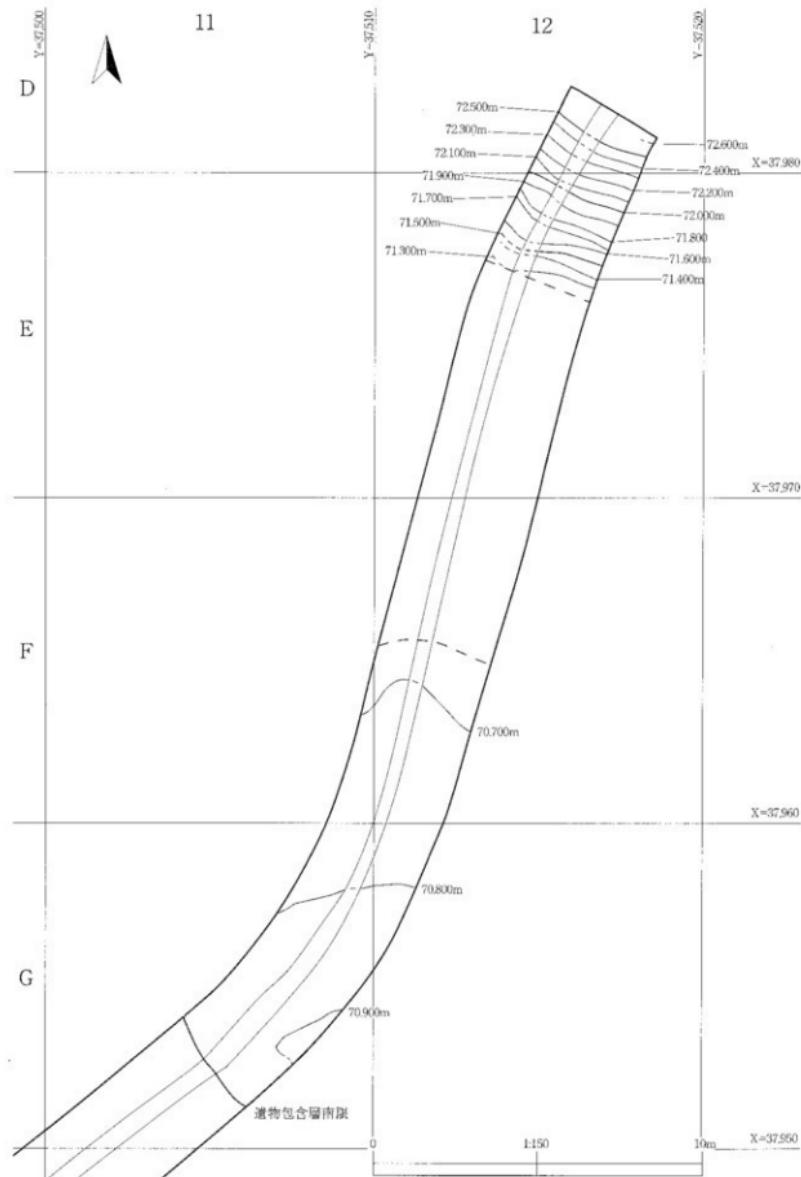


第11図 P1・2・4~9

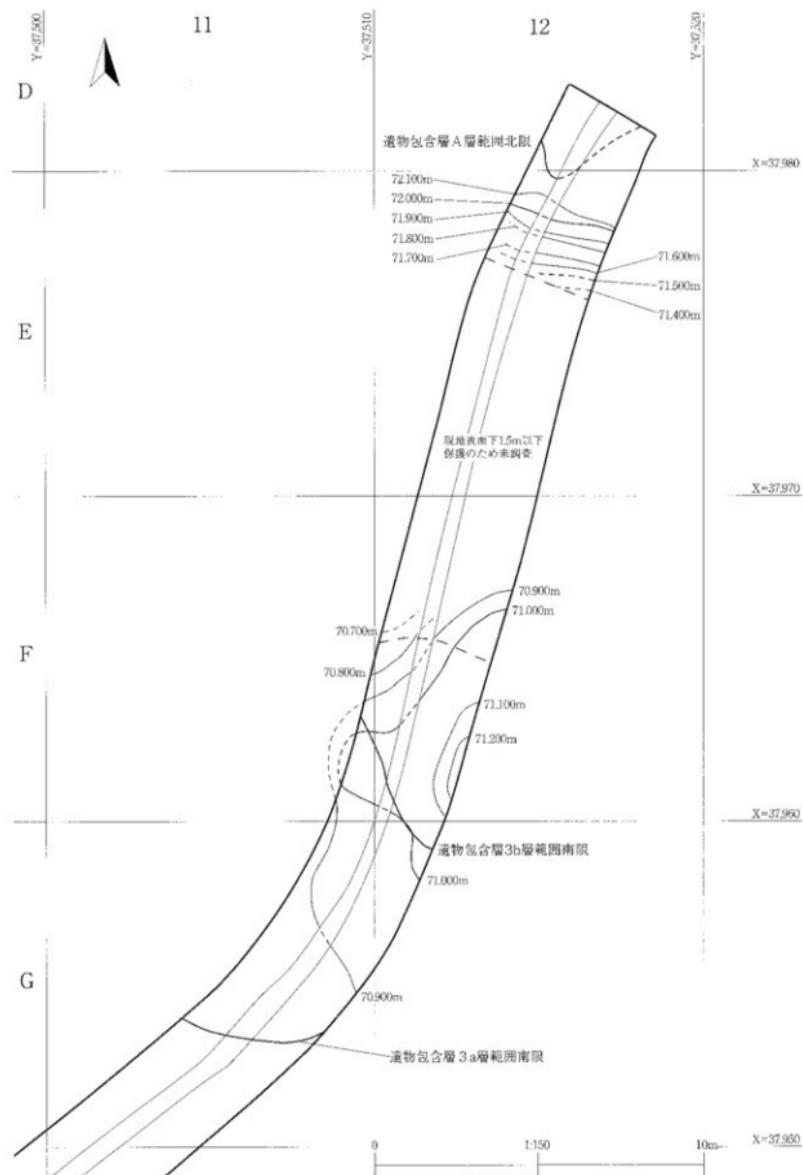
1・2号溝



第12図 1・2号溝

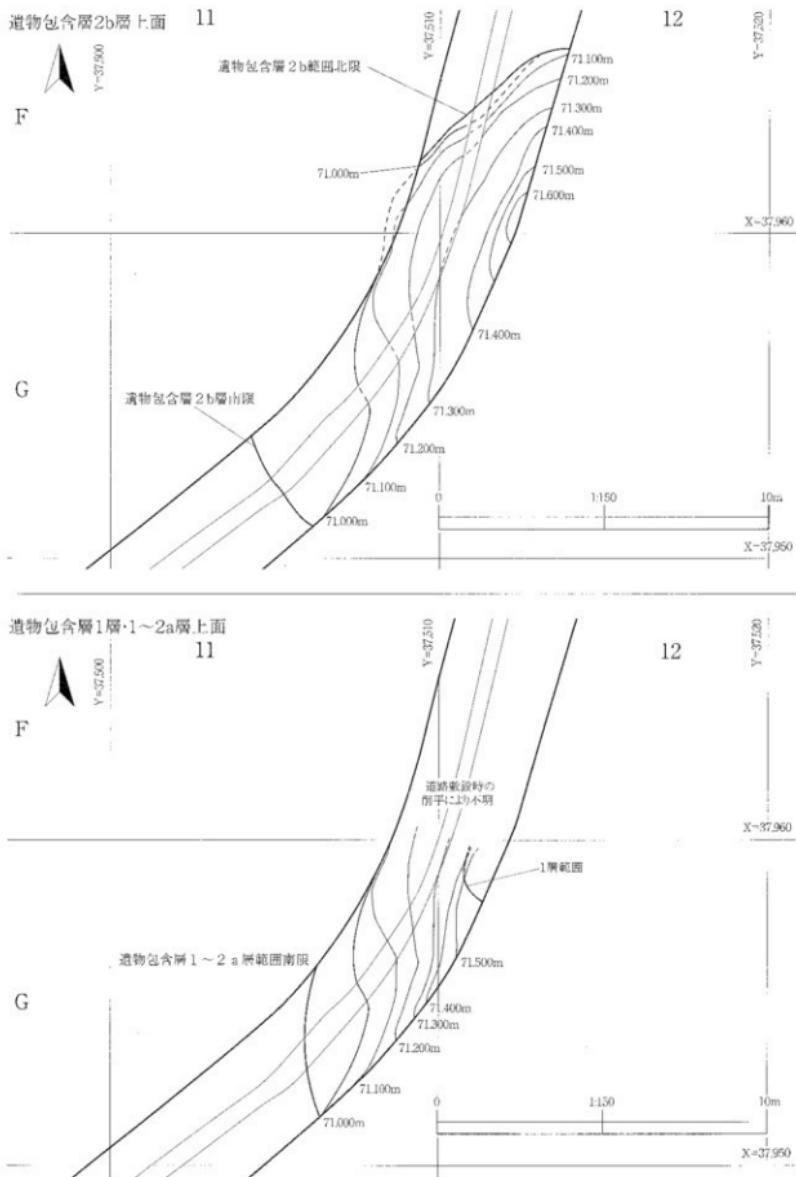


第13図 遺物包含層完振面（V層上面）等高線図

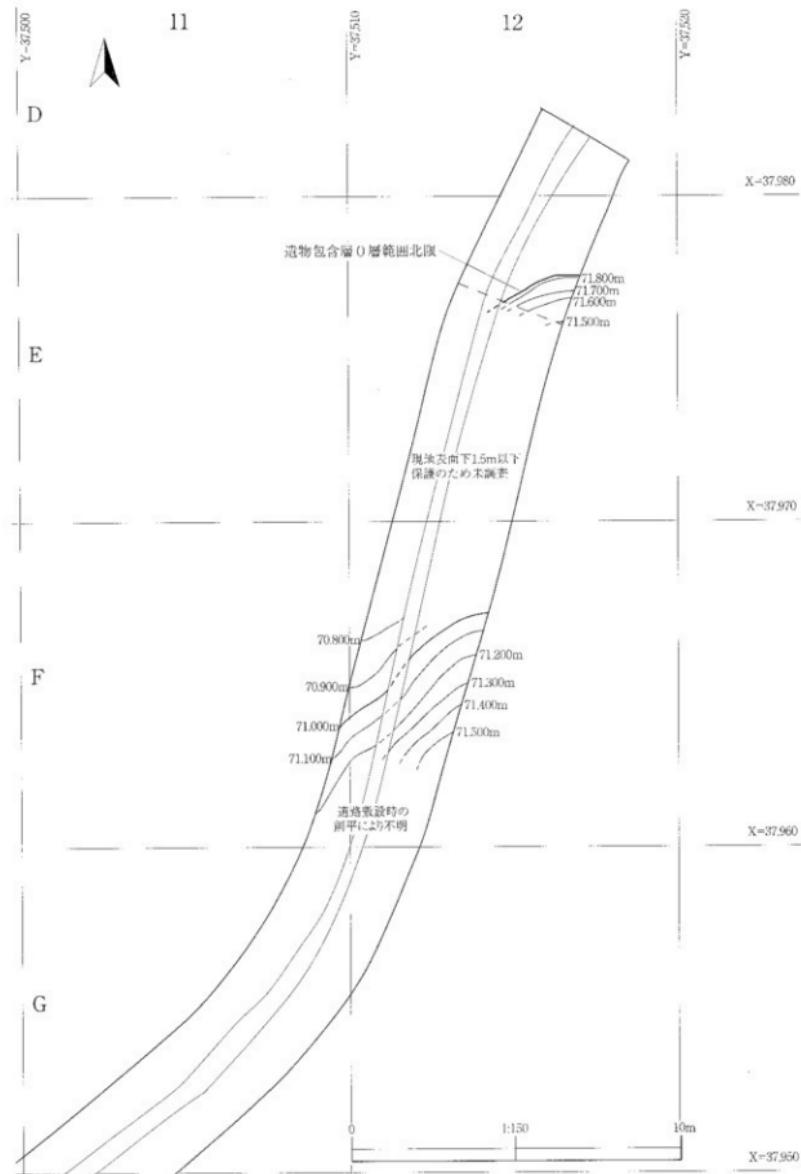


第14図 遺物包含層 A 層上面・3a 層上面等高線図

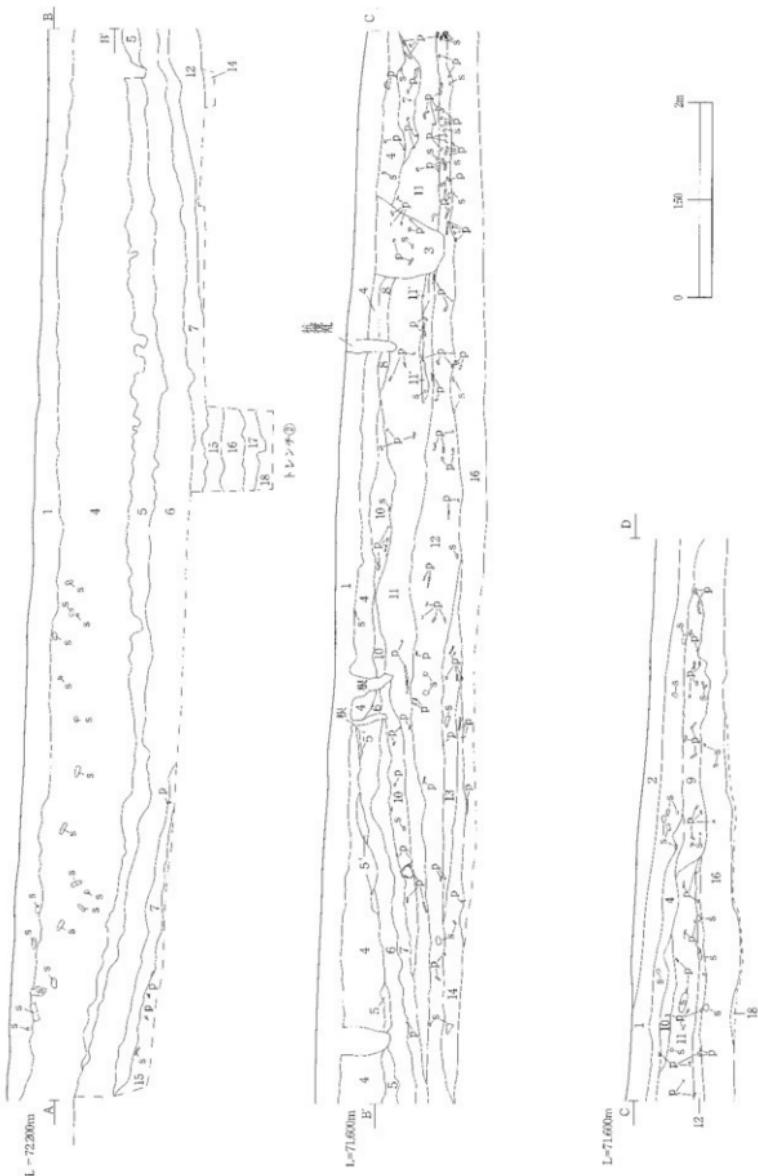
5 遺物包含層



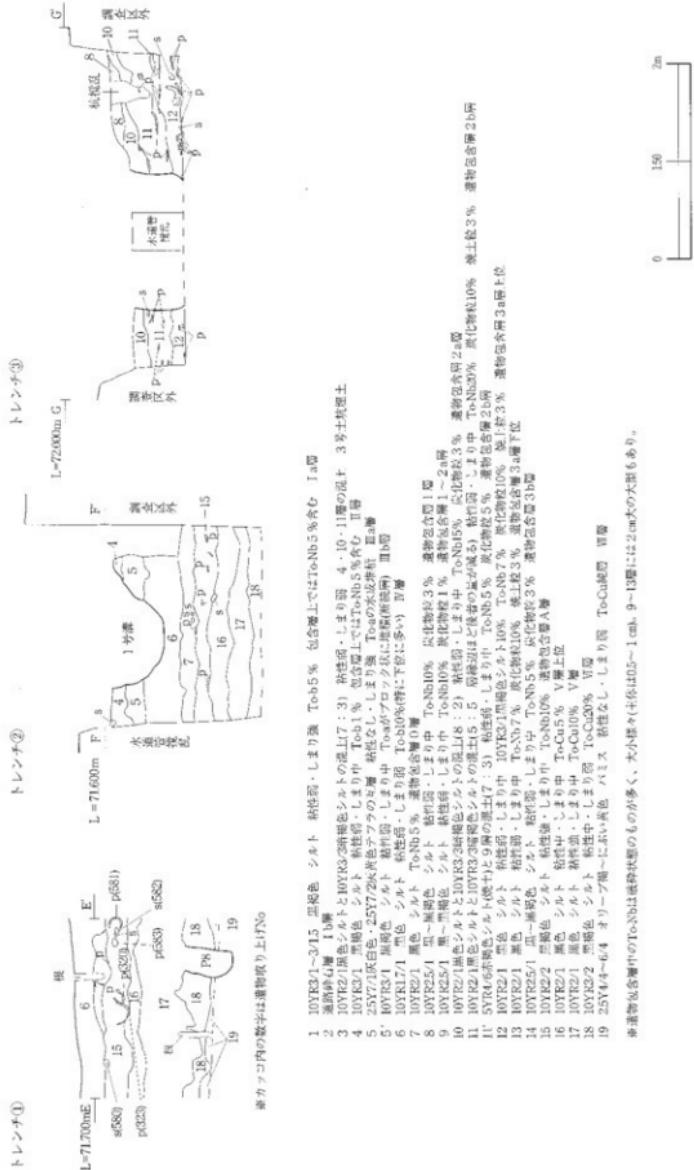
第15図 遺物包含層 2b 層上面・1 層上面等高線図



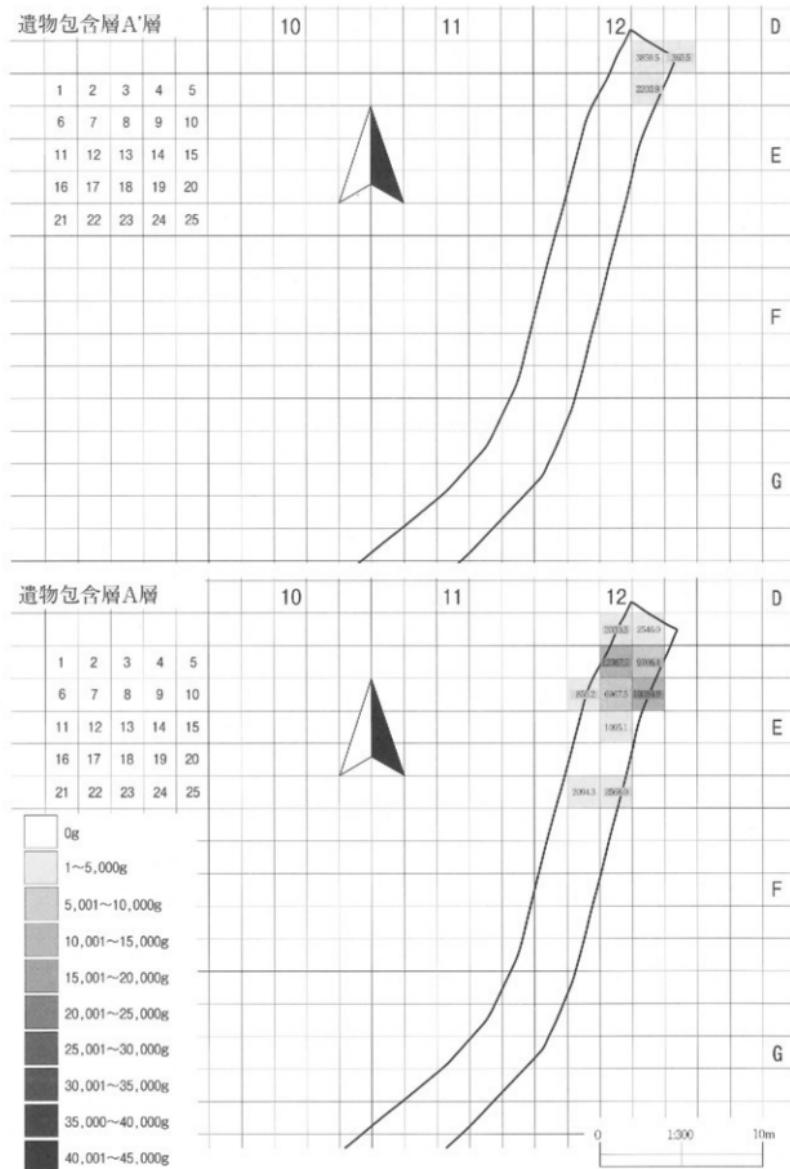
第16図 遺物包含層0層上面等高線図



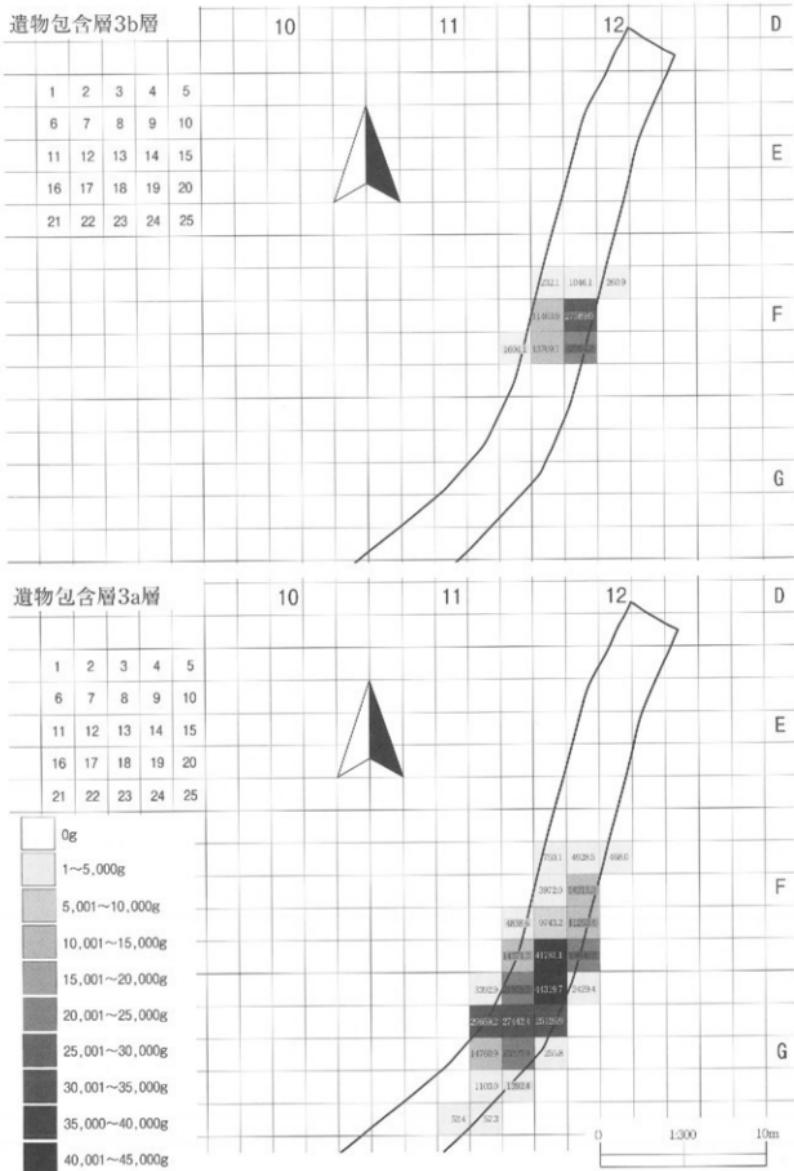
第17図 遺物包含層断面図 (1)



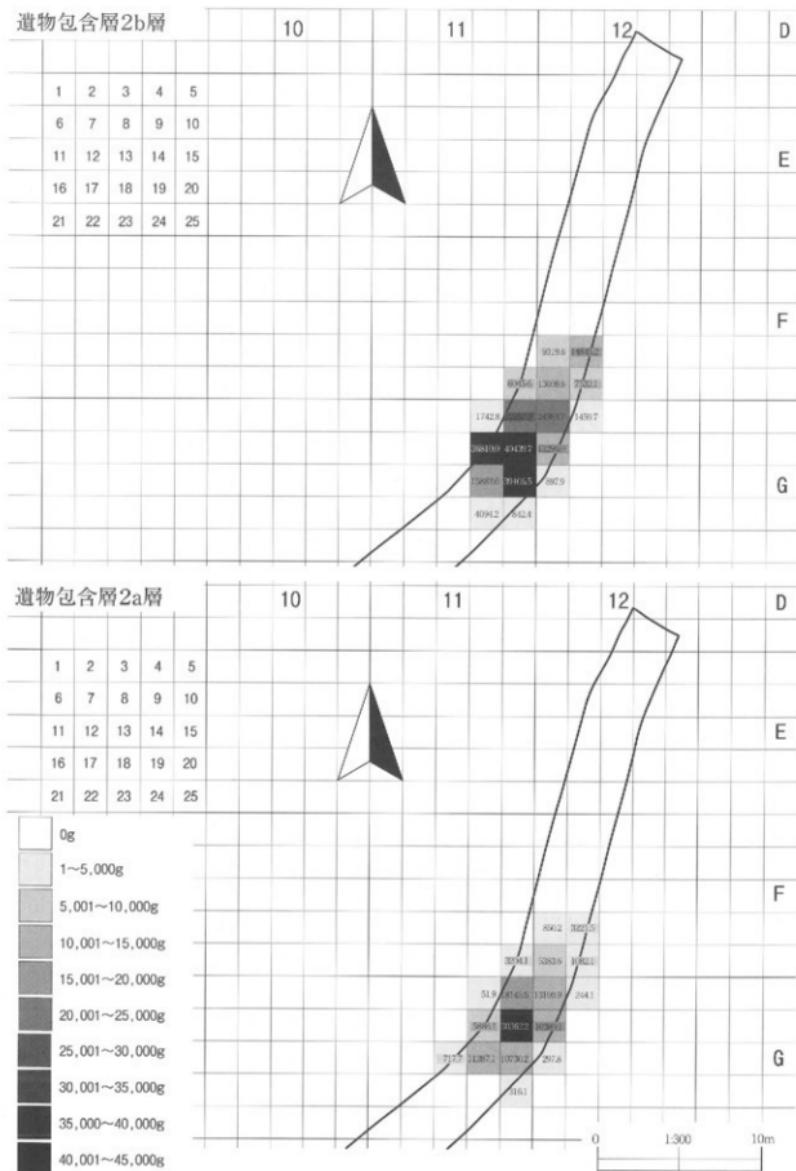
第18図 遺物包含層断面図 (2)



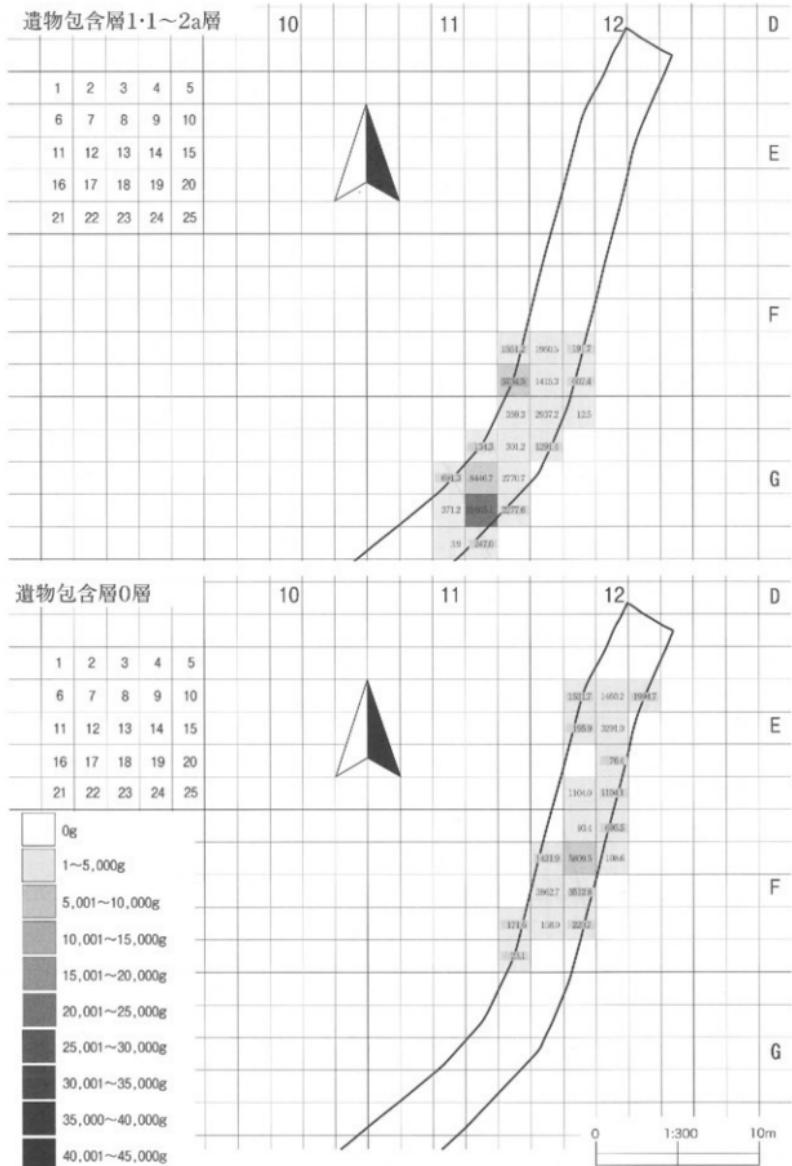
第19図 遺物包含層 A' 層・A 層グリッド別土器出土重量図



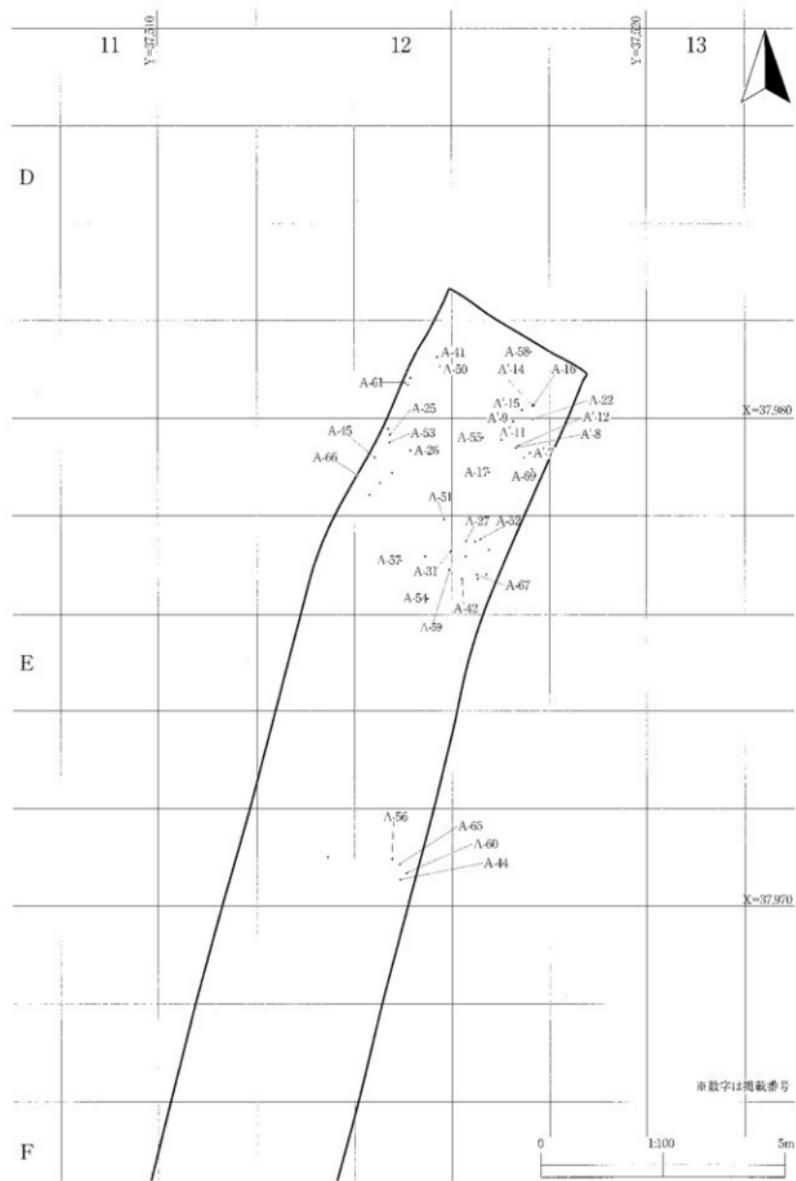
第20図 遺物包含層3b層・3a層グリッド別土器出土重量図



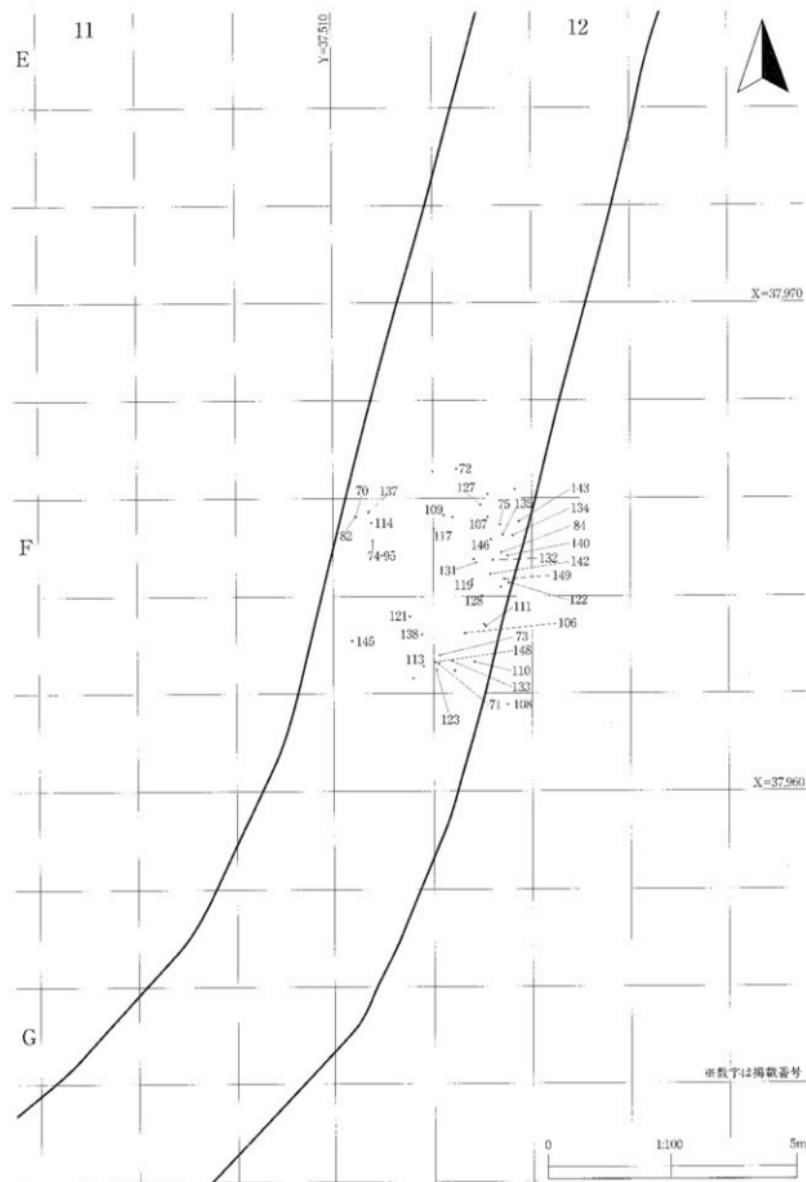
第21図 遺物包含層 2b 層・2a 層グリッド別土器出土重量図



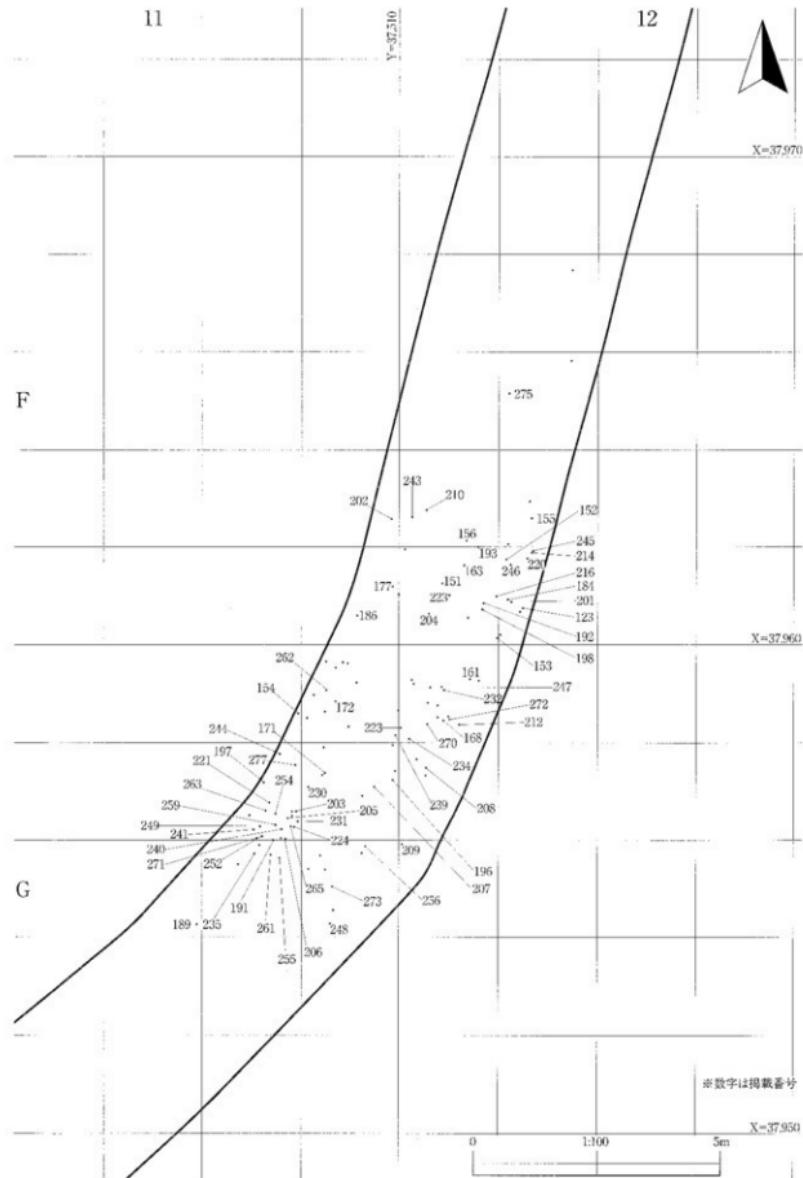
第22図 遺物包含層1～2a層・1層・0層グリッド別土器出土重量図



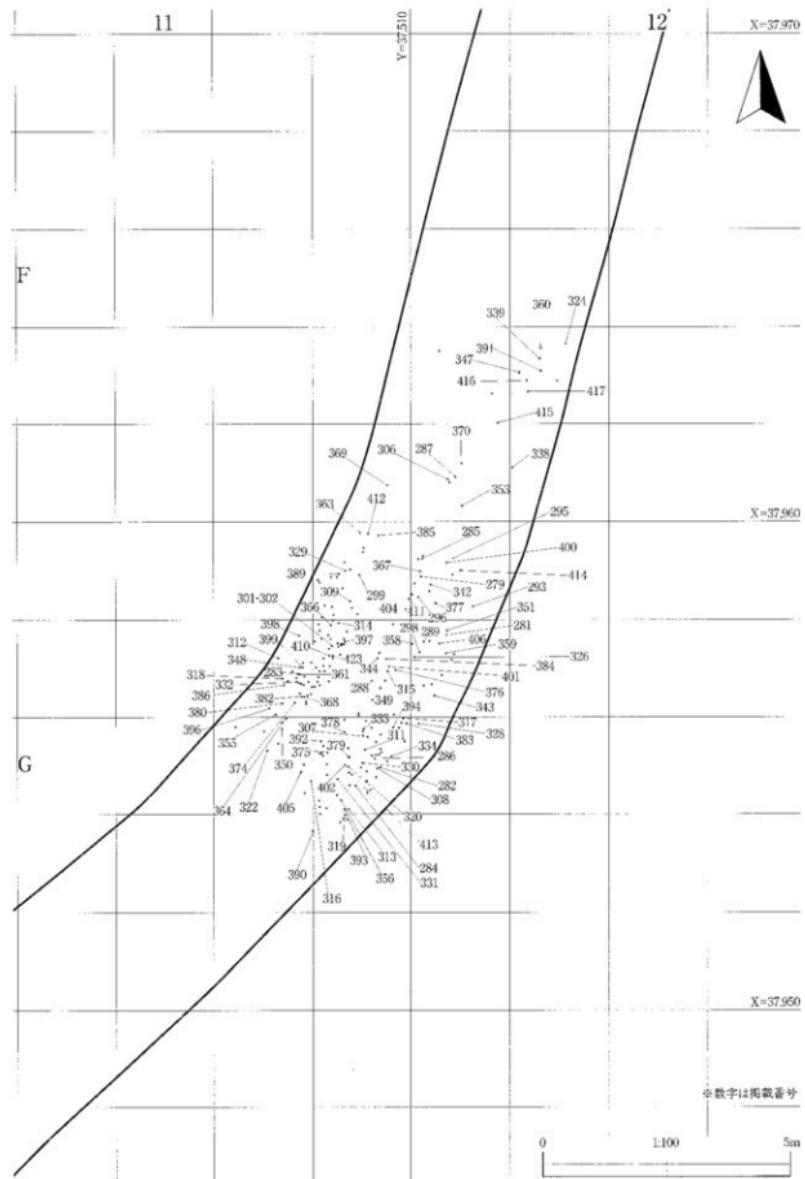
第23図 遺物包含層 A' 層・A 層出土土器点取り分



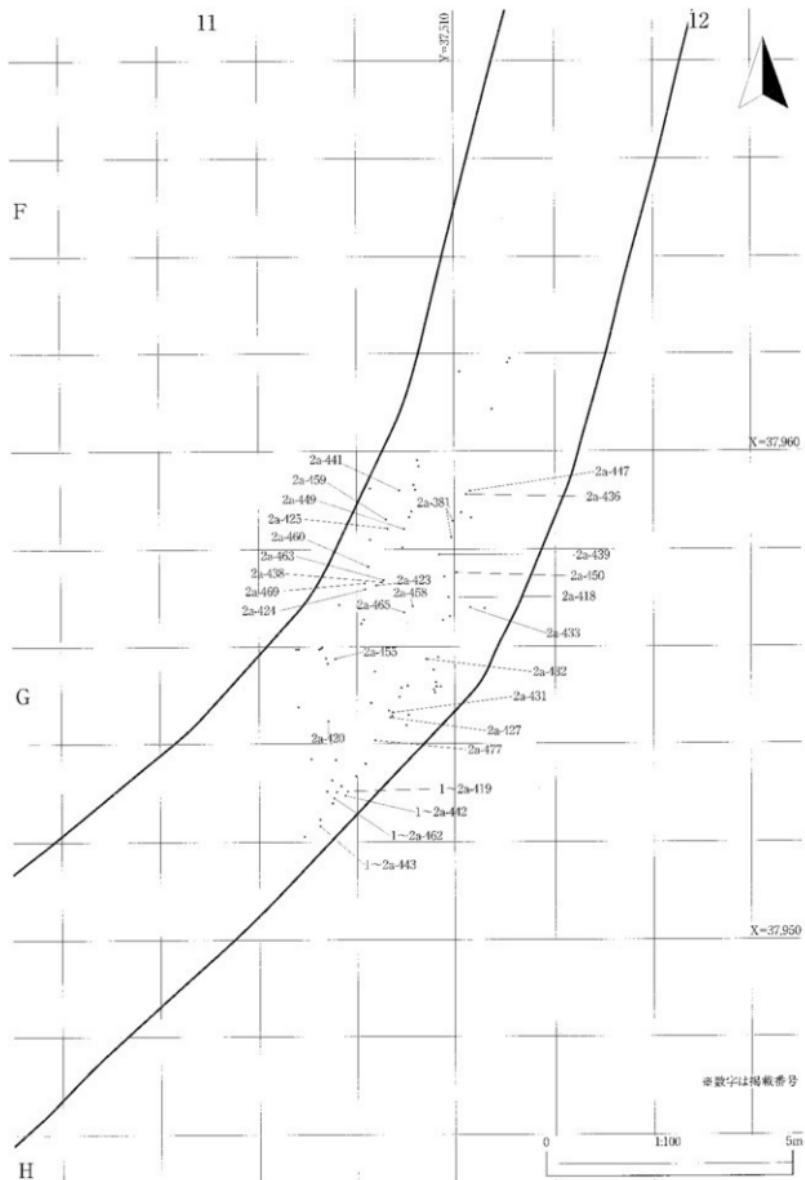
第24図 遺物包含層 3b 層出土土器点取り分



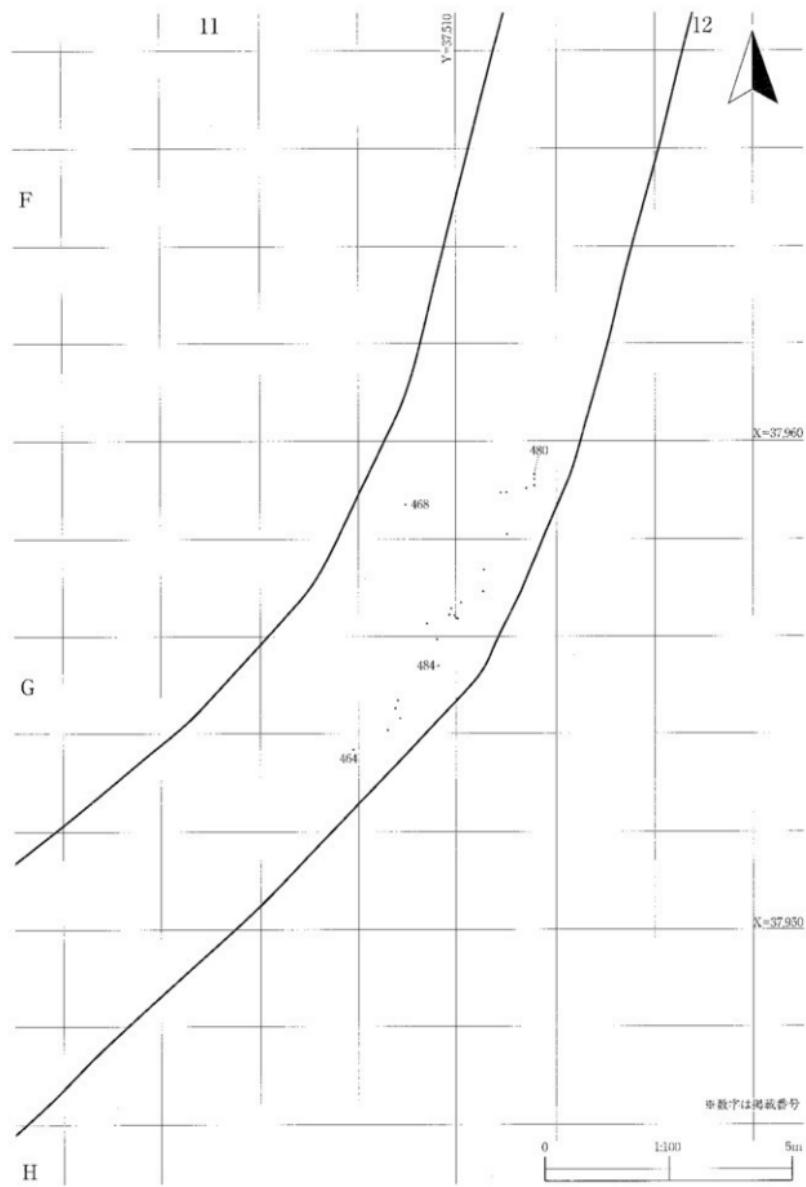
第25圖 遺物包含層 3a 層出土土器與取分



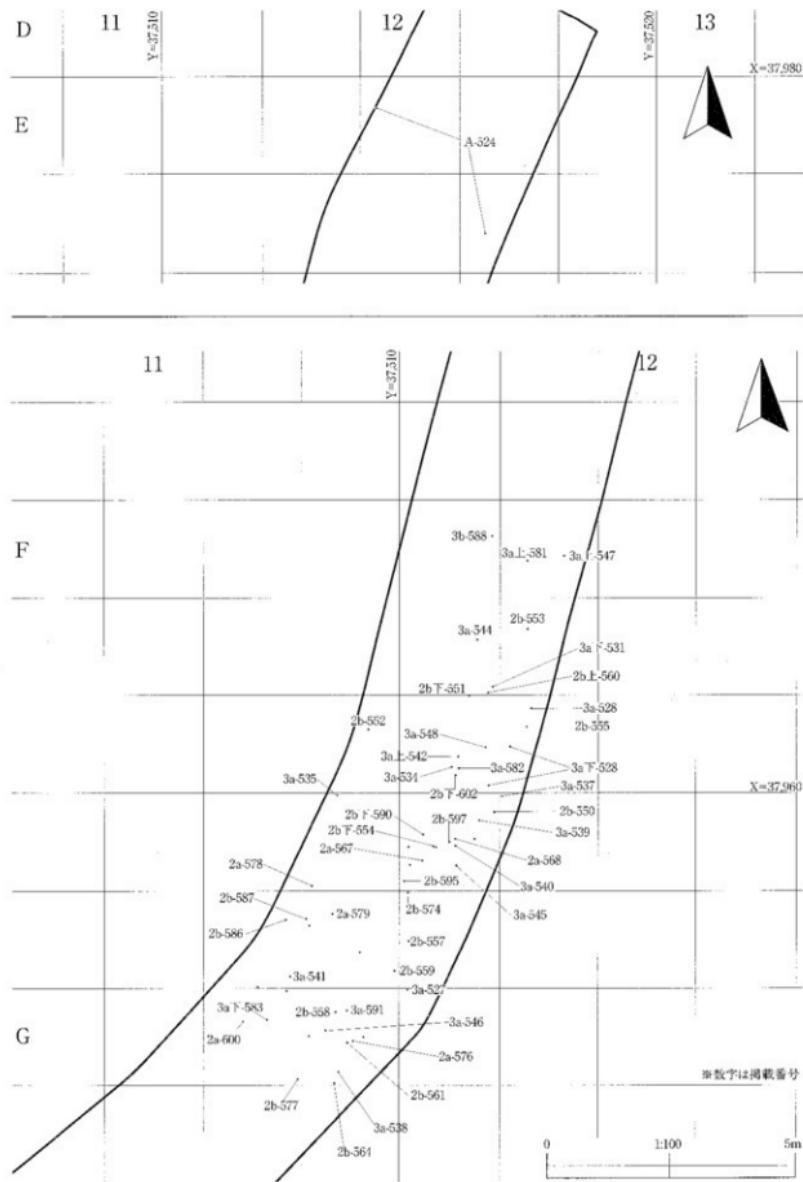
第26図 遺物包含層 2b 層出土土器点取り分



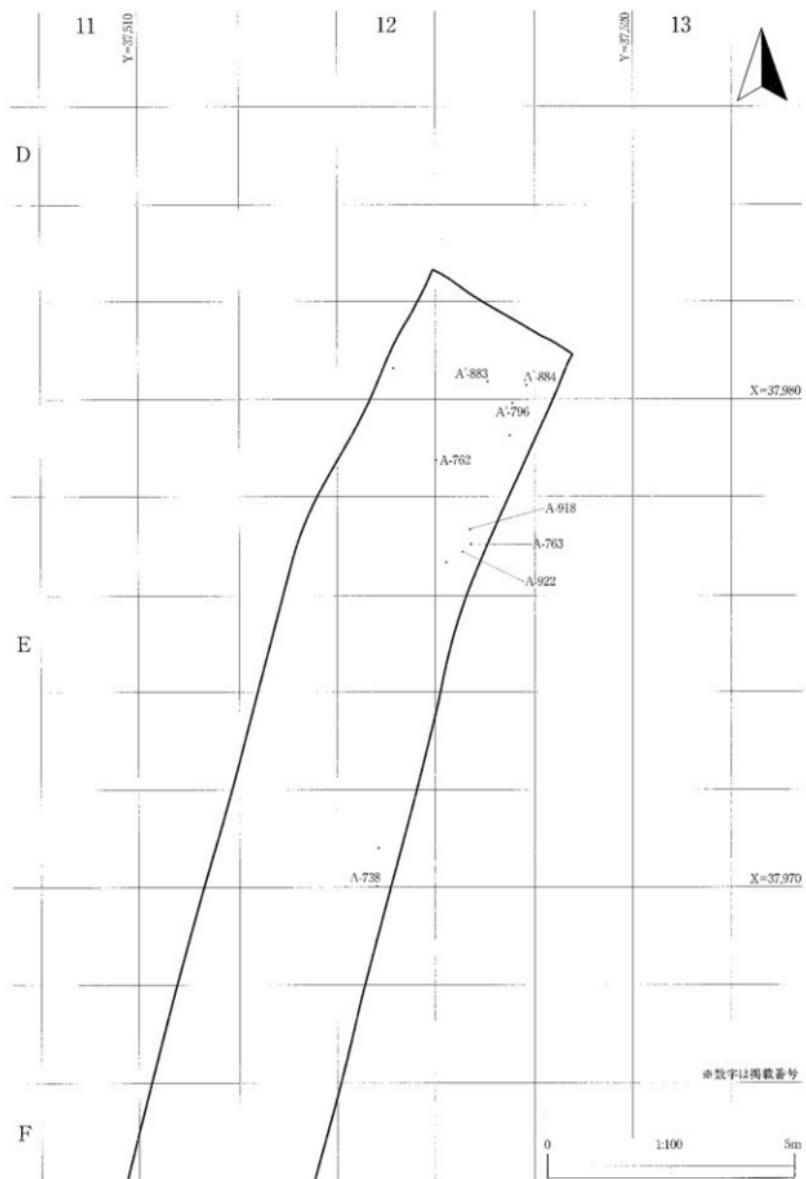
第27図 遺物包含層 2a 層出土土器点取り分



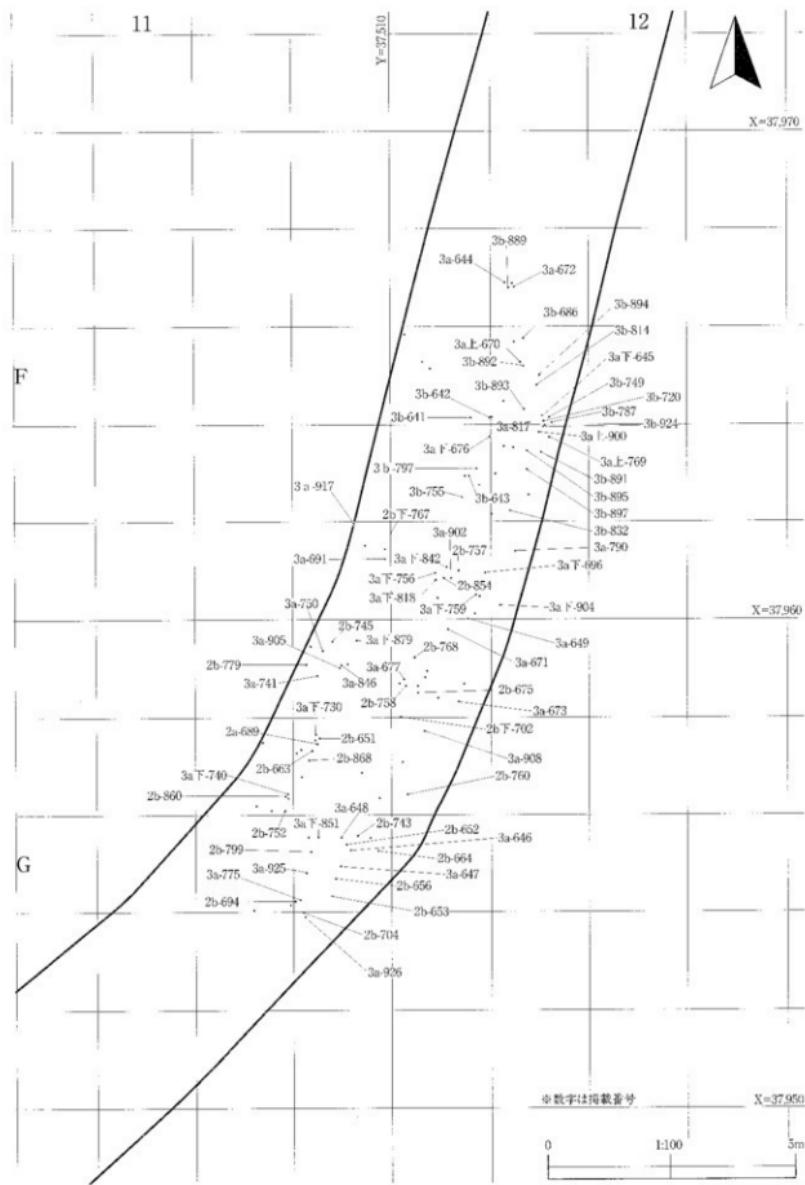
第28図 遺物包含層1層以上出土土器点取り分



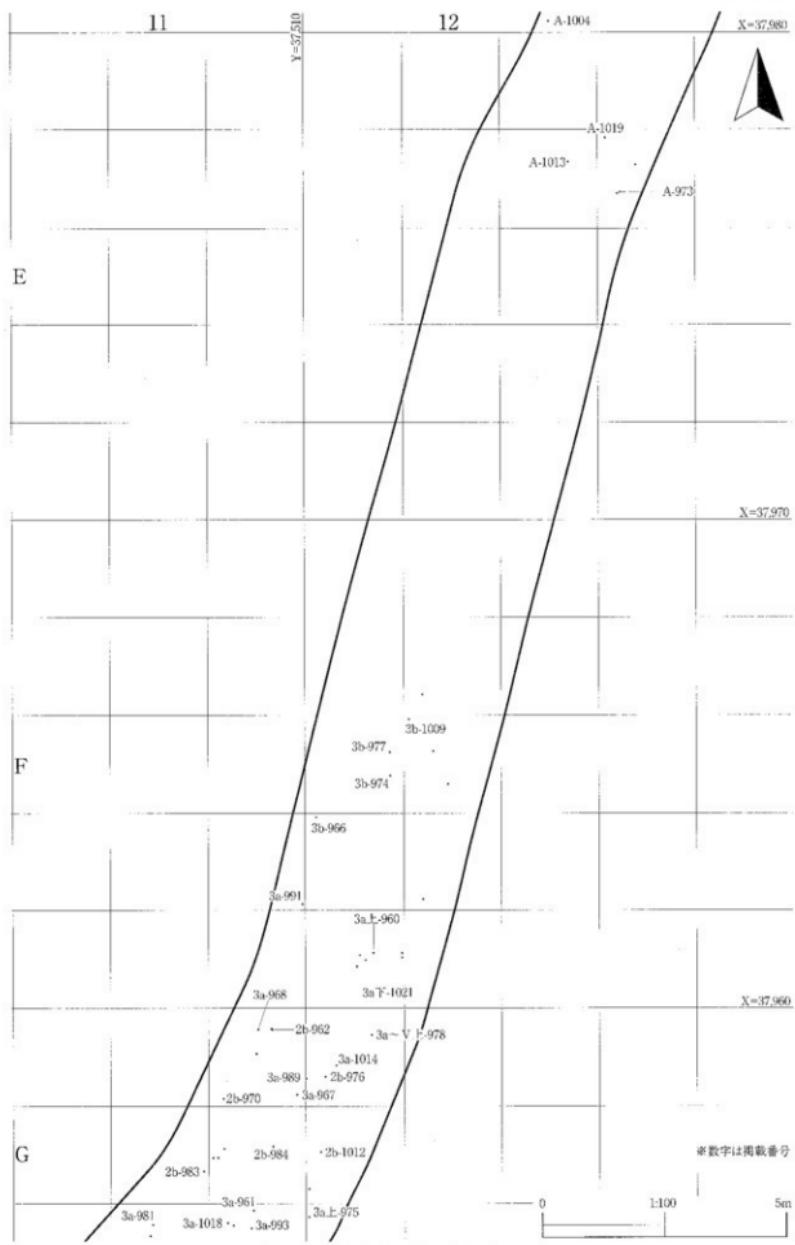
第29図 遺物包含層出土土製品点取り分



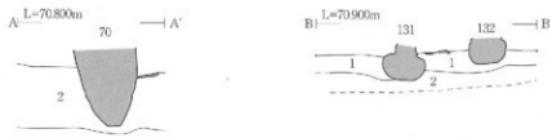
第30図 遺物包含層A'層・A層出土石器点取り分



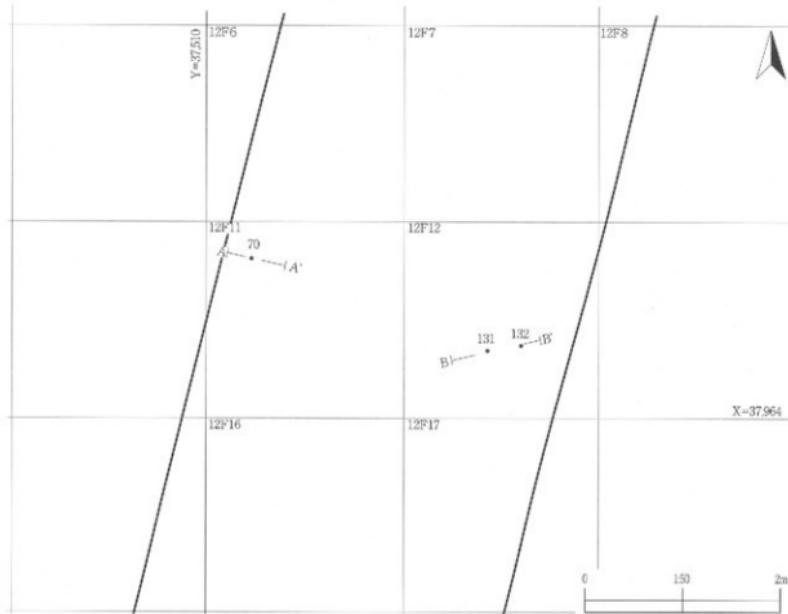
第31図 遺物包含層 3b 層以上出土石器点取り分



第32図 遺物包含層出土石製品点取り分



1 10YR2/1 黒色 シルト 粘性弱・しまり中 To-Nb (板厚 ~5mm) 3% 炭化物粒3%
遺物包含層3b層
2 10YR1.85/1 黒色 シルト 粘性中・しまり中 To-Cu5% 基本層序V層



第33図 遺物包含層3b層出土土器70・131・132出土状況

V 出 土 遺 物

今回の調査で出土した遺物は、縄文土器が約 1,109kg (42×32×30cm コンテナ換算約 70 箱)、土製品が 112 点・約 2.6kg (42×32×10cm コンテナ換算約 2 箱)、石器はトゥールが 1,272 点・約 302kg、剥片・素材が約 37.6kg (42×32×20cm コンテナ換算約 32 箱)、石製品が 95 点・約 6.7kg (42×32×10cm コンテナ換算約 4 箱)、動物遺存体が 43.4g (骨角器片 1 点、加工痕のある資料 2 点含む)、植物遺存体が 392.5g、土師器が 1 点・274.5g である。この他、近世～近代の鉄製品（かんざし）が 1 点出土している。

以下、図の掲載方法について述べておく。

掲載基準

Ⅲ章 2 節 (1) 「遺物整理の方法と掲載基準」を参照のこと。

掲載順序

第一に遺物種別で分類し、縄文時代の遺物（縄文土器→土製品→石器→石製品→動物遺存体→植物遺存体）、奈良時代の遺物（土師器）の順に掲載することとした。次に各種別内で出土地点（遺構内・外）ごとに分類し、それぞれ出土層位を優先して下位から（遺構内であれば床面・底面から）順に掲載した。遺構の掲載順は、IV章の記述順である。

記述方法

個々の遺物についての記述は、各種別とも遺物観察表（属性表）にて行っている。本文では、分類基準の提示および代表的・特徴的な遺物を抽出しての補足的な記述を行う。

1 縄 文 土 器 (第 34~80 図、第 3 表、写真図版 28~73)

(1) 概 要

出土総重量は 1,108,645.2g である。各遺構における出土量は前章に記載のとおりである。なお、1 号遺物包含層における層位・グリッド毎の出土重量は第 19~22 図に示した。時期は早期末葉～前期初頭、後期初頭～前葉・末葉、晚期初頭～中葉の大洞 B2 式～C1 式が占める。

ここで、出土全資料と掲載遺物の関係について述べておく。今回掲載した資料は、全体形態もしくは全体形態の 1/2 以上（口縁部～胴部、胴部～底部の形態）が復元されたものを優先した。出土総量と整理期間の兼ね合いから、いわゆる破片資料については最小限の抽出に止めている。抽出においては、文様や器形の特殊性を重視し、また復元資料に含まれないものを優先した。掲載点数・重量は、521 点・85,588.8g である。

これら提示資料が、今回出土全資料の内容比率をそのまま量的に示しているかといえば、必ずしもそうではない。特に破片資料については、出土量・期間・予算の事情から数量的分析を行っておらず、内容比率は反映されていない。これは、復元資料のみで数量的分析に耐えられると判断したことによる。立体実測資料（復元資料含む）の掲載重量は 76,606.5g で、出土総重量の約 7% にあたる。この抽出基準は、単純に復元率を基にした機械的なものであり、ここには文様・器形等の属性は介入していないことから、その意味でも量的比率を示す資料といえる（当然、廃棄・造棄行為の個体残存率に精製・粗製の違いが影響していないことが前提となるが）。ただし、物理的问题として、破損に

おける破片数は小形遺物に比して大形遺物がより多くなることは当然であり、これにより復元率が低下することも自明である。よって、器種間の掲載比率は、小形 > 大形となっている可能性が高いことをお断りしておく。いっぽうで、これを換言すれば、同一器種における掲載比率（型式組成）に大きな差は生じていないといえる。

(2) 分類

早期末～前期初頭

表裏繩文の深鉢が出土している。すべて小破片資料である。

後期

弧状の平行沈線と隆帯で文様を構成する後期初頭～前葉に位置付けられるものと、入紐帯状文の配される後期末～晩期初頭に位置付けられるものがそれぞれごく少量出土している。すべて破片資料である。

晩期前～中葉

大洞 B2式～C2式が出土している。主体はBC2式～C1式である。器種は、深鉢形、台付深鉢形、鉢形、台付鉢形、浅鉢形、台付浅鉢形、壺形、注口、香炉形、片口形、小型（ミニチュア）が存在する（以下、「形」は省略）。深鉢・台付深鉢・鉢・台付鉢・浅鉢・台付浅鉢の分類基準は、口径：器高比が1:1以上のものを深鉢、1:0.5～1のものを鉢・台付鉢、1:0.5未満のものを浅鉢・台付浅鉢とした。台付については、比率計測に台部を含めていない。また、今回は皿という基準を設げず、すべて浅鉢・台付浅鉢に含めた。

以下、器種毎に器形による大分類、文様属性による細分を行うが、ここで注意点を述べておく。

- ・今回用いた器形分類基準は、形態差が出やすい胴部以上の器形を主な対象とし設定したものである。このため、深鉢と台付深鉢、鉢と台付鉢、浅鉢と台付浅鉢はそれぞれ共通の分類基準を用いている。
- ・当該期は文様帶区画のための平行沈線が施文される場合が極めて多く、文様属性の説明においては特別でない限りこれを省いている（観察表にはすべて記載してある）。
- ・羊齒状文のうち、末端の噛み合う（入り組む）ものを「羊齒状文A」、末端の噛み合わない（入り組まない）ものを「羊齒状文B」と呼称することとする。

深鉢・台付深鉢

I類 脇部から口縁部にかけて直立するもの。

- 1 口縁部に文様帯が施文されるもの。
- 2 繩文のみ施文されるもの。
- 3 無文のもの。

II類 脇部から頸部にかけて直立し、口縁上部が短く外反するもの。口縁～頸部は無文である。

III類 脇部上位から口縁部が緩やかに内傾するもの。繩文のみ施文される。

IV類 脇部から口縁上部にかけて内傾し、口唇部が短く直立～外反するもの。口縁上部は無文である。

- 1 頸部に截痕列^[21]が施文されるもの。
- 2 地文のみのもの。

V類 脇部から頸部にかけて直立し、一旦内傾して口縁部が短く直立するもの。脇部上半に最大径

が認められる。いずれも口縁部に文様帯が施文される。

VI類 脊部から頭部にかけて内傾し、口縁部が外反するもの。大半は脣部上～中半に最大径が認められる。

- 1 口縁部に文様帯が施文されるもの。
- 2 口縁部が無文帶^{注2}となるもの。

VII類 片口形を呈するもの。

鉢・台付鉢

I類 脊部から口縁部にかけて緩やかに内彎する器形を呈するもの。

- 1 口縁部に入組三叉文が施文されるもの。
- 2 口縁部に羊齒状文が施文されるもの。
- 3 口縁部にK字文系文様が施文されるもの。
- 4 口縁部に羊齒状文（扁平化）が施文されるもの。
- 5 口縁部に羊齒状文B上半様の截痕列^{注3}が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消繩文が施文されるもの。
 - b 地文のみのもの。
- 6 口縁部に截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 唐草状人組文が施文されるもの。
 - b 磨消繩文が施文されるもの。
 - c 地文のみのもの。
- 7 口縁部に区画のある截痕列^{注4}、脣部に磨消繩文が施文されるもの。
- 8 口縁部に平行沈線のみが施されるもの。
- 9 繩文のみ施文されるもの。施文部位で細分する。
 - a 口縁上部のみ無文のもの。
 - b 全体に施文されるもの。
- 10 無文のもの。

II類 口径底径比が大きく、底部から口縁部にかけて直線的に外反するもの。

III類 ビーカー形を呈するもの。

IV類 頭部が弱く窄まり、口縁部が弱く外反するもの。

- 1 口縁部に羊齒状文が施文されるもの。
- 2 口縁部に渦巻文、截痕列（末連結）が施文されるもの。
- 3 口縁部に截痕列（粗）が施文されるもの。
- 4 無文のもの。

V類 脊部から頭部まで直立し、口縁部が直線的に外反するもの。口縁部に羊齒状文B上半様の截痕列、脣部に磨消繩文が施文される。

VI類 脣部上半が張り出し、頭部から口縁部にかけて内傾するもの。

- 1 口縁部にC字文系文様が施文されるもの。
- 2 口縁部に羊齒状文が施文されるもの。
- 3 口縁部に截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消繩文が施文されるもの。
 - b 地文のみのもの。

4 口縁部に平行沈線のみが施文されるもの。

VII類 脊部上半が張り出し、頭部で一旦窄まり、口縁部にかけて外反するもの。

1 口縁部に羊齒状文、矩形入網文、点列帯が施文されるもの。

2 口縁部にC字文系文様が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。

a C字文系文様が重疊するもの。

b 磨消繩文が施文されるもの。

3 口縁部に截痕列が施文されるもの。

4 頭部直下に平行沈線が施される以外無文のもの。

5 無文のもの。

VIII類 脊部上半が張り出し、頭部で一旦窄まり、口縁部にかけて外反しまた窄まるもの。断面形はB字形を呈する。

IX類 脊部上半が張り出し、頭部で一旦窄まり、口縁部にかけて短く直立～外反するもの。

1 口縁部にC字文系文様が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。

a 磨消繩文が施文されるもの。

b 地文のみのもの。

2 口縁部に羊齒状文が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。

a 点列帯が施文されるもの。

b C字文系文様が施文されるもの。

c K字文系文様が施文されるもの。

d 羊齒状文B上半様の截痕列が施文されるもの。

e 磨消繩文が施文されるもの。

f 地文のみのもの。

3 口縁部に羊齒状文B上半様の截痕列が施文されるもの。

4 口縁部に羊齒状文（扁平化）が施文されるもの。

5 口縁部に斜行沈線+区画のある截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。

a 磨消繩文が施文されるもの。

b 地文のみのもの。

6 口縁部に平行沈線+区画のある截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。

a 磨消繩文が施文されるもの。

b 地文のみのもの。

7 口縁部に截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。

a 磨消繩文が施文されるもの。

b 地文のみのもの。

8 口縁部に区画のある截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。

a 磨消繩文が施文されるもの。

b 地文のみのもの。

9 口縁部に沈線+刺突列²⁵、脣部に磨消繩文が施文されるもの。

10 口縁部に刺突列、脣部に磨消繩文が施文されるもの。

11 口縁部に平行沈線のみが施文されるもの。

12 口縁部が無文帶となるもの。これ以外の文様属性で細分する。

- a 斜行沈線+区画ある截痕列、磨消繩文が施文されるもの。
- b 截痕列、磨消繩文が施文されるもの。
- c 区画のある截痕列、磨消繩文が施文されるもの。
- d 沈線+区画のある刺突列^{註6}、磨消繩文が施文されるもの。
- e 沈線+区画のある刺突列が施文されるもの。
- f 沈線+刺突列、磨消繩文が施文されるもの。
- g 刺突列、粘土縫（大）、磨消繩文が施文されるもの。
- h 磨消繩文が施文されるもの。
- i 平行沈線が施文されるもの。
- j 繩文のみ施文されるもの。

13 斜行・平行沈線+区画ある截痕列（未連結）が施文されるもの。

X類 片口形を呈するもの。

浅鉢・台付浅鉢

I類 口縁部が短く外反するもの。

- 1 魚眼状三叉文が施文されるもの。
- 2 横S字状文が施文されるもの。
- 3 無文のもの。

II類 底径が広く、胴部が短い。頭部で一旦窄まり、口縁部が長く直線的に外反するもの。

- 1 入組三叉文（羊齒状文粗形？）、点列帯が施文されるもの。
- 2 C・X字文系文様が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 点列帯が施文されるもの。
 - b 截痕列が施文されるもの。
- 3 K字文系文様が施文されるもの。文様属性差で細分する。
 - a 点列帯、唐草状入組文が施文されるもの。
 - b K字文系文様が磨消であるもの。

III類 胴部から口縁部にかけて緩やかに内彎する器形を呈するもの。

- 1 口縁部に羊齒状文が施文されるもの。
- 2 口縁部に羊齒状文B上半様の截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消繩文（K字文系）が施文されるもの。
 - b 磨消繩文（雲形文系）が施文されるもの。
- 3 口縁部に羊齒状文（扁平化）が施文されるもの。
- 4 口縁部に截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消繩文（K字文系）が施文されるもの。
 - b 磨消繩文（雲形文系）が施文されるもの。
 - c 地文のみのもの。
- 5 口縁部に区画のある截痕列、以下に磨消繩文が施文されるもの。
- 6 口縁部に沈線+区画のある刺突列、以下に磨消繩文が施文されるもの。
- 7 口縁部に沈線+刺突列、以下に磨消繩文が施文されるもの。
- 8 1～7の属性を持たず、磨消繩文が施文されるもの。文様属性差で細分する。
 - a 磨消繩文（K字文系）が施文されるもの。

- b 磨消縄文（雲形文系）が施文されるもの。
 - 9 平行沈線が施文される以外無文のもの。
 - 10 縄文が全体に施文されるもの。
 - 11 無文のもの。
- IV類 脊部上半が張り出し、頸部から口縁部にかけて内傾するもの。
- 1 口縁部に半齒状文B上半部の截痕列、以下に磨消縄文が施文されるもの。
 - 2 口縁部に平行沈線+区画のある截痕列が施文されるもの。
- V類 脊部から口縁部にかけて外反するもの。口径・底径比が大きい。
- 1 口縁部に半齒状文が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文が施文されるもの。
 - b 無文のもの。
 - 2 口縁部に截痕列、以下に磨消縄文が施文されるもの。
 - 3 1・2の属性を持たず、磨消縄文が施文されるもの。文様属性差で細分する。
 - a 磨消縄文（K字文系）が施文されるもの。
 - b 磨消縄文（雲形文系）が施文されるもの。
 - 4 平行沈線が施文される以外無文のもの。
 - 5 無文のもの。
- VI類 脊部から口縁部にかけて外反するもの。口径・底径比が小さく、断面は逆台形を呈する。
- 1 K字文が施文されるもの。
 - 2 磨消縄文が施文されるもの。
 - 3 平行沈線が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 地文のあるもの。
 - b 無文のもの。
- VII類 底部から口縁部までラッパ状に外反するもの。磨消縄文が施文される。
- VIII類 脊部から口縁部にかけて直立する器形を呈するもので、底部に足が付くもの。
- 1 弧線文が施文されるもの。
 - 2 婆形文が施文されるもの。
 - 3 平行沈線が施文される以外無文のもの。
 - 4 無文のもの。
- IX類 平面形が方形を呈するもの。
- X類 片口形を呈するもの。
- 壹
- I類 口縁部、頸部、脣部の境に明瞭な括れを有する3段構成で、口縁部が内彎するもの。
- 1 弧線文、渦巻文が施文されるもの。
 - 2 入組三叉文が施文されるもの。
 - 3 頸部が無文帶で、截痕列、K字文系文様が施文されるもの。
 - 4 平行沈線が施文される以外無文のもの。
 - 5 頸部が無文帶で、それ以外に縄文が施文されるもの。
- II類 口縁部、頸部、脣部の境に明瞭な括れを有する3段構成で、口縁部が外反するもの。
- 1 縄文が施文されるもの。施文部位で細分する。

- a 頸部が無文帶となるもの。
 - b 口縁～頸部が無文のもの。
- 2 無文のもの。
- III類 口縁部、頸部、胴部の境に明瞭な括れを有する3段構成で、口縁部の外反が水平に近いもの。
- 1 口縁～頸部が無文で、胴部に雲形文が施文されるもの。
 - 2 無文のもの。
- IV類 口縁部、頸部、胴部の境に明瞭な括れを有する3段構成で、胴部が球形を呈さず長く、最大径を胴部下半に持つもの。頸部が窄まり、口縁部にかけて外反する。
- V類 胴部が球形を呈さず長く、最大径を胴部下半に持つもの。頸～胴部境に段が付く。口縁部が強く外反する。有文土器はすべて頸部が無文帶となる。
- 1 截痕列の施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 矩形入組文、羊齒状文（柵形）が施文されるもの。
 - b 羊齒状文、K字文系文様が施文されるもの。
 - c 腐消繩文が施文されるもの。
 - 2 雲形文が施文されるもの。
 - 3 無文のもの。
- VI類 胴部が球形を呈さず長く、最大径を胴部中位に持つもの。頸～胴部境に段が付く。頸部は長く、口縁部は短く外反する。
- 1 平行沈線が施される以外無文のもの。
 - 2 頸部が無文帶で、ほかは繩文が施されるもの。
 - 3 無文のもの。
- VII類 胴部が球形を呈さずに長く、頸部が弱く括れ、口縁部が短く外反するもの。
- VIII類 最大径を胴部中～下半に持ち、頸部が括れ、口縁部が直線的に短く外反するもの。
- 1 口縁～頸部が無文のもの。
 - 2 無文のもの。
- IX類 最大径を胴部上半に持ち、頸部が括れ、口縁部が直線的に外反し「く」の字状を呈するもの。
- X類 最大径を胴部中位に持ち、頸部が括れ、口縁部が直線的に外反し「く」の字状を呈するもの。
- XI類 胴部が球形で頸部が長く、口縁部が短く外反するもの。
- XII類 球形～卵形を呈するもの。無文である。
- XIII類 頸部内面に鎧がつくもの。
- 注口
- I類 頸部が括れ、口縁部が外反し緩く内彎するもの。肩部に段が付き、水平に張り出す。丸底を呈する。
- 1 口縁～肩部に矩形入組文、截痕列、注口部下にノ字文が施されるもの。
 - 2 口縁～肩部にC・X字文系文様、截痕列、注口部下に菱形・渦巻文などが施文されるもの。
- II類 頸部が括れ、口縁部が外反し緩く内彎するもの。肩部に段はない。丸底を呈する。
- III類 肩部から口縁部にかけて内彎するもの。肩部に段が付き、水平に張り出す。丸底を呈する。
- IV類 肩部から口縁部にかけて内彎するもの。肩部に段はない。丸底を呈する。
- V類 頸部が括れ、口縁部が直線的に外反するもの。肩部に段が付き、水平に張り出す。肩～胴部は菱形を呈する。

VI類 頭部が括れ、口縁部が直線的に外反するもの。肩部に段ではなく、突起列が付される。肩～頸部は菱形を呈する。

- 1 頭～胴下半部に磨消絆文（雲形文系）が施されるもの。
- 2 胴下半部が平行沈線のみのもの。

VII類 肩部が水平で、注口部が垂直方向に付くもの。

VIII類 小形で無文のもの。

なお、香炉については、出土数がごく少量のため分類していない。また、ミニチュア土器については、各器種を小型化したものとする観点から、各器種の分類を用いた。

註

註1 「漸列文」（岩文理 1985）、「連珠文」「珠文帶」「珠文列」（林 1993・1995）、「刻み目文帶」（須藤ほか 1995）と呼称されるものに相当する。

註2 全器種を通じて、無文帶の上下端には平行沈線による区画を伴う。

註3 金子昭彦氏（金子 1995・1996）の口縁部突起分類における「IV群2類α類b1類」にあたる。

註4 截痕が連続して一周せず、規則的なスパンで無截部分を有するものを「区画のある截痕列」とした。

註5 「ネガ截痕列」とでもいうべきもので、モチーフは「截痕列」に求められる。刺突は沈線端内に収まらず、意図的にも上もしくは下に隣りて沈線端外にはみ出す形で施されるものが多い。

註6 「区画のあるネガ截痕列」とでもいうべきもので、モチーフは「区画のある截痕列」に求められる。沈線と刺突の関係は註5と同様。

2 土 製 品（第81～86図、第4表、写真図版74～80）

（1）概 要

出土総数・総重量は、112点・2,598.2gである。器種内訳は、土偶65点、土版2点、亀形土製品1点、キノコ形土製品1点、スプーン形土製品1点、舟形土製品？1点、スタンプ形土製品1点、耳飾8点、玉類3点、土器片円板13点、土器片球1点、土球1点、粘土塊8点、粘土紐1点、不明5点である。

本報告では、102点・2,490.2gを掲載した。

（2）土 偶

61点掲載した（523～571・608～619）。およそ75%が遺物包含層内から出土したもので、土器型式と比較すれば大洞B2式～C1式並行と考えられる。当該期の土偶については金子昭彦氏による詳細な研究があり（金子 1990ほか）、観点は基本的にこれに従っている。

524～541・543・548・550～554・566・567・570・608・609・613～619は、いわゆる遮光器土偶と推定されるものである。眼窓の残存しないものは既存出土例から類推した。524・527～529・548・608・615は、高さが15cmを超えると推定される大型の一群である。527と548は頭部が残存し、頭頂部に橋状把手が付く。眼窓は沈線で表現され、周辺が隆帯で縁取られ仮面状を呈する。527は後頭部に蛇行沈線が垂下し、頭部に截痕列が施される。548の後頭部にはC字の沈線が施され、頭部は無文である。胸部に三角形の隆帯が付される。乳房は小さく、前を向く。521・528・529・608・615は頭部が残存しない。524は腰と脚の付け根に截痕列が廻る。胸部文様は菱形文系である。528は頭

部が無文である。乳房は大きく、若干垂れ気味である。529は肩部に2条の隆帯が平行し、乳房の周りに截痕列が廻る。608と615にも截痕列が施される。539～541・551～554・566・567・609・613は高さが15cm以下と推定される小型の一群である。539・551・552・613は頭部が残存する。539と613は鼻が突出し、鼻孔2穴が作出される。539の頭頂部は三山状に突起するが、613は環状に突起し内部が凹む。551は頭頂部および耳がB字状に突起する。頸部には截痕列が廻る。552は頭頂部突起が小さく、顔は菱形に近い。540・541・553・554はこの隆帯と絡んで腰部両脇がB字状に突起する。胴部文様は、前面（両脇腹）については540・553が渦巻文、541・566がC字文、554が重弧線文、567・609が無文、背面については540・541・554・が入組文、567はX字文、609は無文である。

以下、遮光器以外の上側について記述する。比較的残存状態が良く、形態が判別できるものは、54・544～547・549・555～559である。542は頭部が作出されない。肩が張り、胴は窄まる。544は四肢が作出されない。頭部は逆三角形で、鼻孔2穴が穿たれている。頭部から胴部にかけて正中線が垂下する。胸部から背面上位にかけて肥厚する。腹部が膨れており、妊婦を想像させる。局部には盲孔が穿たれる。545は頭部が比較的小さく、頭頂部は613と同形態を呈する。鼻孔は縦長に2穴穿たれる。胴部下半以下は前方へ屈曲するようである。546・547・556は高さ5cm以下と小さい。546は肩が張り、頭部は山形を呈する。顔部が縦位に出っ張る。腰部には山形の隆帯が巡った痕跡が残る。547・556は素文で、乳房が円形に突出する。547の後頭部には渦巻文が施される。549・558は肩から鼻が隆帯で突出する。555は全体形が長三角形を呈する。頭部は菱形で、眼・口は刺突により表現される。腹部から腰部にかけて山形の隆帯が付される。557・559は座位を呈するものである。557の頭部は円形で、顔は平べったい。眉から鼻が一続きの隆帯で突出する。胴部背面には雲形文が施される。559は無文で、局部付近に小さい盲孔が施される。

(3) 土 製 耳 飾

7点掲載した(574～579・621)。574～576・621は環状で、滑車形を呈する。574・621は輪円形で、彫影により前者は三叉状の、後者は環状の文様が施される。575・576はおそらく円形と推定され、無文である。577は耳栓形である。赤彩が施されている。578・579は鼓形である。

621を除き、すべて遺物包含層からの出土したものであるが、3a層以下からは出土していない。

(4) 玉 類

出土した3点すべてを掲載した(572・573・620)。572・620は管玉である。572は端部が窄まる形態を呈する。土錘に似るが、赤彩が施されており、装飾品と判断した。620は棒状を呈する。573は勾玉で、一方の端部が穿孔されている。

(5) 土 版

出土した2点いずれも掲載した(580・581)。渦巻文が主体的に施文される。580には菱形文も見られる。

(6) その他の土製品

582は亀形土製品である。腕部に指?を表現するための刻みが施されるほかは無文である。長軸方向に貫通孔が穿たれる。583は舟形を呈するもので、底面中央および側面に貫通孔が穿たれる。下部

が欠損しており、本来の形態を推定することができない。香炉形などの精製土器の頂部、もしくは土偶の頭頂部装飾の可能性もある。584はスプーン状土製品、585はキノコ形土製品である。586はスタンプ形土製品で、棒状を呈する。全体に断面三角形の刺突が施される。

(7) 土器片円板

七器片を転用して扁平な円盤形に作出されたものを、八木勝枝氏の見解（八木2002）に従い土器片円板とした。11点掲載している（522・593～601・623）。遺物包含層から9点出土したが、その出土層位に偏りはなく、下位から上位まで包含していた。素材はすべて胴部片である。周縁痕跡は、593・598・623は打ち欠き痕が、522・594～597・599～601はスレ痕が認められた。また、595～597・600の平面中央部には穿孔が、594の同部には首孔が認められる。

(8) 土器片球・土球

土器片を転用して球形に作出されたものを土器片球、粘土塊を球形に整形したもの土球とした。いずれも1点ずつの出土である（土器片球588・土球589）。588の素材は底部片で、周縁痕跡はスレ痕である。589の表面は滑らかで、調整痕等は確認されない。

(9) 粘土塊・粘土紐

6点掲載した（602～607）。602は粘土紐で、左方向によじれている。粘土塊のうち、604は扁平で湾曲する。

3 石 器（第87～106図、第5表、写真図版81～102）

(1) 概 要

石器（トゥール）の出土総数・総重量は1,272点・301,689.1gで、このほか剥片および素材が37,636.2g出土している。トゥール1,272点の器種内訳は、石鎌84点、尖原器1点、尖頭状石器13点、石錐42点、石匙19点、スクレイパー類110点、楔形石器29点、石鏡3点、二次加工ある剥片92点、使用痕ある剥片15点、異形石器4点、器種不明剥片石器片14点（両面調整12点、石器片2点）、石核124点、打製石斧7点、磨製石斧84点、片面礫器7点、両面礫器14点、石核石器片40点、石錘5点、磨石30点、敲石331点、凹石140点、砥石2点、石皿14点、台石27点、円礫20点、不明礫石器片1点である。

なお、本報告では333点・91,478.6gを掲載した。

(2) 石 鎌

分類 鈴木道之助氏の分類（鈴木1991）を用いた。本遺跡出土品は、凸基有茎、平基有茎、凹基有茎、平基無茎、凹基無茎、円基の6種である。

35点を掲載した（634・638～669・927・928）。84点の分類内訳は、凸基有茎50点、平基有茎11点、平基無茎3点、凹基有茎1点、凹基無茎1点、円基1点、欠損のため不明7点、未製品10点である。有茎鎌と無茎鎌の比率をみると、分類不明および未製品を除けば93%が有茎鎌である。無茎鎌は、遺物包含層3a層と2b層、基本層IV層から出土している。

石材は、めのうが2点、珪質頁岩と赤色頁岩が各1点あり、これ以外はすべて頁岩である。頁岩に

分類されるもののうち3点は軟質で脆く、実用品とは考えにくい(640・662など)。これらは他に比して幅広である。

(3) 尖頭器・尖頭状石器

尖頭状石器3点を掲載した(670・671・929)。尖頭器、尖頭状石器共通の特徴として、調整が浅く、縁辺付近に止まることが挙げられる。

尖頭器の石材は頁岩である。尖頭状石器は、凝灰岩が1点、頁岩が12点である。凝灰岩製のもの(670)は軟質で脆いため、石歿640などと同じく実用品とは考えにくい。

(4) 石 錐

分類 刃部および基部の形態で分類した。

- 1類 刃部が長く、刃部 > 基部を呈するもの。
- 2類 刃部が基部より短く、その境目が明瞭で基部が幅広なもの。
- 3類 刀部と基部の境目が不明瞭で、全体形が棒状を呈するもの。
- 4類 刀部と基部の境目が不明瞭で、全体形が三角形を呈するもの。

16点を掲載した(635・672~685・930)。42点の分類内訳は、1類4点、2類10点、3類10点、4類11点、欠損のため不明6点、未製品1点である。分類と出土地点・層位の間に特別な傾向は見られない。

石材は、すべて頁岩である。

(5) 石 匙

分類 つまみ部および刃部の形態で分類した。

- 1類 つまみ部が2つあるもの。
- 2類 刀部の縦横比が2倍以下のもの。さらに平面形態で細分する。
 - 2a 方形から三角形基調のもの。
 - 2b 円形基調のもの。
- 3類 刀部の縦横比が1:2以上のもの。いわゆる「横型石匙」。
- 4類 刀部の縦横比が2:1以上のもの。いわゆる「縱型石匙」。

10点掲載した(636・686~694)。19点の分類内訳は、1類1点、2a類6点、2b類1点、3類7点、4類2点、欠損のため不明2点である。分類と出土地点・層位の間に特別な傾向は見られない。

石材は、遺物包含層2a層出土の2a類1点のみが珪質頁岩であり、その他の18点はすべて頁岩である。

(6) スクレイパー類

分類 刃部角により、45°以下のものを削器、それ以上のものを搔器と分類した。また、前者のうち、刃部が大きく抉れるものを抉入石器と細分した。なお、本器種には、本器種と同様の刃部形態を呈する別器種の欠損品を含んでいる可能性がある(例えば石匙のつまみ部欠損品など)。

14点掲載した(695~707・931)。110点の分類内訳は、削器91点、搔器18点、抉入石器1点である。抉入石器は遺物包含層A'層から出土したものである。削器および搔器の出土地点・層位に偏りは見られない。形態はさまざまで、刃部形成部位も厚手で不向きとなる打点側に少ない以外は規格性

が確認されない。これは、素材剥片が多様であることに起因するものと考えられる。

石材は、削器に珪質頁岩が2点、緑色頁岩・チャート・ホルンフェルスが各1点あるほかは、すべて頁岩である。

(7) 楔形石器

両極石器、ピエス・エスキユなどとも呼ばれるものである。

分類 打面形態（断面形態）と打面数で分類した。

1類 打面が線状を呈し、断面形が凸レンズ形を呈するもの。

2類 一方の打面が面を成し、断面形が三角形基調を呈するもの。

さらに、両類とも打面数で細分する。

a 打面数が1つ（1対）のもの。

b 打面数が2つ（2対）のもの。

6点掲載した（708～711・932・933）。29点の分類内訳は、1a類14点、1b類4点、2a類8点、2b類2点、欠損のため不明1点である。分類と出土地点・層位の間に特別な傾向は見られない。

石材は、遺物包含層3a層出土の1b類にめのうが1点あるほかは、すべて頁岩である。

(8) 石 篓

3点出土し、すべて掲載した（624・712・934）。いずれも刃部調整が粗いような印象を受ける。出土点数が少ないと併せて考えれば、一般的な器種ではなかった可能性がある。

石材は、頁岩2点、チャート1点である。

(9) 二次加工ある剥片・使用痕ある剥片

刃部調整と思われる剥離が1辺の2分の1に満たないもの、もしくは連続しないものを二次加工ある剥片に、剥離調整とは異なる微細剥離のみが確認されるものを使用痕ある剥片に分類した。

二次加工ある剥片1点（713）、使用痕ある剥片2点（714・715）を掲載した。両器種ともさまざまなる剥片を素材として使用している。出土地点および層位に偏りは見られない。

二次加工ある剥片の石材は、めのうが2点、赤色頁岩が1点あるほかはすべて頁岩である。使用痕ある剥片はすべて頁岩である。

(10) 異形石器

出土した4点すべてを掲載した（716～718・935）。平面形は、716・717が十字形を、718が三叉形を、935はミニチュアの石匙のような形態を呈する。十字形のものは石鏃あるいは石錐の可能性もあるが、石鏃であれば刃部の作りと厚さ、石錐であれば器長がそれぞれ異なる。

石材は、すべて頁岩である。

(11) 石 核

分類 剥離技法で分類した。

1類 通常剥離のもの。

2類 両極剥離のもの。

さらに、両類とも打面、作業面の取り方と全体形態で細分する。

- a 打面が隣接面に複数回転移されサイコロ形を呈するもの。
- b 1打面が平坦（甲板状）で断面が逆三角形（舟形）を呈するもの。
- c 打面の厚さが狭く、板形を呈するもの。
- d 周縁から求心状の剥離がなされ、円盤形を呈するもの。
- e 小円窪を分割したものの。2類に限られる。

25点掲載した（625・626・632・637・719～736・936～938）。124点の分類内訳は、1a類4点、1b類10点、1c類2点、1d類3点、2a類26点、2b類21点、2c類43点、2d類5点、2e類9点、不明1点である。本器種自体は各地点・層位から出土しており、分類と出土地点・層位の間にも特別な傾向は見られない。

石材は、頁岩、珪質頁岩、赤色頁岩、めのう、チャート、赤色チャート、石英が用いられている。その点数と分類の関係は、頁岩94点（1a類3点、1b類8点、1c類2点、1d類2点、2a類23点、2b類17点、2c類32点、2d類2点、2e類4点、不明1点）、珪質頁岩2点（2c類2点）、赤色頁岩2点（2a類1点、2e類1点）、めのう3点（1b類1点、2c類1点、2e類1点）、チャート19点（1b類1点、1d類1点、2a類2点、2b類4点、2c類7点、2d類3点、2e類1点）、石英3点（2c類1点、2e類2点）である。頁岩は1類が一定量認められるが、他は2類が大半を占める。硬度と原石の大きさが影響しているものと思われる。

(12) 打 製 石 斧

1点掲載した（737）。出土点数が7点と少なく、かつこの中に未製品を3点含む。調整痕跡の中に敲打や磨りが観察されないものを本器種として登録しているが、剥離調整段階で廻棄された磨製石斧の未製品である可能性もある。出土地点は、遺物包含層3b層・3a層・2b層と比較的包含層の下位に集中している。

石材は、軟質の頁岩2点、緑色頁岩、はんれい岩、ホルンフェルス、デイサイト、砂岩が各1点である。

(13) 磨 製 石 斧

9点掲載した（627・738～745）。84点出土しているが、完形品は10%に満たない。大半は欠損品もしくは未製品である。このため、分類は実施しなかった。739のような全面磨り整形のものは極めて稀で、738のように剥離調整痕、敲打調整痕が残るものが大半である。本器種自体は各地点・層位から出土しており、分類と出土地点・層位の間にも特別な傾向は見られない。

石材は、はんれい岩、玢岩が各25点、閃綠岩21点、安山岩、砂岩、蛇紋岩が各3点、デイサイト2点、頁岩、アプライトが各1点である。

(14) 磬 器 類

分類 剥離面により片面磬器と両面磬器に分類した。

片面磬器2点（746・747）、両面磬器8点（748～754・939）を掲載した。両面磬器753は赤色顔料が付着しており、この掘り潰し作業に用いられていたものと考えられる。なお、両器種とも出土地点や層位に偏りは見られない。

石材は、片面磬器にはデイサイト2点、頁岩、ホルンフェルス、閃綠岩、玢岩、はんれい岩が各1点、両面磬器にはデイサイト4点、玢岩3点、砂岩、はんれい岩が各2点、チャート、蛇紋岩、安山岩が各1点用いられている。

なお、石斧類もしくは環器類の木製品と推定されるものが40点出土しており、これを石核石器片と分類し登録している。これらも地点や層位に偏りなく出土しており、石材種も花崗閃緑岩と斑岩が見られるほかは同傾向を示す。

(15) 石 鍤

3点掲載した(759・760・940)。出土点数が5点と少ないため、傾向等は不明である。

石材は、安山岩3点、頁岩2点が用いられている。

(16) 磨 石

磨面が卓越する石器である。本器種の用途は「磨る」と「敲く」が複合しているものであり、その痕跡が「磨痕 > 敲打痕」であるものを本器種として登録した。

分類 磨面の位置と全体形態で分類した。

1類 長軸端に磨面を持つもの。

2類 ほぼ全面に強度の磨面が形成され、面間の境界(稜線)が明瞭なもの。

3類 全体に均等な磨面が形成され、円盤状を呈するもの。

4類 側縁に磨面が形成され、直線化しているもの。

10点掲載した(628・761~769)。30点の分類内訳は、1類3点、2類12点、3類9点、4類4点、欠損のため不明2点である。本器種自体は各地点・層位から出土しており、分類と出土地点・層位の間に特に特別な傾向は見られない。なお、磨面に赤色顔料が付着しているものがあり(628・765・766など)、この塗り潰し作業にも用いられていたものといえる。

石材は、デイサイト、安山岩、花崗閃緑岩、砂岩、閃緑岩、花崗岩、斑岩、蛇紋岩、凝灰岩、頁岩、チャートが用いられている。その点数と分類の関係は、デイサイト12点(2類6点、3類4点、4類1点、不明1点)、安山岩3点(2類3点)、花崗閃緑岩3点(1類1点、3類2点)、砂岩2点(2類、4類各1点)、閃緑岩2点(1類、不明各1点)、花崗岩2点(3類、4類各1点)、斑岩2点(3類、4類各1点)、蛇紋岩1点(2類)、凝灰岩1点(2類)、頁岩1点(3類)、チャート1点(1類)である。

(17) 敲 石

今次調査において出土数の最も多い器種である。磨石と同じく、本器種も「敲く」「磨る」の両行為が混合したものが大半である。登録においては、使用痕跡が「敲打痕 > 磨痕」となるものを本器種とした。

分類 敲打面の位置と全体形態で分類した。

1類 長軸端に敲打面を持つもの。

2類 長軸端および側縁に不連続な敲打面を持つもの。

3類 ほぼ全面に強度の敲打面が形成され、面間の境界(稜線)が明瞭なもの。いわゆる「多面体敲石」。

4類 周縁に敲打面を持ち、平面形が円形基調となるもの。「円盤状石製品」、「板状石器」と呼ばれているものを含む。出土数量が多く、かつ製作・使用各過程の資料が確認されたことから、この2種を含めたすべてが敲石の一形態であると把握した。敲打の状態および剥離調整の有無により細分する。

a 敲打が浅く、弱いもの。石器としての初期段階と思われる。

- b 高頻度の敲打により周縁が「面化」したもの。
- c 周縁の整形を目的とした剥離調整が施されたのち、敲打面が形成されているもの。
- d 周縁の整形を目的とした剥離調整のみ行われているもの。いわゆる「板状石器」。

129点掲載した(629・631・633・770~882・941~953)。331点の分類内訳は、1類42点、2類93点、3類16点、4類148点(4a類35点、4b類26点、4c類70点、4d類17点)、不明32点である。注目されるのは、4類の多さである。2類の多さも目立つが、これは4類の極初期段階形態である可能性がある。4類には、特徴的な点がいくつか確認される。まず、平面中央にタール・アスファルト状の黒色物の付着が観察されるものが多いこと。また、平面周縁部に赤色顔料が付着するものもみられる(822など)。後者は使用対象物に関する痕跡と捉えられる。いっぽう前者は、付着箇所が敲打面ではなく平面中央に限定されることから、装着痕跡の可能性が指摘される。

特徴的な素材として、磨製石斧の欠損品を転用したものがある。(770など)

本器種および各分類種とともに出土地点・層位に偏りは見られない。

石材の内訳は、デイサイト83点、はんれい岩53点、玢岩41点、安山岩30点、閃緑岩29点、砂岩28点、頁岩、チャート各14点、花崗岩、班岩各11点、蛇紋岩4点、珪質頁岩、花崗閃緑岩、ホルンフェルス各3点、凝灰岩2点、細粒閃緑岩、蝶岩各1点である。

(18) 四 石

36点掲載した(883~916・954・955)。凹みの形成される位置や数はさまざまである。磨石や敲打と複合するものも少なくない(883・892など)。赤色顔料の付着が確認されるものがあり(910など)、磨石、敲石などと同じく顔料の拂り潰し作業にも用いられていたものといえる。

出土地点に偏りは見られず、各地点・層位から出土している。

石材の内訳は、デイサイト70点、安山岩(スコリア含む)40点、砂岩10点、花崗岩7点、玢岩5点、班岩3点、凝灰岩2点、アブライト、はんれい岩、花崗閃緑岩各1点である。スコリアが用いられるのは本器種と台石のみである。

(19) 砥 石

出土総数が2点と少ない。うち1点を掲載した(917)。917は砥面が溝状に形成されており、細いものを整形するための道具と推定される。

石材には砂岩と頁岩が用いられている。

(20) 石 皿

3点掲載した(918~920)。920には砥石917と同様の溝が形成されており、砥石としても使用されたものと推定される。

石材の内訳は、凝灰岩8点、砂岩5点、デイサイト1点である。軟質の石材を選択している。

(21) 台 石

8点掲載した(630・921~926・956)。遺物包含層での出土層位は2b層以下に限られる。ただし、出土点数が少ないと本來的な傾向を示すものかは不明である。921は平面中央部に赤色顔料の付着が確認され、この拂り潰し作業にも用いられていたものといえる。

石材の内訳は、安山岩12点、デイサイト8点、花崗岩、閃緑岩各2点、玢岩、凝灰岩、砂岩各1

点である。

(22) 円 碟

球形を呈する転鏧で、加工および使用痕跡の確認されないものを円盤として登録した。直径は5cm前後のものが大半である。赤色顔料の付着しているものが1点あり、磨石、敲石に分類されるべきものも含むと考えられる。石質は全てデイサイトである。

4 石 製 品 (第107~111図、第6表、写真図版103~107)

(1) 概 要

出土総数・総重量は、95点・6,687.0gである。器種内訳は、岩鉗5点、岩版33点、石棒類19点、円盤状石製品17点、磨製石斧(ミニチュア)3点、有孔石製品6点、有溝石製品3点、石皿様石製品1点、石球7点、不明1点である。このうち、81点・5,810.0gを掲載した。

(2) 岩 鉗

出土した5点すべてを掲載した(973~976・1027・1028)。973は円柱状で、端部および側面全体に渦巻文様が施される。石材は凝灰岩である。975は頭部で、眼が円形の沈線で、口が三角形の沈線で表現される。後頭部には渦巻文様が、頭頂部および頭部には棘状文様が施される。石材は凝灰岩である。976は四股の一部と思われるもので、渦巻文様が施される。石材は軟質の頁岩である。1027は円柱状に加工されており、文様はない。素材と考えられるものである。石材は凝灰岩である。

本器種の石材は、凝灰岩と軟質の頁岩の2種に限られる。

(3) 岩 版

分類 平面形で分類した。

- 1類 方形を基調とするもの。
- 2類 三角形を基調とするもの。
- 3類 円形を基調とするもの。

31点掲載した(977~1003・1029~1032)。33点の分類内訳は、1類12点、2類2点、3類5点で、その他14点は欠損のため不明である。1類は弧線文や渦巻文様の施されるものが大半である。比較的の残存状態のよい977には、正中縫が確認される。唯一完形で出土した978は文様が少なく、正面上位に回転盲孔が施されるほかはほとんど文様がない。いっぽうで文様以外の痕跡が顯著で、右側縫には剥離痕が、裏面中央には敲打痕が確認される。2類のうち、989には某かの沈線が確認されるが、不規則である。1030は無文である。3類も文様が少ない。991は大きな浅い盲孔が施される。992は沈線が密集する部分があるが、詳細不明である。

石材の内訳は、凝灰岩が23点と圧倒的に多く、軟質の頁岩7点、デイサイト、めのう、軽石が各1点である。

(4) 石 棒 類

いわゆる石棒、石剣、石刀を石棒類としてまとめた。完形品は皆無である。15点掲載した(959~972・1026)。964は大形石棒の端部である。967・970・971は頭部が作り出されるもので、胴部断面

形は967と970が橢円形、971は方形を呈する。

石材の内訳は、頁岩7点、はんれい岩、閃綠岩各2点、粘板岩、輝綠凝灰岩、凝灰岩、ホルンフェルス、デイサイト、蛇紋岩、玢岩、軽石各1点である。

(5) 円盤状石製品

側縁を剥離もしくは磨りによって整形し、平面形が円盤状を呈するものである。平面形態的には、円盤状を呈する敲石と同形態である。しかし、大きさ、厚さ、側縁の形態（整形状態）、石材の強度から敲石としての使用に疑問符がつくもので、使用ではなくその形態作出に意味があると捉えたものを円盤状石製品として登録した。分類基準は、石材が軟質で敲打作業に不適格であるものは大きさ・厚さ関係なく側縁の整形状態を基準とし、石材が硬質のものは概ね直径5cm以下、厚さ1cm以下のものを基準とした。

9点掲載している（957・958・1004～1006・1033～1036）。958・1034・1036の側縁は磨り整形され、平面との境に稜がなく滑らかである。1035は逆に磨り整形で平面との間に明瞭な稜が作出され、断面形は台形を呈する。これら以外はすべて剥離整形である。

石材の内訳は、凝灰岩5点、軟質の頁岩3点、安山岩、閃綠岩、デイサイトが各2点、赤色頁岩、はんれい岩、標岩が各1点である。

(6) 有孔石製品

孔の穿たれているものをすべて本群に登録した。出土した6点すべてを掲載している（1007～1012）。1007は扁平な三角形？状の細長い形態を呈すると推定されるもので、短軸端に盲孔が施されている。沈線も確認されるが不明瞭である。側面は面取り加工される。石材は凝灰岩である。1008はアルファベット「B」のような形態を呈する。穿孔のはか、襷かけ状に沈線が廻る。側面は面取り加工される。石材は軟質の頁岩である。1009・1010は扇形のような三角形を呈し、幅広部側が穿孔される。いずれも石材は軽石で、浮子と推定される。1011はボタン状を呈するもので、2孔である。平面は円形、断面はドーム状を呈する。石材は凝灰岩である。1012は管玉状を呈するもので、長軸両端から側面へ向かって孔が穿たれている。石材は緑色泥岩である。

(7) 有溝石製品

自然疊の平坦面に、溝状の凹部が形成されたものが遺物包含層中から複数出土した。凹石に似るが、その凹部とは平面形態および断面形態（V字形を呈する）が異なる。これは使用方法もしくは成形方法の違いを示すものである。石器としての機能を考えた場合、結果的にこのような痕跡が付く作業（砥石とも異なる痕跡）は想定し難い。筆者はこれを使用によるものではなく、意図的に成形した形状と捉え、本報告ではこの一群を「有溝石製品」として登録した。なお、本群の性格として、石製品における「凸」の道具＝右棒類に対する「凹」の道具（女性器？）という位置を推定している。

出土した3点すべてを掲載した（1013～1015）。1013は両面に、他は片面に溝が形成される。石材は、安山岩2点、アブライト1点である。

(8) 磨製石斧（ミニチュア）

磨製石斧と同形態のもので、長さが約5cm以下で実用品とは考えられないものを石製品として登録した。出土した3点すべてを掲載した（1016・1017・1037）。調整痕としては、1016は剥離と磨り、

1037 は剥離・敲打・磨りが確認される。1017 は磨製石斧形というよりかつおぶし形を呈し、磨り整形のみ確認される。石材は 1016 が安山岩、1017 が粘板岩、1037 がはんれい岩とさまざまである。

(9) 石 球

球形に成形された石を本群に登録した。出土した 7 点すべてを掲載している (1019~1024・1028)。調整方法は主に磨りで、面をなすもの (1020・1023) となさないもの (1019・1021・1022・1024・1028) がある。

石材の内訳は、凝灰岩 3 点、軟質の頁岩 2 点、軽石 (To-Nb もしくは To-H と推定) 2 点である。

(10) そ の 他

1018 は長楕円形の転盤に大きな盲孔が施されたものである。石器としての実用性が疑われるため石製品として登録した。石材はディサイトである。

5 動 物 遺 存 体

遺物包含層中より出土したものである。乾燥重量は 43.4 g で、2・3 区間日ベルトの 2b・3a 層および 3 区間日ベルトの A 層土壤をそれぞれ $120 \times 50 \times 50$ cm・ $120 \times 50 \times 20$ cm の範囲でコラムサンプリングし、土壤洗浄した結果得られた。検出された種は、イノシシ、ニホンジカ、ムササビ、ネズミ科、ホホジロザメ、アオザメ、サケ属、コイ科、ウグイ亜科で、骨角器片 1 点 (鹿角製)、加工痕のある資料 2 点 (ニホンジカ・イノシシ) を含む。詳細については VI 章 1 節を参照いただきたい。

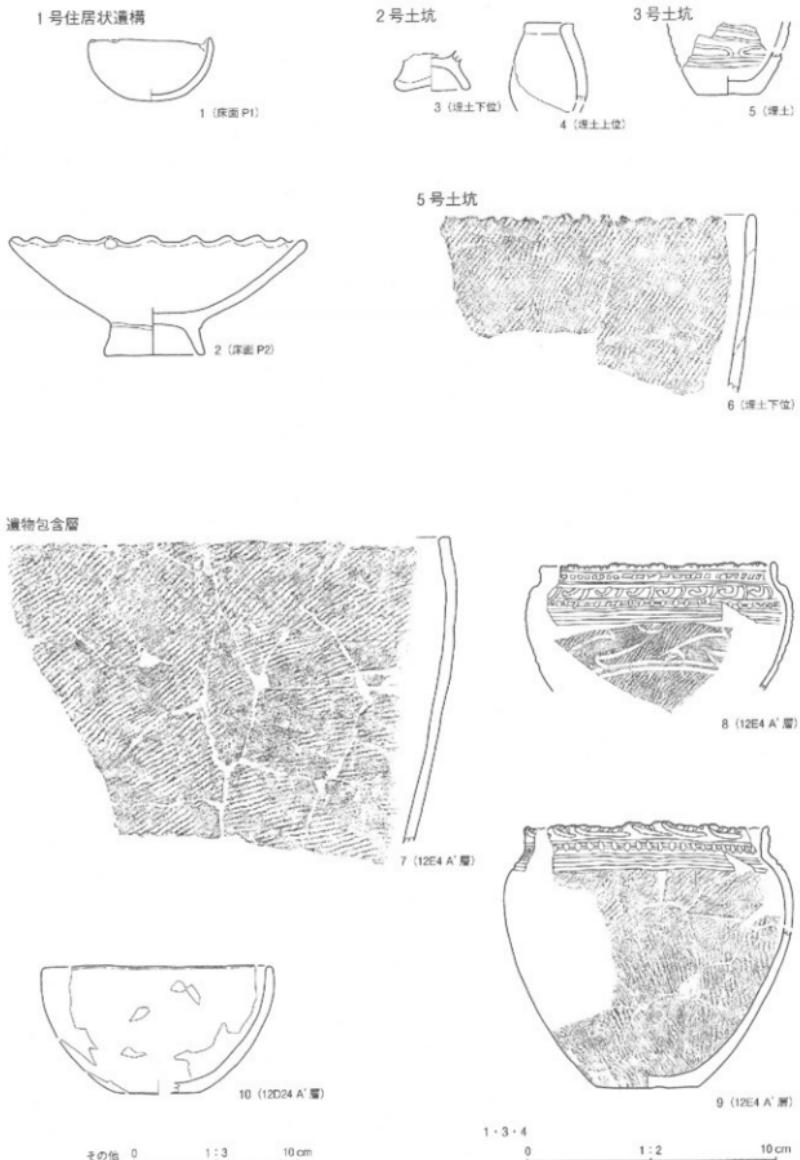
6 植 物 遺 存 体 (写真図版 108)

動物遺存体と同じく 2・3 区間日ベルトおよび 3 区間日ベルト採取土壤を土壤洗浄した結果得られた。乾燥重量は 392.5 g である。いずれも炭化している。検出された種は、オニグルミ、ツノハシバミ、ブナ科、コブシ、ヤマブドウ、トチノキ、コムギ、ムギ類、エノキグサの種実・種子である。なお、予算的な事情から種類の検出に主眼を置いたため、構成量・比は不明である。

同定作業を実施された吉川純子氏によれば、コムギとムギ類は古代以降のタイプに類似するとのことである。ただし、土壤採取地点に後世の搅乱は観察されず、縄文期以外の遺物は出土していないことから、単純に「混入」とは片付け難い。

7 土 器 (第 111 図、第 7 表、写真図版 108)

11G22 グリッド II 層から出土した (1038)。小型の長削甌で、口縁部が直線的に外反し、底部はいくぶん外へ張り出す。胴部調整は、内面・外面ともにヘラナデである。器形から、奈良時代のものと推定される。なお、今次調査区から出土した縄文期以降の土器は、この 1 点のみである。



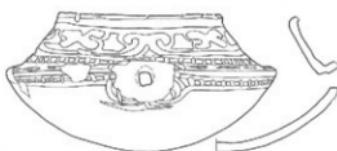
第34図 壁穴住居状遺構・土坑・遺物包含層出土土器（1）



11 (12E4 A' 層)



12 (12E4 A' 層)



15 (12D4 A' 層)



13 (12D4 A' 層, 12E4 A' 層)



14 (12D4 A' 層, 12E4 A' 層)

0 1 : 3 10cm

第35図 遺物包含層出土土器（2）



第36図 遺物包含層出土土器（3）



20 (12E8 A 層)



21 (12E3 A 層)



23 (12E4 A 層)



22 (12D24 A 層)



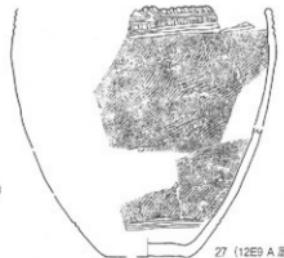
24 (12E4 V層上位 A 層)



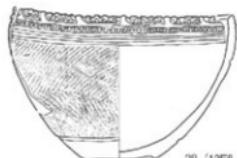
25 (12E3 A 層)



26 (12E3 A 層)



27 (12E9 A 層)



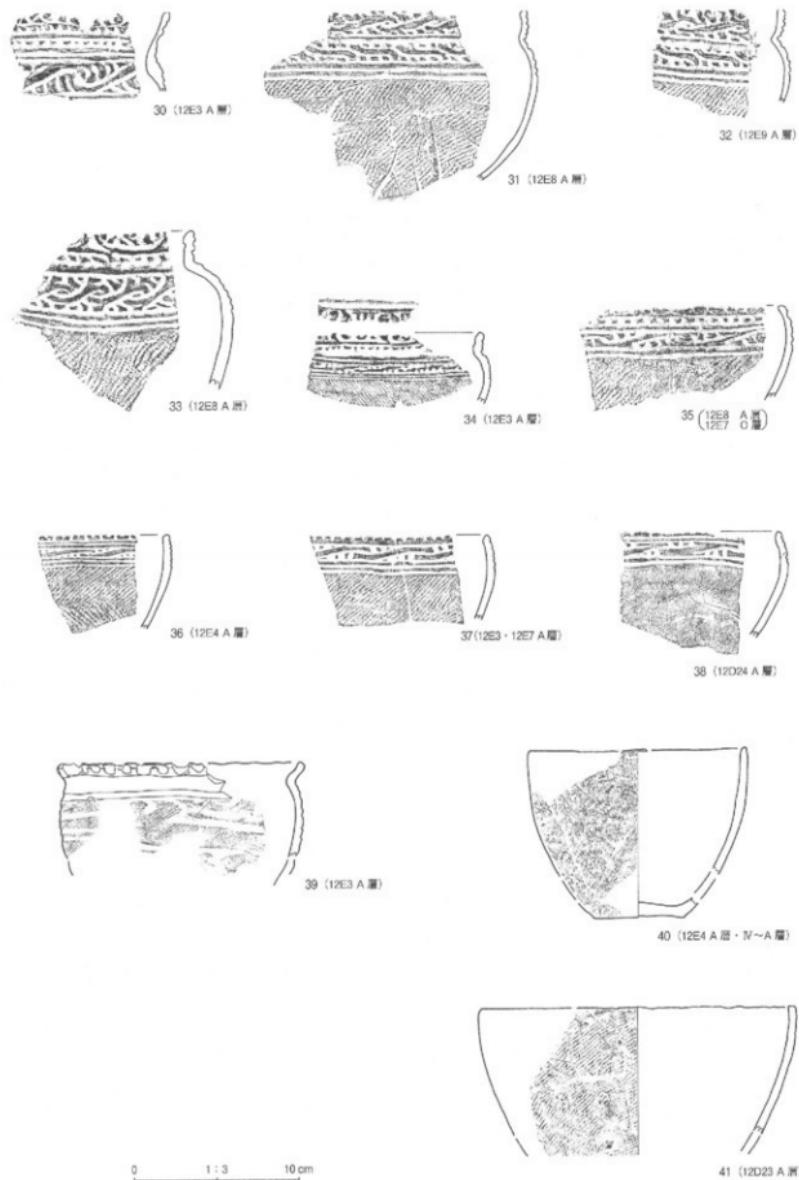
28 (12E8 A 層)



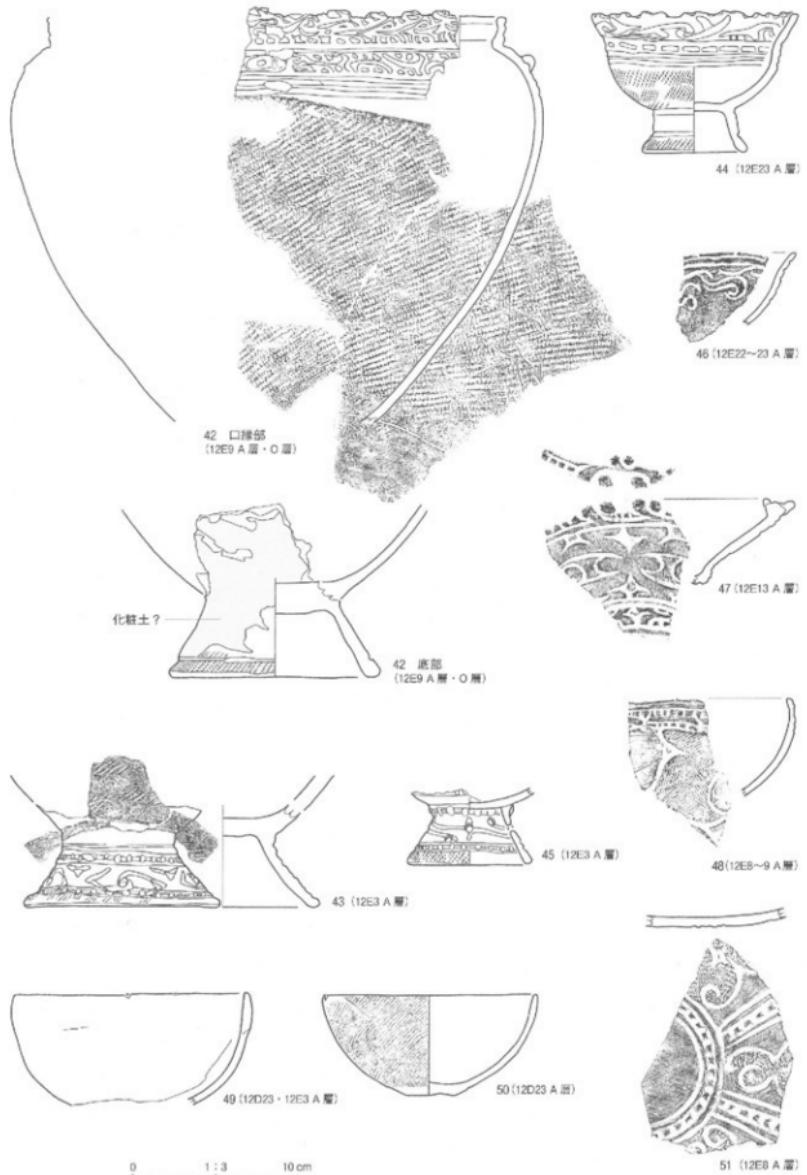
29 (12E4 A 層)

0 1 : 3 10 cm

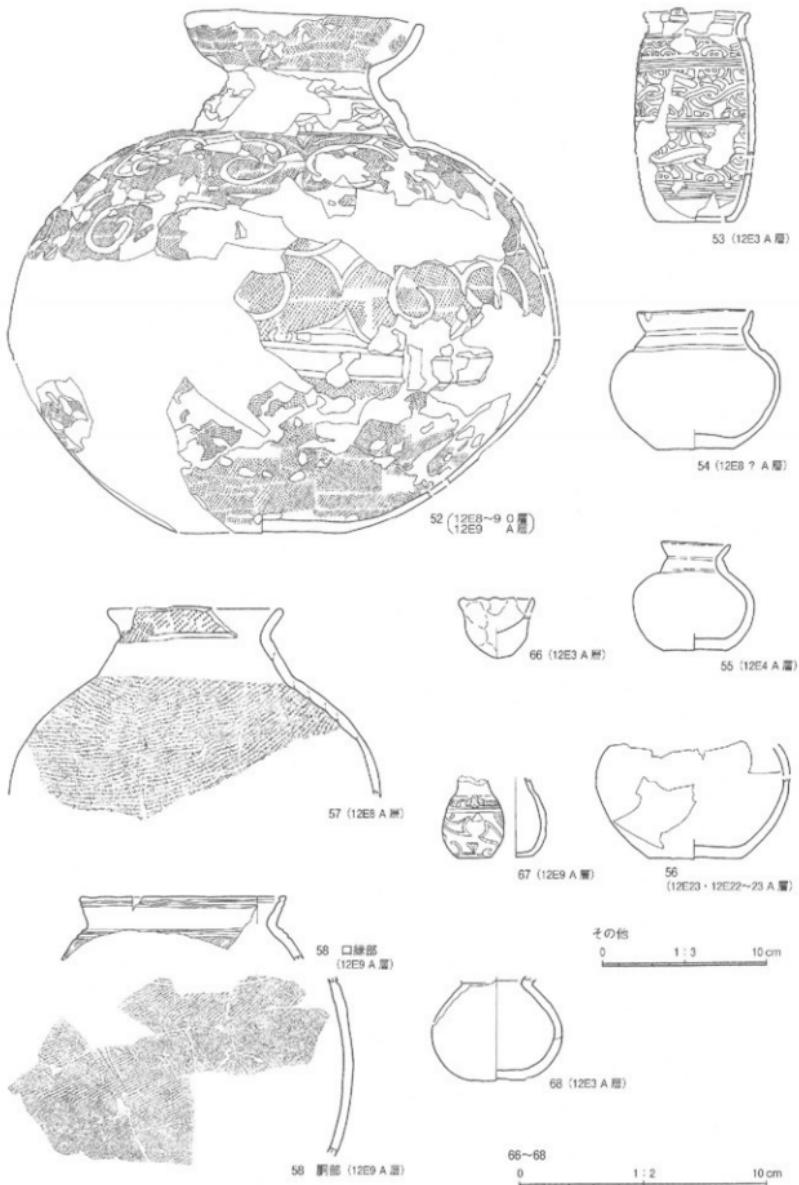
第37図 遺物包含層出土土器 (4)



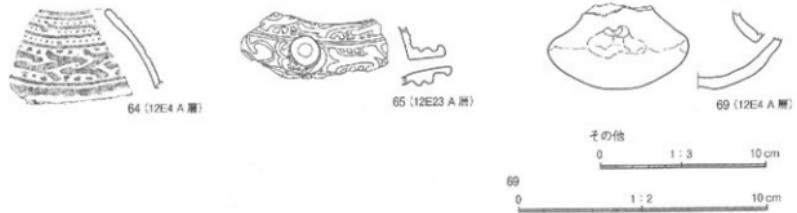
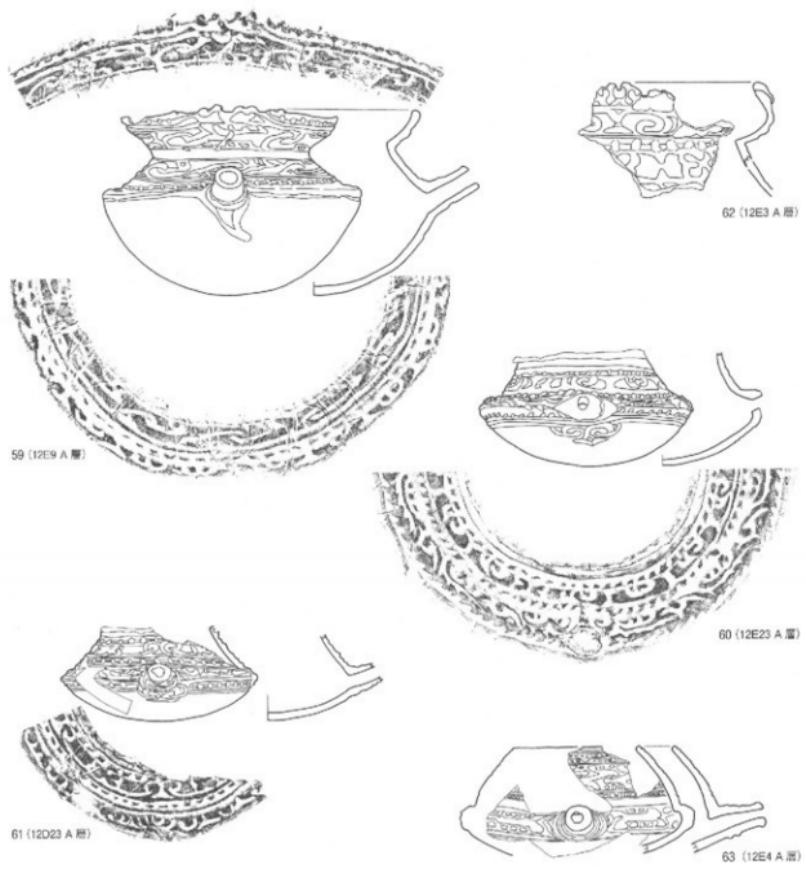
第38図 遺物包含層出土土器（5）



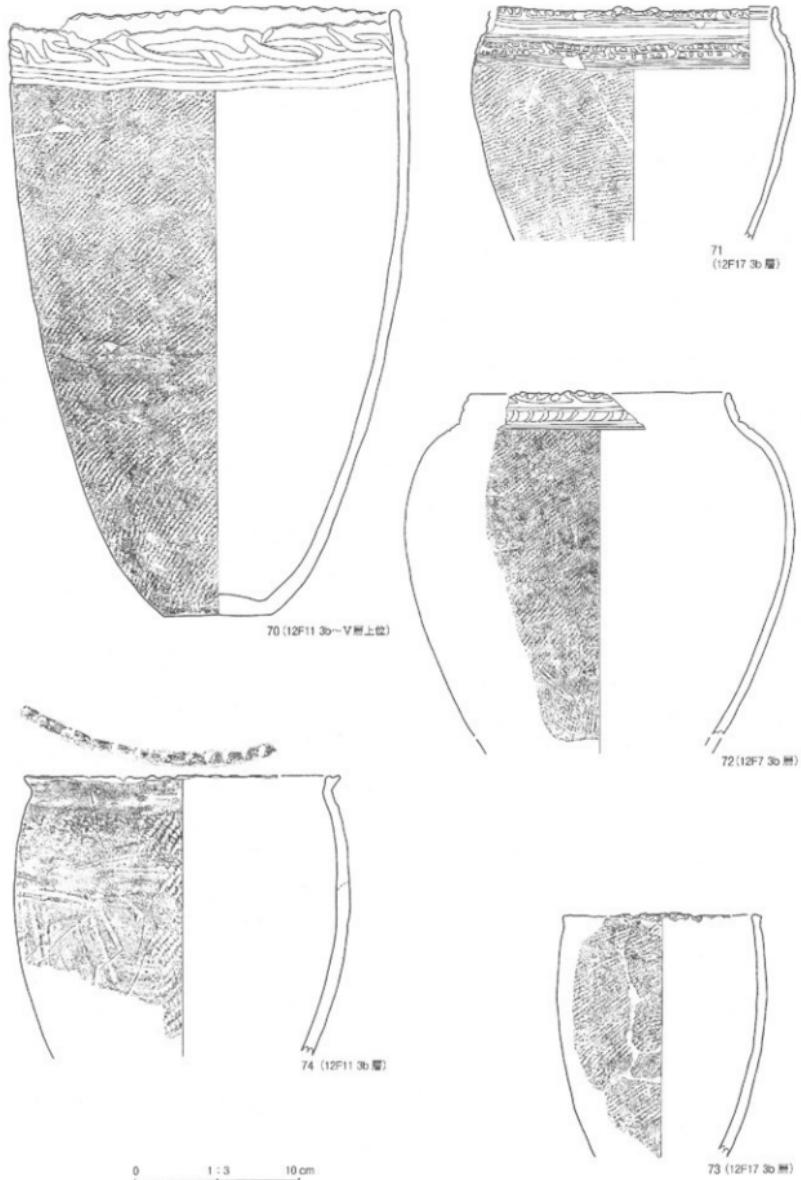
第39図 遺物包含層出土土器 (6)



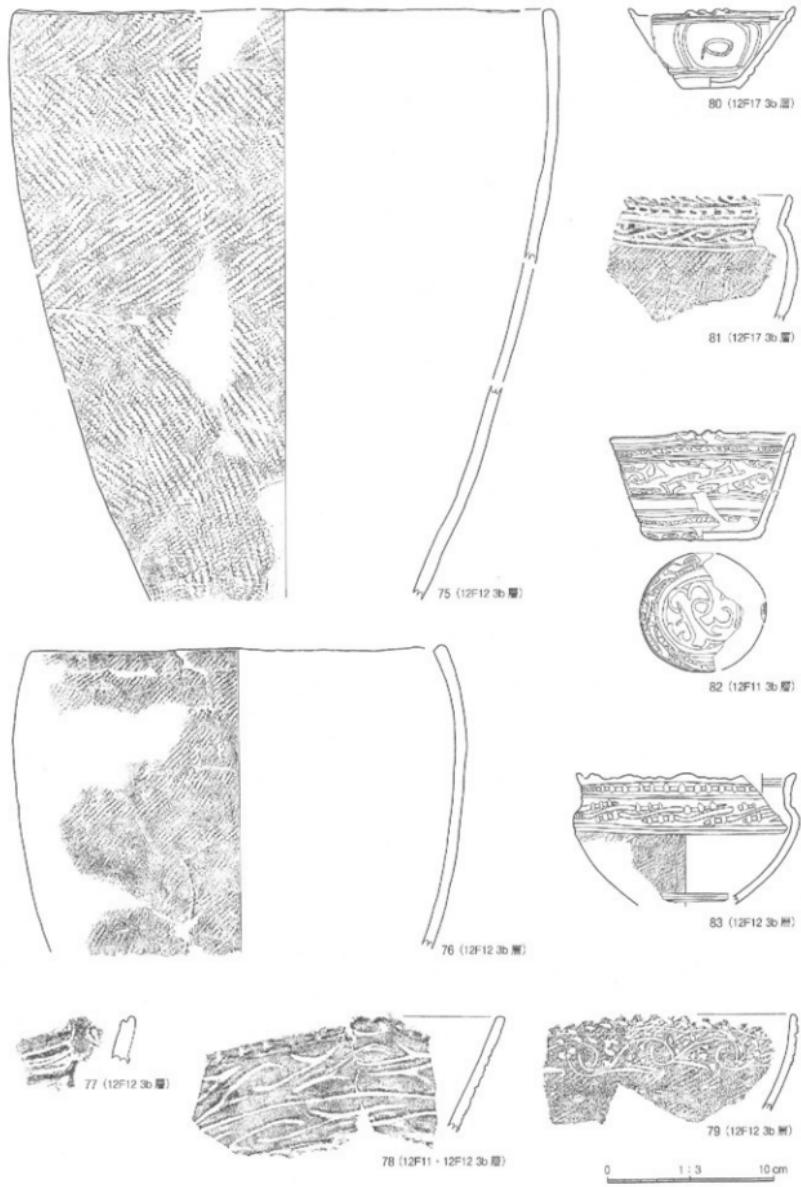
第40図 遺物包含層出土土器（7）



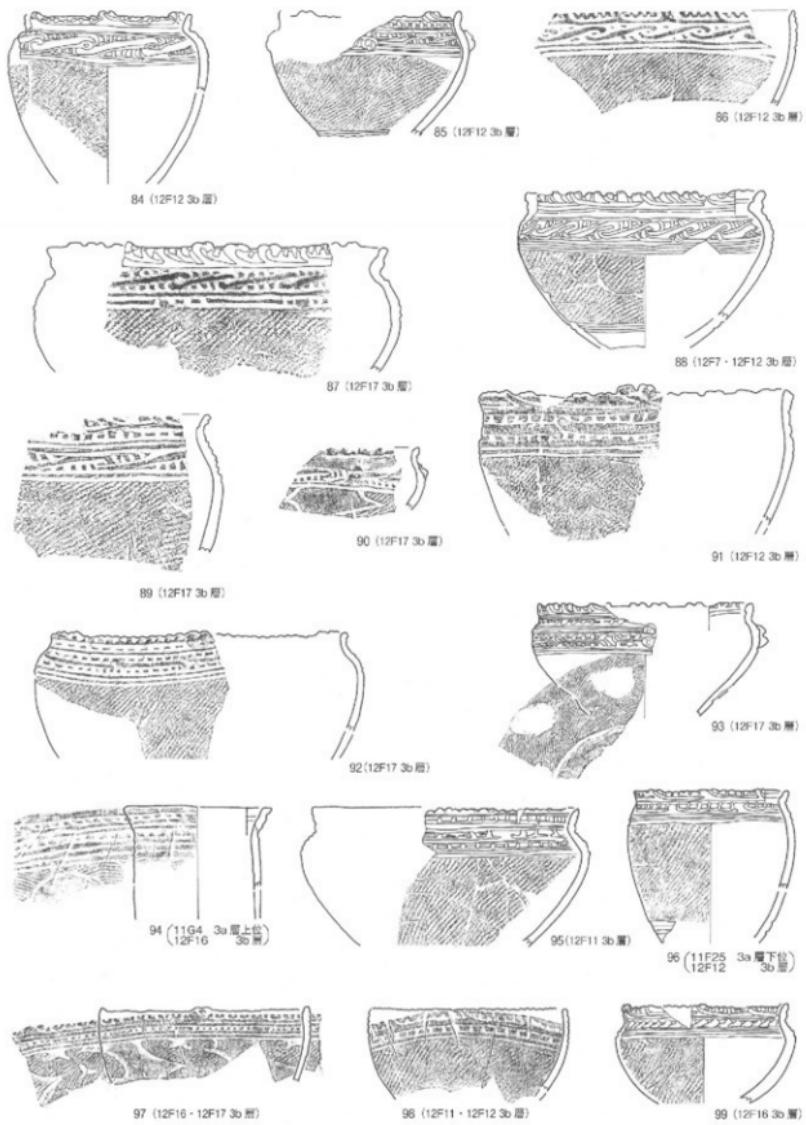
第41図 遺物包含層出土土器（8）



第42図 遺物包含層出土土器 (9)

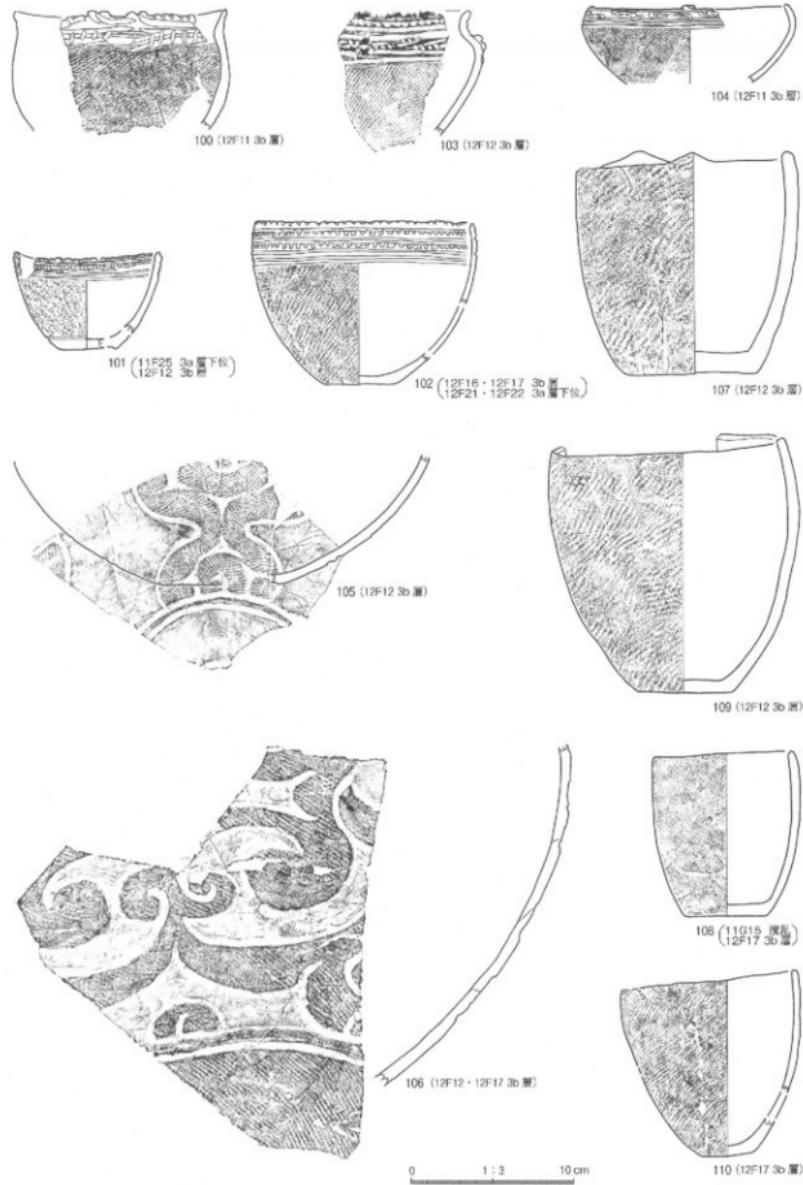


第43図 遺物包含層出土土器 (10)

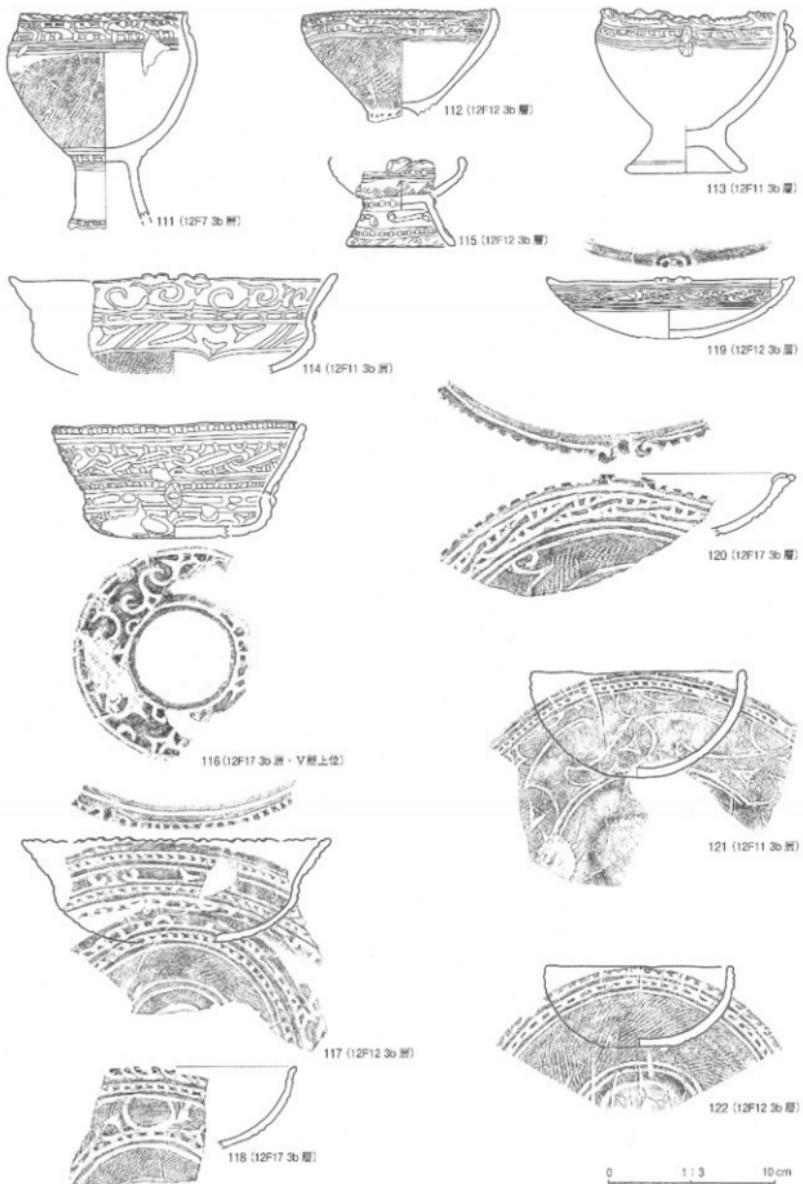


0 1 : 3 10 cm

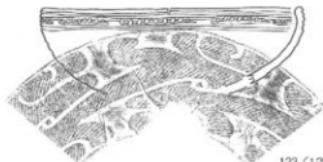
第44図 遺物包含層出土土器 (11)



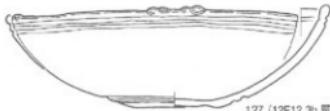
第45図 遺物包含層出土土器 (12)



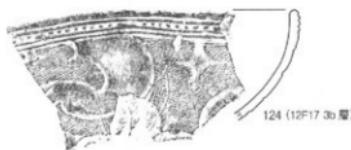
第46図 遺物包含層出土土器 (13)



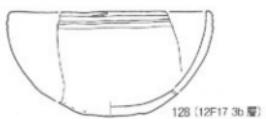
123 (12F22 3a 層下位)
12F13 3b 層



127 (12F12 3b 層)



124 (12F17 3b 層)



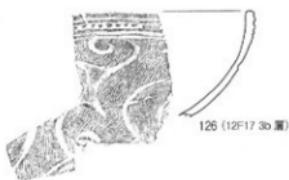
128 (12F17 3b 層)



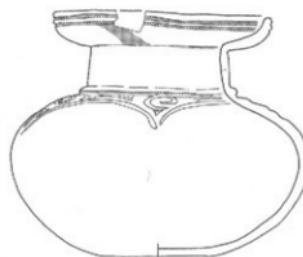
125 (12F17 3b 層)



129 (12F12・12F17 3b 層)



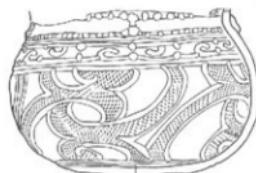
126 (12F17 3b 層)



131 (12F11・12F12 3b 層)



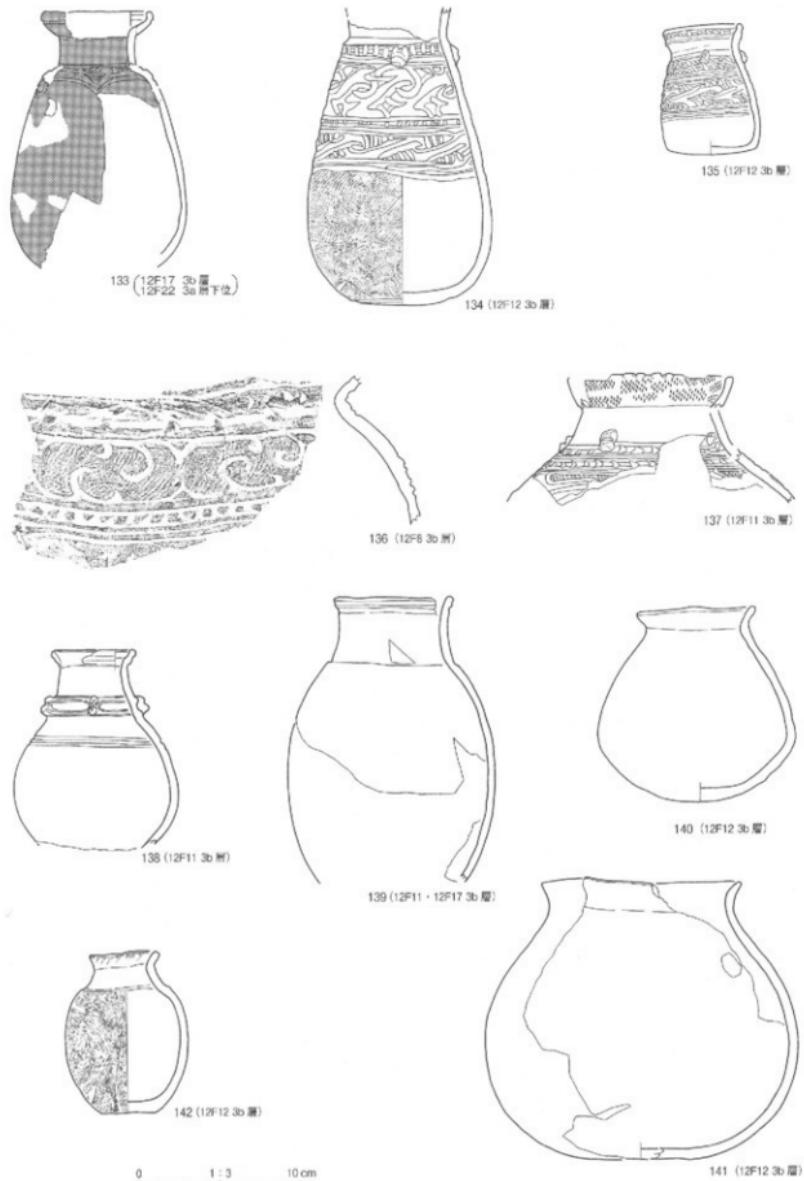
130 (12E7 3b 層)



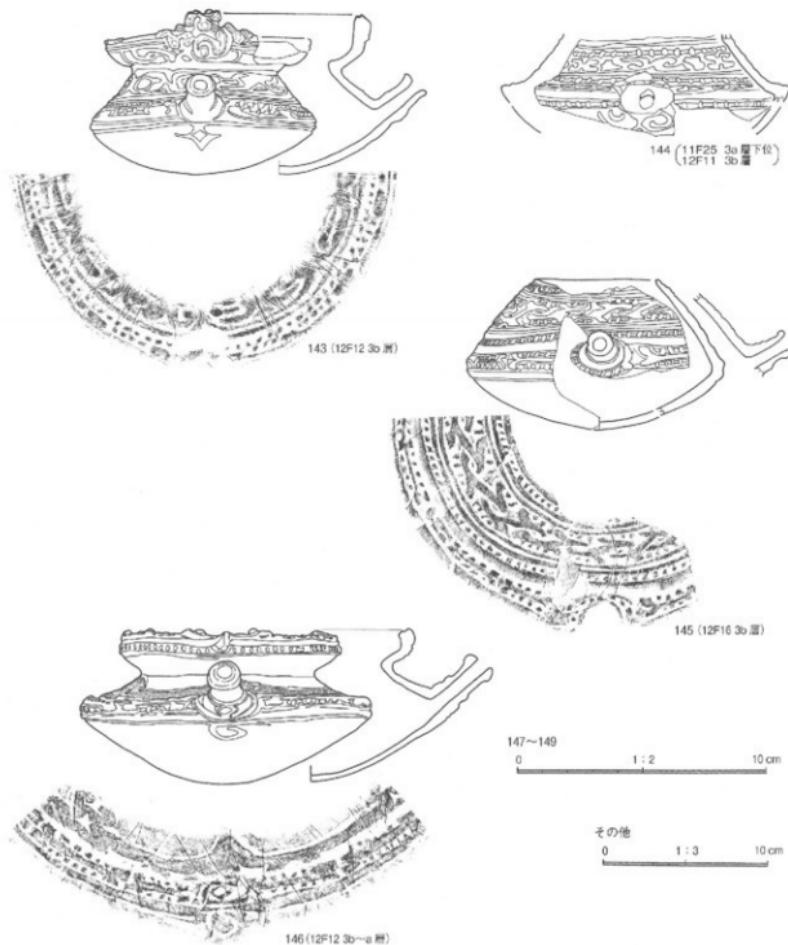
132 (12F12 3b 層)

0 1 : 3 10 cm

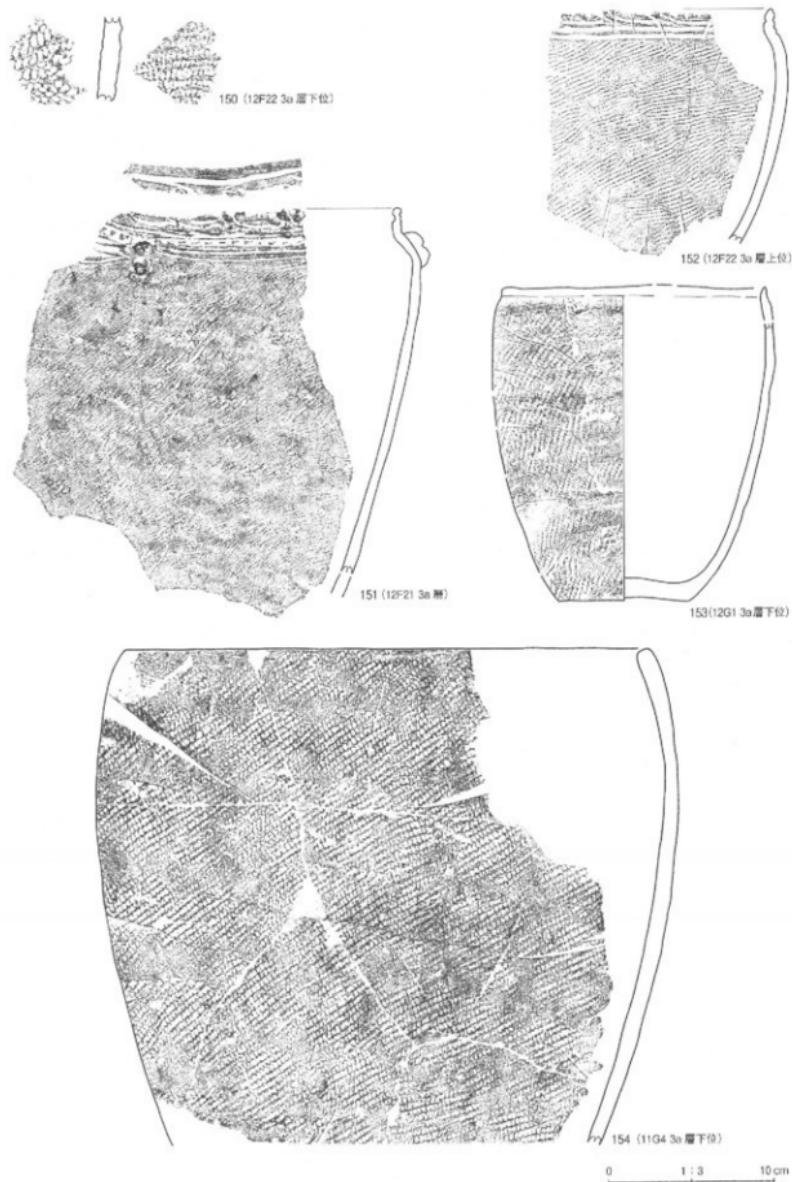
第47図 遺物包含層出土土器 (14)



第48図 遺物包含層出土土器 (15)



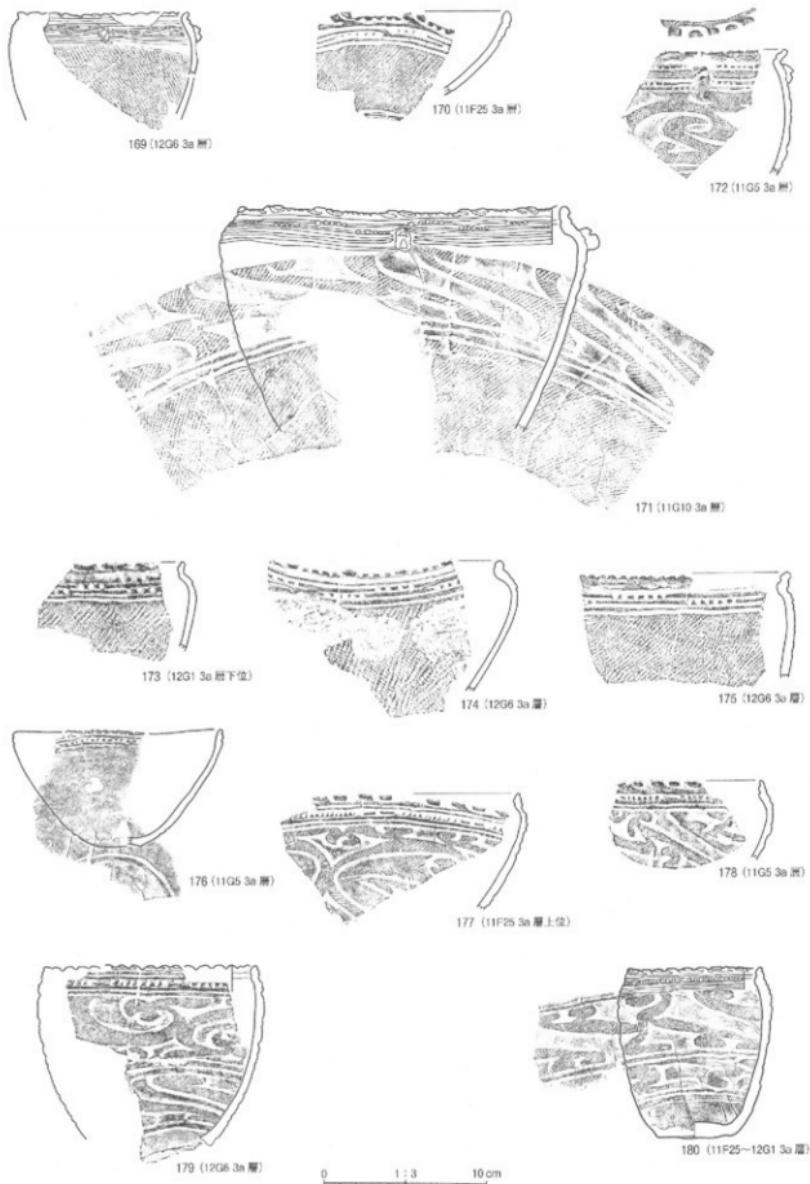
第49図 遺物包含層出土土器 (16)



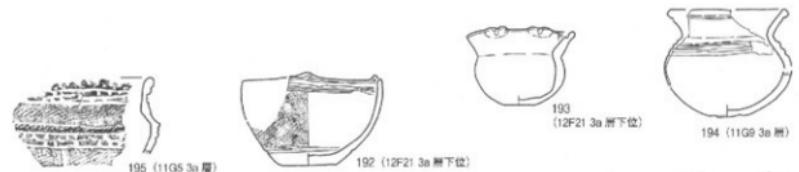
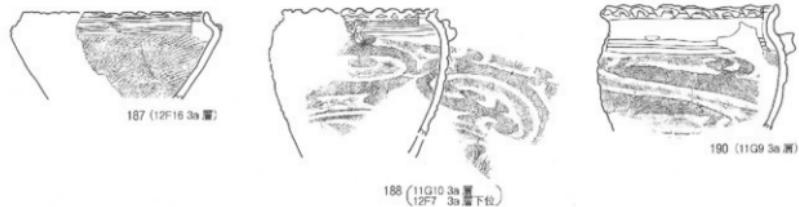
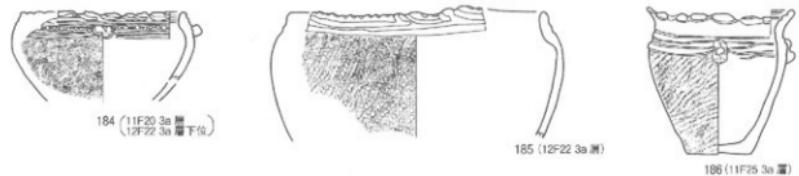
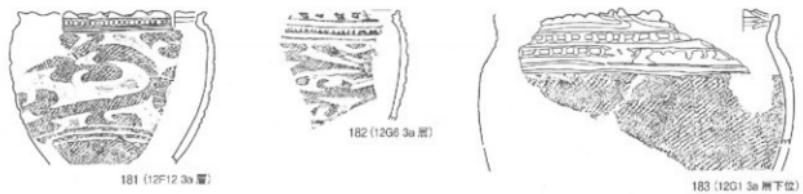
第50図 遺物包含層出土土器 (17)



第51図 遺物包含層出土土器 (18)

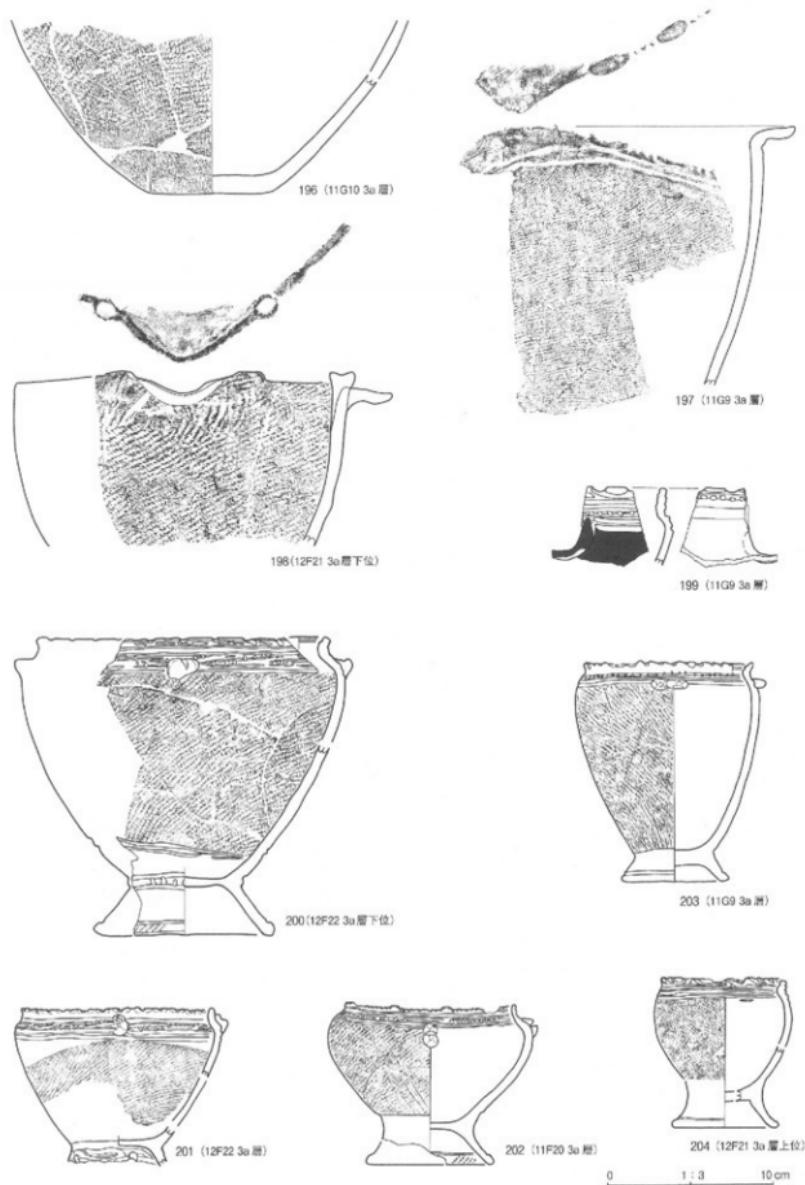


第52図 遺物包含層出土土器 (19)

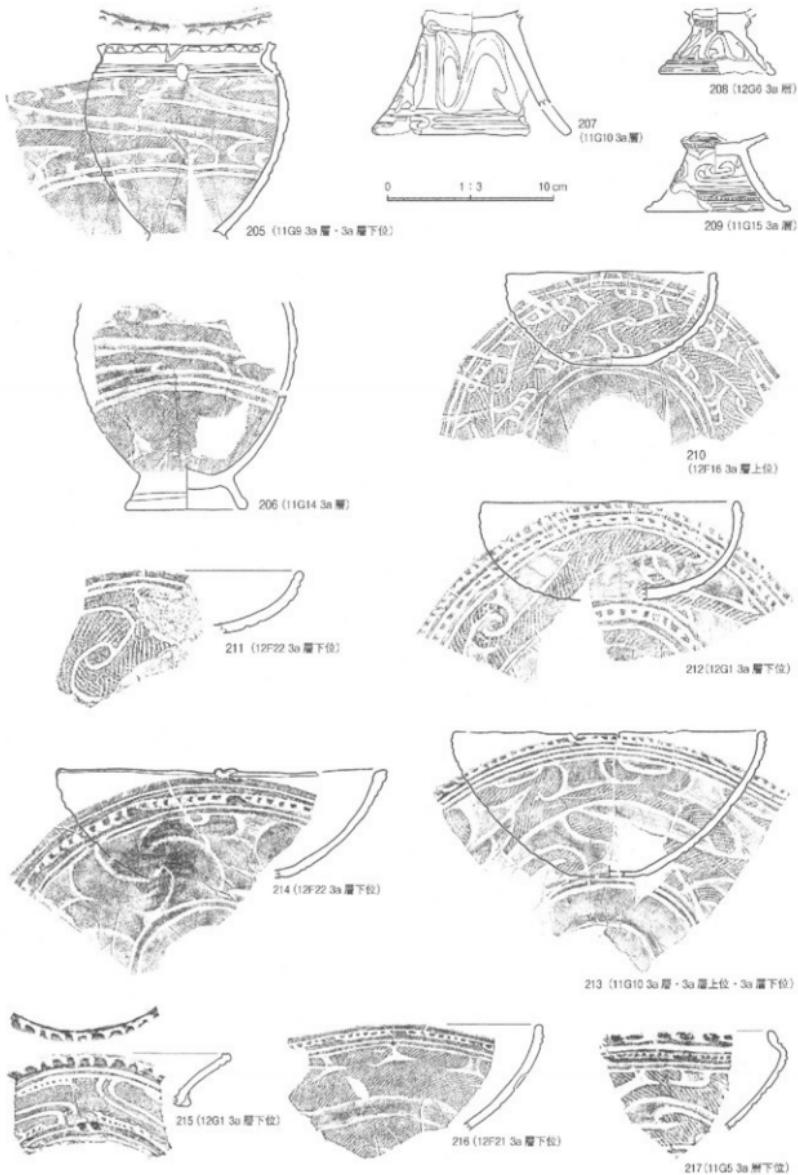


0 1 : 3 10 cm

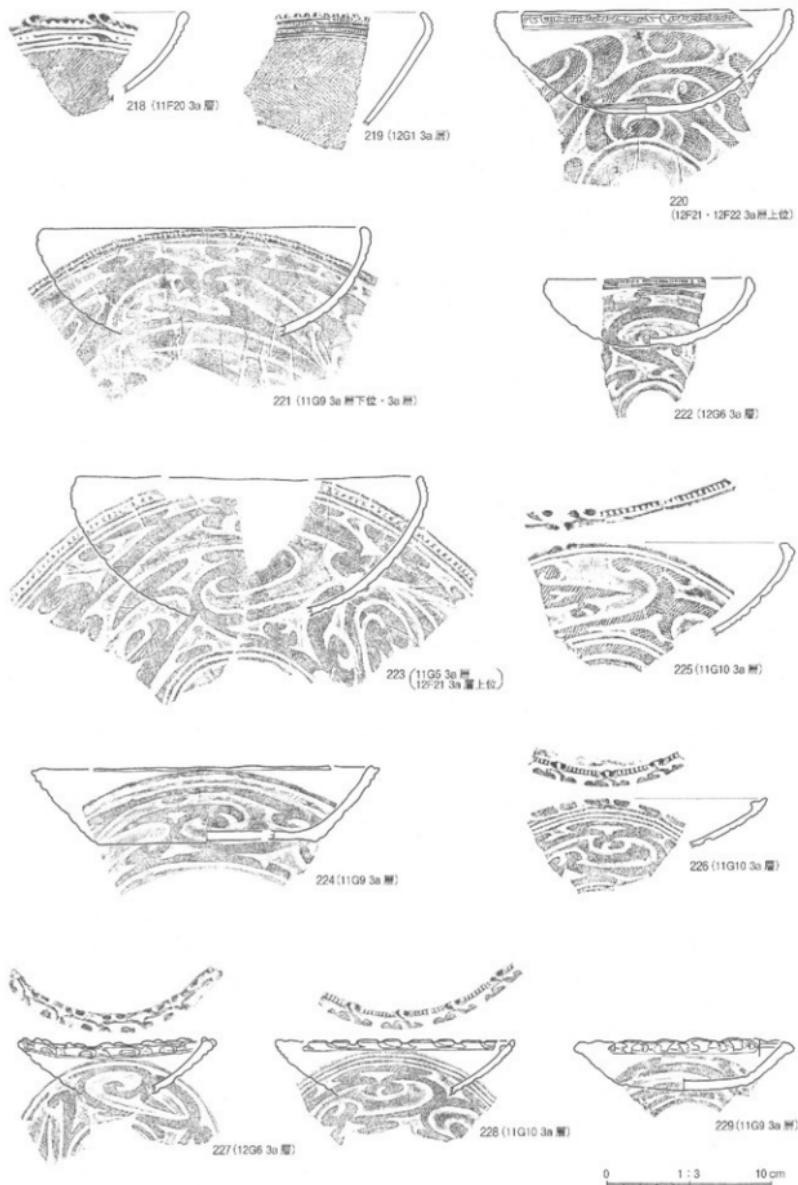
第53図 遺物包含層出土土器 (20)



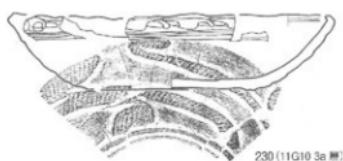
第54図 遺物包含層出土土器 (21)



第55図 遺物包含層出土土器 (22)



第56図 遺物包含層出土土器 (23)



230 (11G10 3a 層)



231 (11G9 3a 層)



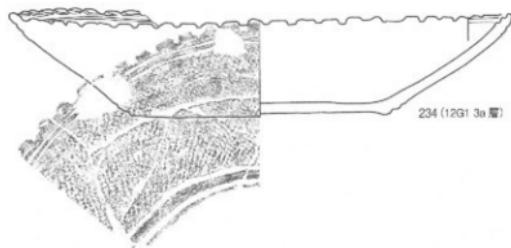
232 (12G1 3a 層)



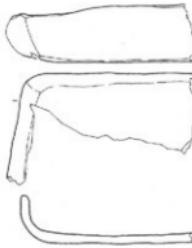
233 (12F22 3a 層下位)



235 (11G14 3a 層下位)



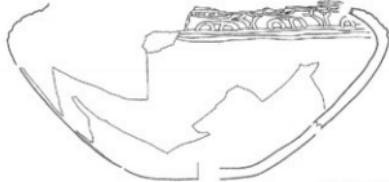
234 (12G1 3a 層)



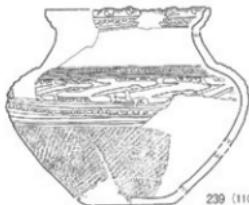
236 (12F21 3a 層下位)



237 (12F21 3a 層下位)



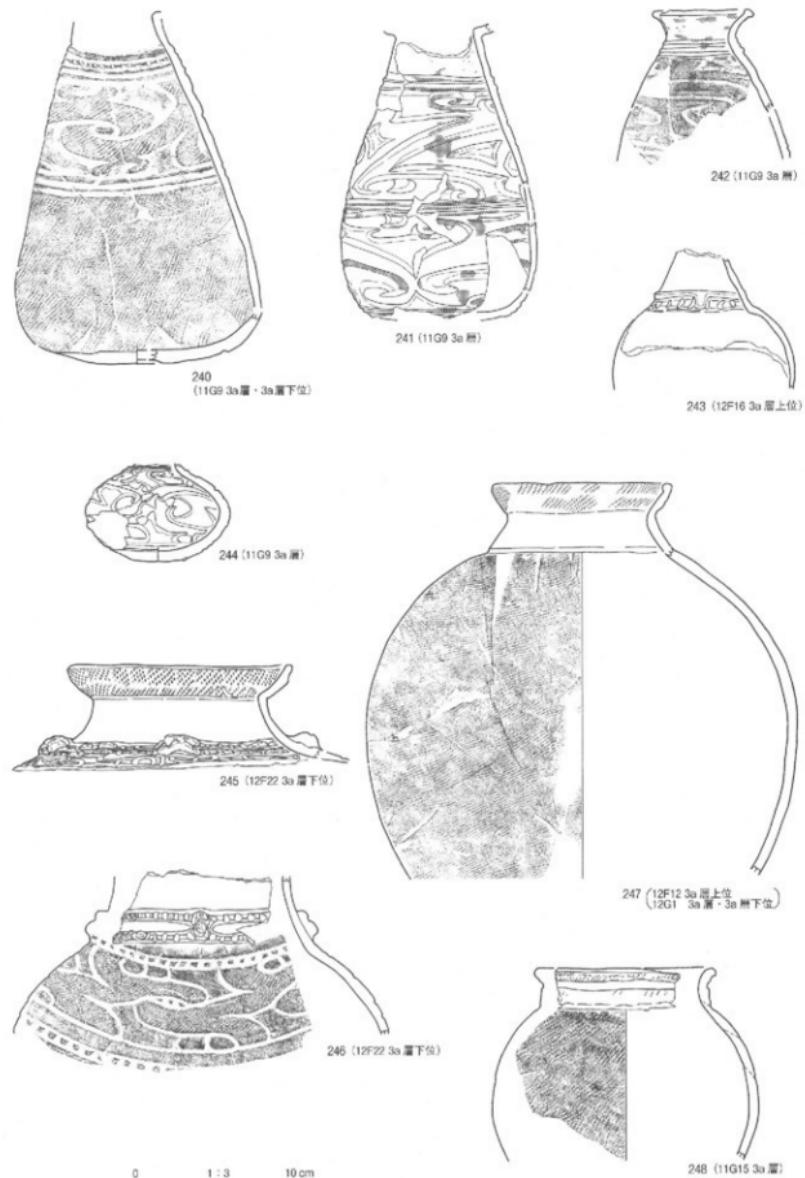
238 (12G1 3a 層下位・3a 層)



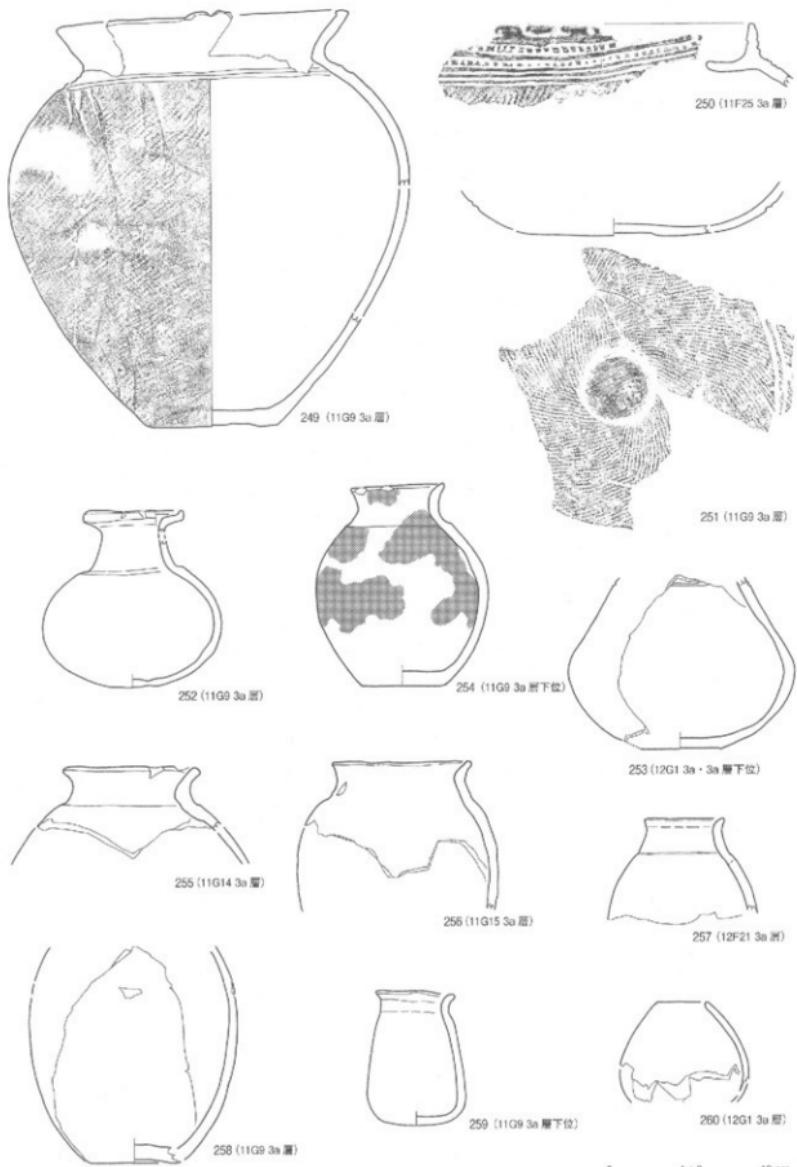
239 (11G5 3a 層下位)

0 1 : 3 10 cm

第57図 遺物包含層出土土器 (24)

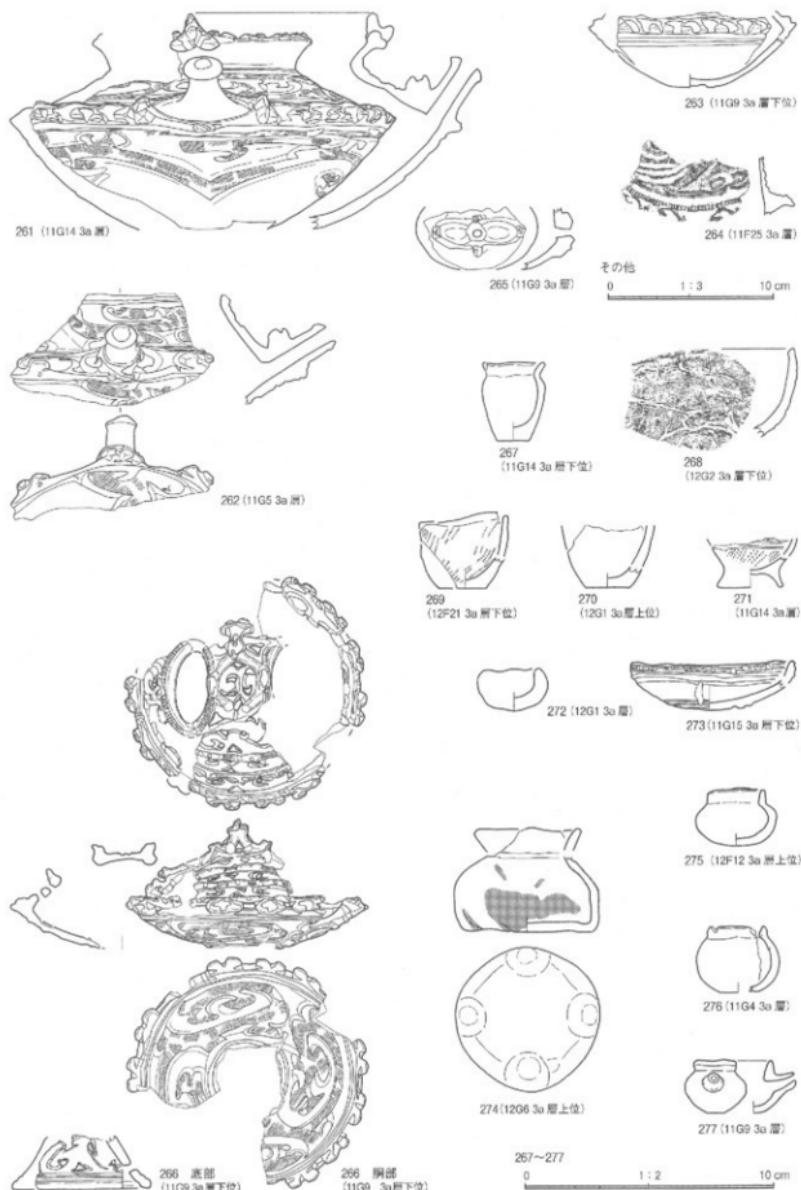


第58図 遺物包含層出土土器 (25)



第59図 遺物包含層出土土器 (26)

0 1 : 3 10 cm

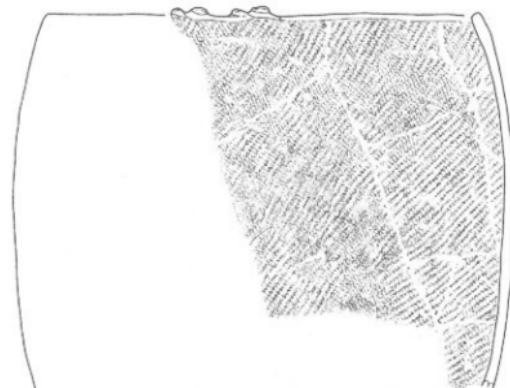


第60図 遺物包含層出土土器 (27)



278 (11G9 2b 層)

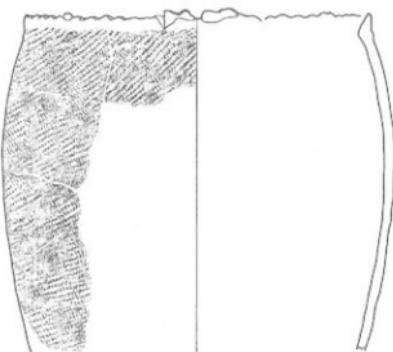
0 1 : 3 10 cm



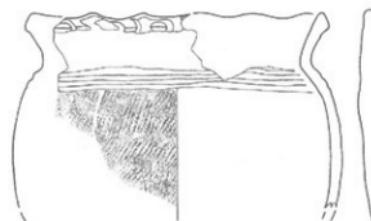
279 (12G1 2b 層)



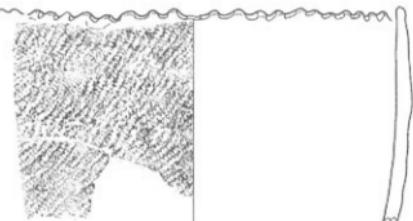
280 (11G10 2b 層)



281 (12G6 2b 層)

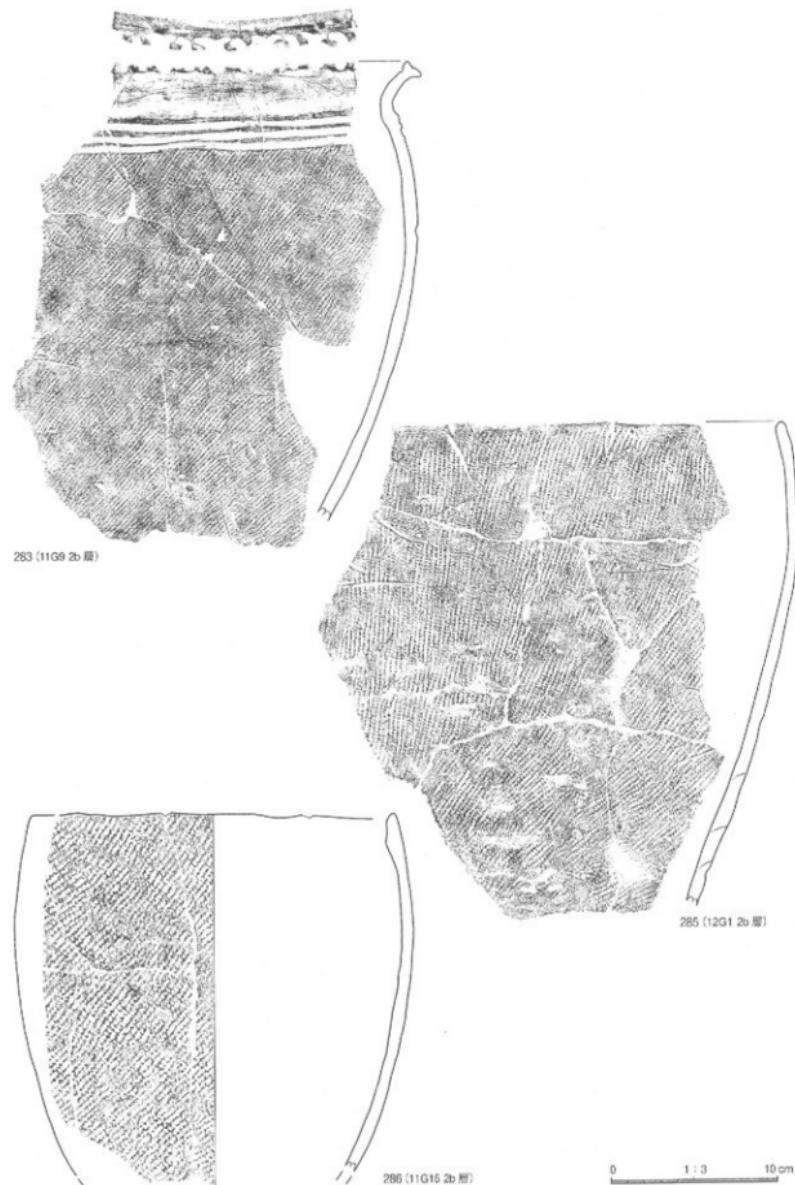


284 (11G15 2b 層)

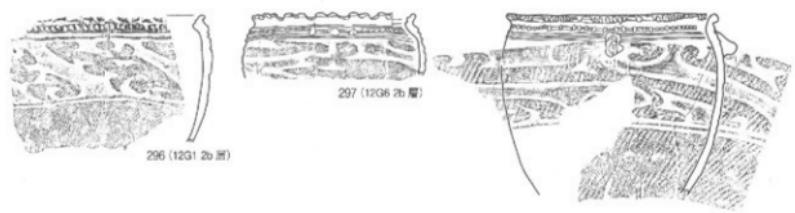
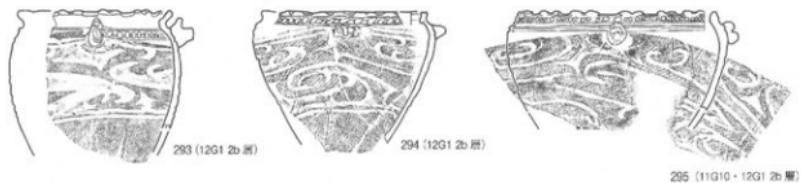
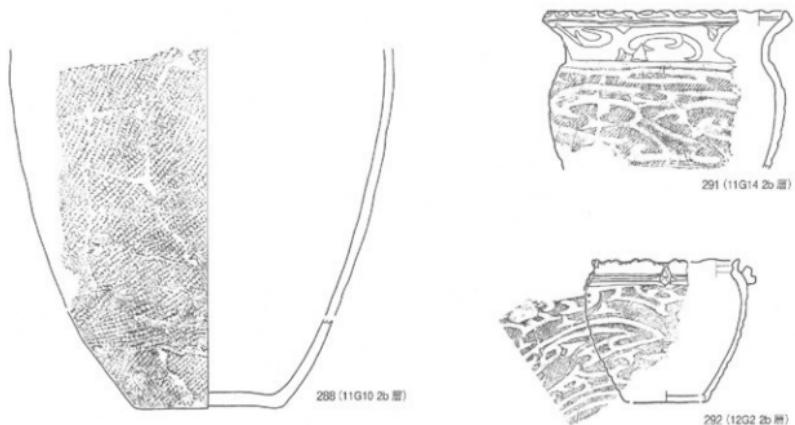


282 (11G15 2b 層)

第61図 遺物包含層出土土器 (28)



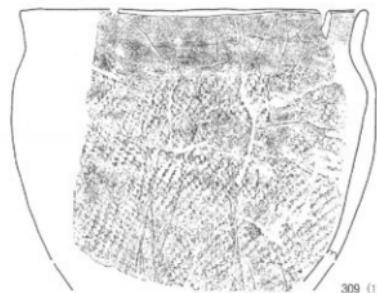
第62図 遺物包含層出土土器 (29)



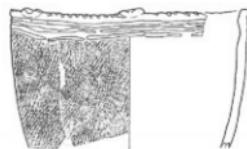
第63図 遺物包含層出土土器 (30)



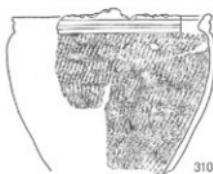
第64図 遺物包含層出土土器 (31)



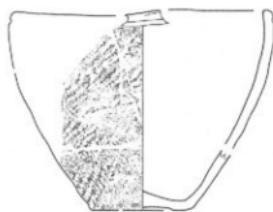
309 (11G5 2b層)



311 (11G15 2b層)



310 (11G10 2b層)



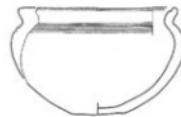
312 (11G9 2b層)



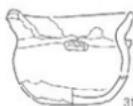
313 (11G15 2b層)



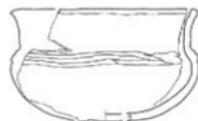
314 (11G10 2b層)



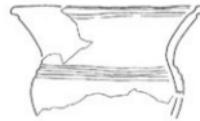
315 (11G10 2b層)



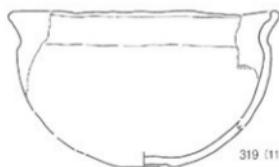
316 (11G14 2b層)



317 (11G15 2b層)



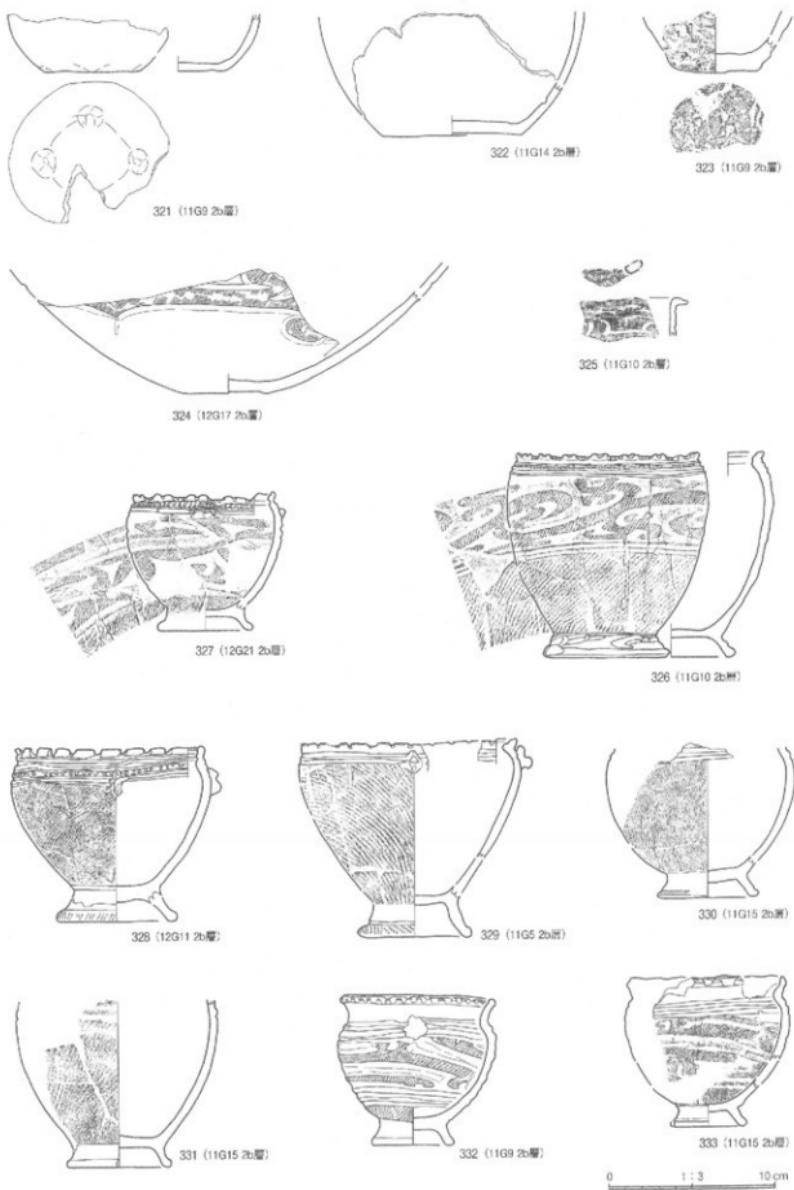
318 (11G8 2b層)



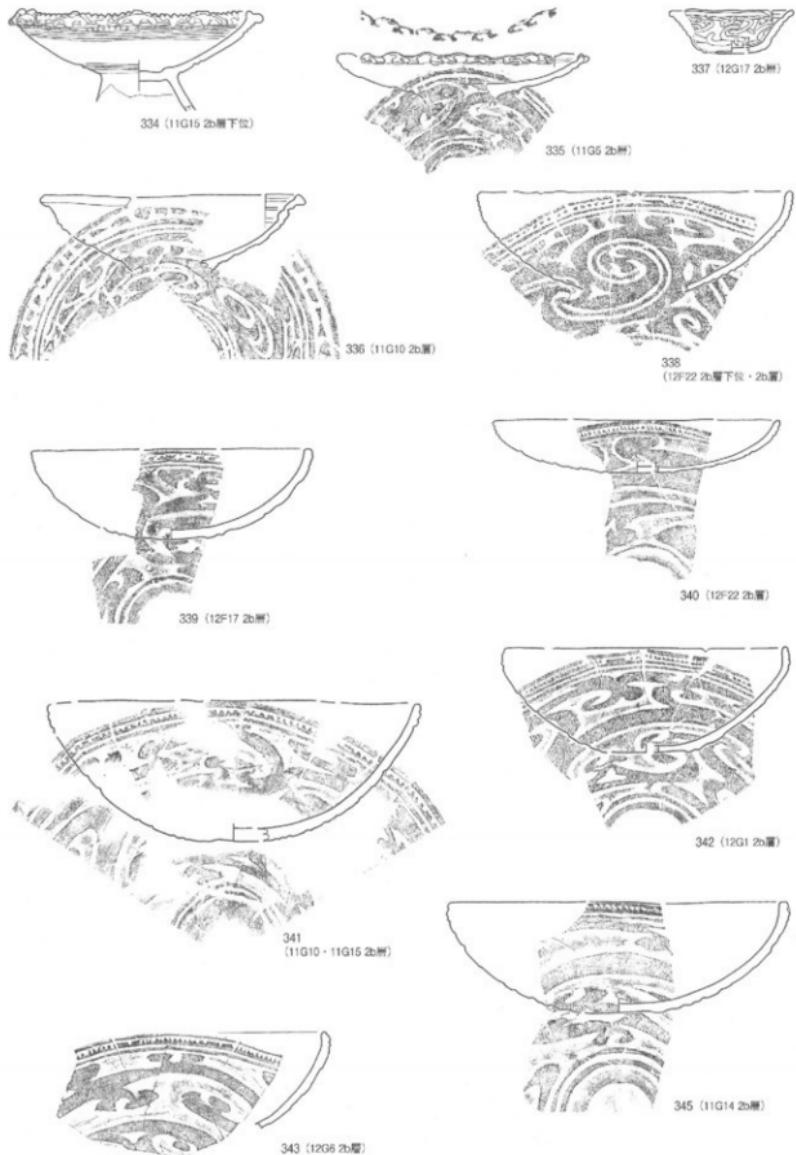
319 (11G15 2b層)

320 (11G15 2b層)
0 1:3 10cm

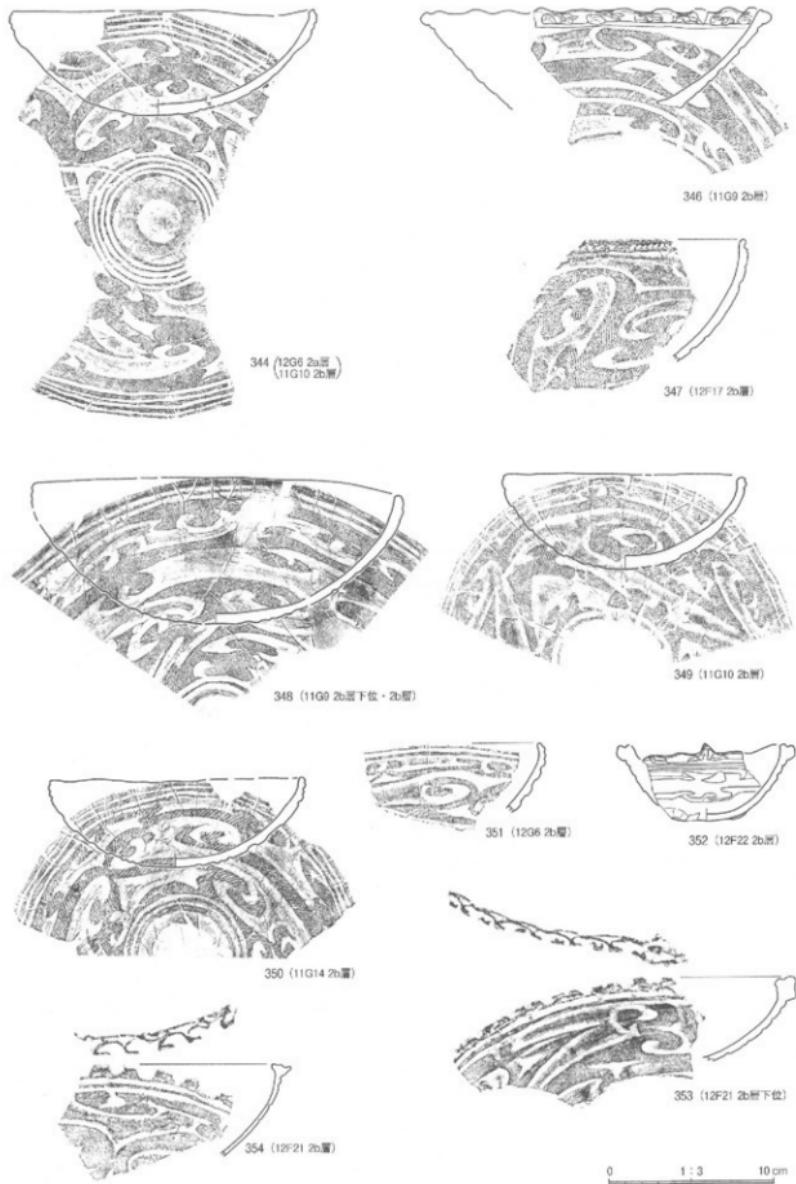
第65図 遺物包含層出土土器 (32)



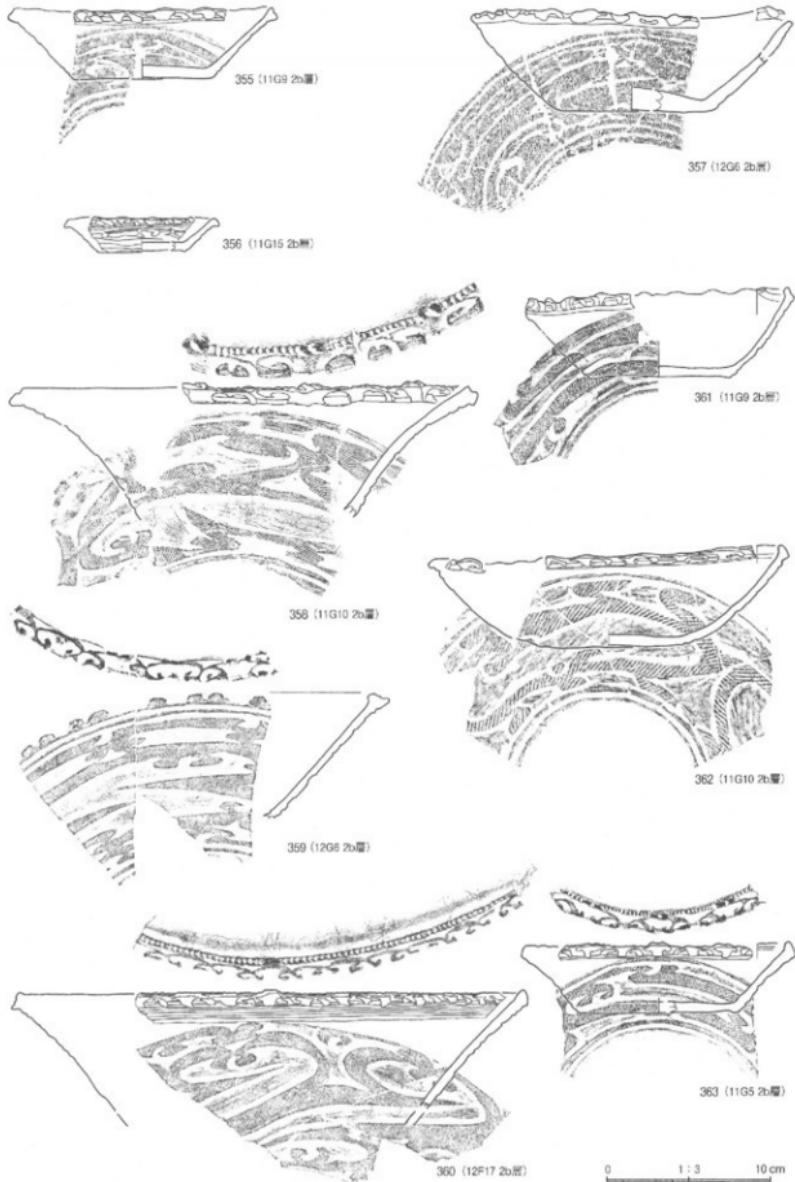
第66図 遺物包含層出土土器 (33)



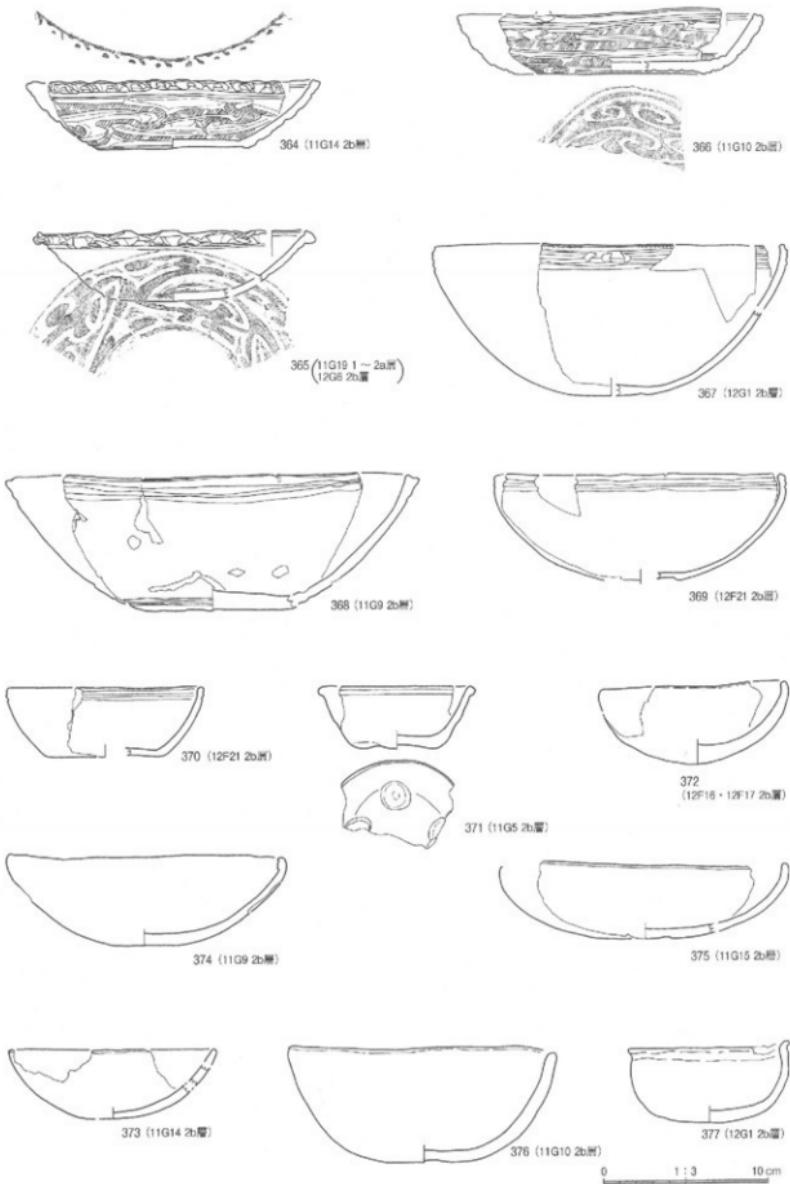
第67図 遺物包含層出土土器 (34)



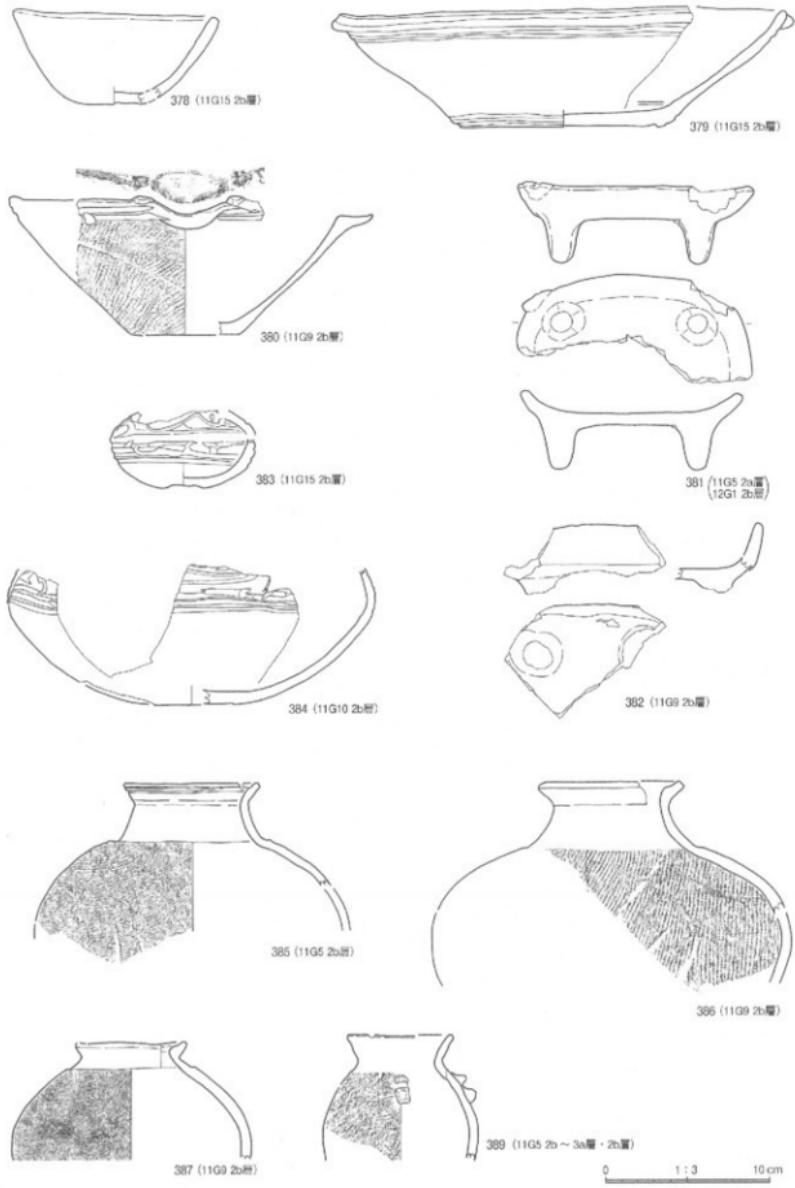
第68図 遺物包含層出土土器 (35)



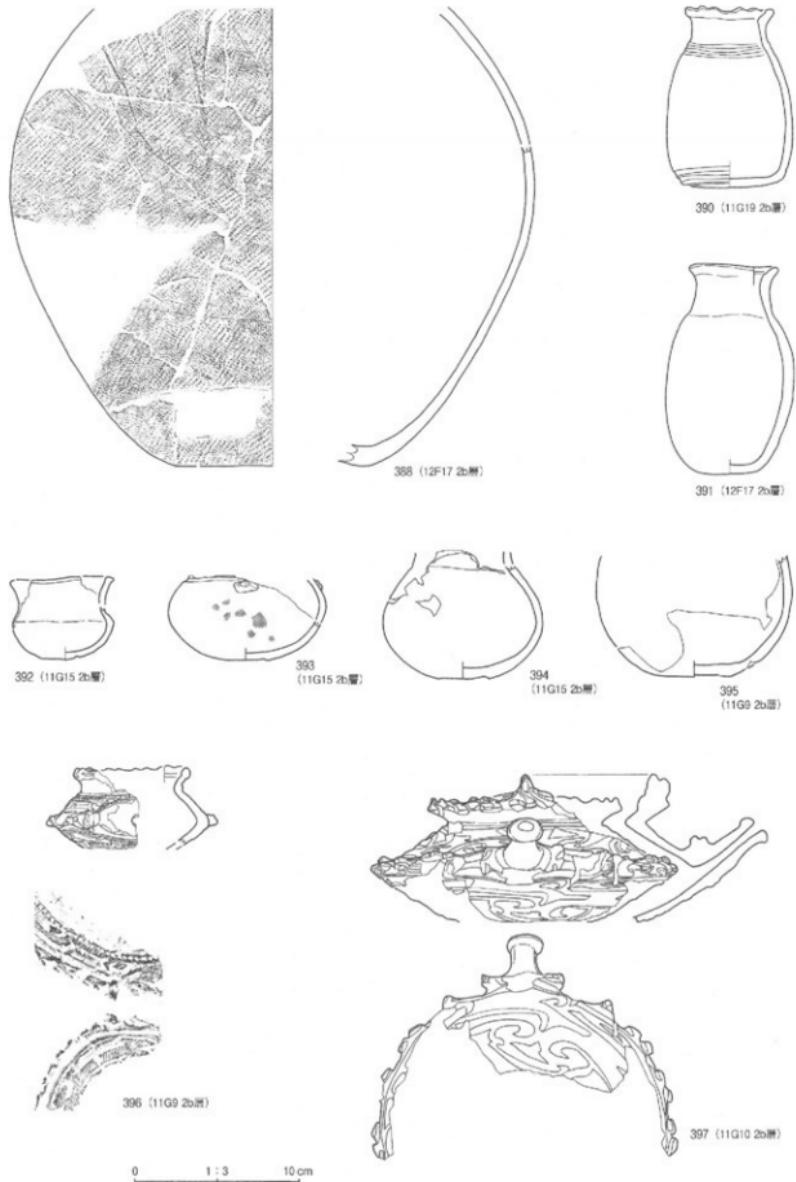
第69図 遺物包含層出土土器 (36)



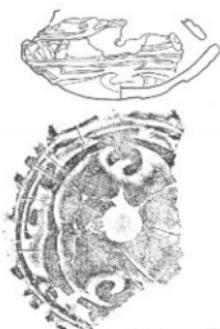
第70図 遺物包含層出土土器 (37)



第71図 遺物包含層出土土器 (38)



第72図 遺物包含層出土土器 (39)



398 (11G9 2b層)



399 (11G9 - 12G1 2b層)

0 1 : 3 10 cm
その他

0 1 : 2 10 cm
400 ~ 417



400 (12G1 2b層)



401 (11G10 2b層)



402 (11G15 2b層)



403 (11G15 2b層)



404 (11G5 2b層)



405 (11G14 2b層)



406 (12G6 2b層)



407 (11F25 2b層)



408 (11G5 2b層)



411 (11G5 2b層)



412 (11G5 2b層)



409 (12G2 2b層)



410 (11G10 2b層)



413 (11G15 2b層)



414 (12G1 2b層)



415 (12F16 2b層下位)

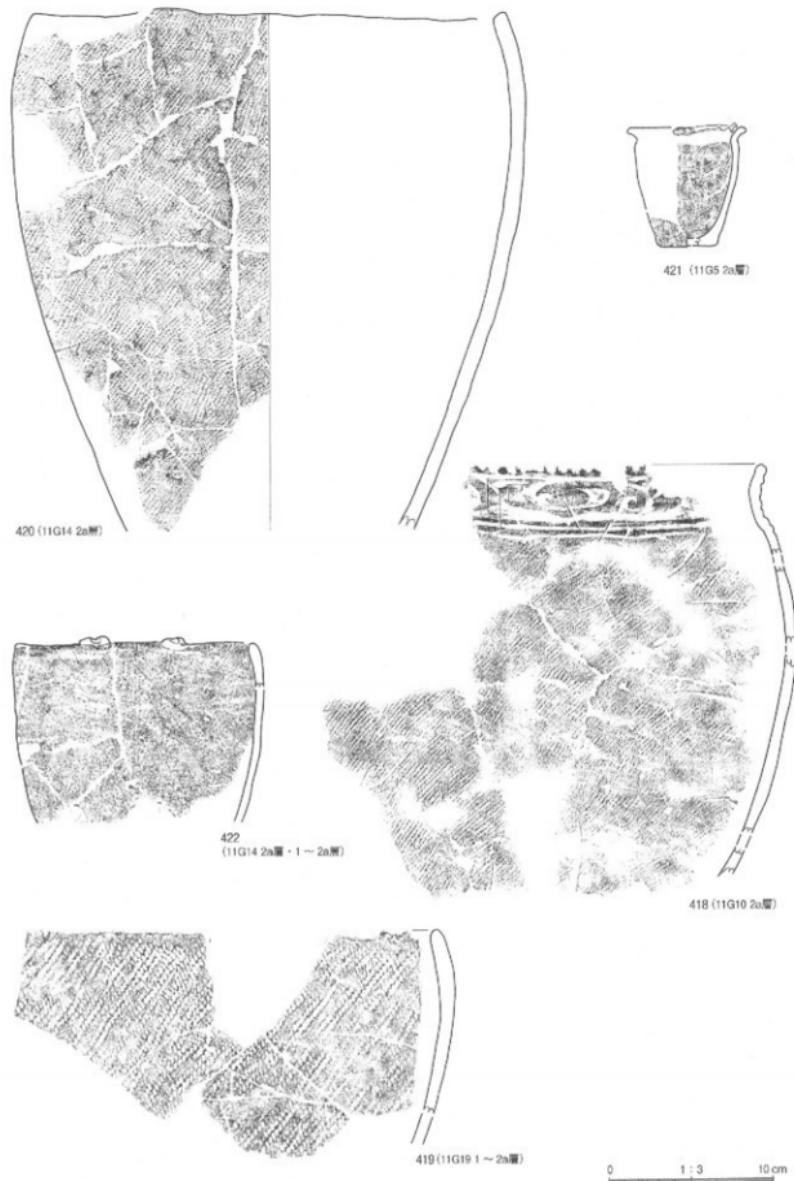


416 (12F17 2b層)

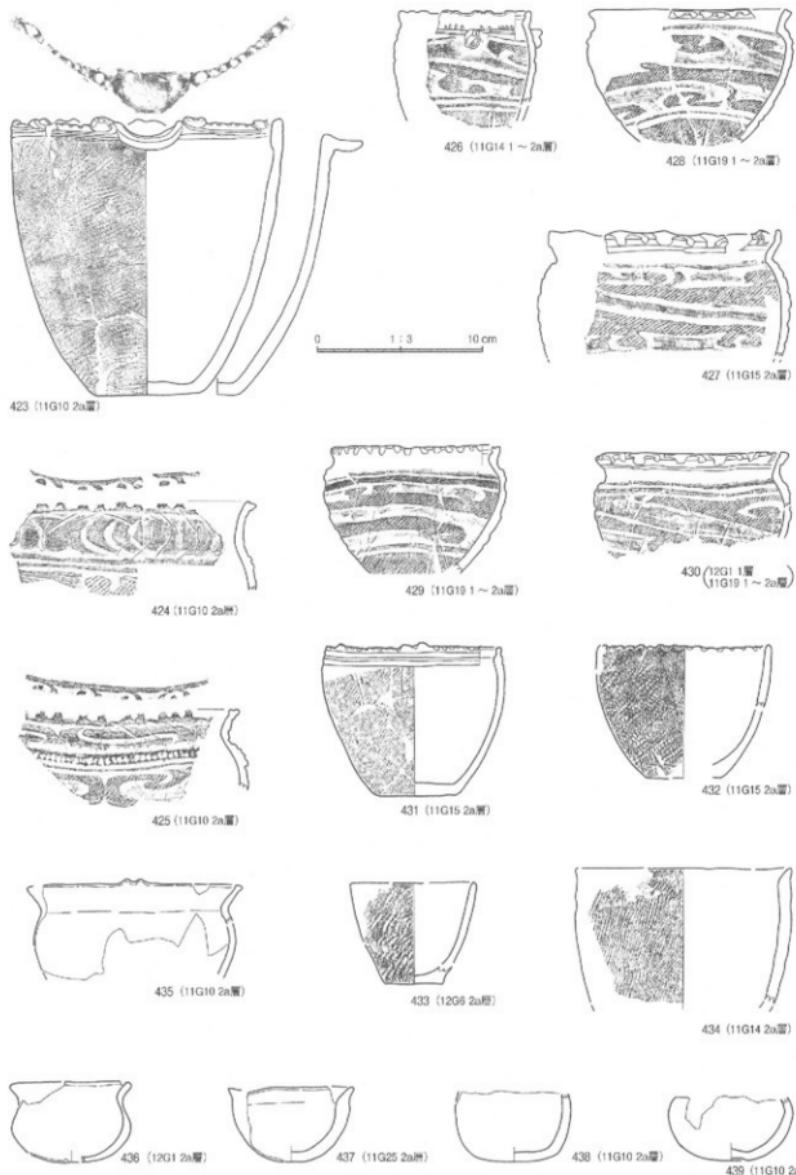


417 (12F17 2b層)

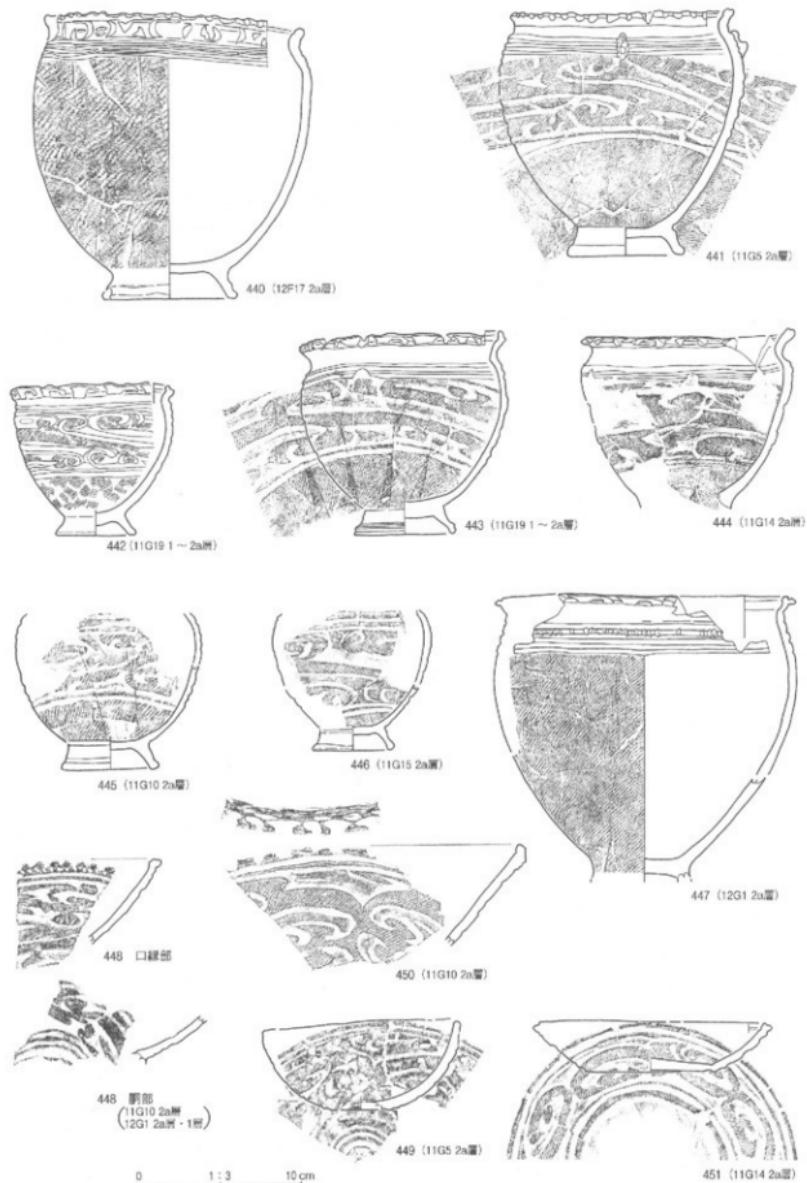
第73図 遺物包含層出土土器 (40)



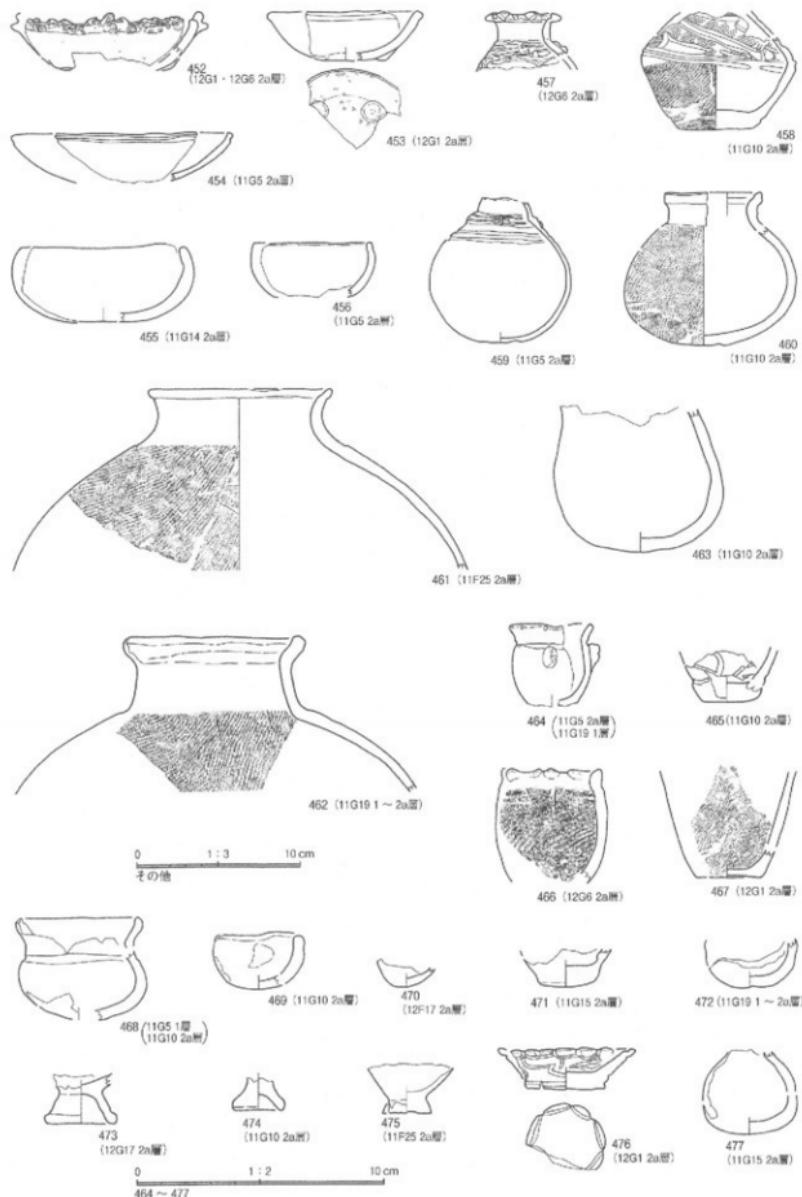
第74図 遺物包含層出土土器 (41)



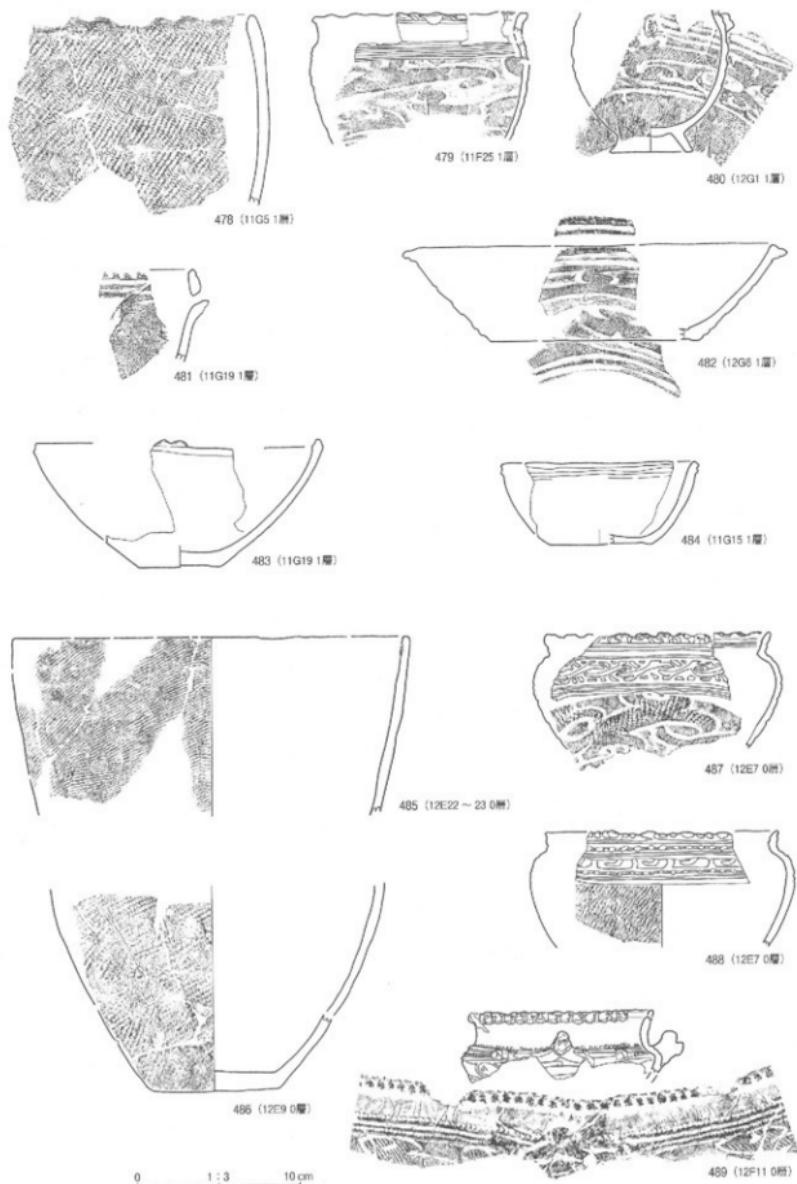
第75図 遺物包含層出土土器 (42)



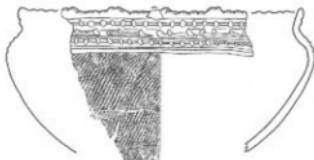
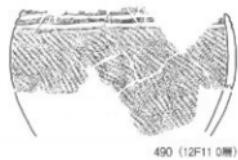
第76図 遺物包含層出土土器 (43)



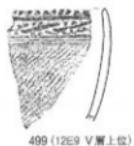
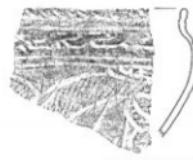
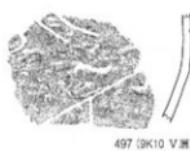
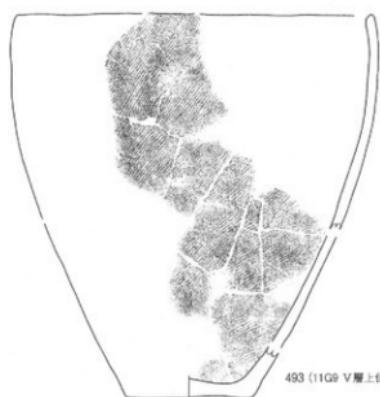
第77図 遺物包含層出土土器 (44)



第78図 遺物包含層出土土器 (45)



遺構外



0 1:3 10 cm

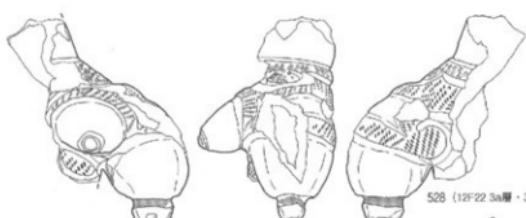
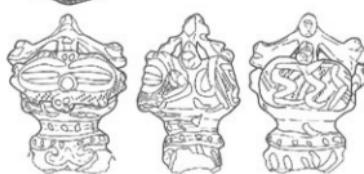
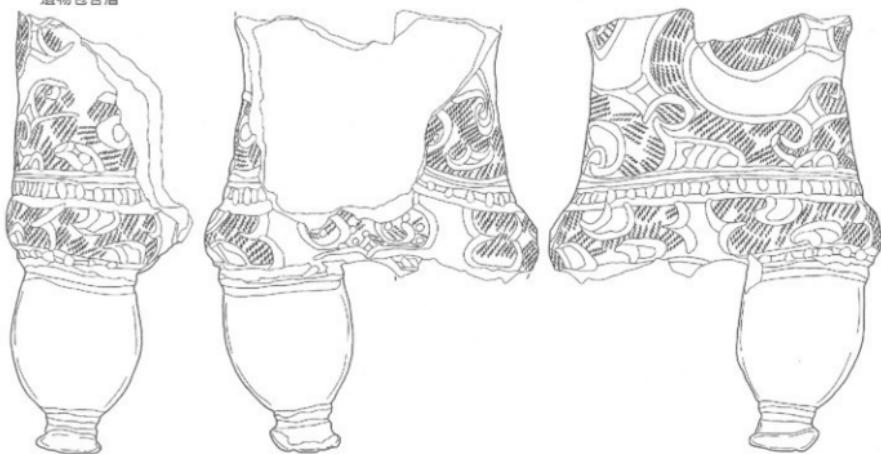
第79図 遺物包含層出土土器 (46)、遺構外出土土器 (1)



第80図 遺構外出土土器 (2)

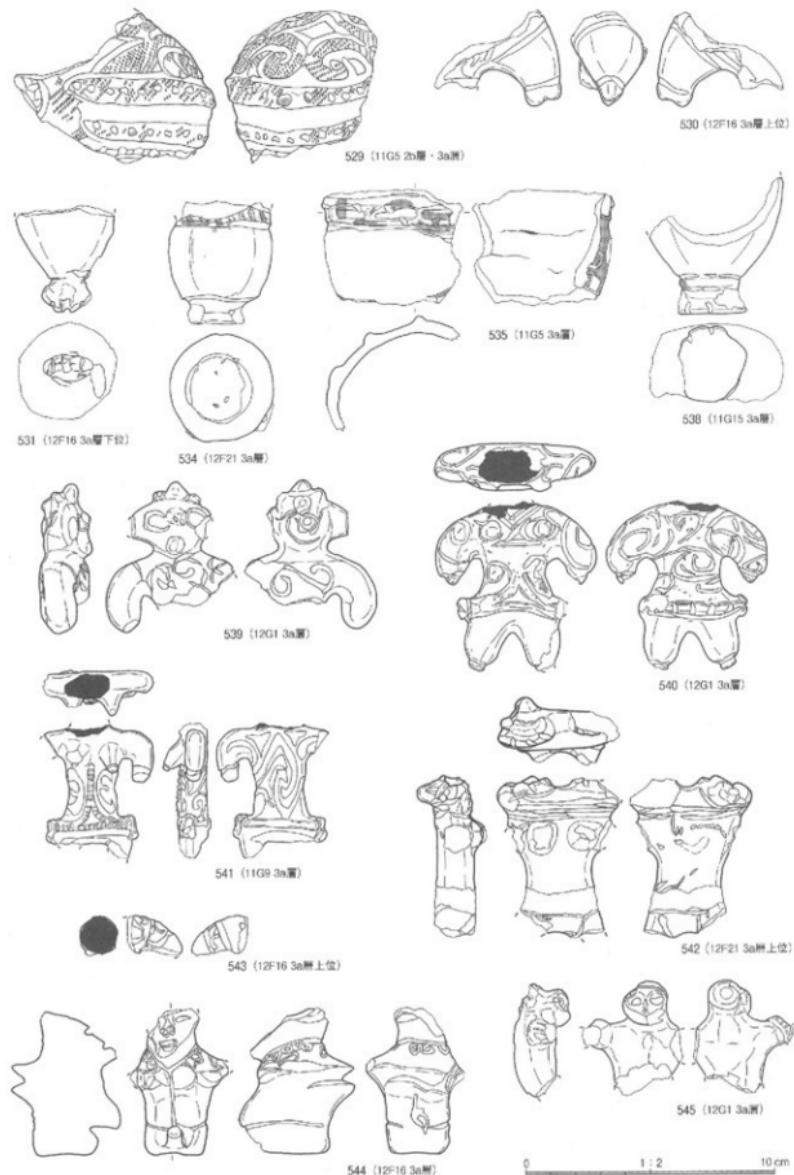


遺物包含層



0 1:2 10cm

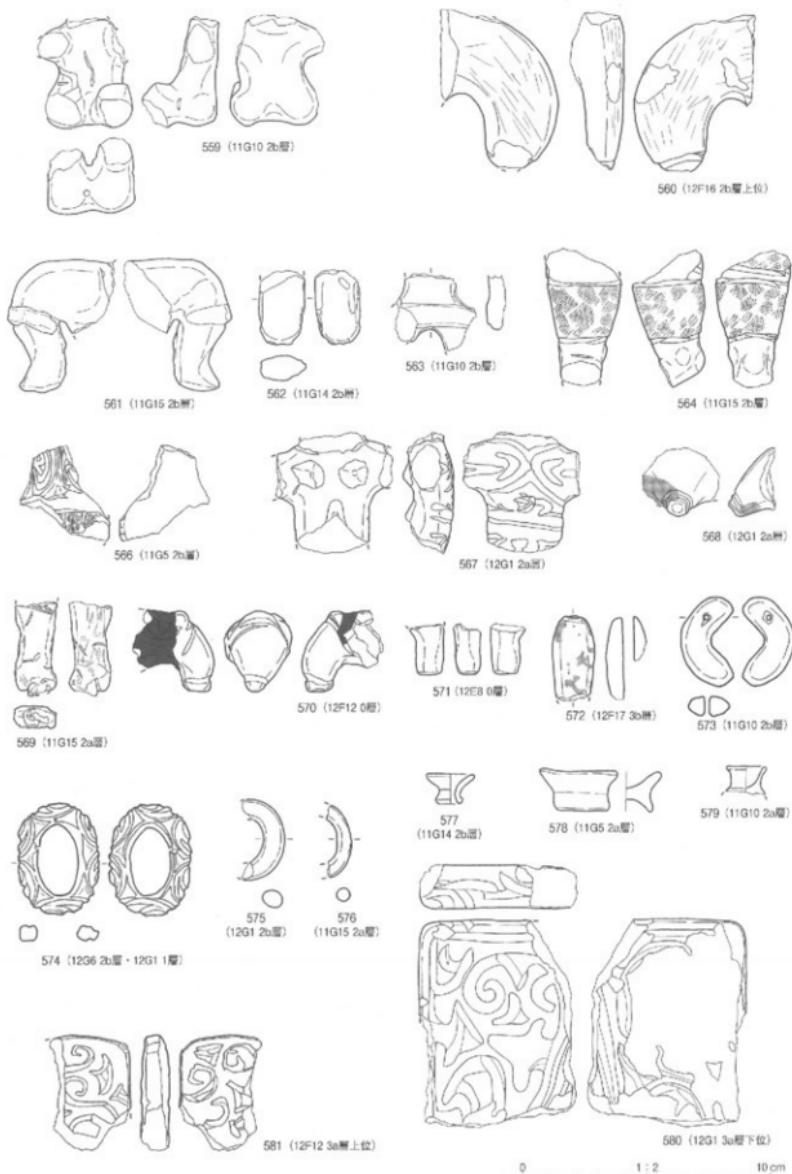
第81図 土坑・遺物包含層出土土製品（1）



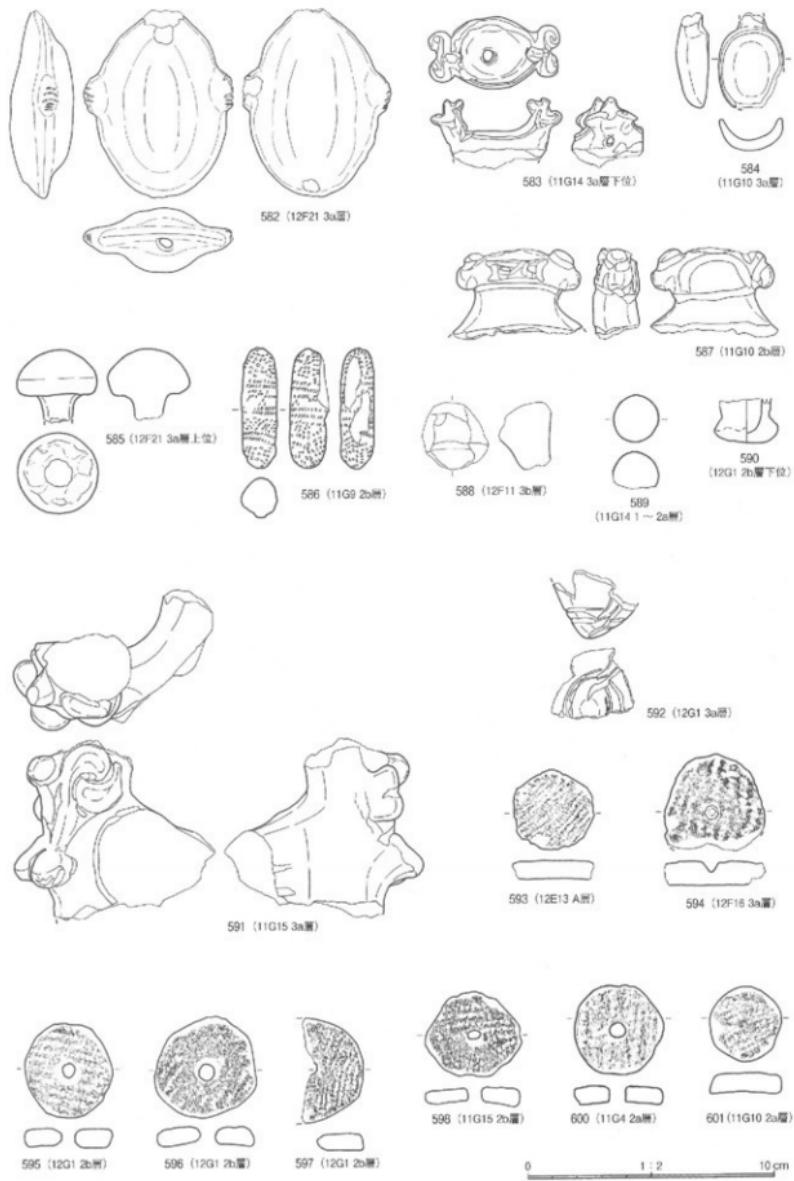
第82図 遺物包含層出土土製品（2）



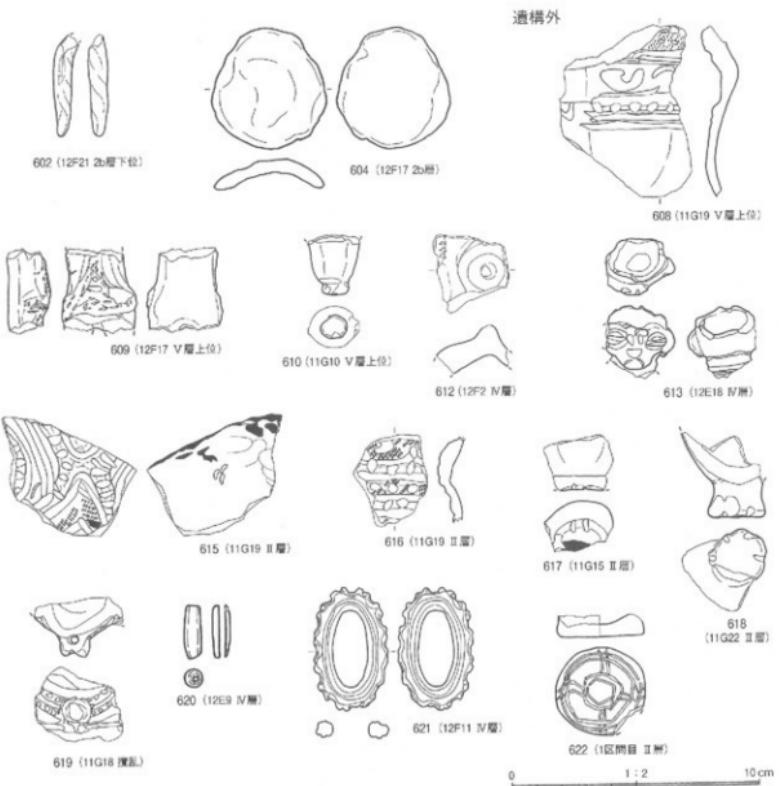
第83図 遺物包含層出土土製品（3）



第84図 遺物包含層出土土製品（4）

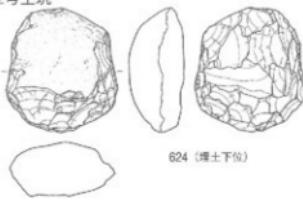


第85図 遺物包含層出土土製品（5）

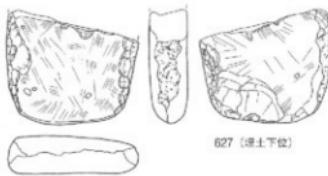


第86図 遺物包含層出土土製品（6）、遺構外出土土製品

2号土坑



624 (埋土下位)



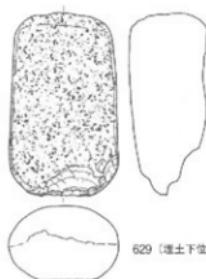
627 (埋土下位)



628 (埋土上位)

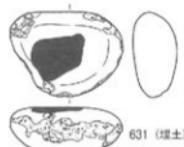


630 (埋土下位)

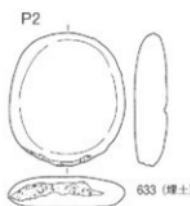


629 (埋土下位)

3号土坑

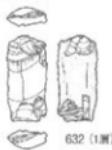


631 (埋土)



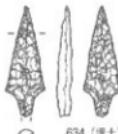
633 (埋土)

4号土坑

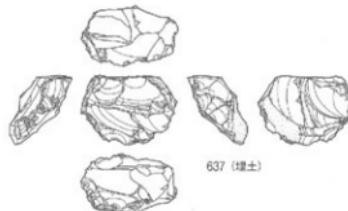


632 (1層)

1号溝



634 (埋土)

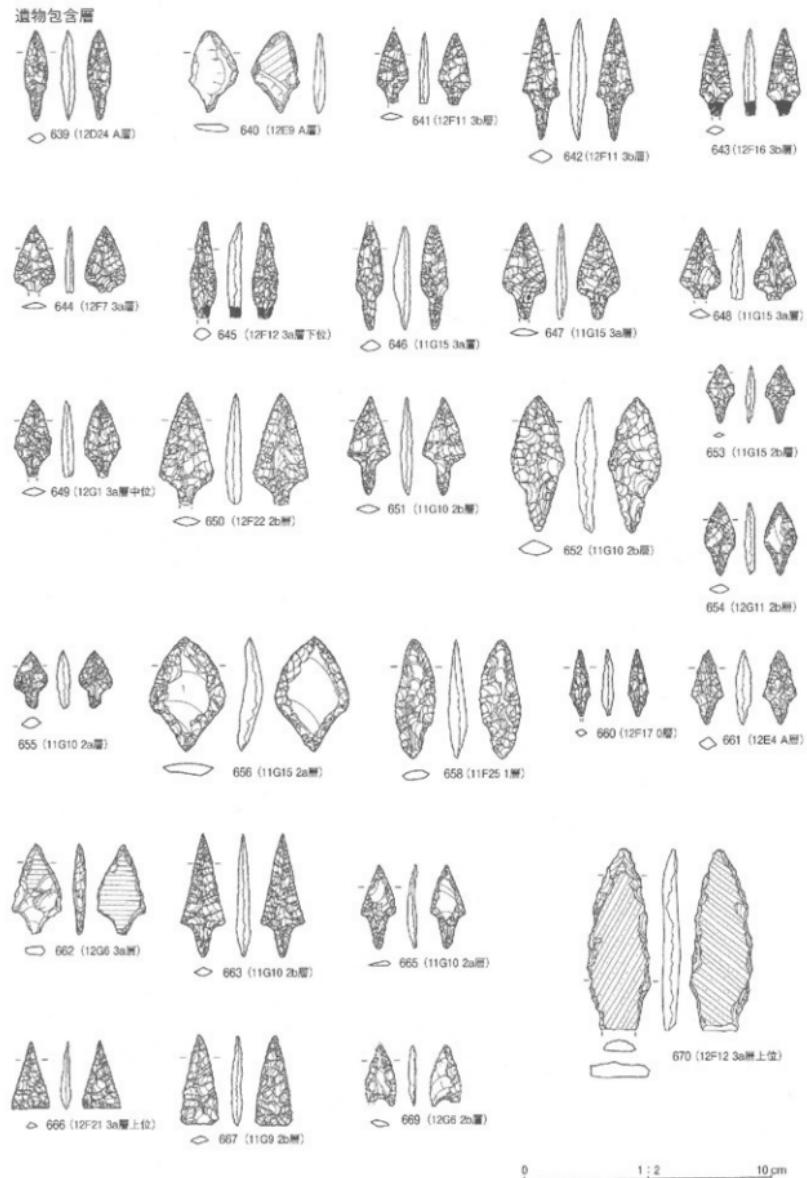


637 (埋土)

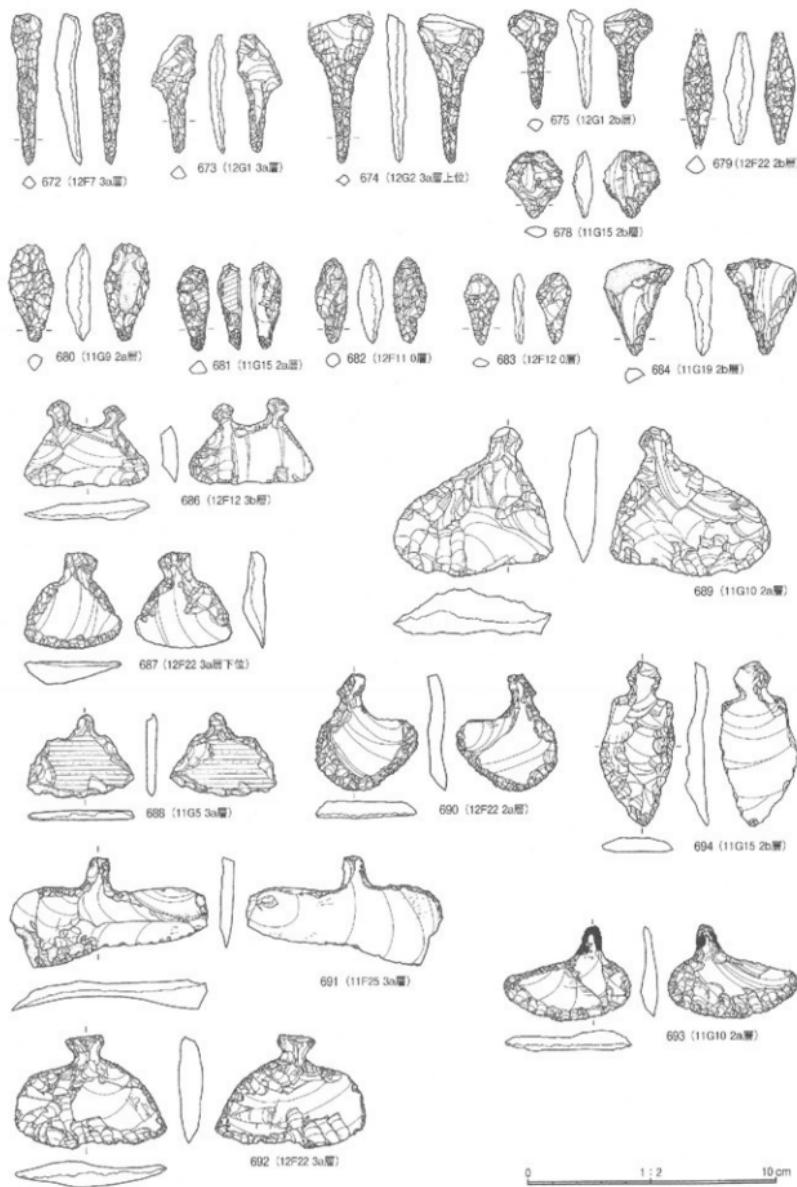
0 1:3 10cm
その他

0 1:2 10cm
624・632・634・637

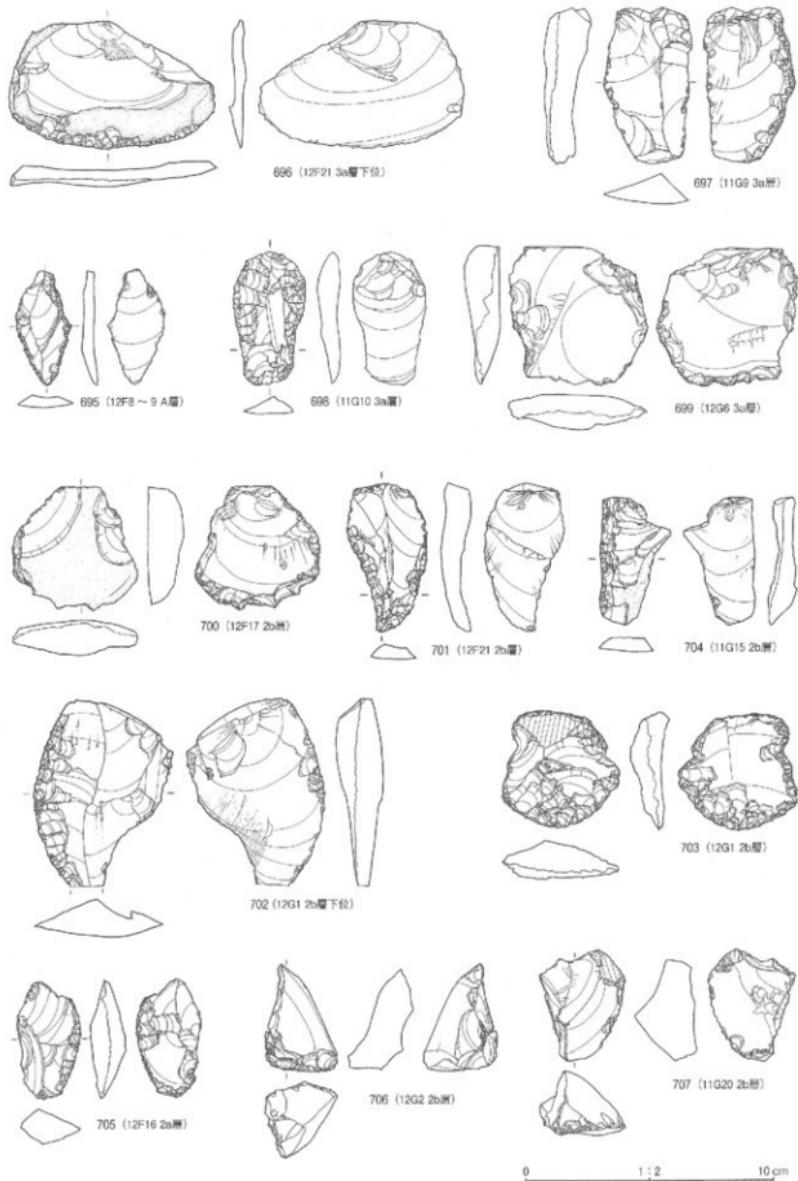
第87図 土坑・柱穴状土坑・溝出土石器



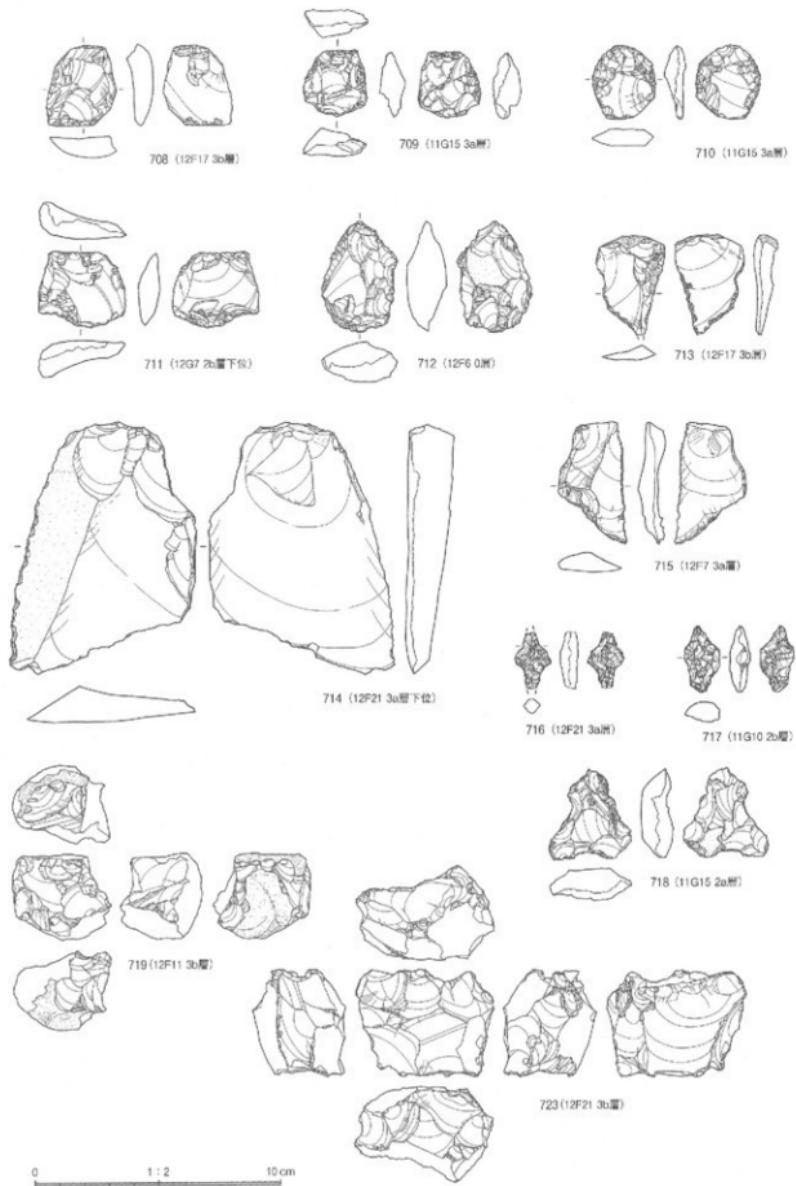
第88図 遺物包含層出土石器（1）



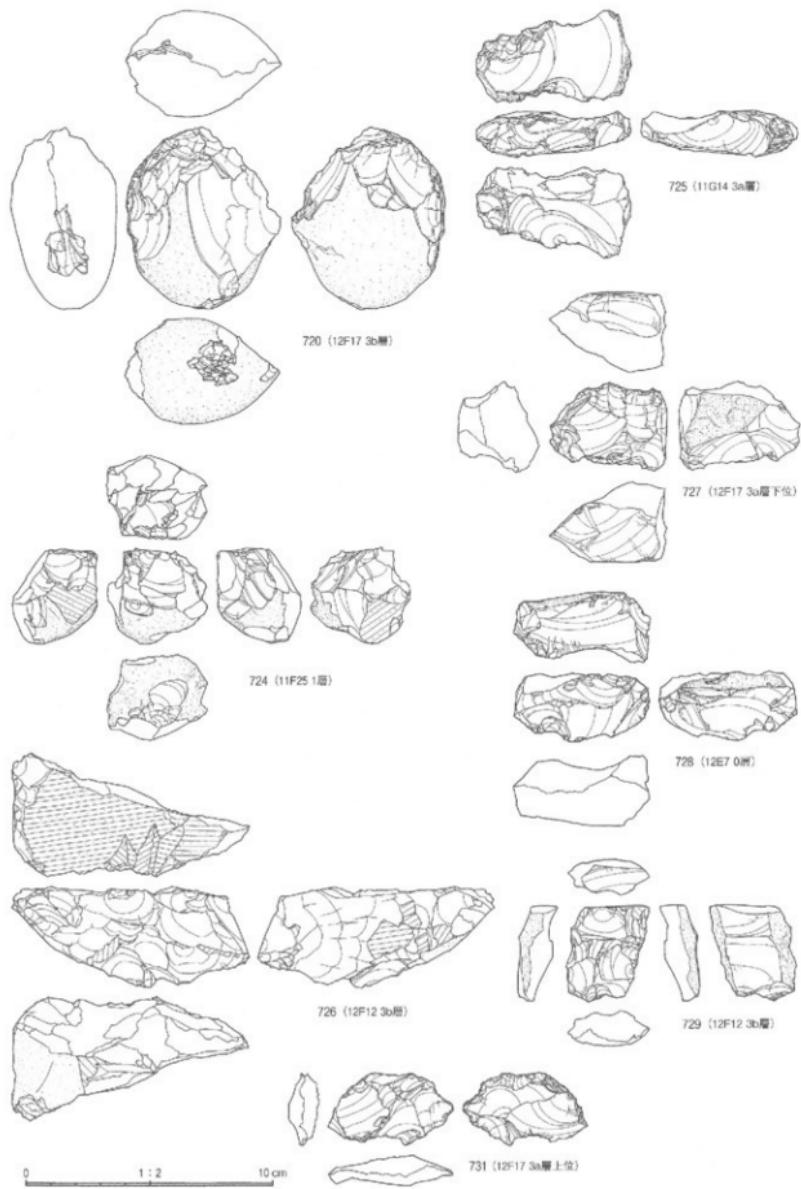
第89図 遺物包含層出土石器（2）



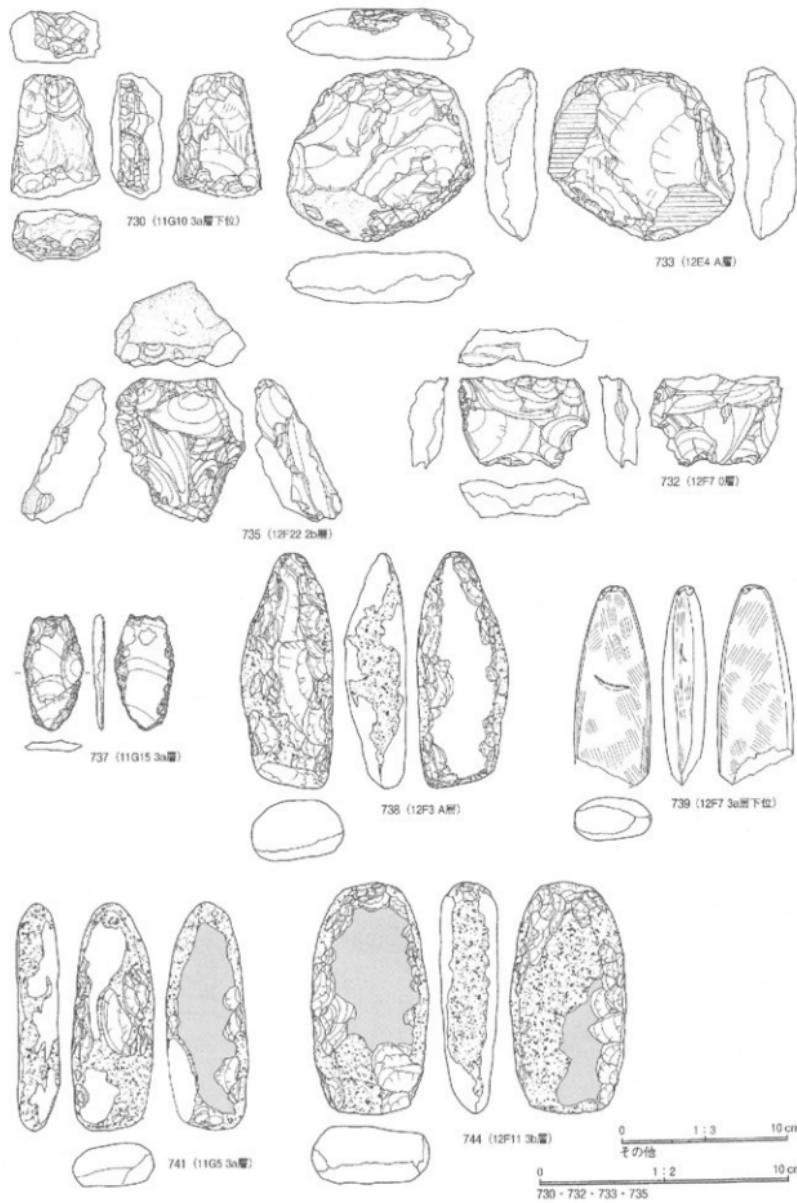
第90図 遺物包含層出土石器（3）



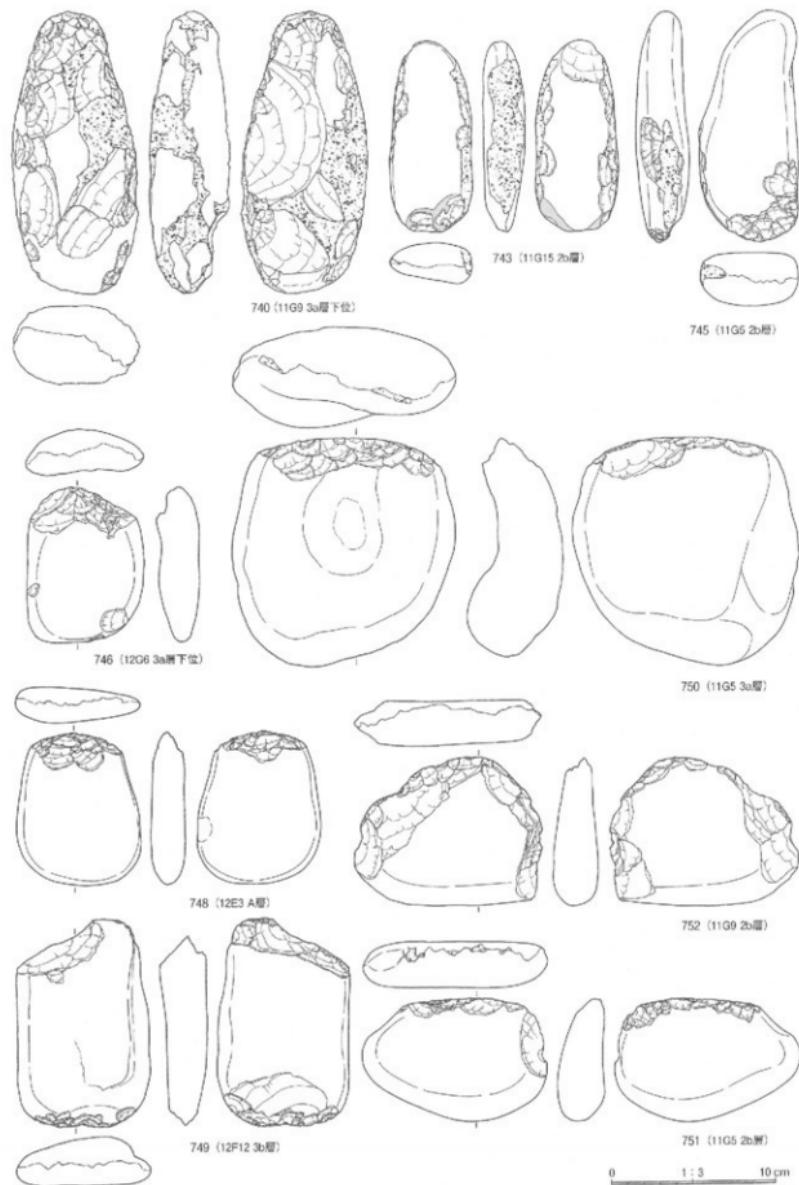
第91図 遺物包含層出土石器（4）



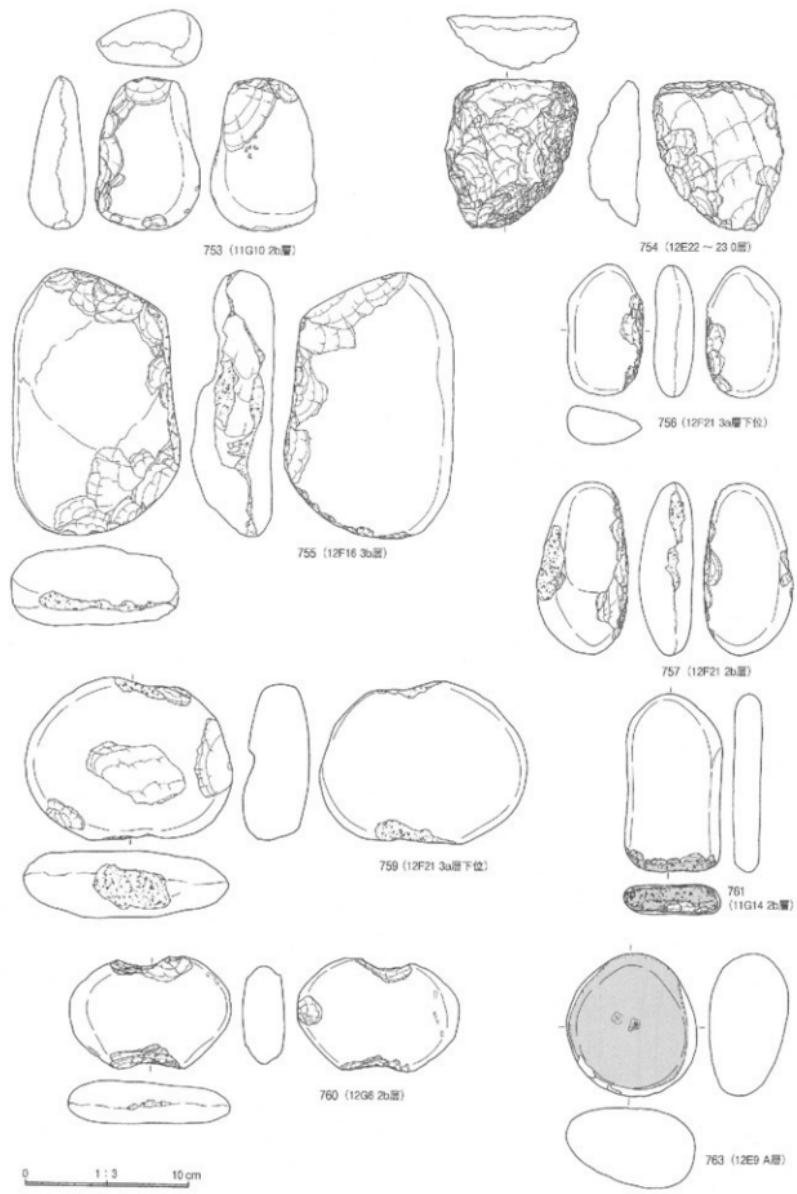
第92図 遺物包含層出土石器（5）



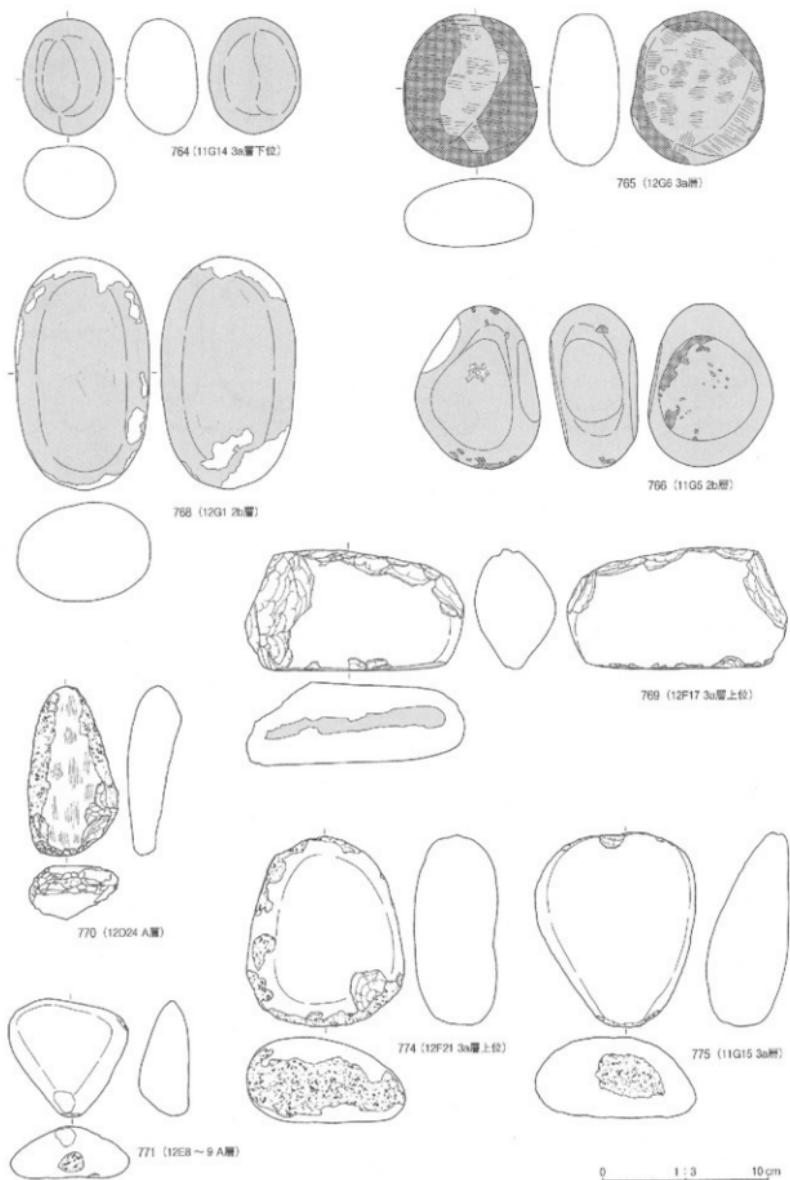
第93図 遺物包含層出土石器（6）



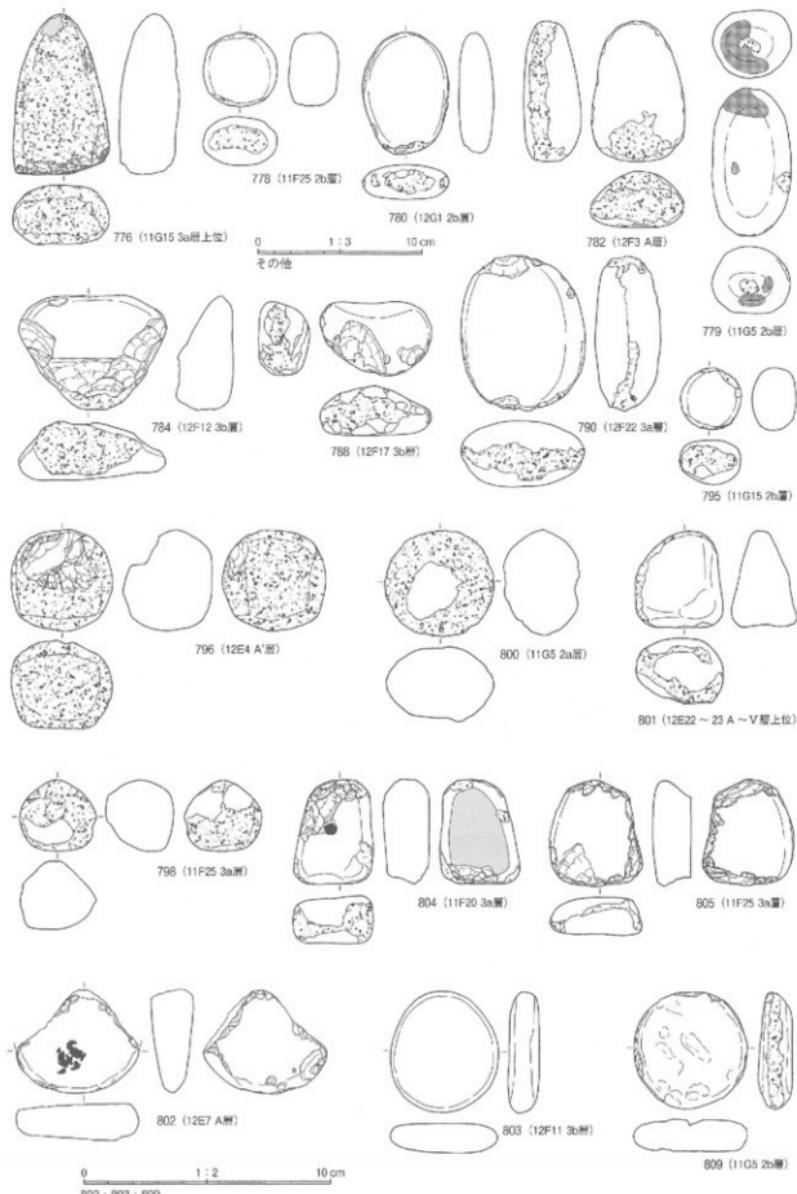
第94図 遺物包含層出土石器（7）



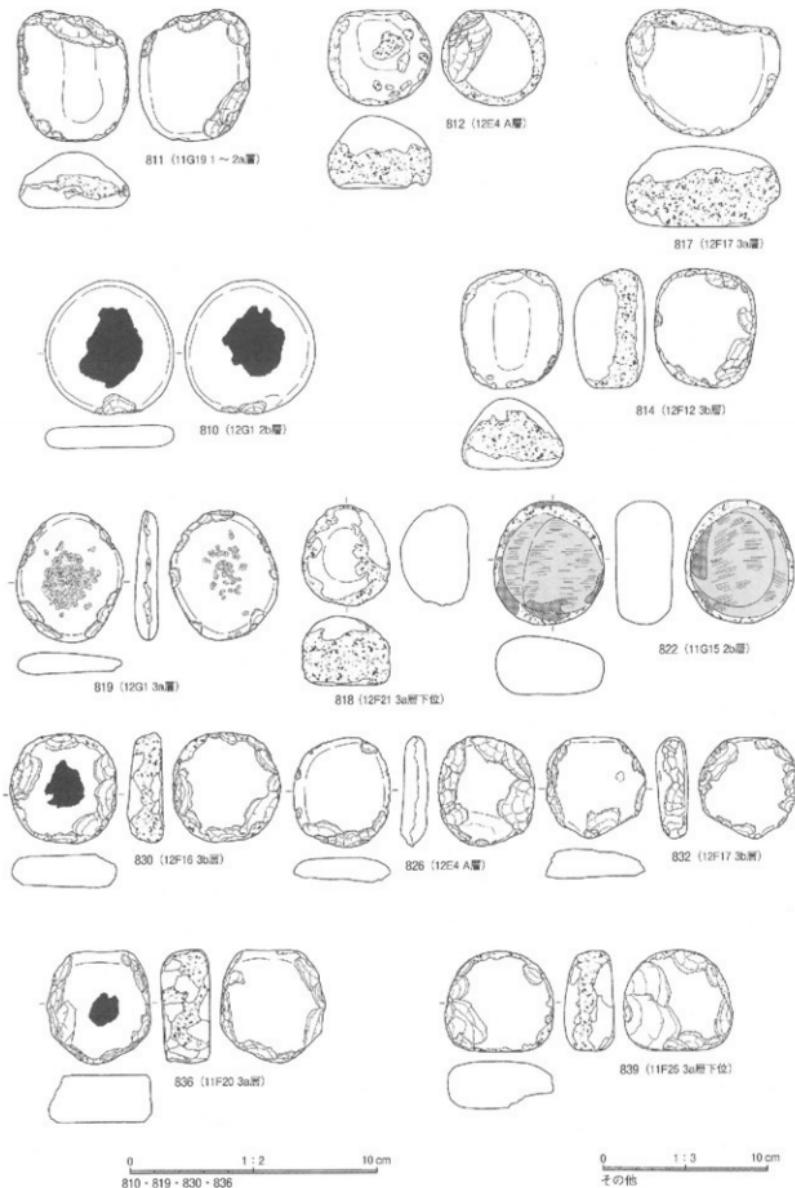
第95図 遺物包含層出土石器 (8)



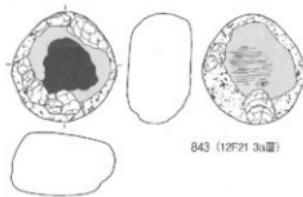
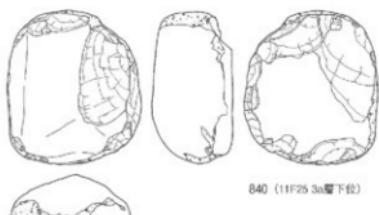
第96図 遺物包含層出土石器（9）



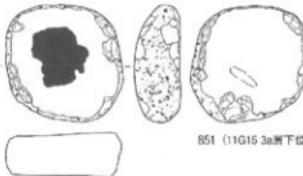
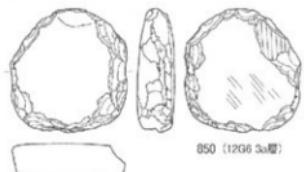
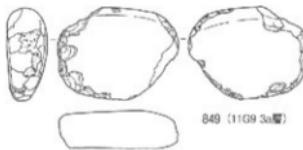
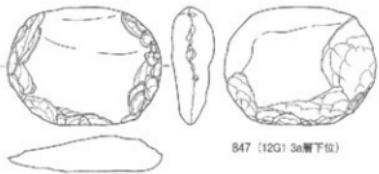
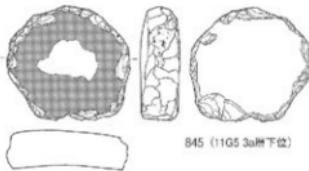
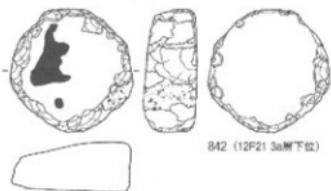
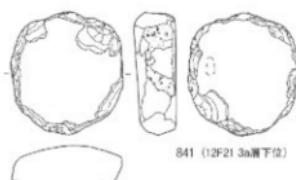
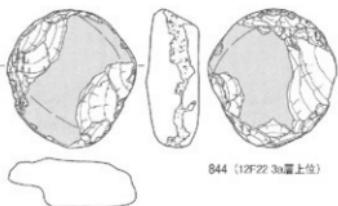
第97図 遺物包含層出土石器 (10)



第96図 遺物包含層出土石器 (11)

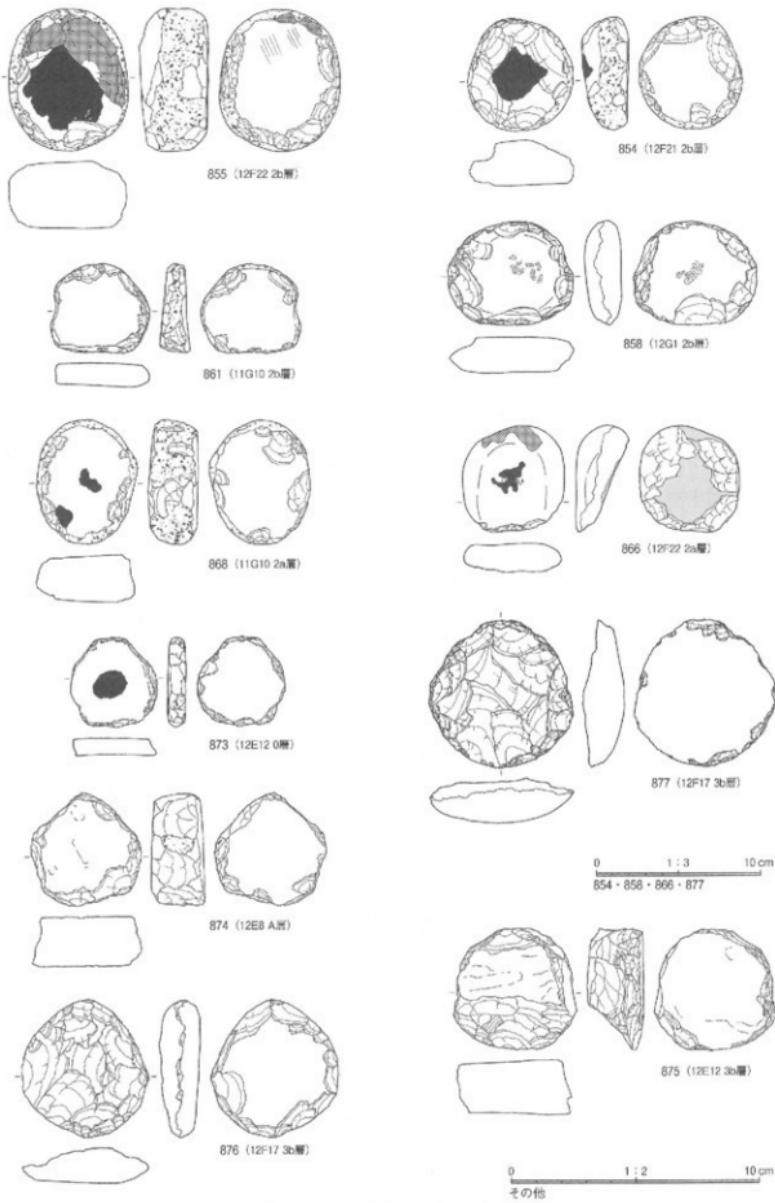


0 1 : 3 10 cm
840 - 843 - 844

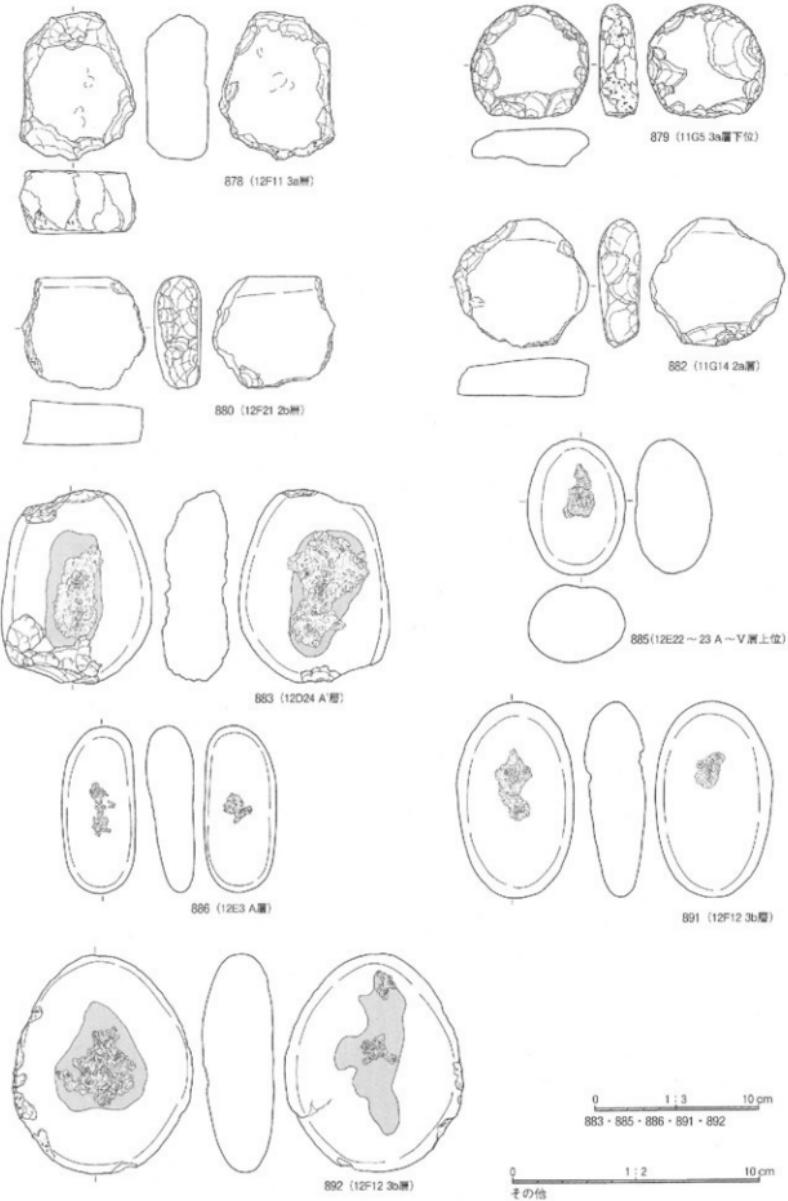


0 1 : 2 10 cm
その他

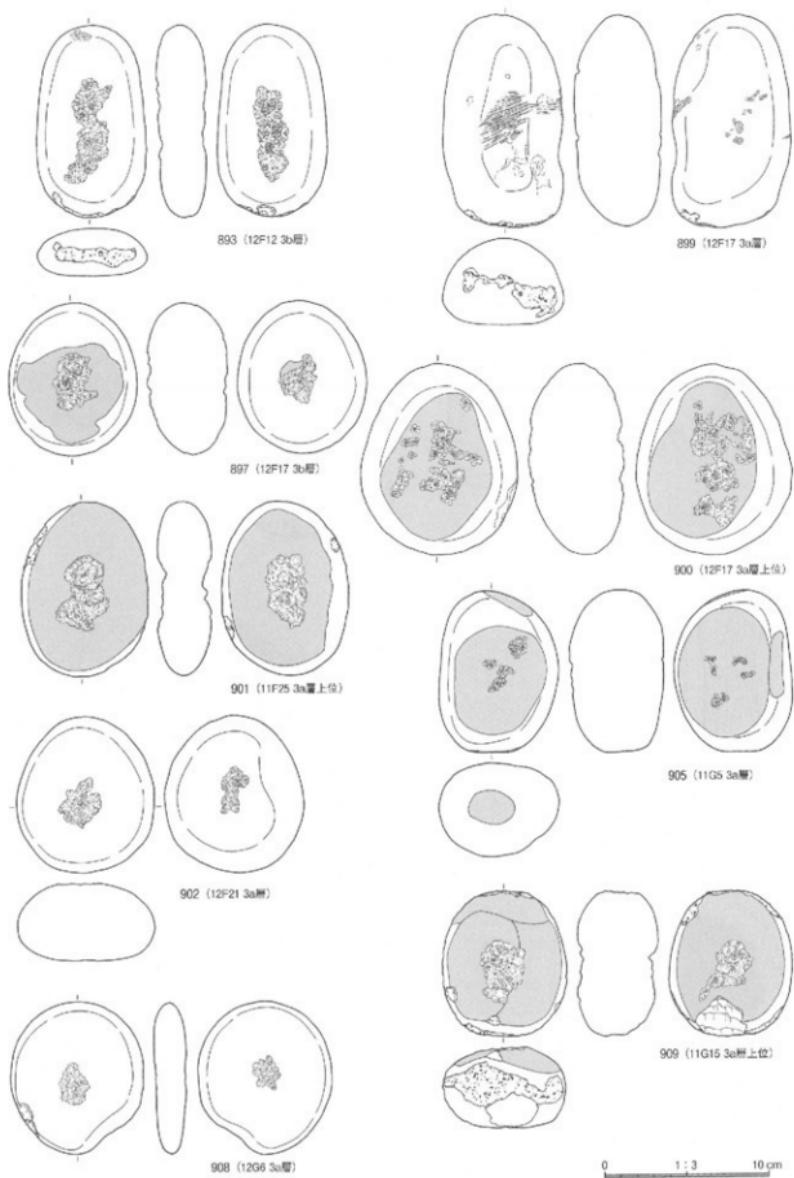
第99図 遺物包含層出土石器 (12)



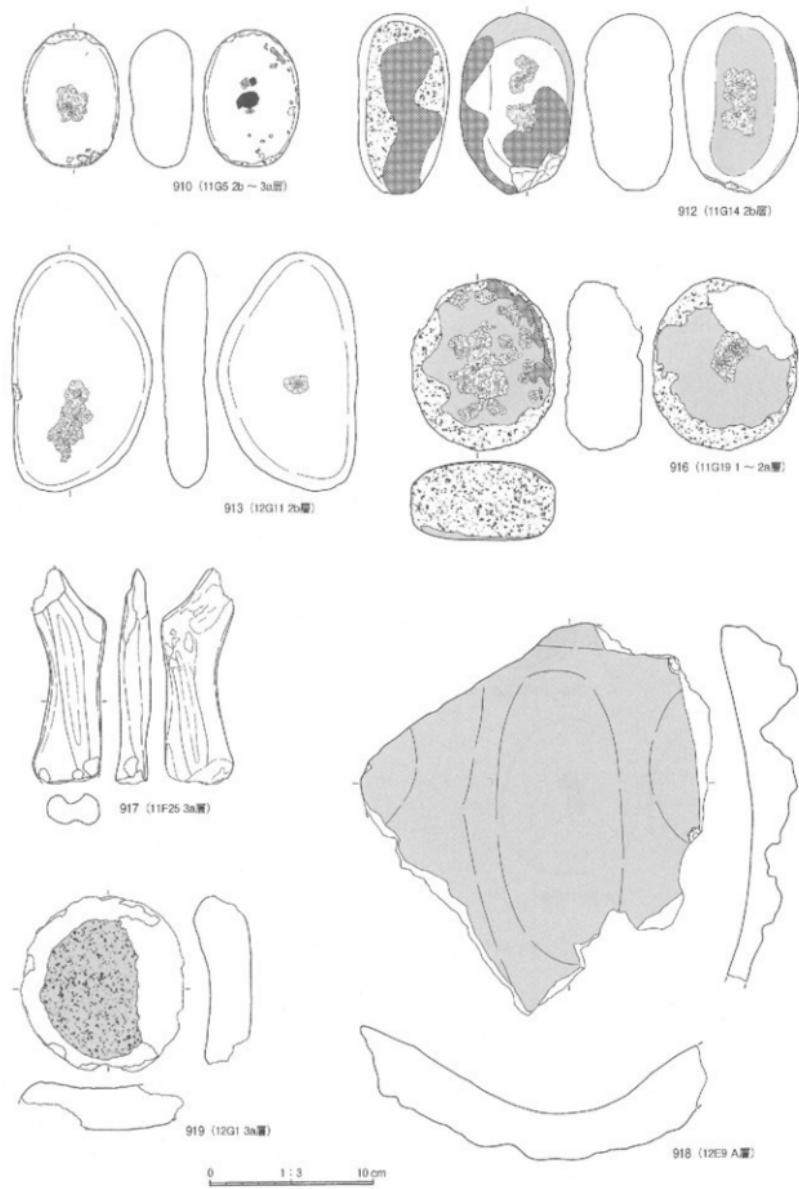
第100図 遺物包含層出土石器 (13)



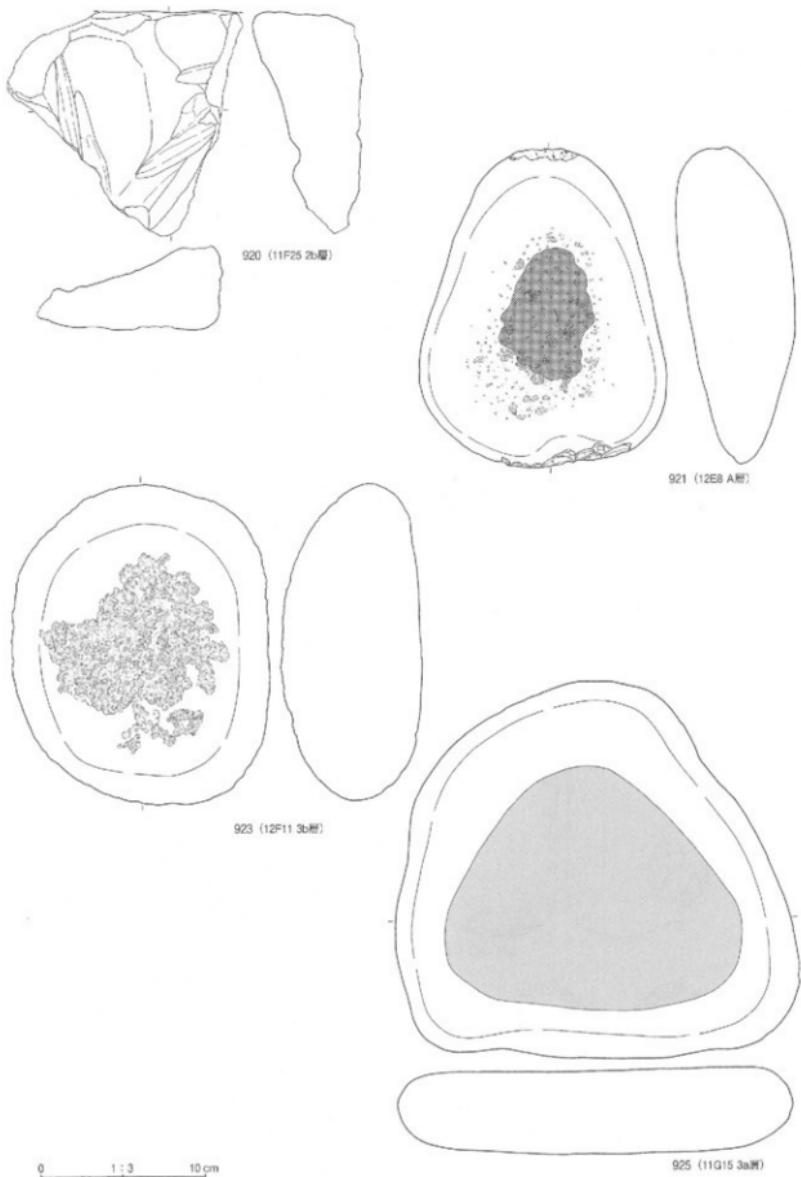
第101図 遺物包含層出土石器 (14)



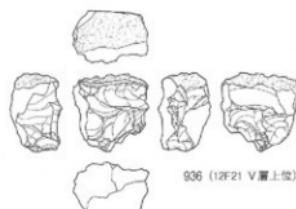
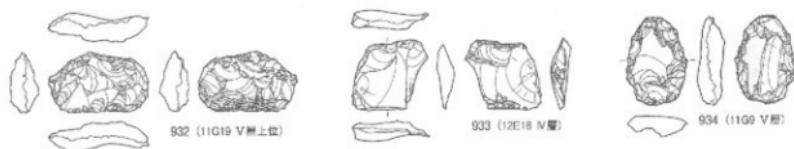
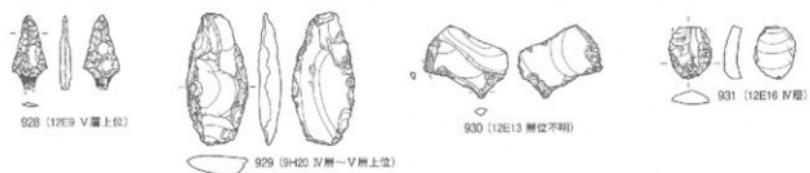
第102図 遺物包含層出土石器 (15)



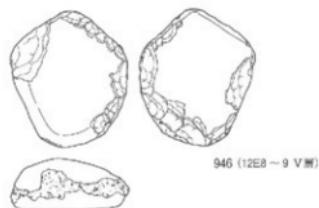
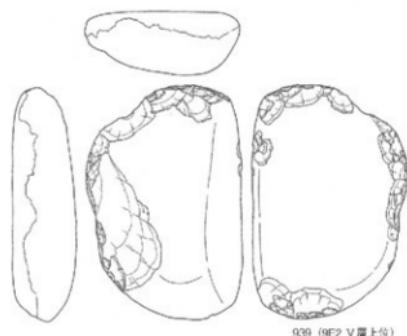
第103図 遺物包含層出土石器 (16)



第104図 遺物包含層出土石器 (17)

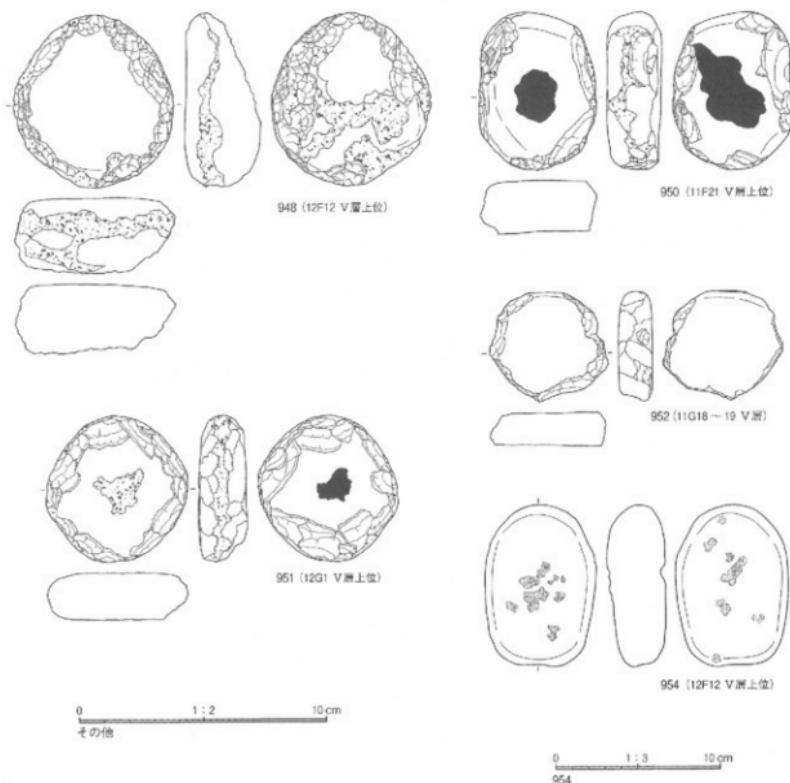


0 1 : 2 10 cm
その他

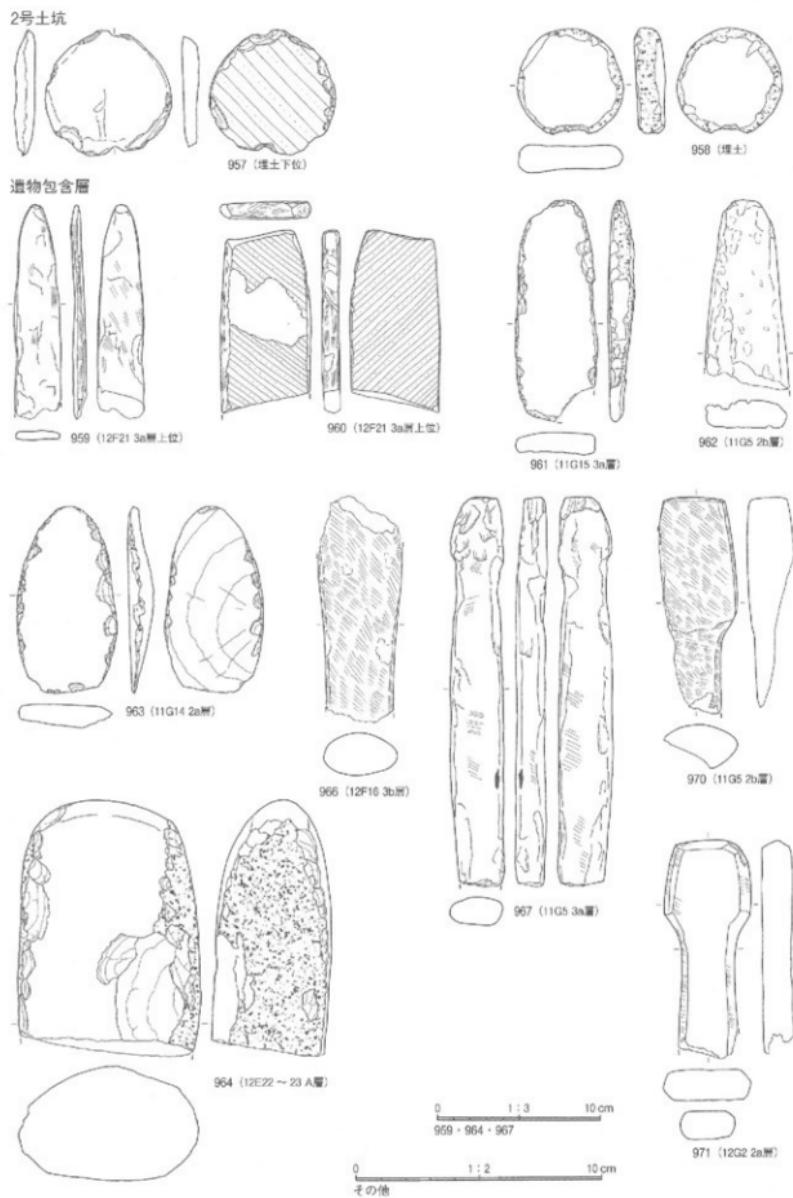


0 1 : 3 10 cm
939・940・943・946

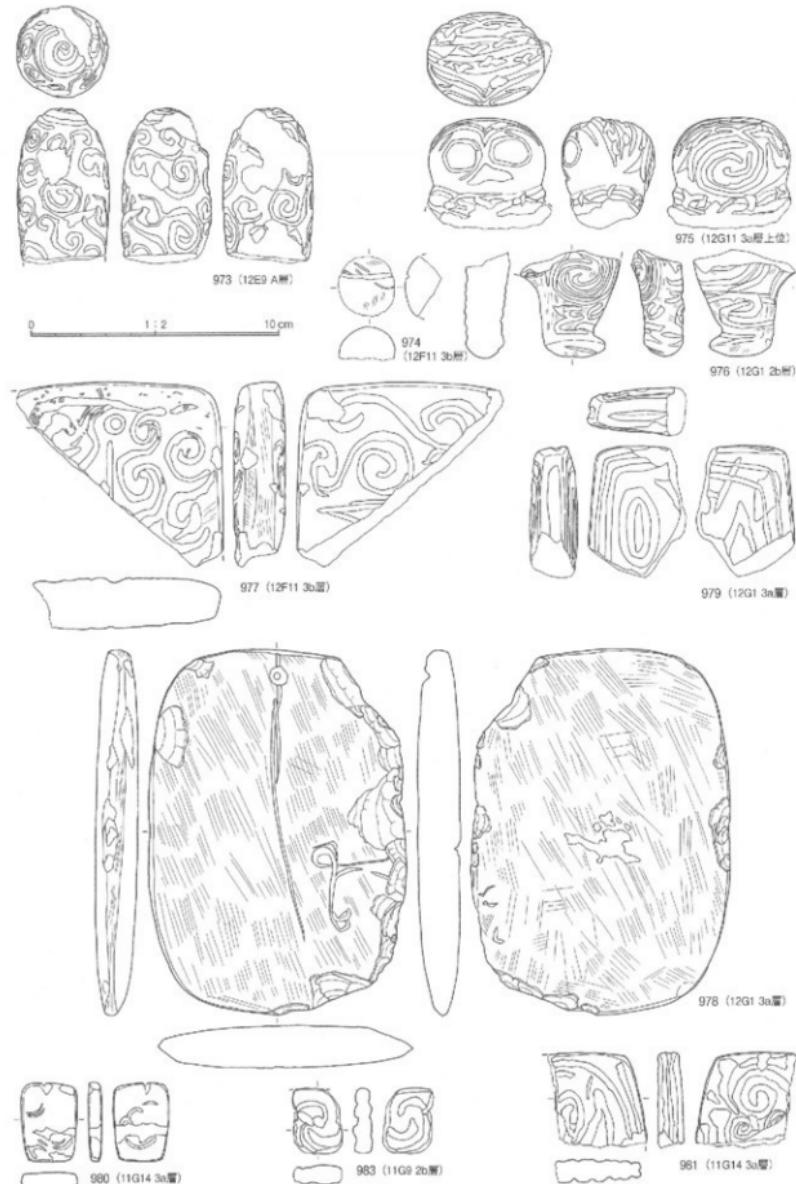
第105図 遺構外出土石器 (1)



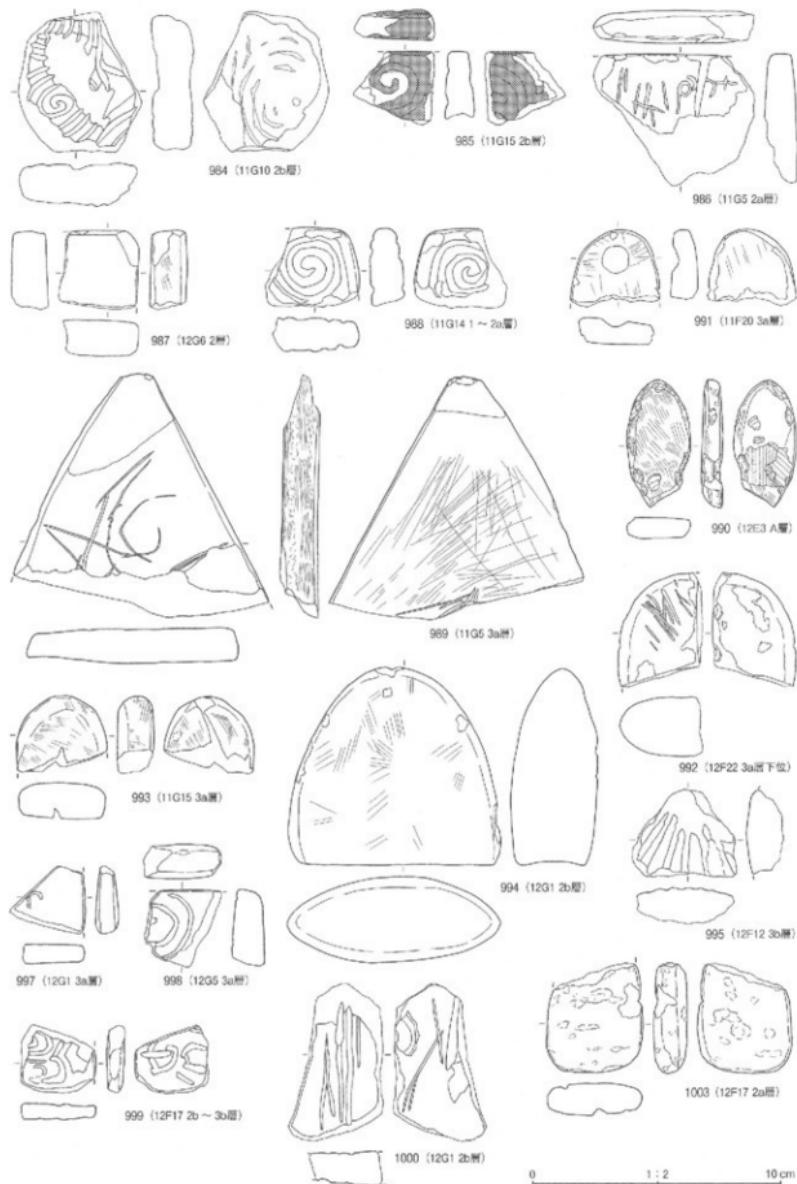
第106図 遷構外出土石器（2）



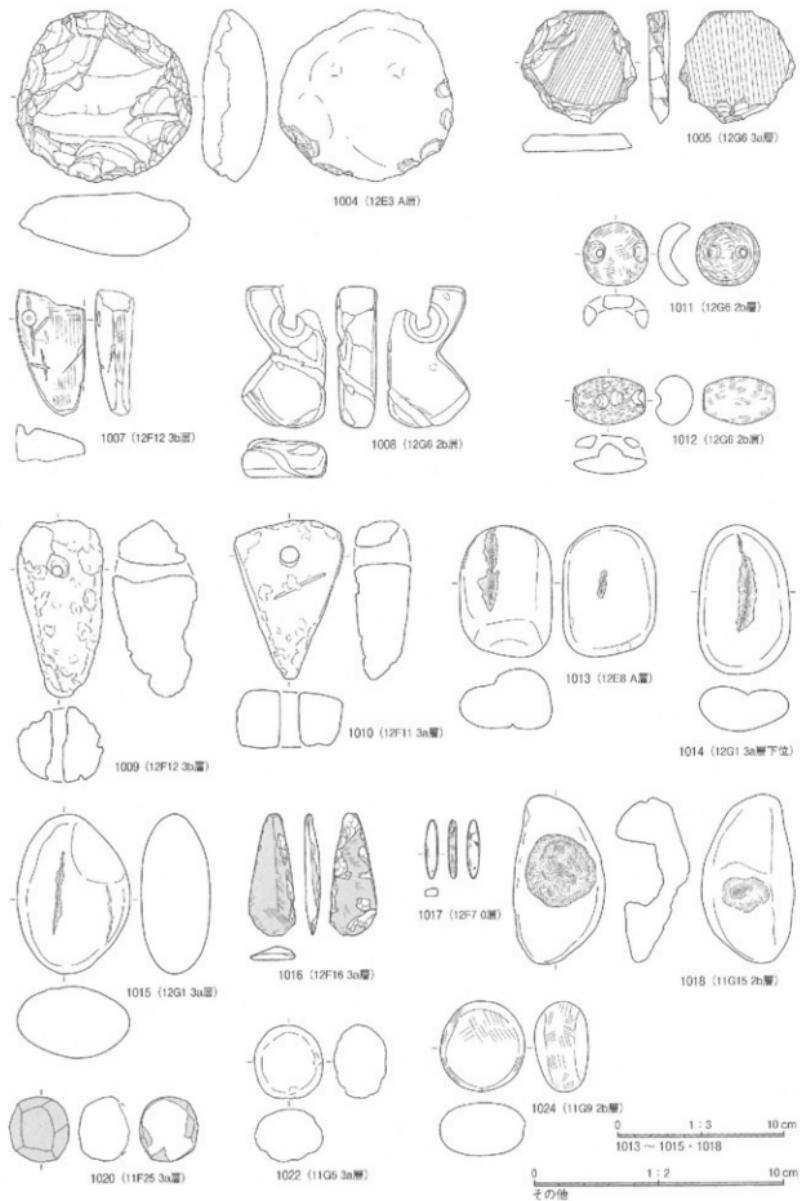
第107図 土坑・遺物包含層出土石製品（1）



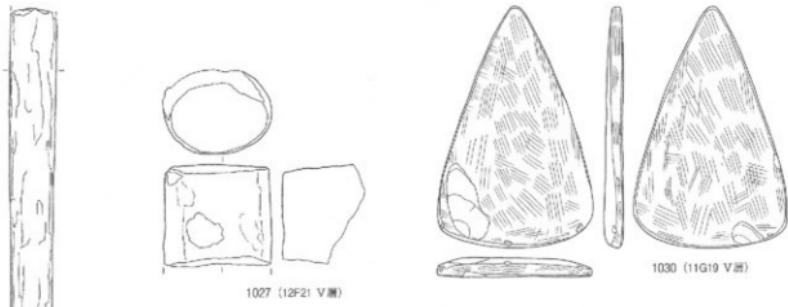
第108図 遺物包含層出土石製品（2）



第109図 遺物包含層出土石製品（3）



第110図 遺物包含層出土石製品（4）

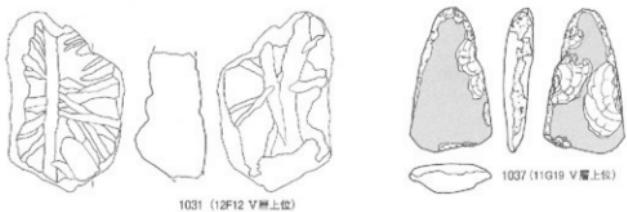


1027 (12F21 V層)

1030 (11G19 V層)



1026 (9K9 IV層)



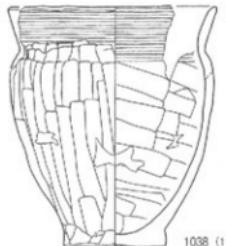
1031 (12F12 V層上位)



1037 (11G19 V層上位)

0 1:3 10 cm
1026

0 1:2 10 cm
その他



1038 (11G22 II層)

0 1:3 10 cm

第111図 遺構外出土石製品、土師器

第3表 繩文土器器物繁表

| 序号 | 器物名 | 器物形制 | 出土地点、时代 | 特征 | 外圈足部 | 内圈足部 | 残存部位 | 分属 | 口径 | | 底径 | | 重量(g) | 参考 |
|----|-----|------|--------------|-------------------|---------------|-----------------------|-----------------------|------|-----------|-----------|--------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | | 外圈 | 内圈 | 口径(cm) | 底径(cm) | | |
| 1 | 34 | 28 | 1号住宅区遗物 墓葬P1 | 浅灰 陶盆 | 姚家形 | 九底 | — | — | 7.3 | — | 3.8 | 40.6 | — | |
| 2 | 34 | 28 | 1号住宅区遗物 墓葬A | 红陶盆 | 浅灰 陶盆 | 有孔(二孔) | — | — | 18.0 | 6.0 | 7.3 | 366.0 | — | |
| 3 | 34 | 28 | 2号住宅区 男下位 | 右件(4.5) 手部 | — | — | — | — | — | — | — | — | 8.0 | |
| 4 | 34 | 28 | 2号住宅区 男上位 | 曲(3.2) 手部 | 口~带足 上带两个凹 | — | — | — | — | — | — | — | 7.7 | |
| 5 | 31 | 28 | 3号住宅 屋主 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | — | — | — | — | — | — | — | 12.7 | |
| 6 | 295 | 34 | 28 | 5号住宅 地面上位 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | — | — | — | — | — | — | 147.6 | |
| 7 | 617 | 34 | 28 | 12E1 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | — | — | — | — | — | — | 223.1 | |
| 8 | 496 | 34 | 28 | 12E4 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | — | — | — | — | — | — | 94.9 | |
| 9 | 494 | 34 | 28 | 12E4 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | — | — | — | — | — | — | 503.2 | |
| 10 | 34 | 28 | 12D24 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | — | — | — | — | — | — | — | 98.7 | |
| 11 | 488 | 35 | 29 | 12E4 包含层A 层 | 竹节形 陶盆 | 口~带足 手五口? | 三山状突起 平行弦纹 斜面出火 | LR | II.1 | 脚下直上 上 | — | — | 3711.7 | |
| 12 | 485 | 35 | 29 | 12E3 包含层A 层 | 竹节形 陶盆 | 口~带足 手五口? | 三山状突起 平行弦纹 斜面出火 | LR | II.2 | 脚下直上 上 | — | — | — | |
| 13 | 35 | 29 | 12D24 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | 三山状突起 平行弦纹 斜面出火 | LR | II.2 | 脚下直上 上 | — | — | — | | |
| 14 | 692 | 35 | 29 | 12E4 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | 三山状突起 平行弦纹 斜面出火 | LR | II.2 | 脚下直上 上 | — | — | — | |
| 15 | 487 | 35 | 29 | 12D24 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | C-X文字 平行弦纹 斜面出火 | — | — | — | — | — | — | |
| 16 | 500 | 36 | 30 | 12D24 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | 三山状突起 平行弦纹 斜面出火 | LR | III | 脚下直上 上 | — | — | 1474.2 | |
| 17 | 498 | 36 | 30 | 12E4 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | 三山状突起 平行弦纹 斜面出火 | LR | II.2 | 脚下直上 上 | — | — | 386.1 | |
| 18 | — | 36 | 30 | 12F9 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | 三山状突起 平行弦纹 斜面出火 | LR | II.2 | 脚下直上 上 | — | — | 62.2 | |
| 19 | — | 36 | 30 | 12E7-8 包含 层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | 三山状突起 平行弦纹 斜面出火 | LR | II.2 | 脚下直上 上 | — | — | 600.5 | |
| 20 | — | 37 | 31 | 12E9 包含层A 层 | 深灰 陶盆 | 口~带足 手五口? | 三山状突起 平行弦纹 斜面出火 | LR | II.2 | 脚下直上 上 | — | — | 833.2 | |

| 相数No. | 写法上位 字形 | 相数No. | 写法上位 字形 | 出上点、列位 | 层级 | 类行 | 外而转脚 | 内而转脚 | 变文类字 | 边部形 | 分型 | | 法量 口齿(cm) | 法量 唇齿(cm) | 法量 舌齿(cm) | 法量 唇齿(cm) | 相号 | |
|-------|------------|-------|------------------------------|--------------|-----|------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------|--------------|--------------|-------|--|
| | | | | | | | | | | | 外而 | 内而 | | | | | | |
| 21 | 37 | 31 | 1233 包含唇 A 唇 | 并 | 略变形 | 门~顿形 | 运文字+形 H 额系带入道 文+包合带入道 | 三(以双线)形 H 额系带入道 包合带入道 | L.R | 1.6 a 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 17.9 | 6.0 | 16.4 | 902.8 | | |
| 22 | 352 | 37 | 31 | 1234 包含唇 A 唇 | 并 | 拗形 | 门~顿形 | 运文字+形 H 额系带入道 包合带入道 | 三(以双线)形 H 额系带入道 包合带入道 | L.R | IV.1 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 155.7 | |
| 23 | 37 | 31 | 1234 包含唇 A 唇 | 并 | 略变形 | 门~顿形 | B.生记 文 K.字文 | B.生记 文 K.字文 | R.2 c | 1.6 c 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 16.6 | | |
| 24 | 37 | 31 | 1234 V.忌口 H.1234 毒 643.忌口 | 并 | 略变形 | 门~顿形 | 明辨形+形 H.忌口 H.毒 | 明辨形+形 H.忌口 H.毒 | R.2 d | 1.6 c 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | — | | |
| 25 | 482 | 37 | 31 | 1235 包含唇 A 唇 | 并 | 略形 | 门~顿形 | 制 H.半偏从 A.半 下而文 | 制 H.半偏从 A.半 下而文 | L.R | IV.1.7 以上 | 1.2 | — | 9.3 | 3.9 | 6.1 | 124.5 | |
| 26 | 507 | 37 | 31 | 1235 包含唇 A 唇 | 并 | 略字形 | 门~顿形 | B.生记 文 K.字文 | B.生记 文 K.字文 | III | — | — | — | 8.8 | 6.0 | 7.7 | 115.0 | |
| 27 | 591 | 37 | 31 | 1239 包含唇 A 唇 | 并 | 略变形 | 门~顿形 | 制 H.半偏从 A.半 下而文 | 制 H.半偏从 A.半 下而文 | L.R | IV.1.7 以上 | 1.6 c 以上 | IV.1.6 以上 | — | — | — | — | |
| 28 | 37 | 31 | 1238 包含唇 A 唇 | 并 | 略变形 | 门~顿形 | 制 H.半偏从 A.半 下而文 | 制 H.半偏从 A.半 下而文 | L.R | IV.1.7 以上 | 1.6 c 以上 | IV.1.6 以上 | 13.2 | 4.2 | 9.8 | 212.2 | | |
| 29 | 37 | 31 | 1234 包含唇 A 唇 | 并 | 略变形 | 门~顿形 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | IV.1 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | IV.1.6 以上 | — | — | — | 130.1 | | |
| 30 | 38 | 32 | 1233 包含唇 A 唇 | 并 | 略形 | 门~顿形 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | L.R | IV.1 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 33.5 | | |
| 31 | 369 | 38 | 32 | 1238 包含唇 A 唇 | 并 | 略形 | 门~顿形 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | L.R | IV.1 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 70.2 | |
| 32 | 38 | 32 | 1239 包含唇 A 唇 | 并 | 略形 | 门~顿形 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | L.R | IV.1 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 21.9 | | |
| 33 | 38 | 32 | 1238 包含唇 A 唇 | 并 | 略形 | 门~顿形 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | R.2 f | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 73.2 | | | |
| 34 | 38 | 32 | 1233 包含唇 A 唇 | 并 | 略形 | 门~顿形 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | R.5 b | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 27.3 | | | |
| 35 | 38 | 32 | 1238 包含唇 A 唇 | 并 | 略形 | 门~顿形 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | B.生记 文 K.字文 H.半偏从 A.半 下而文 | L.R | IV.1 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 44.4 | | |
| 36 | 38 | 32 | 1234 包含唇 A 唇 | 并 | 略形 | 门~顿形 | E.忌口 + 列 H.半偏从 A.平行行 | E.忌口 + 列 H.半偏从 A.平行行 | R.2 - RL TR | 1.4 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 21.6 | | |
| 37 | 38 | 32 | 1233 - 1237 忌合唇 A | 并 | 略形 | 门~顿形 | H.半偏从 A.半 下而文 | H.半偏从 A.半 下而文 | L.R | 1.4 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 31.5 | | |
| 38 | 38 | 32 | 1234 包含唇 A 唇 | 并 | 略形 | 门~顿形 | H.半偏从 A.半 下而文 | H.半偏从 A.半 下而文 | L.R | 1.4 | 野底+位 唇齿中位 以上 | 野底+位 唇齿中位 以上 | — | — | — | 33.7 | 外配图例 | |

| 用數號 No. | 測量點 測量點 No. | 土壤樣點·層位 土壤 | 層位 樣點 | 殘存部位 外觀特徵 | 內由特徵 | 穗狀物體 直根系發達程度 | 分類 | 穗化物 | | 穗長(cm) | 穗寬(cm) | 穗重(g) | 備考 | |
|------------|-------------------|---------------|---------------|--------------------------|----------------|--------------------|------|--------------|----------|--------|--------|-------|------------------|--------------------------|
| | | | | | | | | 外觀形狀 平行形狀 | 剖面 形狀 | | | | | |
| 39 | 36 | 32 | 12E23 細含鹽 A 層 | 鮮 | 口~圓形 外觀形狀 平行直根 | LR | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 14.5 | — | 83.8 | — | |
| 40 | 38 | 32 | 12E23 細含鹽 A 層 | 鮮 | 略光形 | LR | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 13.2 | 5.4 | 10.3 | 122.8 | |
| 41 | 502 | 38 | 32 | 12D23 含鹽 A 層 | 鮮 | 口~橢圓形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | 19.0 | — | — | 188.8 | |
| 42 | 316-4 | 39 | 32 | 12E23 含鹽 A 層 + 0 鹽 | 鮮 | 口~橢圓形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | 27.6 | 12.4 | — | 1008.7 6528.9 | |
| 43 | 59 | 33 | 12E21 含鹽 A 層 | 老少 | 地~舌形 地~舌形 | LR | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | — | 11.8 | — | 246.5 | |
| 44 | 328 | 39 | 33 | 12E23 含鹽 A 層 | 鮮 | 舌形舌狀 | LR | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 12.4 | 6.4 | 8.5 | 214.5 |
| 45 | 565 | 39 | 33 | 12E23 無含鹽 A 層 | 舌形 | 舌形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | — | 7.5 | — | 74.0 | |
| 46 | — | 39 | 33 | 12E22-23 含鹽 A 層 | 舌形 | 口~舌形 横~S字形 平行直根 | LR | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | — | — | — | 14.4 |
| 47 | — | 39 | 33 | 12E13 含鹽 A 層 | 舌形 | 口~橫直根 C-X-Y直根 (絕) | LR | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | — | — | — | 44.9 |
| 48 | — | 39 | 33 | 12E8-9 含鹽 A 層 | 舌形 | 口~橫直根 半圓形直根 | LR | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | — | — | — | 22.9 2岁分植 |
| 49 | — | 39 | 33 | 12E23-12E3 無含鹽 A 層 | 舌形 | 口~橫直根 | LR | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | — | — | — | 104.8 |
| 50 | 503 | 39 | 33 | 12D23 含鹽 A 層 | 舌形 | 舌形 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 13.0 | 3.0 | 6.1 | 105.3 | |
| 51 | 690 | 39 | 33 | 12E8-9 含鹽 A 層 | 舌形 | 舌形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | — | — | — | 81.8 2岁分植 | |
| 52 | 683 | 40 | 34 | 12E23 含鹽 A 層 | 舌形 | 舌形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | — | — | — | — | |
| 54 | 509 | 40 | 34 | 12E8 含鹽 A 層 | 舌形 | 舌形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | — | — | — | — | |
| 55 | 489 | 40 | 34 | 12E4 3含鹽 A 層 | 舌形 | 舌形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | — | — | — | — | |
| 56 | 324 | 40 | 34 | 12E23-12E22-23 無鹽 A 層 | 舌形? | 無光形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | 圓~圓形 | — | — | — | — | |
| 57 | 322 | 49 | 34 | 12E8 含鹽 A 層 | 舌形 | 口~圓形 頭部細入嘴 | LR | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | — | — | — | 234.2 |
| 58 | 510 | 40 | 34 | 12E9 無含鹽 A 層 | 舌形 | 口~圓形 平行直根 | LR | 圓~上胚 | 圓~上胚 | 圓~上胚 | — | — | — | 102.2 401.0 1088.2 |

| 标本号 | 采集地 | 海拔(m) | 山地地点、带位 | 特征 | 外圈齿缺 | 内侧齿缺 | 鳞文端体 | | 分带 | 气泡物 | | 齿带 | 量度(足) | 备注 |
|-----|-----|-------|------------------|----|------|------|------|----|----|--------|--------|----|--------|------|
| | | | | | | | 外带 | 内带 | | 上带(cm) | 底带(cm) | | | |
| 59 | 41 | 34 | 1259 包含带A带 | 缺口 | 宽齿 | 浅齿 | 1.1 | | | 1.3 | 0 | — | 11.6 | 43.4 |
| 60 | 377 | 41 | 34 12523 包含带A带 | 缺口 | 宽齿 | 深齿 | 1.2 | | | — | — | — | 207.3 | |
| 61 | 485 | 41 | 34 12523 包含带A带 | 缺口 | 深齿 | 浅齿 | 1.2 | | | — | — | — | 138.0 | |
| 62 | | 41 | 35 1251 包含带A带 | 缺口 | 浅齿 | 深齿 | 1.2 | | | — | — | — | 45.1 | |
| 63 | | 41 | 35 1251 包含带A带 | 缺口 | 深齿 | 浅齿 | 1.2 | | | — | — | — | 56.8 | |
| 64 | | 41 | 35 1254 包含带A带 | 缺口 | 深齿 | 浅齿 | 1.2 | | | — | — | — | 23.1 | |
| 65 | 306 | 41 | 35 12523 包含带A带 | 缺口 | 深齿 | 浅齿 | 1.2 | | | — | — | — | 29.6 | |
| 66 | 567 | 40 | 35 1253 包含带A带 | 缺口 | 深齿 | 浅齿 | 1.2 | | | — | — | — | 2.4 | 10.9 |
| 67 | 314 | 40 | 35 1259 包含带A带 | 缺口 | 深齿 | 浅齿 | 1.2 | | | — | — | — | 1.4 | — |
| 68 | | 40 | 35 1253 包含带A带 | 缺口 | 深齿 | 浅齿 | 1.2 | | | — | — | — | 9.3 | |
| 69 | 501 | 41 | 35 1254 包含带A带 | 缺口 | 深齿 | 浅齿 | 1.2 | | | — | — | — | 2.1 | — |
| 70 | 683 | 42 | 35 12511 包含带B-V带 | 深体 | 浅体 | 深体 | 1.1 | | | — | — | — | 45.7 | |
| 71 | 750 | 42 | 35 12517 包含带B-V带 | 深体 | 浅体 | 深体 | 1.1 | | | — | — | — | 286.3 | |
| 72 | 627 | 42 | 36 1257 包含带B-V带 | 深体 | 浅体 | 深体 | 1.1 | | | — | — | — | 252.2 | |
| 73 | 79 | 42 | 36 12517 包含带B-V带 | 深体 | 浅体 | 深体 | 1.1 | | | — | — | — | 123.6 | |
| 74 | 695 | 42 | 36 12511 包含带B-V带 | 深体 | 浅体 | 深体 | 1.1 | | | — | — | — | 411.0 | |
| 75 | 671 | 43 | 36 12512 包含带B-V带 | 深体 | 浅体 | 深体 | 1.1 | | | — | — | — | 1869.5 | ♂♀ |
| 76 | | 43 | 36 12512 包含带B-V带 | 深体 | 浅体 | 深体 | 1.2 | | | — | — | — | 425.6 | |
| 77 | | 43 | 37 12512 包含带B-V带 | 深体 | 浅体 | 深体 | 1.2 | | | — | — | — | 21.1 | 仅 |
| 78 | | 43 | 37 12512 包含带B-V带 | 深体 | 浅体 | 深体 | 1.2 | | | — | — | — | 104.4 | ♂♀ |

| 試験番号 | Tef(°C) | 蒸散量 mm | 蒸散量 mm | 出力地点・測定 | 露張 | 露存時間 | 外側表面 | 露水蒸発 | | 露化物 | 露量 mm | 露量 mm | 備考 | |
|------|---------|-----------|--------------------|--------------|-------|--------------------------|---|--------|--------------|--------------|----------|----------|-------------|------------------|
| | | | | | | | | 内面表面 | 露温差 | 分類 | 外側 表面 | 内面 表面 | | |
| 79 | 43 | 37 | 12F12 包含層30層 | 鉢 | 口給水 | 周日 入組 2次文 利 | LR | I.1 | — | — | — | — | 53.1 | |
| 80 | 43 | 37 | 12F12 包含層30層 | 鉢 | 口給水 | B充気 平行沈成 C | — | — | — | (0.0) | 3.3 | 4.9 | 38.9 | |
| 81 | 43 | 37 | 12F12 包含層30層 | 鉢 | 口～繊維 | 日本松葉緑葉 植化利 新緑葉 A 平行沈成 | LR | II.2 f | 露地以上 | — | — | 58.4 | | |
| 82 | 51.7 | 43 | 37 | 12F11 包含層30層 | 鉢 | 織定形 | 主葉吹き(文) 単葉吹き(文) 葉吹き(文) 単葉吹き(文) 葉吹き(文) 単葉吹き(文) 葉吹き(文) 単葉吹き(文) | — | — | — | — | — | — | 70.0の露點上位 小水滴 |
| 83 | 43 | 37 | 12F12 包含層30層 | 鉢 | 新・古行糸 | 口～繊維 B充気 平行沈成 | LR | II.2 f | 露地以上 | II.2 f 以上 | (3.0) | — | 61.7 | |
| 84 | 72.7 | 44 | 37 | 12F12 包含層30層 | 鉢 | — | II.1 繊維 B充気 平行沈成 | LR | II.2 f | 露地以上 | (0.0) | — | 153.9 | |
| 85 | 44 | 37 | 12F12 包含層30層 | 鉢 | — | D充気 織定形 | 織定形 A 平行沈成 | LR | II.2 f | 露地以上 | (1.0) | — | — | |
| 86 | 44 | 37 | 12F12 包含層30層 | 鉢 | — | II.1 繊維 B充気 平行沈成 | II.2 f | 露地以上 | II.2 f 以上 | — | — | — | 99.2 | |
| 87 | 44 | 37 | 12F17 包含層30層 | 鉢 | — | II.1 繊維 B充気 平行沈成 | II.2 d | 露地以上 | II.2 d 以上 | (20.0) | — | — | — | |
| 88 | 44 | 37 | 12F17 12F12 包含層30層 | 鉢 | 新・古行糸 | II.1 繊維 B充気 平行沈成 | LR | II.2 f | 露地以上 | II.2 f 以上 | (14.2) | — | 213.6 | |
| 89 | 44 | 37 | 12F17 包含層30層 | 鉢 | — | II.1 繊維 B充気 平行沈成 | II.2 f | 露地以上 | II.2 f 以上 | — | — | — | 69.5 | |
| 90 | 44 | 37 | 12F17 包含層30層 | 鉢 | — | II.1 繊維 B充気 平行沈成 | II.2 a | 露地以上 | II.2 a 以上 | — | — | — | 17.5 1.5万カ穀 | |
| 91 | 44 | 38 | 12F12 包含層30層 | 鉢 | — | II.1 繊維 B充気 平行沈成 | II.1 | — | (18.0) | — | — | — | 81.8 | |
| 92 | 44 | 38 | 12F17 包含層30層 | 鉢 | — | II.1 繊維 B充気 平行沈成 | II.2 f | 露地以上 | II.2 f 以上 | (17.0) | — | — | — | |
| 93 | 44 | 38 | 12F17 包含層30層 | 鉢 | — | II.1 繊維 B充気 平行沈成 | II.2 f | 露地以上 | II.2 f 以上 | (12.0) | — | — | 65.2 | |
| 94 | 44 | 38 | 12F16 包含層30層 | 鉢 | — | II.1 繊維 B充気 平行沈成 | V | — | (8.0) | — | — | — | 73.0 | |

| 标号 | 层位号 | 层位名称 | 出土单位 | 器型 | 特征描述 | 外圈装饰 | 内圈装饰 | 残存部位 | 直径(cm) | | 厚度(cm) | | 重量(g) | |
|-----|-----|------|----------------------|----------------------|------|---------------------|---------------------|-------------|--------|---------|---------|--------|-------|-------|
| | | | | | | | | | 外径 | 内径 | 口径(cm) | 底径(cm) | | |
| 95 | 605 | 44 | 38 | 12#F11 包含层3#层 | 环-合符 | 口-内弧 平行线 | A 宽距 B 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | — | 10.5(0) | — | — | |
| 96 | 44 | 38 | 12#F11/12#F12 包含层3#层 | 环-合符 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | I.半 | 椭圆以上 | 9.3 | — | — | |
| 97 | 44 | 38 | 12#F16-12#F17 包含层3#层 | 环 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | — | 10.2(0) | — | — | 131.8 | |
| 98 | 44 | 38 | 12#F11-12#F12 包含层3#层 | 环 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | — | 10.1(7) | — | — | 41.7 | |
| 99 | 44 | 38 | 12#F16-12#F17 包含层3#层 | 环 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | — | 10.1(7) | — | — | 54.4 | |
| 100 | 45 | 38 | 12#F11 包含层3#层 | 环 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | — | 10.2(8) | — | — | 84.5 | |
| 101 | 45 | 38 | 12#F12 包含层3#层 | 环 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR+RL | IV.5, I.1 | 1.6 c | — | 8.7 | 63.30 | 5.9 | |
| 102 | 45 | 38 | 12#F16-12#F17 包含层3#层 | 环 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | — | 13.1 | 4.0 | 16.0 | 233.7 | |
| 103 | 45 | 38 | 12#F12 包含层3#层 | 环 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | — | 10.5(5) | — | — | 32.9 | |
| 104 | 45 | 38 | 12#F11 包含层3#层 | 环 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | — | 10.1(9) | — | — | 31.0 | |
| 105 | 45 | 38 | 12#F12 包含层3#层 | 环 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | — | 10.7(2) | — | — | 130.3 | |
| 106 | 706 | 45 | 38 | 12#F12-12#F17 包含层3#层 | 环 | 口-内弧 | B 宽距 A 平行线 中间有横线 | LR | IV.3 | — | — | — | — | 344.5 |
| 107 | 601 | 45 | 39 | 12#F12 包含层3#层 | 环 | 椭圆形 | A 宽距 B 单 平行线 | IV.3, I.9 b | 底圆以外 | 13.1 | 7.6 | 13.6 | 607.8 | |
| 108 | 790 | 45 | 39 | 12#F17 包含层3#层 | 环 | 完美形 | — | IV.3 | 1.9 b | 底圆以外 | 8.4 | 5.0 | 10.0 | 176.4 |
| 109 | 624 | 45 | 39 | 12#F12 包含层3#层 | 环 | 椭圆形 | — | IV.3 | 1.9 b | 底圆以外 | 14.0 | 5.8 | 13.8 | 604.2 |
| 110 | 780 | 45 | 39 | 12#F17 包含层3#层 | 环 | 椭圆形 | — | IV.3 | 1.9 b | 口端部 | 10.5 | 3.0 | 11.2 | 192.1 |
| 111 | 746 | 46 | 39 | 12#F17 包含层3#层 | 环-合符 | — | — | IV.2 | IV.2 f | — | — | — | — | 223.0 |
| 112 | 66 | 39 | 12#F12 包含层3#层 | 环-合符 | — | — | — | IV.2 | IV.2 | — | — | — | — | 104.8 |

| 編號 | 寫り方 | 正字 | 出土地點・層位 | 基準 | 現存地點 | 外置装飾 | 内蔵装飾 | 成虫新体 | 成虫前軸 | 分類 | 死後物 | | 法尺 | 重量(g) | 参考 |
|-----|-----|----|-----------------------|------------------------------|------|----------------------------|------------------------------------|--|---------------------------|---------------------------|--------|-----|--------|--------|--------|
| | | | | | | | | | | | 外因 | 内因 | 口径(cm) | 底径(cm) | 高さ(cm) |
| 113 | 70 | 46 | 39 | 12F11 住吉町36号 | 古付鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 平行弦紋 斜行弦紋 點打目 | 口H 横穿孔 斜行弦紋 點打目 半圓形 半圓形 | K3 台形はく 斜行弦紋 點打目 | K3 台形はく 斜行弦紋 點打目 | (19.8) | — | — | 307.6 | 水印質 |
| 114 | 677 | 46 | 49 | 12F11 住吉町36号 | 古付鉢 | 完形 | D文字 点打目 魚鱗狀 乳頭狀 | D文字 点打目 魚鱗狀 乳頭狀 | LR K2a | LR K2a | (8.0) | 6.2 | 5.4 | 109.4 | |
| 115 | 46 | 49 | 12F12 住吉町36号 | 古付鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR K2a | LR K2a | (18.7) | — | — | 66.7 | | |
| 116 | 46 | 49 | 12F17 住吉町36号 V字底上位 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR K2a | LR K2a | (14.4) | 6.0 | 7.1 | 243.0 | | |
| 117 | 600 | 46 | 49 | 12F12 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR K2b | LR K2b | (18.7) | — | — | 83.5 | |
| 118 | 46 | 49 | 12F17 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1b | LR V1b | (14.9) | 3.3 | 3.8 | 139.3 | | |
| 119 | 728 | 46 | 49 | 12F12 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | |
| 120 | 46 | 49 | 12F17 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | | |
| 121 | 707 | 96 | 49 | 12F11 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | |
| 122 | 892 | 46 | 49 | 12F12 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | |
| 123 | 751 | 47 | 49 | 12F13 住吉町36号 12F22 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | |
| 124 | 893 | 47 | 49 | 12F17 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | |
| 125 | 47 | 49 | 12F17 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | | |
| 126 | 47 | 49 | 12F17 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | | |
| 127 | 632 | 47 | 49 | 12F12 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | |
| 128 | 729 | 47 | 49 | 12F17 住吉町36号 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | |
| 129 | — | 47 | 49 | 12F12~12F17 住吉町 | 浅鉢 | 完形 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | 口~瓶形 横穿孔 斜行弦紋 點打目 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | |
| 130 | 47 | 49 | 12F17 住吉町36号 | 質? | 瓦砾 | 帶形繩文 | 帶形繩文 | LR V1a | LR V1a | (12.7) | 2.0 | 6.4 | 91.4 | | |

| 編號 | 地點 | 層位 | 地層 | 發育型態 | 外觀特徵 | 內觀特徵 | 構造關係 | 分類 | 鳥類 | | 埋藏(cm) | 埋藏(m) | 參考 |
|-----|-------------|----|-----------------------------|---------------------------|------|------------|--------------------------|------------|-----|------------------|----------|---------|--|
| | | | | | | | | | 外觀 | 內觀 | | | |
| 131 | 682 | 47 | 41 | 12511·12512 包含層 3b層 | 帶 | 確定形 | 平行底盤 文 | 測量·底盤 | 無 | 無 | 12.9 | 6.0 | 647.3 外觀全體以 外觀全體 灰土漆黑 灰土漆黑 |
| 132 | 682 | 47 | 41 | 12512 包含層 3b層 | 亞 | 單一底盤 | 鵝掌狀 扁平文 橫文 平行底盤 | 測量·底盤 | LR | 灰底 灰底·上行 底 | — | — | 374.6 外觀全體·片 底盤漆黑 |
| 133 | 533 | 48 | 43 | 12517 包含層 3b層 | 亞 | 平行底盤 文 | 平行底盤 —角·張翅 | 平行底盤 | W | — | — | — | — |
| 134 | 670 | 48 | 41 | 12112 包含層 3b層 | 盒 | 單一底盤 | 平行底盤 —角 平行底盤 | 測量·底盤 | LR | 灰底 V1.a | — | — | 466.6 外觀全體·內 底盤漆黑 |
| 135 | 663 | 48 | 41 | 12512 包含層 3b層 | 亞 | 定向 | 測量·底盤 文 圓形 | 測量·底盤 | — | 灰底灰體 V1.b | — | — | — |
| 136 | 48 | 42 | 12518 | 包含層 3b層 | 亞 | 平行底盤 —角 | 平行底盤 —角 | 測量·底盤 | LR | — | — | — | — |
| 137 | 676 | 48 | 42 | 12311 包含層 3b層 | 亞 | 平行底盤 —角 | 平行底盤 —角 | 測量·底盤 | RL | — | — | — | — |
| 138 | 684 | 48 | 42 | 12711 包含層 3b層 | 亞 | 口·側腹 | 平行底盤 —角 | 測量·底盤 | — | X.I | — | — | — |
| 139 | 48 | 42 | 12511·12517 包含層 3b層 | 亞 | 平行底盤 | 平行底盤 | 平行底盤 | 測量·底盤 | W.I | — | — | — | — |
| 140 | 599 | 48 | 42 | 12512 包含層 3b層 | 亞 | 定向 | 平行底盤 | 平行底盤 | — | 灰底 W.II | — | — | — |
| 141 | 48 | 42 | 12512 包含層 3b層 | 亞 | 平行底盤 | 平行底盤 | 平行底盤 | 平行底盤 | — | — | — | — | — |
| 142 | 701 | 48 | 42 | 12512 包含層 3b層 | 亞 | 定向 | 測量·底盤 | 測量·底盤 | LR | — | — | — | — |
| 143 | 678 | 49 | 42 | 12512 包含層 3b層 | 亞 | 確定形 | 人制 文 | 人制 文 | — | — | — | — | — |
| 144 | 49 | 42 | 12511 1125 包含層 3b層 | 亞 | 確定形 | —X字·文 | —X字·文 | —X字·文 | — | — | — | — | — |
| 145 | 675· 685 | 49 | 43 | 12516 包含層 3b層 | 片 | 確定形 | 平行底盤 —角 平行底盤 —角 | 平行底盤 —角 | W | — | — | — | — |
| 146 | 598 | 49 | 43 | 12512 包含層 3b層 | 亞 | 定向 | 平行底盤 —角 | 平行底盤 —角 | V | — | — | — | — |

| 編號 | 年份 | 地點 | 層位 | 地層 | 外觀特徵 | 內部結構 | 範圍條件 | 分類 | 法量 | | 備註 | | |
|-----|-----|----|-------------|-------------|--------|------|------|------|---------|-----|------|------------------------|------|
| | | | | | | | | | 外加 | 內添 | | | |
| 147 | 49 | 43 | 12F12 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | 0.5~0.9 | 2.0 | 4.1 | 15.5 | |
| 148 | 688 | 49 | 12F17 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 46.8 | |
| 149 | 726 | 49 | 12F12 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | 1.8 | — | 21.4+12.4=33.8 ±0.7 | |
| 150 | 50 | 43 | 12F22 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 30.7 | |
| 151 | 50 | 43 | 12F21 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 48.6 | |
| 152 | 610 | 50 | 43 | 12F22 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | — | — | — | 180.1 | |
| 153 | 711 | 50 | 43 | 12F11 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 0.5~0.8 | 8.0 | 19.2 | 720.5 | |
| 154 | 769 | 50 | 44 | 11F4 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | — | — | — | 1527.5 | |
| 155 | 560 | 51 | 44 | 12F17 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | — | — | — | 356.4 | |
| 156 | 611 | 51 | 44 | 12F16 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | — | — | — | 144.2 | |
| 157 | 51 | 44 | 12F21 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 46.4 | |
| 158 | 51 | 44 | 12F22 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 64.4 | |
| 159 | 51 | 44 | 12F16 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 20.8 | |
| 160 | 51 | 44 | 12F12 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 25.7 | |
| 161 | 169 | 51 | 44 | 13G1 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 34.6 |
| 162 | 51 | 44 | 12F16 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 26.4 | |
| 163 | 759 | 51 | 44 | 12F21 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 42.9 |
| 164 | 51 | 45 | 12F11 包含層3m | 出土點-層位 | 泥層 | 平行裂隙 | 平行流線 | 平行流線 | — | — | — | 24.9 | |

| 編號 | 東經 ^o | 北緯 ^o | 等高 ^m | 出土地點 | 層位 | 齒槽 | 翼方盤 | 外兩葉齒 | 內圓齒輪 | 繪文穿孔 | 底面影響 | 分類 | 成化物 | | 測量(公尺) | 測量(公尺) | 備考 |
|-----|-----------------|-----------------|-----------------|-------|---------------|-----|------|------|--|------|-------|--------|--------|------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | | | | | | 外側 | 內側 | 上部(公尺) | 底部(公尺) | |
| 198 | 741 | 54 | 47 | 12721 | 包含層3層下位 | 片狀 | 口一側齒 | 立枝尖端 | LR | X | 部以上：無 | (28.9) | — | — | 225.7 | — | |
| 199 | — | 54 | 47 | 1165 | 包含層3層 | — | — | —— | LR | X | 部以上：無 | — | — | — | — | 19.7 | — |
| 200 | — | 54 | 47 | 12622 | 包含層3層下位 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 201 | 429 | 54 | 47 | 12922 | 包含層3層 | 合孔形 | 口一後區 | 平行狀 | 平行狀 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 202 | 516 | 54 | 47 | 1170 | 包含層3層 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 203 | 768 | 54 | 47 | 1103 | 包含層3層 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | RL | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 204 | 869 | 54 | 48 | 12721 | 包含層3層上位 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | RL | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 205 | 789 | 55 | 48 | 1103 | 包含層3層 3層下位 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 206 | 771 | 55 | 48 | 11034 | 包含層3層 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 207 | 425 | 55 | 48 | 11610 | 包含層3層 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 208 | 430 | 55 | 48 | 12626 | 包含層3層 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 209 | 442 | 55 | 48 | 11615 | 包含層3層 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 210 | 812 | 55 | 48 | 12716 | 包含層3層上位 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 211 | — | 55 | 48 | 12522 | 包含層3層下位 | 合孔形 | 略寬 | 口一側齒 | 平行狀 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 212 | 767 | 55 | 48 | 1201 | 包含層3層下位 | 合孔形 | 略寬 | 口一側齒 | 平行狀 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 213 | — | 55 | 48 | 11610 | 包含層3層 3層下位 | 合孔形 | 略寬 | 平行狀 | 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |
| 214 | 735 | 55 | 48 | 12722 | 包含層3層下位 | 合孔形 | 略寬 | 口一側齒 | 平行狀 斜行 法線：平行狀 列：松土層 基部：合孔形 以下：無 | LR | 部以上：無 | (17.3) | (10.3) | 18.1 | 223.4 | — | |

| 標本番号 | 学名 | 科 | 属 | 種 | 出芽點・頂位 | | 被性 | 被有根足 | 外被有根足 | | 内被有根足 | | 被文様 | 被形 | 外被 | | 内被 | | 被高(cm) | | 備考 | | |
|------|-------------|-----|----|--------------|---------------------------------|---------|----|------|------------|------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|----|----|------|----------|
| | | | | | 固有部 | 可塑部 | | | 脚部 | 脚部 | 脚部 | 脚部 | | | 脚部 | 脚部 | 脚部 | 脚部 | 脚部 | 脚部 | | | |
| 215 | | 55 | 48 | 1304 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚H 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | 30.4 | ミガキウツボ |
| 216 | 780 | 55 | 48 | 12721 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | 2.前半上傾 |
| 217 | | 55 | 48 | 1105 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | 60.1 下傾後 |
| 218 | | 56 | 49 | 11720 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | 27.8 |
| 219 | | 56 | 49 | 1321 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | 23.0 |
| 220 | 533 | 56 | 49 | 12721, 12722 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 221 | | 472 | 56 | 49 | 1109 | 包含層3層下位 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 222 | | 36 | 49 | 12356 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 223 | 414· 668 | 56 | 49 | 12721 | 包含層3層上 位, 1105 (包含層3層 下位) | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 224 | | 770 | 56 | 49 | 11010 | 包含層3層下位 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 225 | | 56 | 49 | 11010 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 226 | | 56 | 49 | 12726 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 227 | | 56 | 49 | 12726 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 228 | | 56 | 49 | 11610 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 229 | | 56 | 49 | 11610 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 230 | | 126 | 57 | 49 | 11610 | 包含層3層下位 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 231 | | 741 | 57 | 49 | 11720 | 包含層3層下位 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 232 | | 66 | 49 | 12351 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |
| 233 | | 57 | 50 | 1201 | 包含層3層下位 | 浅井 | | | 脚E 平行脈化 感應 | 脚E 平行脈化 感應 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | 脚V1 | — | — | — | — |

| 號數 | 頁 次 | 形體 | 聲母 | 出土地點、層位 | 器種 | 殘存部位 | 外函裝飾 | 內函裝飾 | 編文原字 | 底面形狀 | 分類 | 灰陶 | | 白陶 | | 法器 | | 重量(g) | 器高(cm) | 底寬(cm) | 口徑(cm) | 內側 | 外側 | 標考 |
|-----|--------|----|-----------------|-----------------|------|------|-------|-------|------|------|------|----|---|----|---|----|---|-------|--------|--------|--------|----|----|------|
| | | | | | | | | | | | | 外 | 內 | 外 | 內 | 外 | 內 | | | | | | | |
| 225 | 375 | 57 | 50 | 11011 金合鑄 3a 鎏金 | 碗 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | 方孔 | II | — | — | — | — | — | — | 6.9 | — | — | — | — | — | 13.1 |
| 226 | 375 | 57 | 50 | 11221 金合鑄 3a 鎏金 | 碗 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | 方孔 | II | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 70.5 |
| 227 | 57 | 50 | 12321 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | — | — | 平行流線 | C-X文字 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 228 | 57 | 50 | 12321 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | — | — | 平行流線 | C-X文字 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 229 | 490 | 57 | 50 | 11053 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 230 | 786 | 58 | 51 | 10929 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | 丸底 | V2 | — | — | — | — | — | — | 6.9 | 6.2 | 12.0 | 251.4 | — | — | — |
| 240 | 786 | 58 | 51 | 11053 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | 丸底 | V1.C | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 241 | 787 | 58 | 51 | 11059 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | 丸底 | V2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 242 | 58 | 51 | 11059 金合鑄 3a 鎏金 | 盘 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | — | V2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 243 | 634 | 58 | 51 | 12316 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 244 | 781 | 68 | 61 | 11049 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 245 | 764 | 58 | 51 | 12322 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 246 | 783 | 38 | 51 | 12322 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 247 | 483 | 58 | 51 | 12322 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 248 | 538 | 58 | 51 | 11015 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 249 | 739 | 59 | 52 | 11049 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 250 | 59 | 52 | 11025 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 251 | 59 | 52 | 11029 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 252 | 740 | 59 | 52 | 11049 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 253 | 59 | 52 | 12311 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 254 | 384 | 59 | 52 | 11049 金合鑄 3a 鎏金 | 盤 | 口~腹沿 | 平行流線 | 人頭三叉文 | LR | — | X | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |

外國水印

西周

甲子

年

歲

年

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

歲

| 标本号 | R号 | L号 | 产地 | 所生地点·附注 | 产地 | 外触角 | 触角基部 | 触觉感受器 | | 气孔化物 | 气孔 | 气孔(μm) |
|-----|-----|----|----|--------------|-----|------|------|-------|------|------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | | | | 气孔数 | 气孔间距 | | | | | | | | | | |
| 255 | 578 | 59 | 52 | 11G14 包含管3a型 | 下 | 口~触毛 | 触毛 | 2 | — | 7.7 | — | — | — | 119.3 | — | — | — | — | — |
| 256 | 438 | 59 | 52 | 11G15 包含管3a型 | 上 | 口~触毛 | 触毛 | 3 | — | 8.2 | — | — | — | 141.3 | — | — | — | — | — |
| 257 | — | 99 | 52 | 12F21 包含管3a型 | 上 | 口~触毛 | 触毛 | 3 | — | 4.8 | — | — | — | 87.0 | — | — | — | — | — |
| 258 | — | 99 | 52 | 11G9 包含管3a型 | 上 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | 6.2 | — | — | — | 146.8 | — | — | — | — | — |
| 259 | 785 | 39 | 53 | 11F9 包含管3a型 | 下 | 触毛 | 触毛 | 3 | — | 4.5 | 1.6 | 8.2 | 107.0 | — | — | — | — | — | — |
| 260 | — | 59 | 53 | 13G1 包含管3a型 | 下 | 口~触毛 | 触毛 | 3 | — | 3 | — | — | — | 97.7 | — | — | — | — | — |
| 261 | 443 | 60 | 53 | 11G14 包含管3a型 | 注1 | 口~触毛 | 触毛 | 3 | — | 42.3 | — | — | — | 455.7 | — | — | — | — | — |
| 262 | 384 | 60 | 53 | 11G5 包含管3a型 | 井口 | 触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 263 | 585 | 60 | 53 | 11F9 包含管3a型 | 注1? | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 264 | — | 60 | 53 | 11F25 包含管3a型 | 注口? | 触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 265 | 713 | 60 | 53 | 11G3 包含管3a型 | 注口? | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 266 | — | 60 | 53 | 11G9 包含管3a型 | 下 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 267 | — | 60 | 53 | 12G2 包含管3a型 | 下 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 268 | — | 60 | 53 | 12F21 包含管3a型 | 下 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 269 | — | 60 | 53 | 12F21 包含管3a型 | 下 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 270 | 330 | 60 | 53 | 12G1 包含管3a型 | 下 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 271 | 153 | 60 | 53 | 11G4 包含管3a型 | 下 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 272 | 411 | 60 | 53 | 12G1 包含管3a型 | 下 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 273 | 476 | 60 | 53 | 11G15 包含管3a型 | 下 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 274 | — | 60 | 54 | 12G6 包含管3a型 | 上 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 275 | 521 | 60 | 54 | 12F22 包含管3a型 | 下 | 触~触毛 | 触毛 | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |

| 标本号 | 系属 | 产地 | 鉴定者 | 出土地点·层位 | 层位 | 地层剖面 | 外购产地 | 内购产地 | 地文原体 | 地文影响 | 分带 | 断代 | 法线 | 口径(cm) | 底径(cm) | 器高(cm) | 器底(径) | 器身(径) | 器口(径) | 器形 |
|-----|-----|----|--------------|-------------------|----|------|------|------|------|------|----|----|----|---------|--------|--------|-------|------------------|-------|-------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 276 | 60 | 54 | 10G4 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (2.2) | 1.5 | 2.7 | 6.5 | 内外齐平直 | 椭圆 | |
| 277 | 712 | 60 | 54 | 12G9 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 1.7 | 0.6 | 2.1 | 7.3 | —— | 椭圆 | |
| 278 | 61 | 54 | 10G9 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | —— | —— | —— | 48.7 | 厚圆率·壁薄·胎土仁 能见 | 椭圆 | |
| 279 | 366 | 61 | 54 | 12G1 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (25.0) | —— | —— | 48.6 | —— | 椭圆 | |
| 280 | 61 | 54 | 10G10 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (18.0) | —— | —— | 274.9 | —— | 椭圆 | |
| 281 | 292 | 61 | 54 | 12G6 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (20.8) | —— | —— | 228.3 | —— | 椭圆 | |
| 282 | 371 | 61 | 54 | 10G15 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (25.1) | —— | —— | 371.4 | —— | 椭圆 | |
| 283 | 692 | 62 | 36 | 10G9 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | —— | —— | —— | 655.5 | —— | 椭圆 | |
| 284 | 541 | 61 | 56 | 11G15 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (17.7) | —— | —— | 235.8 | —— | 椭圆 | |
| 285 | 354 | 62 | 35 | 12G1 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | —— | —— | —— | 599.3 | 内外圆·壁薄·胎土仁 能见 | 椭圆 | |
| 286 | 266 | 62 | 35 | 11G15 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (21.8) | —— | —— | 333.0 | —— | 椭圆 | |
| 287 | 542 | 63 | 56 | 12G21 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 1.2 | 多带以上 | (11.7) | —— | 94.8 | —— | 椭圆 |
| 288 | 281 | 63 | 56 | 11G10 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 1.2~1.5 | 多带以下 | 砾层下部 | —— | 8.4 | —— | 561.1 |
| 289 | 196 | 63 | 56 | 12G6 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (10.7) | —— | —— | 49.7 | —— | 椭圆 | |
| 290 | 63 | 56 | 12G21 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | —— | —— | —— | 43.4 | —— | 椭圆 | |
| 291 | 63 | 56 | 11G14 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 14.4 | —— | —— | 105.1 | —— | 椭圆 | |
| 292 | 63 | 56 | 12G22 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (12.6) | —— | —— | 50.0 | 8.7 | 椭圆 | |
| 293 | 297 | 63 | 56 | 12G11 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (12.1) | —— | —— | 74.4 | —— | 椭圆 | |
| 294 | 63 | 56 | 12G1 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (7.2) | —— | —— | 43.6 | —— | 椭圆 | |
| 295 | 262 | 63 | 56 | 12G1-14G10 包含层25层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | 砾层 | (10.0) | —— | —— | 125.1 | —— | 椭圆 | |

| 標本號 | 序號 | 產地 | 年份 | 出土地點·深度 | 性別 | 殘存部位 | 外觀描述 | 判斷長軸 | 確定性質 | 分類 | 退化物 | | 外觀 | 剖面 | 長度(cm) | 厚度(cm) | 重量(g) | 備註 |
|-----|-----|----|-----------------------|-----------------|------|--------------------------|--------------------------|-------------|--------|----------|------------|--------|-----|------|--------|--------|-------|-------------|
| | | | | | | | | | | | Ⅲ | Ⅳ | | | | | | |
| 295 | 361 | 63 | 56 | 13G1 級合層 25 厘米 | 男 | 口~喉部 | B型突 唇突尖端(C) 平行直線 | 平行直線 | LR | Ⅹ 10 | 磨穿以 上 | — | — | — | — | — | 62.7 | |
| 297 | — | 63 | 56 | 12G6 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | B型突 唇突尖端(C) 平行直線 | D尖端變形 直線 | LR | Ⅹ 12 c | 磨穿以 上 | θ 7.1 | — | — | — | — | 42.9 | |
| 298 | 287 | 63 | 56 | 12G6 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 外側突起 唇突尖端 平行直線 | 平行直 線 | LR | Ⅹ 12 b | 磨穿中位 以下 | (12.6) | — | — | — | — | 164.2 | |
| 299 | 306 | 64 | 56 | 11G5 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 外側突起 唇突尖端 平行直線 | 平行直 線 | LR | Ⅹ 12 d | 磨穿以 上 | (7.2) | — | — | — | — | 266.6 | |
| 300 | 64 | 57 | 11G5+12G5 15 合層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 外側突起 唇突尖端 平行直 線 | 口唇部基 部平直 無突起 | LR | Ⅹ 12 f | △直 線 | 磨穿底 位 | (16.8) | — | — | — | — | 368.8 | |
| 301 | 274 | 64 | 57 | 11G10 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 外側突起 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | LR | Ⅹ 12 h | 磨穿以 上 | θ 25.1 | — | — | — | — | 89.7 | |
| 302 | 274 | 64 | 57 | 11G10 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 外側突起 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | LR | Ⅹ 12 i | 磨穿以 上 | θ 25.1 | — | — | — | — | 86.9 | |
| 303 | 64 | 57 | 11G15 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 外側突起 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | LR | Ⅹ 12 k | 磨穿以 上 | (11.8) | — | — | — | — | 56.6 | | |
| 304 | — | 64 | 57 | 11G15 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 外側突起 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | LR | Ⅹ 12 l | 磨穿以 上 | (43.8) | — | — | — | — | 100.3 | |
| 305 | — | 64 | 57 | 11G9 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 口唇部基 部平直 無突起 | B型突 | LR | Ⅹ 12 m | — | (18.1) | — | — | — | — | 123.1 | |
| 306 | 350 | 64 | 57 | 12G1 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 外側突起 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | LR | Ⅹ 12 n | 磨穿以 上 | — | — | — | — | — | 96.1 | 154.1 個，下顎。 |
| 307 | 331 | 64 | 57 | 11G15 包含層 25 厘米 | 女 | 喉突形 | 外側突起 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | LR | Ⅹ 12 o | — | (16.0) | 6.6 | 16.5 | 283.8 | | | |
| 308 | 338 | 64 | 57 | 11G15 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 外側突起 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | LR | Ⅹ 12 p | 磨穿以 上 | (21.3) | — | — | — | — | 187.4 | |
| 309 | 334 | 65 | 58 | 11G5 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | 口唇部基 部平直 無突起 | B型突 | LR | Ⅹ 12 q | — | (20.7) | — | — | — | — | 323.2 | |
| 310 | — | 65 | 58 | 11G10 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | B型突 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | LR | Ⅹ 11 | — | (12.9) | — | — | — | — | 89.9 | |
| 311 | 345 | 65 | 58 | 11G15 包含層 25 厘米 | 女 | 口~喉部 | B型突 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | LR | 1.8 | 磨穿以 上 | (4.5) | — | — | — | — | 116.6 | |
| 312 | 398 | 65 | 58 | 11G6 包含層 25 厘米 | 女 | 喉突形 | 口唇部平 直無突起 | 口唇上部 無突起 | LR | 1.9 a | 磨穿上 部 | (15.3) | 6.0 | 12.2 | — | — | 256.3 | |
| 313 | 91 | 65 | 58 | 11G15 包含層 25 厘米 | 女 | 喉突形 | 外側突起 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | W 4 | — | — | — | — | 2.9 | — | — | 91.0 | |
| 314 | 276 | 65 | 58 | 11G10 包含層 25 厘米 | 女 | 喉突形 | 外側突起 唇突尖端 平行直 線 | 平行直 線 | W 4 | — | — | (8.8) | 2.3 | 6.8 | — | — | 60.5 | |

| 标号 | 组别 | 组号 | 测点号 | 方位图 | 出土地点、部位 | 特征 | 构件位置 | 外表面 | 内凹之角 | 编文质地 | 编文内容 | 分属 | 度量(单位) | | 法面 | 重量(g) | 备注 |
|-----|-----|----|-------|--------|----------|------|------|-----|------|------|------|------|--------|------|--------|--------|-------|
| | | | | | | | | | | | | | 外圆 | 内圆 | 口径(cm) | 底径(cm) | |
| 315 | 284 | 65 | 58 | 11010 | 包含层25层 | 抹 | 平行沟槽 | 略光形 | 无 | 泥质 | 略上浮 | Ⅱ型 | 12.1 | 9.5 | 3.0 | 6.5 | 75.0 |
| 316 | 646 | 65 | 58 | 11014 | 包含层25层 | 抹 | 平行沟槽 | 略光形 | 无 | 泥质 | 略上浮 | Ⅱ型 | 14.5 | 10.7 | 2.1 | 5.8 | 73.6 |
| 317 | 71 | 65 | 58 | 11015 | 包含层25层 | 抹 | 平行沟槽 | 略光形 | 无 | 泥质 | 略上浮 | Ⅱ型 | 14.5 | 10.7 | 3.0 | 6.8 | 76.1 |
| 318 | 271 | 65 | 58 | 11019 | 包含层25层 | 抹 | 平行沟槽 | 略光形 | 无 | 泥质 | 略上浮 | Ⅱ型 | 14.5 | 11.4 | — | — | 69.9 |
| 319 | 92 | 65 | 58 | 11015 | 包含层25层 | 抹 | 平行沟槽 | 略光形 | 无 | 泥质 | 略上浮 | Ⅱ型 | 14.5 | 16.0 | 3.2 | 9.5 | 169.1 |
| 320 | 264 | 65 | 58 | 11015 | 包含层25层 | 抹 | 平行沟槽 | 略光形 | 无 | 泥质 | 略上浮 | Ⅱ型 | 14.5 | 17.2 | — | — | 123.9 |
| 321 | 66 | 59 | 69 | 11019 | 包含层25层 | 抹? | 平行沟槽 | 略光形 | 无 | 泥质 | 略上浮 | Ⅱ型 | 14.5 | — | — | — | 69.0 |
| 322 | 267 | 66 | 59 | 11014 | 包含层25层 | 抹? | 平行沟槽 | 略光形 | 无 | 泥质 | 略上浮 | Ⅱ型 | 14.5 | — | — | — | 223.2 |
| 323 | 66 | 59 | 11019 | 包含层25层 | 抹 | 平行沟槽 | 略光形 | 无 | 泥质 | 略上浮 | Ⅱ型 | 14.5 | — | — | — | 65.2 | |
| 324 | 513 | 66 | 59 | 12027 | 包含层25层 | 抹? | 斜一面坡 | 稍粗糙 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | 199.1 |
| 325 | 66 | 59 | 11010 | 包含层25层 | 抹 | 平行沟槽 | 略光形 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | — | |
| 326 | 286 | 66 | 59 | 11010 | 包含层25层 | 台竹林 | 略光形 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | — | |
| 327 | 66 | 59 | 12021 | 包含层25层 | 台竹林 | 略光形 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | — | — | |
| 328 | 723 | 66 | 59 | 12011 | 包含层25层 | 台竹林 | 略光形 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | — | |
| 329 | 379 | 66 | 59 | 11015 | 包含层25层 | 台竹林 | 略光形 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | — | |
| 330 | 335 | 66 | 59 | 11015 | 包含层25层 | 台竹林 | 略光形 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | — | |
| 331 | 340 | 66 | 59 | 11015 | 包含层25层 | 台竹林 | 略光形 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | — | |
| 332 | 221 | 66 | 59 | 11019 | 包含层25层 | 台竹林 | 略光形 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | — | |
| 333 | 266 | 66 | 59 | 11015 | 包含层25层 | 台竹林 | 略光形 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | — | |
| 334 | 411 | 67 | 60 | 11015 | 包含层25层下段 | 台竹林 | 略光形 | 无 | 泥质 | 平行沟槽 | Ⅲ型 | 14.5 | — | — | — | — | |

| 編號 | 英名 | 固有名 | 产地 | 出土地點・標本 | 花期 | 喫仔花序 | 外觀花序 | 內面花被 | 底葉形狀 | 分類 | 氣化物 | | 注意 | | |
|-----|----|-----|----|--------------------------------|----|------|------|------|-------------------|-------------------|--------|-------|--------|--------|---------------|
| | | | | | | | | | | | 外 | 內 | 口徑(cm) | 底徑(cm) | |
| 335 | | 67 | 60 | 11G15 包含管25管 | 花序 | 口白花被 | 口～光被 | 單被文 | V 3 b | V 2 | (14.7) | — | — | 40.3 | |
| 336 | | 67 | 60 | 11G10 包含管25管 | 花序 | 口～帶被 | 口～帶被 | 單被文 | 半化學 半化學 半化學 | 半化學 半化學 半化學 | (15.3) | — | — | 107.5 | |
| 337 | | 67 | 60 | 12F17 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 大葉 | V 1 | 67.5 | (1.4) | 2.7 | 14.6 | |
| 338 | | 541 | 67 | 60 12F22 包含管25管 25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | LR | III 2 b | (18.8) | — | — | 69.6 | |
| 339 | | 530 | 67 | 60 12F17 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 半被文上半部半被 無被 | II 2 b | (16.7) | 4.3 | 5.3 | 70.0 | |
| 340 | | 67 | 60 | 12F22 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | LR | II 5 | (17.2) | 4.4 | 3.3 | 31.2 | |
| 341 | | 67 | 60 | 11G10+11G15 包含管 25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 舌狀花被 | III 5 | (22.6) | 6.0 | 8.5 | 297.0 | |
| 342 | | 539 | 67 | 60 12G1 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 半被文上半部半被 無被 | II 2 b | (17.1) | 5.4 | 6.3 | 78.7 | |
| 343 | | 421 | 67 | 60 12G6 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 半被文上半部半被 無被 | II 5 | — | — | — | 61.4 | 内部顏色 之字形質狀 |
| 344 | | 331 | 68 | 60 11G10 包含管25管 12G5 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 舌狀花被 | III 7 | (18.2) | 2.8 | 6.3 | 191.0 | |
| 345 | | 67 | 60 | 11G14 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 無被 | II 7 | (20.2) | 5.0 | 6.7 | 100.2 | |
| 346 | | 68 | 61 | 11G9 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 半被文上半部半被 無被 | II 2 | (20.3) | — | — | 109.2 | |
| 347 | | 814 | 68 | 61 12F17 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 無被 | III 6 | — | — | — | 67.6 | |
| 348 | | 725 | 68 | 61 11G9 包含管25管 下位 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 無被 | II 8 b | (22.2) | (2.4) | 8.0 | 226.6 | |
| 349 | | 635 | 68 | 61 11G10 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 半被文上半部半被 無被 | II 8 b | — | — | — | 224.3 | |
| 350 | | 312 | 68 | 61 11G14 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 無被 | II 8 b | — | — | — | 168.3 | |
| 351 | | 301 | 68 | 61 12G6 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 無被 | II 8 b | — | — | — | 27.2 | |
| 352 | | 68 | 61 | 12F22 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | A型被 平行被 | II 8 b | 69.5 | 4.1 | 4.7 | 29.7 | |
| 353 | | 448 | 68 | 61 12F21 包含管25管 上位 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 平行被 無被 | V 3 b | — | — | — | 65.9 | |
| 354 | | 68 | 61 | 12F21 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 平行被 無被 | II 8 b | — | — | — | 30.5 | 内部顏色 之字形質狀 |
| 355 | | 737 | 69 | 61 11G9 包含管25管 | 花序 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 舌狀花被 | 平行被 無被 | II 2 | (15.6) | 6.2 | 4.2 | 95.3 | |

| 标号 | 属种 | 产地 | 出土地点·层位 | 特征 | 残存状况 | 外型特征 | 内型特征 | 缺文特征 | 底足特征 | 壳化带 | | 壳宽(cm) | 壳高(cm) | 重量(g) | 地名 |
|-----|-----|----|-----------------|-------------|------|-----------|--------------------------------|------|------------|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | | | | | | | | | | 外带 | 内带 | | | | |
| 356 | 362 | 69 | 61 | 11G15 包含带2带 | 浅体 | 精壳形 | 外凹壳形 平行底缘 | 缺 | V1.2 | | | (6.8) | (5.2) | 2.2 | 11.0 |
| 357 | 69 | 61 | 12G5 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 外凹壳形 平行底缘 | 缺 | LR | 底面中央 凹槽 | (12.3) | 9.1 | 6.1 | 23.9 | | |
| 358 | 285 | 69 | 62 | 11G10 包含带2带 | 浅体 | 口~圆锥形 | 日弯形 别具外型 起平行底缘 韶关属 | 缺 | LR | | (27.5) | — | — | 215.8 | |
| 359 | 289 | 69 | 62 | 12G6 包含带2带 | 浅体 | 口~圆形 | B壳形 平行底缘 | 缺 | LR | V.2 | | — | — | — | 90.4 |
| 360 | 529 | 69 | 62 | 12G7 包含带2带 | 浅体 | 口~圆形 | 正侧壳形 刻目 外型 突起 平行底缘 侧面 浅体 | 缺 | LR | V1.2 | | (30.3) | — | — | 161.2 |
| 361 | 724 | 69 | 62 | 11G9 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 外凹壳形 下行底缘 | 缺 | LR | 底面中央 凹槽 | (15.3) | 8.5 | 5.5 | 154.0 | |
| 362 | 69 | 62 | 11G10 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 外凹壳形 平行底缘 | 缺 | LR | 底面中央 凹槽 | (20.9) | 8.6 | 6.1 | 168.7 | | |
| 363 | 374 | 69 | 62 | 11G15 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 外凸壳形 平行 底缘 | 缺 | LR | V1.2 | | (15.9) | 9.7 | 4.3 | 81.5 |
| 364 | 148 | 70 | 62 | 11G14 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 外凹壳形 平行 底缘 | 缺 | LR | V1.2 | | (17.0) | 9.3 | 4.2 | 130.3 |
| 365 | 70 | 62 | 12G6 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 外凹壳形 平行底缘 | 缺 | LR | V1.2 | | (16.2) | (8.2) | 4.3 | 133.2 | |
| 366 | 42 | 70 | 62 | 11G10 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 平行底缘 缺嘴文 | 缺 | LR | V1.2 | | (17.9) | (11.4) | 4.0 | 96.7 |
| 367 | 363 | 70 | 62 | 12G1 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 外凹壳形 平行底 缘 | 缺 | LR | 底面中央 凹槽 | (21.0) | (4.2) | 9.3 | 152.7 | |
| 368 | 694 | 70 | 62 | 11G9 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 口部深浅 平行底缘 | 缺 | LR | 底面中央 凹槽 | (23.9) | 8.0 | 8.4 | 315.4 | |
| 369 | 374 | 70 | 63 | 12G21 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 平行底缘 | 缺 | LR | 底面中央 凹槽 | (16.8) | (4.5) | 6.5 | 97.8 | |
| 370 | 526 | 70 | 63 | 12G21 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 平行底缘 | 缺 | LR | V1.3 b | | (11.7) | 6.7 | 4.3 | 41.9 |
| 371 | 70 | 63 | 11G5 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 口部缺V带 | 缺 | LR | V1.3 | | (9.0) | 4.5 | 3.8 | 22.8 | 外型背斜带 |
| 372 | 70 | 63 | 12G16+12G17 包含带 | 浅体 | 缺壳形 | 缺壳形 | 缺 | LR | V1.1 | | (11.1) | — | 5.0 | 69.3 | |
| 373 | 70 | 63 | 11G14 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 缺壳形 | 缺 | LR | V1.1 | | (12.4) | 2.4 | 4.2 | 106.1 | |
| 374 | 695 | 70 | 63 | 11G9 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 缺壳形 | 缺 | LR | 底面中央 凹槽 | (16.3) | 3.4 | 5.7 | 22.6 | |
| 375 | 280 | 70 | 63 | 11G15 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 缺壳形 | 缺 | LR | 底面中央 凹槽 | (17.2) | (4.0) | 4.8 | 92.4 | |
| 376 | 230 | 70 | 63 | 11G10 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 缺壳形 | 缺 | LR | 底面中央 凹槽 | (16.0) | 4.5 | 7.1 | 380.6 | |
| 377 | 286 | 70 | 63 | 12G3 包含带2带 | 浅体 | 缺壳形 | 缺壳形 | 缺 | LR | T.3 | | 9.6 | 2.0 | 4.9 | 112.0 |

| 編號 | E(上)F 36 | 區塊 | T1G15 | 出土地點・層位 | 剖面 | 外觀形態 | 內測形態 | 標文符號 | 底部形態 | 分類 | 風化物 | 內圓 | 口徑(cm) | 底徑(cm) | 高度(cm) | 重量(g) | 備考 |
|-----|-------------|----|-------|--------------|----|------|----------|------|------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 378 | 262 | 71 | 63 | T1G15 包含層25層 | 淺灰 | 吻形 | 口徑較窄，光亮 | | 底~上部 | III 11 | | 11.9 | 3.6 | 5.7 | 20.7 | | |
| 379 | 323 | 71 | 63 | T1G15 包含層25層 | 淺灰 | 吻形 | 口徑較窄，光亮 | | 底~上部 | IV 3 b | | (26.8) | 12.1 | 7.3 | 396.0 | | |
| 380 | 662 | 71 | 63 | T1G15 包含層25層 | 淺灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | (27.0) | 6.6 | 8.4 | 79.1 | | |
| 381 | 191 | 71 | 63 | T1G15 包含層25層 | 淺灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 4.9 | 152.0 | 44.2 | |
| 382 | 644 | 71 | 63 | T1G15 包含層25層 | 淺灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | — | 60.1 | | |
| 383 | 350 | 71 | 64 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 2.8 | — | 82.2 | |
| 384 | 280 | 71 | 64 | T1G15 包含層25層 | 灰? | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | (5.4) | — | 176.9 | |
| 385 | 307 | 71 | 64 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 8.0 | — | 153.2 | |
| 386 | 396 | 71 | 64 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | — | — | — | |
| 387 | — | 71 | 64 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 6.3 | — | 61.9 | |
| 388 | — | 72 | 64 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 41.8 | — | 1633.8 | |
| 389 | 380 | 71 | 64 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 6.4 | — | — | |
| 390 | 657 | 72 | 64 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 5.4 | 3.0 | 190.6 | |
| 391 | 514 | 72 | 64 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 5.1 | 3.2 | 245.4 | |
| 392 | 195 | 72 | 65 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | (5.8) | 2.1 | 5.0 | |
| 393 | 108 | 72 | 65 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 2.6 | — | 87.0 | |
| 394 | 344 | 72 | 65 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 3.0 | — | 130.5 | |
| 395 | — | 72 | 65 | T1G15 包含層25層 | 灰? | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 4.7 | — | 102.9 | |
| 396 | 695 | 72 | 65 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | (6.6) | — | 78.6 | |
| 397 | 431 | 72 | 65 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | (11.1) | — | 215.6 | |
| 398 | 619 | 73 | 65 | T1G15 包含層25層 | 灰 | 吻形 | 口~底部平行橫紋 | | 底~上部 | V 1 | | — | — | 2.5 | — | 228.6 | |

| 标本号 | 采集地 | 海拔(m) | 日期 | 产地 | 科属 | 形态特征 | 果实 | | 花被 | | 备注 | |
|-----|-----|-------|-------|------------|------------------------|------------------------|----------------------|------------------------|----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | 外果皮 | 内果皮 | 口被 | 底被 | | |
| 206 | 648 | 73 | 65 | 1331-11630 | 百合科 | 舌状花型 单生基点，萼膜质 | 花被 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 果梗基部膨大，先端渐狭，先端2裂 | LK | LR | 1.9 | — |
| 400 | 333 | 73 | 65 | 1251 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 4.2 | 1.6 |
| 401 | 236 | 73 | 65 | 11610 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 4.5 | 1.6 |
| 402 | 331 | 73 | 65 | 11615 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 403 | 73 | 65 | 11615 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 | |
| 404 | 251 | 73 | 65 | 11615 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 405 | 547 | 73 | 65 | 11614 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 406 | 238 | 73 | 65 | 1256 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 407 | 73 | 65 | 11725 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 | |
| 408 | 73 | 65 | 11615 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 | |
| 409 | 73 | 66 | 1252 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 | |
| 410 | 103 | 73 | 66 | 11610 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 411 | 250 | 73 | 66 | 11615 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 412 | 373 | 73 | 66 | 11615 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 413 | 296 | 73 | 66 | 12615 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 414 | 262 | 73 | 66 | 12611 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 415 | 588 | 73 | 66 | 12716 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 416 | 561 | 73 | 66 | 12717 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 417 | 533 | 73 | 66 | 12717 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 418 | 290 | 74 | 66 | 11610 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |
| 419 | 96 | 74 | 66 | 11619 | 百合科 | 蝶形花型 基部膨大，上部渐狭，先端2裂 | 果梗 | 果梗 | LR | LR | 6.0 | 2.1 |

| 标号No. | 类别 | 特征点·部位 | 层级 | 构件202 | 外圈装饰 | 内圈装饰 | 底座装饰 | | 底座影响 | | 底座物 | | 底座(底座物) | 底座(底座物) | 底座(底座物) | |
|-------|-----|----------|-----------------|-------|------|-------------|-------------|-------------|------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| | | | | | | | 外圆D处 | 口缘轮廓 | II | III | 外圆D处 | 口缘轮廓 | II | III | | |
| 420 | 216 | 74 67 | 11G14 包含等2等 | 底座 | 口~圆形 | 底座 | LR | — | — | (28.6) | — | — | — | 863.5 | — | — |
| 421 | 216 | 74 66 | 11G15 包含等2等1~2等 | 底座 | 口~圆形 | 底座 | LR | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 422 | 216 | 74 66 | 11G14 包含等2等1~2等 | 底座 | 口~圆形 | B突起 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 133.7 |
| 423 | 186 | 75 67 | 11G10 包含等2等 | 底座 | 片口等形 | 变形 | 可读突起 | 可读突起 | II | 1.3 | 底座以外 | 底座以外 | II, III | — | — | — |
| 424 | 145 | 75 67 | 11G10 包含等2等 | 脚圈 | 口缘轮廓 | 外圆B处起 C Y T | 外圆B处起 C Y T | 外圆B处起 C Y T | LR | — | — | — | — | — | — | — |
| 425 | 229 | 75 67 | 11G10 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 外圆C处起 C~大字文 | 外圆C处起 C~大字文 | 外圆C处起 C~大字文 | LR | — | — | — | — | — | — | — |
| 426 | 229 | 75 67 | 11G14 包含等1~2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 日字行+圆点的中心 | 日字行+圆点的中心 | 日字行+圆点的中心 | LR | — | — | — | — | — | — | 52.4 |
| 427 | 212 | 75 67 | 11G15 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 外圆B处起 口缘轮廓 | 外圆B处起 口缘轮廓 | 外圆B处起 口缘轮廓 | LR | — | — | — | — | — | — | — |
| 428 | 212 | 75 67 | 11G19 包含等1~2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 平行行笔 | 平行行笔 | 平行行笔 | LR | — | — | — | — | — | — | — |
| 429 | 212 | 75 67 | 11G19 包含等1~2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 平行行笔 | 平行行笔 | 平行行笔 | LR | X 12.2 | — | — | — | — | — | — |
| 430 | 212 | 75 67 | 11G19 包含等1~2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 平行行笔 | 平行行笔 | 平行行笔 | LR | X 12.6 | — | — | — | — | — | — |
| 431 | 211 | 75 67 | 11G15 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 平行行笔 | 平行行笔 | 平行行笔 | LR | X 12.6 | 脚踏L型 | 脚踏L型 | X 12.6 | — | — | 79.8 |
| 432 | 206 | 75 67 | 11G15 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 平行行笔 | 平行行笔 | 平行行笔 | LR | X 12.6 | 脚踏L型 | 脚踏L型 | X 12.6 | — | — | 55.6 |
| 433 | 197 | 75 68 | 12G6 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 平行行笔 | 平行行笔 | 平行行笔 | LR | X 12.6 | 脚踏L型 | 脚踏L型 | X 12.6 | — | — | — |
| 434 | 215 | 75 68 | 11G14 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 11管部美化 | 11管部美化 | 11管部美化 | LR | X 12.6 | 脚踏L型 | 脚踏L型 | X 12.6 | — | — | 76.2 |
| 435 | 197 | 75 68 | 11G10 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | B突起 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 100.7 |
| 436 | 192 | 75 68 | 12G1 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 底座 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 437 | 175 | 75 68 | 11G25 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 底座 | 底座 | 底座 | LR | 1.9 b | — | — | — | — | — | — |
| 438 | 231 | 75 68 | 11G10 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 底座 | 底座 | 底座 | LR | 1.9 b | 脚踏以下 扇形 | 脚踏以下 扇形 | X 12.8 | — | — | — |
| 439 | 198 | 75 68 | 11G10 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 底座 | 底座 | 底座 | LR | 1.9 b | 脚踏以下 扇形 | 脚踏以下 扇形 | X 12.7 | — | — | — |
| 440 | 176 | 75 68 | 12F17 包含等2等 | 脚圈 | 口~圆形 | 底座 | 底座 | 底座 | LR | 1.9 b | 脚踏以下 扇形 | 脚踏以下 扇形 | X 12.7 | — | — | — |

| 标本号 | R (cm) | 茎围 (cm) | 叶 (cm) | 山土或地点、海拔 | 基部 | 枝条数 | 外植部位 | 内植部位 | 枝条原体 | 枝条类型 | 分型 | 演化阶 | | 法器 | 基部 (cm) | 茎部 (cm) | 基部 (cm) | 茎部 (cm) |
|-----|--------|---------|---------------------------|------------------|------|------|----------|------|------|------|------|------|------|-----|---------|---------|---------|---------|
| | | | | | | | | | | | | 内植 | 外植 | | | | | |
| 41 | 177 | 76 | 68 | 11615 气合嘴 2a 唇 | 台枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 42 | 454 | 76 | 68 | 11619 气合嘴 2a 唇 | 台枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 43 | 197 | 76 | 68 | 11619 气合嘴 1~2a 唇 | 台枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 44 | 76 | 68 | 11614 气合嘴 2a 唇 | 台枝 | 口~直形 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 45 | 76 | 69 | 11610 气合嘴 2a 唇 | 台枝 | 口~直形 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 46 | 76 | 69 | 11615 气合嘴 2a 唇 | 台枝 | 口~直形 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 47 | 193 | 76 | 69 | 11611 气合嘴 2a 唇 | 台枝 | 口~直形 | 喝完毛 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 48 | 76 | 69 | 11611-11612 (2c) 气合嘴 2a 唇 | 台枝 | 口~直形 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 49 | 180 | 76 | 69 | 11615 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 49 | 222 | 76 | 69 | 11610 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 451 | 76 | 69 | 11614 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 | |
| 452 | 77 | 69 | 11611-11612 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | A-D-外面空虚 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 453 | 77 | 69 | 11611 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 | |
| 454 | 77 | 69 | 11615 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 | |
| 455 | 214 | 77 | 69 | 11614 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 456 | 77 | 69 | 11615 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 | |
| 457 | 77 | 69 | 11616 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 | |
| 458 | 202 | 77 | 69 | 11610 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 459 | 181 | 77 | 69 | 11613 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |
| 460 | 129 | 77 | 69 | 11610 气合嘴 2a 唇 | 浅枝 | 喝完毛 | 变形 | 平行光裸 | LR | 直行光裸 | 直行光裸 | 口~直形 | 口~直形 | 山珠品 | 9.2 | 4.6 | 9.3 | 13.1 |

| 标号 | 属种 | 法医 | | | | | | | | | | 重量(g) |
|-----|-----|---------|--------------|--------------|--------------------|--------------------|---------|--------|-------|--------|--------|---------|
| | | 出生地点-部位 | 性别 | 残存组织 | 伤势程度 | 致伤物 | 损伤部位 | 外伤 | 内伤 | 挤压(cm) | 挤压(cu) | |
| 461 | 77 | 69 | 11G12 包含骨2mm | 女 | 口-面部 口腔(口鼻) 口唇部 | LR | VII | — | 10.8 | — | — | 36.3 |
| 462 | 99 | 77 | 70 | 11G19 包含骨2mm | 男? | 口-面部 口腔(口鼻) 口唇部 | LR | II 1 b | (0.3) | — | — | 154.7 |
| 463 | 164 | 77 | 70 | 11G10 包含骨2mm | 女? | 口-面部 口腔(口鼻) 口唇部 | LR | II 1 b | — | — | — | 265.2 |
| 464 | 24 | 77 | 70 | 11G19 包含骨2mm | 男(3.2-7) | 口-面部 口腔(口鼻) 口唇部 | LR | IV 5 | IV 3 | — | — | 6.8 休克 |
| 465 | 265 | 77 | 70 | 11G10 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 口-面部 口腔(口鼻) 口唇部 | LR | IV 5 | IV 3 | — | — | — |
| 466 | 77 | 70 | 12G6 包含骨2mm | 女(4.5-7) | 三山纹状创 咬合痕 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 467 | 77 | 70 | 12G1 包含骨2mm | 男(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 468 | 77 | 70 | 11G10 包含骨2mm | 男(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 469 | 77 | 70 | 11G15 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 470 | 77 | 70 | 12G17 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 471 | 77 | 70 | 11G15 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 472 | 77 | 70 | 11G19 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 473 | 77 | 70 | 12G17 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 474 | 77 | 70 | 11G10 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 475 | 77 | 70 | 11G15 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 476 | 77 | 70 | 13G1 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 477 | 77 | 70 | 11G15 包含骨2mm | 男(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 478 | 78 | 70 | 11G15 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV | — | — | — | — | — |
| 479 | 78 | 70 | 11G25 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | IV 12 b | IV 11 | — | — | — | 65.1 |
| 480 | 163 | 78 | 70 | 11G19 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | X | X | 新近以上 | — | — |
| 481 | 78 | 71 | 11G19 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | X | X | 新近以上 | — | — | 16.4 挫伤 |
| 482 | 78 | 71 | 12G6 包含骨2mm | 女(3.2-7) | 咬合形 | LR | X | X | 新近以上 | — | — | 51.5 |

| 词典号 | 读音(1) | 读音(2) | 字形 | 注音 | 部位 | 基型 | 质音组配 | 外齿制音 | 内齿制音 | 制齿质 | 制舌质 | 制舌位 | 外齿 | 内齿 | 上举(cm) 颈高(cm) | 颈高(cm) | 幅度(度) | 偏左 |
|-----|-------|-------|----------|-------|-------|-----|-------|----------------|-------|--------|--------------|--------------|--------|--------|---------------|--------|---------|------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 483 | 78 | 71 | 11G19 | 包含唇1届 | 送风 | 略后仰 | B类突 | 平行双线 | | 1.1°前 | III.11 | | | (17.6) | 5.1 | 7.8 | 94.3 | |
| 484 | 19 | 78 | 71 | 11G15 | 包含唇1届 | 送风 | 略后仰 | 平行双线 | | 1.1°前 | III.9 | | | (11.5) | 6.0 | 5.1 | 43.7 | 右撇形扁 |
| 485 | 78 | 72 | 12G22~23 | 包含唇1届 | 送风 | 略后仰 | 口齿舌平凹 | | | | | | | (23.8) | — | — | 215.0 | |
| 486 | 78 | 71 | 12G19 | 包含唇1届 | 送风 | 略后仰 | 口齿舌平凹 | | | | | | | — | 7.7 | — | 385.2 | |
| 487 | 78 | 71 | 12G17 | 包含唇1届 | 送风 | 略后仰 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.2.c | | | III.4 | — | — | 56.4 | | |
| 488 | 78 | 71 | 12G27 | 包含唇1届 | 送风 | 略后仰 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.1.b | 纵扁↑后 II.1 | 横扁↑后 II.1 | (4.0) | — | — | 38.3 | | |
| 489 | 78 | 71 | 12G11 | 包含唇1届 | 送风 | 略后仰 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.12.R | | | (11.0) | — | — | 107.8 | | |
| 490 | 79 | 71 | 12G11 | 包含唇1届 | 送风 | 略后仰 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.4 | | | (12.0) | — | — | 147.2 | | |
| 491 | 79 | 71 | 12G22~23 | 包含唇1届 | 送风 | 略后仰 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.9 | 口开形 | 嘴上半 | (17.6) | — | — | 74.5 | | |
| 492 | 79 | 71 | 12G13 | 包含唇1届 | 送风 | 略后仰 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.4 | | | (3.2) | — | — | 61.8 | | |
| 493 | 801 | 79 | 72 | 11G9 | V扁↑后 | 送风 | 略后 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | 侧↑上抬 III | | | (21.3) | 7.5 | 23.3 | 307.9 | |
| 494 | 79 | 72 | 12E22 | V弯↑ | 送风 | 略后 | 侧~后退 | 从音内侧平凹 | LR | | | | (6.2) | — | — | 282.0 | | |
| 495 | 79 | 72 | 9E4 | V扁上位 | 送风 | 略后 | 口开形 | 山唇突 | 送风以嘴唇 | | | | | — | — | 10.2 | | |
| 496 | 79 | 72 | 9J5 | V扁上位 | 送风 | 略后 | 口~侧扁 | 平行双线 | | | | | — | — | — | 25.9 | | |
| 497 | 79 | 72 | 9K0 | V扁上位 | 送风 | 略后? | 齐部? | 气流(义) 气流(音) | LR | | | | — | — | — | 45.3 | | |
| 498 | 79 | 72 | 12F16 | V弯↑后 | 送风 | 略后 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.2.c | 弱后以上 | 弱后以上 | — | — | — | 38.8 | 右撇上倾·下倾 | |
| 499 | 79 | 72 | 12S9 | V扁上位 | 送风 | 略后 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.2 | 弱后以上 | 弱后以上 | — | — | — | 20.3 | | |
| 500 | 776 | 79 | 72 | 12S1 | V扁上位 | 送风 | 略后 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.7.b | 弱后以上 | 弱后以上 | — | — | — | 33.5 | |
| 501 | 798 | 79 | 72 | 12F12 | V弯↑后 | 送风 | 略后 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.7.b | 弱后以上 | 弱后以上 | — | — | — | 56.0 | |
| 502 | 79 | 72 | 12F16 | V弯↑后 | 送风 | 略后 | 口~侧扁 | 平行双线 | LR | X.7.b | | | (0.6) | — | — | 26.3 | | |
| 503 | 79 | 72 | 11G14 | V扁↑后 | 送风 | 略后 | 略定形 | 外齿突 | 强爆文 | 尾伸 | 尾1 | | (11.0) | (5.5) | 3.7 | 22.8 | 右外撇形扁 | |

| 地點番号 | Y(上)F No. | 層位番号 | Y(下)F No. | 出土地点・標立 | 断面 | 残存部 | 外表面形 | 内面骨格 | 塊状原体 | 實體形状 | 分類 | 炭化物 | | 法量 | 重量(g) | 備考 |
|------|--------------|------|----------------------|------------|-----|------|--|----------------|-----------|---------------|------|--------|-----|--------|--------|-------------|
| | | | | | | | | | | | | 外面 | 内部 | L(横)cm | W(高)cm | H(厚)cm |
| 504 | 80 | 72 | 12512・12P17 V層上 位 | 直 | 略凹形 | 全形 | B字記 千円+平位後 縦溝筋文 前後 斜溝筋文 斜溝筋文 B.半圓の波曲列 行波筋 伸草入横文 | 筒:上LF 底:上LF | 1.3 | | | (9.9) | 6.4 | 9.7 | 137.8 | |
| 505 | 807 | 80 | 72 | 11G9 V層上位 | 直 | 略凹形 | | | | | | 6.9 | 3.2 | 7.7 | 172.6 | |
| 506 | 155 | 80 | 72 | 12E13 V層上位 | 井口 | 全形 | 平行外壁 平素外文A 平行二文の半圓外文B | | | | III | — | — | — | 83.0 | |
| 507 | 80 | 72 | 12P17 V層上位 | 直 | 略凹形 | 全形 | | | | | X | 2.3 | — | — | 9.2 | |
| 508 | 80 | 73 | 11G19 亂層 | 鉢 | 直 | 口沿部 | 口形唇 留置痕 + 斜溝筋文 波曲筋文(平行 行波) | | 1.8 | | | — | — | — | 87.3 | 後輪折~背輪 |
| 509 | 80 | 73 | 9514 亂層 | 鉢 | 直 | 口沿部 | 口形唇 波曲筋文 | | | | | — | — | — | 25.2 | 後輪折~背輪 |
| 510 | 80 | 73 | 12E22 乱層 | 鉢 | 直 | 口沿部 | 口形唇 波曲筋文 | | LR | | | — | — | — | 7.3 | 後輪折~ 後輪折 |
| 511 | 80 | 73 | 10E21 亂層 | 鉢 | 直 | 口沿部 | 口形唇 波曲筋文(手り説) | | 馬頭5 LR | | | — | — | — | 18.2 | 後輪 |
| 512 | 80 | 73 | 11E24 亂層 | 鉢 | 直 | 口~斜形 | 平行外壁 平行内壁 | | | X 12.2 | | (16.8) | — | — | 95.1 | |
| 513 | 80 | 73 | 11G17 亂層 | 浅杯 | 直 | 口~斜形 | 口形唇 波曲筋文 | | 1.R | | | (19.2) | — | — | 112.6 | |
| 514 | 80 | 73 | 12P17-12E22 N層 | 浅杯 | 直 | 口~斜形 | 平行外壁 平行内壁 | | TR | 1.5% W 8.8 | | (11.9) | 3.3 | 4.1 | 73.5 | |
| 515 | 80 | 73 | 11G20 亂層 | 浅杯 | 直 | 口~斜形 | | | | 尾管 | TR 4 | — | — | — | 19.9 | |
| 516 | 80 | 73 | 11G20 亂層 | 浅杯 | 直 | 口~斜形 | | | | 尾管 | TR 4 | — | — | — | 7.2 | |
| 517 | 80 | 73 | 12E16 亂層 | 直 | 直 | 直 | 直 斜(4.5) (4.5.7) | 直形 | 直 | 不規 | — | — | — | — | 18.9 | |
| 518 | 80 | 73 | 12P17 N層 | 直 | 直 | 直 | 直 斜(4.5) (4.5.7) | 直形 | | | 2.4 | 0.5 | 1.9 | 8.6 | | |
| 519 | 80 | 73 | 12G1 亂層 | 直 | 直 | 直 | 直 斜(4.5) (4.5.7) | 直形 | | | 7.3 | — | — | 207.3 | | |
| 520 | 80 | 73 | 12E18 亂層 | 直 | 直 | 直 | 直 斜(4.5) (4.5.7) | 直形 | | | 3.5 | — | — | 10.0 | | |
| 521 | 80 | 73 | 12E12 亂層 | 直 | 直 | 直 | 直 斜(4.5) (4.5.7) | 直形 | | | — | 1.3 | 1.3 | 6.2 | | |

第4表 土製品相観表

| 地點名 | 高さ(cm) | 底面積(cm ²) | 出土場所 | 器種 | 経年歴 | 文様の特徴 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重さ(g) | 参考 |
|-----|---------|-----------------------|-----------------|-----------------|-------|-----------------------|--------|-------|--------|--------|-------------------|
| 522 | 81 | 74 | 5号土坑 遷土 (12513) | 土器片(底面 上縁) | ? | 焼成のみ不明 | 3.3 | 3.6 | 0.7 | 20.87 | レ |
| 523 | — | 74 | 1号墓 墓土 (12513) | 土器片(底面 上縁) | 側-右脚跡 | 先乳(左)、後乳(右) 横移(斜め) | 63.0 | 62.5 | 0.5 | 3.90 | 中空 |
| 524 | 313.566 | 81 | 74 | 1225・1229 包含層A層 | 土器 | ? | 68.0 | 63.5 | 0.7 | 342.80 | 中空 |
| 525 | 81 | 74 | 11E3 包含層A層 | 土器 | ? | 63.6 | 64.6 | 0.8 | 16.09 | 中空 | |
| 526 | 81 | 74 | 12F12 包含層 | 土器 | ? | 63.0 | 62.9 | 0.9 | 7.62 | 中空 | |
| 527 | 720 | 81 | 74 | 12E11 包含層A層 | 土器 | 焼成手 焼成行 横移 | 63.5 | 64.9 | 0.9 | 46.71 | 中空 |
| 528 | 687.757 | 81 | 74 | 12F22 包含層A層 | 土器 | ? | 63.4 | 67.4 | 0.8 | 13.47 | 中空 |
| 529 | 82 | 74 | 11G5 包含層A層 | 土器 | ? | 66.1 | 68.2 | 0.9 | 65.90 | 中空 | |
| 530 | — | 82 | 75 | 12F16 包含層A層 | 土器 | ? | 63.9 | 63.1 | 0.9 | 16.20 | 中空 |
| 531 | 715 | 82 | 75 | 12F16 包含層A層 | 土器 | ? | 64.0 | 64.0 | 0.9 | 22.83 | 中空 |
| 532 | — | 75 | 12F22 包含層A層 | 土器 | ? | 66.9 | 63.6 | 0.7 | 11.80 | 中空 | |
| 533 | — | 76 | 11G30 包含層A層 | 土器 | ? | 65.3 | 64.2 | 0.9 | 20.00 | 中空 | |
| 534 | 681 | 82 | 75 | 12F21 包含層A層 | 土器 | ? | 65.0 | 64.3 | 0.9 | 43.24 | 中空 |
| 535 | 465 | 82 | 75 | 11G5 包含層A層 | 土器 | ? | 64.8 | 65.8 | 0.8 | 34.32 | 中空 |
| 536 | — | 75 | 11G5 包含層A層 | 土器 | ? | 65.3 | 65.4 | 0.8 | 17.90 | 中空 | |
| 537 | 669 | — | 75 | 12G2 包含層A層 | 土器 | ? | 64.3 | 64.2 | 0.9 | 23.16 | 中空 |
| 538 | 339 | 82 | 75 | 11G5 包含層A層 | 土器 | ? | 65.6 | 65.3 | 0.9 | 29.25 | 中空 |
| 539 | 728 | 82 | 75 | 12F1 包含層A層 | 土器 | 圓部二脚出 所 係-左脚 横移 | 63.1 | 65.3 | 0.9 | 31.70 | 中空 |
| 540 | 437 | 82 | 75 | 12F1 包含層A層 | 土器 | ? | 65.9 | 62.9 | 0.9 | 69.39 | 中空 重心 平衡面にアスクル |
| 541 | 743 | 82 | 75 | 11G3 包含層A層 | 土器 | 斜-左脚 横移以下 | 65.9 | 64.5 | 0.9 | 21.40 | 中空 |
| 542 | 710 | 82 | 75 | 12F21 包含層A層 | 土器 | ? | 66.6 | 64.9 | 0.8 | 46.60 | 中空 |
| 543 | — | 82 | 76 | 12F16 包含層A層 | 土器 | ? | 62.3 | 0.6 | 2.80 | 中空 | |
| 544 | 641 | 82 | 76 | 12F16 包含層A層 | 土器 | ? | 66.9 | 64.9 | 0.7 | 64.42 | 中空 |
| 545 | 766 | 82 | 76 | 12G1 包含層A層 | 土器 | ? | 64.0 | 62.4 | 0.9 | 22.30 | 中空 |
| 546 | 531 | 83 | 76 | 11G5 包含層A層 | 土器 | ? | 3.5 | 3.7 | 0.9 | 15.30 | 中空 |

| 出土地点 番号 | 東北半球 緯度(°) | 東北半球 経度(°) | 出土地點 | 表面 | | 発見状況 | 文様の特徴 | 長さ(cm) 幅さ(cm) 厚さ(cm) | 重量(g) | 備考 | |
|------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|----------------|-----------------|----------|
| | | | | 土質 | 土質 | | | | | | |
| 547 | 534 | 63 | 76 | 12512 氷合層20cm上位 | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 44.1 (0.8) | 11.7 (5.3) | 11.06 中空 |
| 548 | 570 | 83 | 76 | 12521 氷合層20cm下位 | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 44.1 (0.8) | 132.66 (5.3) | 中空 |
| 549 | 53 | 83 | 76 | 11125 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 44.0 (0.8) | 11.52 (4.7) | 中空 |
| 550 | 726 | — | 76 | 12511 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.7 (0.8) | 9.80 (4.7) | 中空 |
| 551 | 587 | 83 | 76 | 12516 氷合層20cm下位 | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.8 (2.0) | 16.90 (2.0) | 中空 |
| 552 | 571 | 83 | 76 | 11125 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.7 (2.0) | 15.72 (2.0) | 中空 |
| 553 | 559 | 83 | 77 | 12517 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.8 (2.0) | 16.04 (2.0) | 中空 |
| 554 | 310 | 83 | 77 | 1251 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.5 (2.0) | 33.70 (2.0) | 中空 |
| 555 | 659 | 83 | 77 | 12522 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 42.8 (1.4) | 16.00 (4.7) | 中空 |
| 556 | 83 | 77 | 12522 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.0 (1.4) | 10.03 (1.4) | 中空 | |
| 557 | 225 | 83 | 77 | 1256 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.8 (2.0) | 40.70 (2.0) | 中空 |
| 558 | 259 | 83 | 77 | 11515 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.5 (2.0) | 9.08 (1.7) | 中空 |
| 559 | 636 | 84 | 77 | 11510 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.8 (2.0) | 31.98 (2.0) | 中空 |
| 560 | 586 | 84 | 77 | 12516 氷合層20cm上位 | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.9 (2.0) | 46.25 (2.0) | 中空 |
| 561 | 252 | 84 | 77 | 11513 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.8 (2.0) | 31.01 (2.0) | 中空 |
| 562 | 84 | 77 | 11514 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.0 (1.4) | 6.75 (1.1) | 中空 | |
| 563 | 84 | 77 | 11510 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.2 (1.4) | 6.32 (1.4) | 中空 | |
| 564 | 136 | 84 | 77 | 11515 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.0 (1.4) | 34.61 (1.4) | 中空 |
| 565 | — | — | 77 | 11520 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 42.7 (1.4) | 3.80 (1.4) | 中空 |
| 566 | 84 | 78 | 11565 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.9 (1.4) | 6.61 (1.4) | 中空 | |
| 567 | 190 | 84 | 78 | 1251 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.0 (1.4) | 38.39 (1.4) | 中空 |
| 568 | 161 | 84 | 78 | 1251 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.1 (1.4) | 8.43 (1.4) | 中空 |
| 569 | — | 84 | 78 | 11515 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.8 (1.4) | 5.70 (1.4) | 中空 |
| 570 | 84 | 78 | 12512 氷合層20cm | 土質 | 西~北西 偏~断面 横断面 | 深打把手、保形 (三角、C字、平 円) | 43.3 (1.6) | 43.5 (1.4) | 15.37 (1.4) | 中空 | |

| 標本番号 | 成り立ち | 測定値 | 出土地点 | 記録 | 発見状況 | 文様の特徴 | 長さ(目) | 幅(目) | 厚さ(目) | 備考 |
|------|------|-----|----------------|--------------|-------|--------|-------|-------|----------|---------------|
| 571 | 81 | 78 | 12028 (包含層) 7a | 土質 | 無 | - | (2.1) | (1.4) | (1.1) | 2.96 小片 |
| 572 | 84 | 78 | 12P17 (包含層) 7a | 土質 | 2/3 | - | (3.5) | 1.8 | 0.7 | 1.78 有彩 |
| 573 | 84 | 78 | 11G10 (包含層) 7a | 勾長 | 无 | - | 3.6 | 2.1 | 0.6 | 17.22 |
| 574 | 84 | 78 | 12G6 (包含層) 2b | 上製耳瓶 | 无 | - | 4.5 | 3.4 | 0.7 | 7.44 滴形(滴口形) |
| 575 | 84 | 78 | 12G1 (包含層) 2b | 上製耳瓶 | 1.2 | - | (2.3) | 1.7 | 0.7 | 2.93 滴形(円形) |
| 576 | 85 | 78 | 11G15 (包含層) 2b | 上製耳瓶 | 1.3 | - | (2.9) | 1.0 | 0.6 | 1.35 滴形(円形) |
| 577 | 84 | 78 | 11G14 (包含層) 2b | 土質耳瓶 | 无 | - | 1.3 | 2.0 | 2.0 | 2.04 4輪足 条形 |
| 578 | 81 | 78 | 11G5 (包含層) 2b | 上製耳瓶 | 1/2 | - | 1.7 | 3.1 | (2.5) | 5.57 直形 |
| 579 | 85 | 78 | 11G10 (包含層) 2b | 土質耳瓶 | 1/2 | - | (1.2) | 0.6 | (1.3) | 1.51 旗形 |
| 580 | 81 | 78 | 12G1 (包含層) 2b | 土瓶 | 1/2 | 畫文 滴形文 | (8.5) | (6.4) | 1.8 | 109.88 |
| 581 | 84 | 78 | 12P12 (包含層) 2b | 土瓶 | 1/4 | 画文 | (4.7) | (3.3) | 1.2 | 18.89 |
| 582 | 85 | 78 | 12P21 (包含層) 2b | 画文土器品 | 無 | - | (6.7) | 6.0 | 2.6 | 61.81 空孔 海底形 |
| 583 | 85 | 78 | 11G14 (包含層) 2b | 青磁土製品 | ト部欠損 | - | (2.9) | 5.3 | 2.9 | 16.40 空孔3か所 |
| 584 | 85 | 78 | 11G10 (包含層) 2b | スプーン型土製品 | 1/2以下 | - | (3.9) | 2.7 | 1.4 | 6.96 |
| 585 | 85 | 79 | 12P21 (包含層) 2b | キノコ形土製品 | 无 | - | (3.9) | 3.3 | 3.3 | 22.80 |
| 586 | 85 | 79 | 11G9 (包含層) 2b | 地紋土器品 [スタンド] | 无 | - | 4.9 | 1.3 | (1.6) | 12.40 |
| 587 | 85 | 79 | 11G10 (包含層) 2b | 地紋土器品 | ?? | - | (3.7) | (3.9) | 32.23 中央 | |
| 588 | 85 | 79 | 12P11 (包含層) 2b | 土器片残 | 无 | - | 2.7 | 2.7 | 2.2 | 12.60 実行は直形下 |
| 589 | 85 | 79 | 11G14 (包含層) 2b | 土器 | 2/3 | - | 2.0 | 1.9 | (1.5) | 4.90 |
| 590 | 85 | 79 | 12G4 (包含層) 2b | ? | ? | - | 0.8 | - | - | - |
| 591 | 85 | 79 | 11G5 (包含層) 2b | ? | 1.8 | - | (7.4) | (8.1) | 6.7 | 136.08 |
| 592 | 85 | 79 | 12G1 (包含層) 2b | ? | ? | 平片足盤 | (2.8) | (3.4) | (2.9) | 6.80 |
| 593 | 85 | 79 | 12E13 (包含層) A | 土器片四脚 | 无 | - | 3.3 | 3.3 | 0.8 | 10.26 IT75 大き |
| 594 | 85 | 79 | 12P26 (包含層) 2b | 土器片四脚 | 2/3 | LR | (3.9) | 4.1 | 1.0 | 14.80 4輪足 |
| 595 | 85 | 79 | 12G1 (包含層) 2b | 土器片四脚 | 无 | LR | 3.9 | 3.6 | 0.8 | 12.03 3輪足 |
| 596 | 85 | 79 | 12G1 (包含層) 2b | 土器片四脚 | 无 | LR | 4.2 | 4.2 | 0.8 | 14.61 3輪足 |
| 597 | 85 | 79 | 12G1 (包含層) 2b | 土器片四脚 | 1/2 | LR | (4.3) | (2.5) | 0.7 | 8.70 3輪足 |

| 地質学 名 | 東北 地図上 の位置 | 出土地点 名 | 石板 | 表面粗粒度 | 文理等特徴 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 備考 |
|----------|------------------|-----------|---------------|----------|-------|-----------|-------|--------|----------|-------------------|
| 598 | 85 | 79 | 1IG13 氷合層Ⅲ | 上端片打版 | 無文理 | LR | — | 3.5 | 3.8 | 0.8 打ち欠き |
| 599 | — | 79 | 1IG15 氷合層Ⅱ | 上端片打版 | 1/2 | LR | — | 4.0 | 0.6 | 7.10 ブレ |
| 600 | 118 | 85 | 1IG17 氷合層Ⅱ | 上端片打版 | 無文理 | BL | — | 3.7 | 3.6 | 0.8 11.42 ブレ 貨札 |
| 601 | 85 | 79 | 1IG19 氷合層Ⅱ | 上端片打版 | 文理 | LR | — | 3.1 | 2.9 | 0.9 ブレ |
| 602 | 372 | 86 | 12G21 氷合層Ⅱ | 乾燥土 | 波状 | — | (4.1) | 0.8 | 4.0 | 2.09 |
| 603 | — | 80 | 12G26 氷合層Ⅱ | 乾燥土 | 無文 | — | — | 3.8 | 3.3 | 2.6 17.80 |
| 604 | 86 | 80 | 12G17 氷合層Ⅱ | 乾燥土 | 無文 | — | — | 5.0 | 4.6 | 1.3 15.90 |
| 605 | — | 80 | 12G1 氷合層Ⅱ | 無文 | — | — | — | 6.4 | 4.6 | 2.0 38.55 |
| 606 | — | 80 | 12G17 氷合層Ⅱ | 乾燥土 | 無文 | — | (3.1) | 0.70 | 0.5 | 3.49 |
| 607 | — | 80 | 1IG10 氷合層Ⅱ | 乾燥土 | 無文 | — | — | 46.4 | 22.5 | 0.6 8.70 中空 |
| 608 | 86 | 80 | 1IG19 V型上壁 | 上端 | 無文 | LR | — | 6.9 | 6.0 | 0.5 26.40 完全 |
| 609 | 86 | 80 | 12F17 V型上壁 | 土肉 | 弱弱 | — | (3.3) | 0.8 | 6.70 4P高 | |
| 610 | 721 | 86 | 1IG10 V型上壁 | 土肉 | 弱弱? | — | (2.3) | 0.71 | 0.71 | 7.86 4P高 |
| 611 | — | 80 | 12F13 V型 | 土肉 | 弱弱? | — | (2.3) | 0.9 | 0.5 | 4.10 中空 |
| 612 | 86 | 80 | 12F2 V型 | 土肉 | 弱弱 | — | (2.3) | 0.2 | 0.2 | 0.5 11.50 中空 |
| 613 | 86 | 80 | 12E18 斜面 | 土肉 | 弱弱 | — | (3.0) | 0.8 | 0.3 | 9.60 4P突 |
| 614 | — | 80 | 1F斜面Ⅱ | 土肉 | 弱弱 | — | (2.6) | 0.4 | 0.5 | 5.50 4P2 |
| 615 | 86 | 80 | 1IG19 Ⅲ段 | 土肉 | 弱弱 | 土肉 (LR) 繊 | (4.9) | 0.5 | 0.10 | 18.30 ハラ |
| 616 | 86 | 80 | 1IG19 Ⅲ層 | 上端 | 薄透 | 水透 (LR) 繊 | (3.1) | 0.1 | 7.70 中空 | |
| 617 | 86 | 80 | 1IG15 工型 | 土肉 | 弱弱 | — | (2.3) | 0.8 | 2.1 | 6.30 4P高 |
| 618 | 86 | 80 | 1IG22 Ⅲ層 | 土肉 | 弱弱 | — | (3.3) | 0.4 | 0.4 | 15.30 4P2 |
| 619 | 86 | 80 | 1IG18 直地山頭深淵孔 | 土肉 | 弱弱? | 塑泥 単孔 剥離 | (3.1) | 0.6 | 0.9 | 12.00 中空 |
| 620 | 86 | 80 | 12F9 Ⅲ層 | 管状 | 1/2? | — | — | 2.2 | 0.7 | 0.8 1.08 |
| 621 | 415 | 86 | 80 | 12F11 Ⅲ層 | 土肉 | 弱弱 | — | 5.0 | 3.1 | 0.7 6.99 垂直 (桶内形) |
| 622 | 86 | 80 | 1F斜面Ⅱ | ? | ? | 平行山腹 (複数) | — | 3.6 | 4.0 | 13.79 |
| 623 | — | 80 | 12E12 斜面 | 土端片打版 | 1/2 | — | (4.6) | 0.6 | 9.50 ハラ | — |

第5表 石器觀察表

| 採集地點 | 原上位No. | 逐個No. | 出土地點 | 形態 | 細分類 | 現存狀態 | 石質 | 長さ(cm) | 幅さ(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 特記 |
|------|--------|-------|-----------------|-------|----------|------|---------|---------|---------|------------|-------------|----|
| 624 | 87 | 81 | 2号土坑 壁上位 | 石板 | 2b. 完形 | チャート | 30.29 | 44.35 | 21.74 | 64.6 | 石板 | |
| 625 | | 81 | 2号土坑 壁上位 | 石板 | 2c. 完形 | チャート | 63.70 | 127.25 | 65.94 | 515.3 | | |
| 626 | | 81 | 2号土坑 壁上位 | 石板 | 2e. 完形 | チャート | 45.02 | 53.65 | 45.20 | 131.8 | | |
| 627 | 87 | 81 | 2号土坑 壁+下位 | 骨製打削器 | 1/3 | 陶片岩 | (88.60) | (79.32) | (22.52) | 226.0 | | |
| 628 | 87 | 81 | 2号土坑 壁+下位 | 砾石 | 2. 完形 | チャート | 90.89 | 75.68 | 41.25 | 501.4 | 赤色顔料付 | |
| 629 | 87 | 81 | 2号土坑 壁+下位 | 砾石 | 1. 完形 | 砂岩 | 211.97 | 65.89 | 46.22 | 624.8 | 漆製打削器(後述)を用 | |
| 630 | 87 | 81 | 2号土坑 壁+下位 | 石板 | 2d. 完形 | チャート | 199.00 | 138.26 | 54.15 | 2065.7 | 板 | |
| 631 | 87 | 81 | 3号土坑 壁+ | 鉄打 | 4a. 完形 | チャート | 68.70 | 51.64 | 25.92 | 137.1 | 引鉤子 中央部色 | |
| 632 | 87 | 81 | P.2. 磨土. | 燧石 | 2. 完形 | ホウケイ | 34.82 | 15.60 | 7.50 | 4.6. 圓錐 66 | | |
| 633 | 87 | 81 | 4号土坑 1層 | 石板 | 2b. 完形 | 頁岩 | 90.12 | 70.28 | 18.69 | 135.0 | 小円錐状竹皿付川標識 | |
| 634 | 87 | 81 | 1号溝 壁上 (12E13) | 石板 | 2c. 完形 | 頁岩 | (44.93) | 15.80 | 5.60 | 2.7. 凸面有孔 | | |
| 635 | | 81 | 1号溝 磨土 (12E18) | 石板 | 4. 完形 | 頁岩 | 38.10 | 17.83 | 8.01 | 5.1 | | |
| 636 | | 81 | 1号溝 壁上 | 石板 | 2a. -部分 | 頁岩 | (22.82) | 26.20 | 7.49 | 3.2 | | |
| 637 | 87 | 81 | 1号溝 斧子 (12F12) | 石板 | 2d. 完形 | 頁岩 | 33.21 | 37.07 | 13.44 | 17.1 | | |
| 638 | | 82 | 12D5 包含層 A 4cm | 石板 | 1-2c. 部分 | 頁岩 | (43.38) | 15.80 | 4.81 | 2.4. 内芯有孔 | | |
| 639 | 88 | 82 | 12D4 包含層 A 4cm | 石板 | 1-2c. 部分 | 頁岩 | 36.50 | 9.00 | 6.00 | 1.3. 凸面有孔 | | |
| 640 | 88 | 82 | 12D9 包含層 A 4cm | 石板 | 1-2c. 部分 | 頁岩 | 29.00 | 18.30 | 4.00 | 1.8. 内芯有孔 | | |
| 641 | 69 | 88 | 12H1 包含層 A 4cm | 石板 | 1-2c. 部分 | 頁岩 | (29.00) | 13.00 | 4.00 | 1.1. 凸面有孔 | | |
| 642 | 73 | 88 | 12H11 包含層 A 4cm | 石板 | 1-2c. 部分 | 頁岩 | 40.50 | 15.00 | 3.0 | 3.0. 内芯有孔 | | |
| 643 | 756 | 88 | 12P16 包含層 A 4cm | 石板 | 2b. 完形 | 頁岩 | (35.50) | 13.50 | 5.50 | 1.7. 内芯有孔 | | |
| 644 | 325 | 88 | 12P7 包含層 A 4cm | 石板 | 2c. 完形 | 頁岩 | (27.50) | 17.00 | 4.00 | 1.2. 凸面有孔 | | |
| 645 | 688 | 88 | 12P12 包含層 A 4cm | 石板 | 2d. 完形 | 頁岩 | (39.00) | 11.00 | 6.00 | 2.1. 凸面有孔 | | |
| 646 | 496 | 88 | 12G13 包含層 A 4cm | 石板 | 光面 | 頁岩 | (42.50) | 11.00 | 7.00 | 2.4. 内芯有孔 | | |
| 647 | 475 | 88 | 12G15 包含層 A 4cm | 石板 | 光面 | 頁岩 | (38.00) | 17.00 | 4.50 | 2.1. 内芯有孔 | | |
| 648 | 174 | 88 | 12G12 包含層 A 4cm | 石板 | 光面 | 頁岩 | (29.00) | 17.00 | 5.50 | 1.4. 内芯有孔 | | |
| 649 | 656 | 88 | 12G1 包含層 A 4cm | 石板 | 光面 | 頁岩 | (31.50) | 15.00 | 5.00 | 2.0. 内芯有孔 | | |
| 650 | | 88 | 12P22 包含層 A 4cm | 石板 | 1-2c. 部分 | 頁岩 | 46.00 | 22.00 | 6.00 | 4.2. 凸面有孔 | | |
| 651 | 105 | 88 | 14G10 包含層 A 4cm | 石板 | 1-2c. 部分 | 頁岩 | 4.00 | 17.50 | 5.00 | 2.0. 内芯有孔 | | |

| 标号 | 原产地 | 种名及学名 | 出土地点 | 特征 | 鉴别 | 保存状态 | | 厚度(mm) | 幅(cm) | 长宽(cm) | 鉴定(单位) | 登记项 |
|-----|-----|-------|-------------------|-----|-------|------|----|--------|-------|--------|--------|----------------|
| | | | | | | 石质 | 木质 | | | | | |
| 652 | 247 | 88 82 | 11G10 11G15 包含25层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 54.50 | 21.50 | 9.00 | 5.0 | 凸基苔属 |
| 653 | 245 | 88 82 | 11G15 11G16 包含26层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 23.00 | 11.50 | 4.00 | 0.6 | 凸基苔属 |
| 654 | — | 88 82 | 11G11 11G12 包含25层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 29.00 | 12.12 | 3.62 | 1.1 | 凸基苔属 |
| 655 | — | 88 82 | 11G10 11G15 包含26层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 22.52 | 13.33 | 5.55 | 1.2 | 凸基苔属 |
| 656 | 209 | 88 82 | 11G15 11G16 包含26层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 47.00 | 30.50 | 10.00 | 8.1 | 凸基苔属 |
| 657 | — | 82 | 11G19 含含1~2层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 30.24 | 13.61 | 7.40 | 2.2 | 凸基苔属 |
| 658 | — | 88 | 11H25 含含1~2层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 47.15 | 16.22 | 6.63 | 4.6 | 凸基苔属 |
| 659 | — | 82 | 12E13 含含6层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 26.38 | 11.65 | 7.74 | 2.3 | 凸基苔属 |
| 660 | — | 88 82 | 12F17 含含9层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 47.00 | 7.00 | 4.50 | 0.7 | 凸基苔属 |
| 661 | — | 88 82 | 12E4 12G19 A带 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 30.00 | 13.00 | 6.00 | 1.3 | 平基苔属 |
| 662 | — | 88 82 | 12G6 含含6层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 37.00 | 19.00 | 5.00 | 2.1 | 平基苔属 |
| 663 | 104 | 88 82 | 11G10 11G15 包含26层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 50.00 | 18.50 | 6.00 | 2.9 | 平基苔属 |
| 664 | 133 | 82 | 11G15 含含26层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 35.28 | 20.16 | 5.96 | 2.8 | 平基苔属 |
| 665 | — | 88 82 | 11G10 11G15 包含26层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 34.00 | 14.00 | 4.50 | 1.3 | 平基苔属 |
| 666 | — | 88 82 | 12F21 含含3~8层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 27.50 | 15.00 | 4.00 | 1.1 | 平基苔属 |
| 667 | — | 88 82 | 11G9 含含26层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 36.46 | 14.38 | 4.49 | 2.1 | 平基苔属 |
| 668 | — | 82 | 11G15 含含26层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 23.67 | 17.97 | 4.67 | 1.6 | 平基苔属 |
| 669 | — | 88 82 | 12E6 12G16 包含26层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 25.00 | 12.50 | 3.00 | 1.0 | 凸基苔属 |
| 670 | 522 | 88 82 | 12F12 包含含6层上位 | 无根状 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 673.62 | 65.72 | 17.40 | 10.91 | F79标本 香港乐坛? |
| 671 | 761 | 82 | 12G1 包含含26层 | 无根状 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 53.07 | 28.80 | 21.15 | 19.3 | |
| 672 | 458 | 89 83 | 12F7 含含4~5层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 61.00 | 12.00 | 10.00 | 4.8 | |
| 673 | 459 | 89 83 | 12G1 包含含26层 | 石质 | 无毛 | 质坚 | 质松 | 58.00 | 18.50 | 6.00 | 3.5 | |
| 674 | — | 89 83 | 12G2 含含含6层上位 | 无根状 | 1 带灰 | 质坚 | 质松 | 60.00 | 26.00 | 8.00 | 6.8 | |
| 675 | 164 | 89 83 | 12G1 包含含26层 | 石质 | 1 光毛 | 质坚 | 质松 | 59.00 | 20.00 | 10.30 | 3.9 | |
| 676 | 657 | — | 12F16 含含26层下位 | 石质 | 2 毛毛形 | 质坚 | 质松 | 34.82 | 25.28 | 12.33 | 7.9 | |
| 677 | 356 | — | 12G1 包含含26层 | 石质 | 2 毛毛形 | 质坚 | 质松 | 33.63 | 20.50 | 10.07 | 5.6 | |
| 678 | — | 89 83 | 11G15 含含26层 | 石质 | 4 宽形 | 质坚 | 质松 | 27.06 | 22.84 | 7.77 | 3.4 | |
| 679 | — | 89 83 | 12F22 含含26层 | 石质 | 3 有尖刺 | 质坚 | 质松 | 196.00 | 12.80 | 12.00 | 5.0 | |
| 680 | — | 89 83 | 11G9 含含26层 | 石质 | 3 无刺 | 质坚 | 质松 | 29.50 | 18.00 | 9.50 | 5.8 | |

| 標識號 | 實地工作地點 | 座標% | 測量% | 面積% | 所占% | 所占地點 | 測量 | 面積% | 現有地類 | 石牆 | 旱地 | 旱地(%) | 灌水(%) | 旱地(%) | 灌水(%) | 耕作面積 |
|-----|--------|-------|-----------|-----|-----|-------|------|-----|-------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|------|
| 681 | 89 83 | 11G15 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 3 完形 | 石牆 | | 34.46 | 12.97 | 10.02 | 3.8 | | | | |
| 682 | 89 83 | 12F11 | 公合管 0 畜 | 石牆 | | 3 完形 | 石牆 | | 33.88 | 12.60 | 9.68 | 3.9 | | | | |
| 683 | 89 83 | 12F12 | 公合管 0 畜 | 石牆 | | 3 完形 | 石牆 | | 38.90 | 14.90 | 4.50 | 1.6 | | | | |
| 684 | 89 83 | 11G19 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 4 完形 | 石牆 | | 39.00 | 26.00 | 10.50 | 6.6 | | | | |
| 685 | 89 83 | 12F22 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 4 完形 | 石牆 | | 30.37 | 17.34 | 7.86 | 2.7 | | | | |
| 686 | 89 83 | 12F12 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 1 完形 | 石牆 | | 34.00 | 50.00 | 7.50 | 11.9 | | | | |
| 687 | 89 83 | 12F22 | 公合管 36 保土 | 石牆 | | 2a 完形 | 石牆 | | 39.00 | 9.00 | 8.0 | 0 | | | | |
| 688 | 89 83 | 11G19 | 公合管 36 畜 | 石牆 | | 2a 完形 | 石牆 | | 33.30 | 42.28 | 4.09 | 3.9 | | | | |
| 689 | 89 83 | 11G10 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 2b 完形 | 石牆 | | 61.00 | 61.00 | 18.00 | 47.3 | | | | |
| 690 | 89 83 | 12F22 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 2b 完形 | 石牆 | | 47.17 | 40.81 | 6.53 | 10.3 | | | | |
| 691 | 89 83 | 11F25 | 公合管 36 保 | 石牆 | | 3 完形 | 石牆 | | 46.00 | 79.50 | 55.00 | 19.1 | | | | |
| 692 | 89 83 | 12F22 | 公合管 36 畜 | 石牆 | | 2a 完形 | 石牆 | | 46.00 | 61.00 | 11.00 | 21.6 | | | | |
| 693 | 89 83 | 11G10 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 7.18 | 3 完形 | | 37.44 | 51.35 | 7.64 | 10.4 | 4.25 | | | |
| 694 | 89 83 | 11G15 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 4 完形 | 石牆 | | 67.00 | 31.00 | 9.00 | 15.0 | | | | |
| 695 | 90 83 | 12F28 | 9 公合管 A 畜 | 石牆 | | 完形 | 石牆 | | 46.83 | 23.15 | 5.66 | 4.1 | | | | |
| 696 | 90 83 | 12F21 | 公合管 26 保土 | 石牆 | | 完形 | 石牆 | | 52.00 | 83.00 | 7.00 | 26.3 | | | | |
| 697 | 90 83 | 11G20 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 完形 | 石牆 | | 63.00 | 41.30 | 10.00 | 27.0 | | | | |
| 698 | 90 84 | 11G10 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 米形 | 石牆 | | 34.00 | 29.00 | 10.00 | 14.1 | | | | |
| 699 | 90 84 | 12F6 | 公合管 36 保 | 石牆 | | 完形 | 石牆 | | 34.67 | 55.68 | 14.01 | 43.4 | | | | |
| 700 | 90 84 | 12F17 | 公合管 26 保 | 石牆 | | 完形 | 石牆 | | 50.01 | 50.22 | 14.18 | 36.6 | | | | |
| 701 | 90 84 | 12F21 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 2b 完形 | 石牆 | | 60.00 | 32.50 | 12.00 | 16.3 | | | | |
| 702 | 90 84 | 12F11 | 公合管 26 保下 | 石牆 | | 梯形 | 石牆 | | 46.01 | 45.79 | 14.79 | 26.4 | 石牆非製品 | | | |
| 703 | 90 84 | 12G11 | 公合管 26 保 | 石牆 | | 梯形 | 石牆 | | 52.00 | 29.00 | 11.00 | 10.6 | | | | |
| 704 | 90 84 | 12F16 | 公合管 26 保 | 石牆 | | 梯形 | 石牆 | | 47.27 | 25.31 | 12.62 | 11.8 | | | | |
| 705 | 90 84 | 12G2 | 公合管 26 保 | 石牆 | | 梯形 | 石牆 | | 43.18 | 29.35 | 26.52 | 20.1 | | | | |
| 706 | 90 84 | 11G20 | 公合管 26 保 | 石牆 | | 梯形 | 石牆 | | 46.25 | 35.34 | 26.63 | 23.6 | 79號 2 分所 | | | |
| 707 | 91 84 | 12F17 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 梯形 | 石牆 | | 38.55 | 26.45 | 10.75 | 9.7 | | | | |
| 708 | 91 84 | 11G15 | 公合管 26 畜 | 石牆 | | 梯形 | 石牆 | | 22.00 | 26.50 | 11.00 | 7.0 | | | | |

| 標高(m) | 所り上り方 | 所れNo. | 地質点 | 岩質 | 面分類 | 塊状地 | 石質 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 特徴 | |
|-------|-------|-------|---------------|---------------|---------------|--------|-------|--------|--------|--------|-----------|----------------|--------------|
| 768 | 352 | 96 | 89 | 1251 化合層26mm | 塊石 | 3. 完形 | 花崗岩碎片 | 141.00 | 81.00 | 60.00 | 1111.2 | | |
| 769 | 616 | 96 | 89 | 12517 化合層3m附近 | 斜板研磨 | 4. 1/2 | 砂岩 | 73.36 | 132.61 | 51.32 | 676.1 | | |
| 770 | 96 | 96 | 89 | 125134 化合層A層 | 塊石 | 1. 完形 | はねい岩 | 102.35 | 51.14 | 29.81 | 216.6 | 斜板研磨灰岩地名利用 | |
| 771 | 96 | 96 | 89 | 1253.9 化合層A層 | 塊石 | 1. 完形 | 花崗岩 | 73.34 | 72.64 | 30.35 | 212.5 | 3.9の重直 | |
| 772 | — | — | 89 | 12512 化合層A層 | 塊石 | 1. 1/2 | デルサイト | 68.40 | 42.06 | 27.50 | 148.4 | 薄端 | |
| 773 | — | — | 89 | 12521 化合層3m附近 | 塊石 | 1. 完形 | はねい岩 | 142.55 | 60.72 | 48.92 | 631.4 | 神伏 | |
| 774 | 96 | 96 | 90 | 12521 化合層3m附近 | 塊石 | 1. 完形 | デルサイト | 115.49 | 96.30 | 51.96 | 865.2 | 圓錐 | |
| 775 | 430 | 96 | 90 | 11015 化合層3m層 | 塊石 | 1. 完形 | 閃長岩 | 118.69 | 95.90 | 48.93 | 797.2 | 角端 | |
| 776 | 97 | 90 | 11015 化合層3m附近 | 塊石 | 1. 完形 | はねい岩 | 97.01 | 59.33 | 36.34 | 342.2 | 斜板研磨灰岩多利用 | | |
| 777 | — | — | 90 | 12501 化合層3m附近 | 塊石 | 1. 完形 | 斜板岩 | 101.60 | 56.70 | 26.87 | 250.0 | 薄端 | |
| 778 | 97 | 90 | 11015 化合層26mm | 塊石 | 1. 完形 | デルサイト | 91.98 | 44.63 | 30.30 | 89.0 | 薄端 岩層 | | |
| 779 | 375 | 97 | 90 | 1105 化合層25mm | 塊石 | 1. 完形 | 花崗岩 | 89.39 | 47.38 | 42.65 | 222.0 | 平面 赤色系斜材 岩面中央凹 | |
| 780 | — | — | 97 | 90 | 1251 化合層26mm | 塊石 | 1. 完形 | デルサイト | 73.88 | 52.33 | 21.06 | (27.4 | 一端 |
| 781 | — | — | 97 | 90 | 11015 化合層25mm | 塊石 | 1. 完形 | はねい岩 | 119.74 | 116.83 | 48.26 | 207.5 | 質板石次元化 壁に火加熱 |
| 782 | — | — | 97 | 90 | 12523 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | 閃長岩 | 85.31 | 56.22 | 34.22 | 204.1 | 薄端 左側壁 |
| 783 | — | — | 99 | 12528 化合層A層 | 塊石 | 2. 完形 | デルサイト | 45.27 | 46.12 | 34.24 | 103.0 | 1/2壁 片側中央凹 | |
| 784 | — | — | 97 | 90 | 12572 化合層26mm | 塊石 | 2. 完形 | 花崗岩 | 69.36 | 90.04 | 33.48 | 288.2 | レーベン |
| 785 | — | — | 90 | 12522 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | 花崗岩 | 85.90 | 66.82 | 35.31 | 297.3 | 4-1左側壁 | |
| 786 | — | — | 90 | 12512 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | はねい岩 | 47.10 | 61.12 | 22.12 | 104.0 | 右-1左側壁 | |
| 787 | 618 | — | 90 | 12512 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | 花崗岩 | 97.50 | 73.88 | 32.13 | 365.6 | 周壁斜壁に | |
| 788 | — | — | 97 | 90 | 12517 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | はねい岩 | 68.00 | 44.19 | 30.68 | 144.6 | 右-1左側壁 |
| 789 | — | — | 90 | 11025 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | 斜板岩 | 47.75 | 45.44 | 39.69 | 122.5 | 斜板 斜壁 | |
| 790 | 779 | 97 | 90 | 12522 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | デルサイト | 98.43 | 73.89 | 49.29 | 431.6 | 4周壁 斜壁にも | |
| 791 | — | — | 90 | 1251 化合層3m附近 | 塊石 | 2. 完形 | 花崗岩 | 69.86 | 51.99 | 38.69 | 196.4 | 斜壁 | |
| 792 | — | — | 90 | 1256 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | 花崗岩 | 102.01 | 69.70 | 35.34 | 329.1 | 4周壁 4-1に 手作 | |
| 793 | — | — | 91 | 11015 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | 閃長岩 | 75.89 | 58.61 | 27.35 | 263.3 | 厚端 壁に6 | |
| 794 | — | — | 91 | 12522 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | 花崗岩 | 93.99 | 67.37 | 49.33 | 311.6 | 内壁(周壁-竹口) | |
| 795 | — | — | 97 | 94 | 12505 化合層3m層 | 塊石 | 2. 完形 | デルサイト | 37.85 | 37.27 | 27.79 | 60.2 | 小内壁 壁端 |
| 796 | 533 | 97 | 91 | 12514 化合層A層 | 塊石 | 3. 完形 | デルサイト | 61.15 | 61.89 | 52.91 | 297.0 | 多面壁 | |

| 地質名 | 原り上り方% | 固有% | 差区別% | 出土地点 | | 岩種 | 細分類 | 岩質 | 風化度(cm) | 風化度(cm) | 風化度(cm) | 風化度(cm) | 評定基準 | |
|-----|--------|-----|------|--------|-----------|--------|-------|--------|---------|---------|---------|---------------------------|----------------------------|-----------------------|
| | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | |
| 707 | 762 | — | 91 | 12P26 | 混合層25層 | 鰐石 | — | 3 完形 | 花崗閃長岩 | 68.34 | 68.96 | 63.30 | 399.0 多出露 | |
| 738 | — | 97 | 91 | 11G25 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 3 完形 | チート | 67.92 | 65.83 | 60.03 | 104.8 多露 | |
| 799 | 549 | — | 91 | 11G15 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 3 完形 | 花崗閃長岩 | 90.10 | 85.37 | 69.13 | 751.0 多露 | |
| 800 | — | 97 | 91 | 11F20 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 3 完形 | チート | 66.63 | 64.56 | 65.99 | 257.7 多出露 そろばん點 | |
| 801 | — | 97 | 91 | 12P22 | 混合層A-V層下位 | 鰐石 | — | 4a 完形 | イサギ=? | 37.95 | 63.38 | 38.72 | 168.9 頭部 丘に露出・在斜坡 | |
| 802 | — | 97 | 91 | 12P27 | 混合層A-V層 | 鰐石 | — | 4a 完形 | イサギ=? | 63.00 | 69.50 | 66.60 | 46.2 1/4次を用意 嵩中央に付着物 | |
| 803 | — | 97 | 91 | 12P11 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4a 完形 | チート | 49.12 | 45.85 | 12.31 | 42.58 頭部 素材形 | |
| 804 | — | 97 | 91 | 11F20 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4a 完形 | チート | 63.20 | 47.31 | 29.32 | 168.6 頭部 中央に2.7cm×2.0cmトガ有 | |
| 805 | — | 97 | 91 | 11P23 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4a 完形 | チート | 55.98 | 63.54 | 23.24 | 150.9 頭部 | |
| 806 | — | 91 | — | 11P22 | 混合層26層下段 | 鰐石 | — | 4a 完形 | チート | 63.77 | 72.90 | 38.88 | 208.3 素材形 切口 | |
| 807 | — | 91 | 11G4 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4a 完形 | チート | 59.87 | 55.43 | 17.99 | 99.3 素材形 様 | | |
| 808 | — | 91 | 12P6 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4a 完形 | チート | 72.32 | 61.38 | 41.05 | 380.8 頭部2.7cm×2.0cmを剥離 両端 | | |
| 809 | — | 97 | 91 | 11G5 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4a 完形 | チート | 46.58 | 46.22 | 13.84 | 45.50 素材形 | |
| 810 | — | 98 | 91 | 11G1 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4a 完形 | チート | 54.84 | 52.67 | 10.60 | 46.85 裏面中央に黑色付着物 | |
| 811 | — | 98 | 92 | 11G9 | 混合層1-2a層 | 鰐石 | — | 4a 完形 | チート | 79.09 | 66.16 | 31.36 | 270.7 頭部 久松山山頂 | |
| 812 | — | 98 | 92 | 12P4 | 混合層A-V層 | 鰐石 | — | 4b 完形 | チート | 62.68 | 62.82 | 43.90 | 217.2 頭部 | |
| 813 | — | 92 | — | 12P22 | 混合層A-V層 | 鰐石 | — | 4b 一部欠 | チート | 68.86 | 59.97 | 26.56 | 178.4 頭部 | |
| 814 | 621 | — | 98 | 92 | 12P12 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4b 完形 | チート | 72.28 | 61.59 | 42.86 | 287.5 頭部 |
| 815 | — | — | 92 | — | 12P12 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4b 完形 | チート | 47.36 | 60.74 | 17.60 | 35.7 素材形の2/2 傷 中央に付着物 |
| 816 | — | 92 | — | 12P12 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4b 完形 | チート | 69.60 | 59.99 | 36.23 | 203.2 素材形 | |
| 817 | 563 | 98 | 92 | 12P17 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4b 完形 | チート | 76.06 | 93.75 | 69.93 | 519.3 頭部 | |
| 818 | 734 | 98 | 92 | 12P21 | 混合層26層下位 | 鰐石 | — | 4b 完形 | チート | 61.14 | 52.55 | 43.03 | 183.7 頭部 | |
| 819 | — | 98 | 92 | 11G1 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4b 完形 | 直角 | 32.62 | 42.90 | 9.23 | 30.2 素材中央に縫隙 | |
| 820 | — | — | 92 | 12G1 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4b 一部欠 | 直角 | 48.25 | 51.71 | 32.50 | 121.4 頭部 | |
| 821 | — | 92 | — | 11G10 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4b 完形 | 直角 | 56.25 | 42.14 | 18.76 | 74.4 素材形 | |
| 822 | — | 98 | 92 | 11G15 | 混合層26層 | 鰐石 | — | 4b 完形 | 安山岩 | 75.10 | 66.19 | 31.89 | 277.2 頭部中央に黑色付着物 | |
| 823 | — | 92 | — | 11G19 | 混合層1-2a層 | 鰐石 | — | 4c 完形 | チート | 40.28 | 37.74 | 13.23 | 32.46 小形 | |
| 824 | — | 92 | — | 12D23 | 混合層A-V層 | 鰐石 | — | 4c 完形 | 直角 | 67.96 | 73.33 | 26.25 | 301.3 傷 直角 付着物 | |
| 825 | — | 92 | — | 12E2 | 混合層A-V層 | 鰐石 | — | 4c 完形 | 直角 | 54.68 | 51.91 | 20.99 | 113.06 傷 頭部 | |

| 地質名 地質上位 | 地質名 地質下位 | 岩種 | 岩分類 | 種別狀態 | 特征量 | | | 特征量 | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------------|-------|--------|--------|---------|---------|-----------|---------------------|
| | | | | | 厚さ(cm) | 高さ(cm) | 重量(t) | | | |
| 826 | 98 | 92 | 1254 金合雲八雲 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 66.72 | 58.41 | 15.23 | 82.2 剥離 斜 |
| 827 | | 92 | 1258 金合雲八雲 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 89.76 | 54.26 | 31.41 | 216.5 剥・風・盛 上・剪 |
| 828 | | 93 | 12512 金合雲八雲 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 58.15 | 60.88 | 22.75 | 105.9 剥離 輪 |
| 829 | | 93 | 12512 金合雲八雲 | 岩石 | 4c 完形 | 花崗岩 | 61.70 | 50.20 | 15.65 | 65.4 剥・風 片面中央黑色付帶 |
| 830 | 98 | 93 | 12516 金合雲八雲 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 44.01 | 43.21 | 13.34 | 66.78 剥・風 片面中央黑色付帶 |
| 831 | | 93 | 12517 金合雲八雲 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 74.12 | 56.06 | 28.44 | 188.0 剥・風 直線 |
| 832 | 77 | 98 | 12517 金合雲八雲 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 61.61 | 58.81 | 18.32 | 104.19 剥・風 片面中央黑色付帶 |
| 833 | | 93 | 1257 包含雲3a層 | 岩石 | 4c 完形 | 花崗岩 | 39.84 | 66.84 | 17.62 | 94.6 剥・風 |
| 834 | | 93 | 12512 金合雲3a層 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 32.89 | 51.38 | 18.88 | 77.25 剥・風 |
| 835 | | 93 | 12512 金合雲3a層 | 岩石 | 4c 一組欠 | 安山岩 | 78.47 | 68.62 | 22.09 | 109.5 壓密 碎裂 開拓 |
| 836 | 98 | 93 | 11720 金合雲3a層 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 45.98 | 41.65 | 19.31 | 70.63 剥・風 片面中央黑色付帶 |
| 837 | 95 | 11720 金合雲3a層 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 55.76 | 64.48 | 22.11 | 85.66 剥・風 | |
| 838 | | 93 | 12516 金合雲3a層上位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 65.49 | 80.34 | 24.49 | 214.0 壓密 斜・風・裂隙 |
| 839 | 96 | 93 | 11725 金合雲3a層下位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 61.26 | 65.40 | 28.79 | 196.36 剥・風 |
| 840 | | 99 | 93 11725 金合雲3a層下位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 92.58 | 79.66 | 48.20 | 369.4 剥離 斜 |
| 841 | 99 | 90 | 12512 金合雲3a層下位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 49.24 | 45.37 | 16.78 | 50.06 剥・風 |
| 842 | 742 | 99 | 93 12512 金合雲3a層下位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 49.91 | 49.27 | 21.03 | 84.20 剥・風 片面中央黑色付帶 |
| 843 | 99 | 93 | 12521 金合雲3a層下位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 67.63 | 60.95 | 38.29 | 261.0 中央尖付帶 裂隙 |
| 844 | 99 | 93 | 12522 金合雲3a層下位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 83.67 | 78.13 | 30.42 | 286.2 剥離 裂隙 |
| 845 | 99 | 94 | 1165 金合雲3a層下位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 25.03 | 49.31 | 15.34 | 60.84 剥・風 |
| 846 | 456 | 94 | 1165 金合雲3a層 | 岩石 | 4c 一部欠 | 花崗岩 | (43.21) | (43.75) | 0.22 | 38.98 剥・風 小毛 |
| 847 | 99 | 94 | 1251 金合雲3a層下位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 48.88 | 62.16 | 17.04 | 60.1 剥離 斜 |
| 848 | | 94 | 1251 金合雲3a層下位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 47.87 | 41.11 | 16.88 | 53.9 剥離 斜 |
| 849 | | 99 | 94 1163 金合雲3a層 | 岩石 | 4c 一部欠 | 安山岩 | 37.45 | 48.54 | 16.20 | 47.56 剥・風 |
| 850 | 99 | 94 | 1255 金合雲3a層 | 岩石 | 4c 一部欠 | 安山岩 | 49.14 | 47.83 | 14.81 | 56.84 剥・風 |
| 851 | 478 | 99 | 94 1165 金合雲3a層下位 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 47.36 | 47.07 | 18.89 | 76.26 剥・風 片面中央黑色付帶 |
| 852 | | 94 | 1165 金合雲3a層 | 岩石 | 4c 一部欠 | 安山岩 | 76.90 | 75.89 | 40.60 | 294.2 |
| 853 | | 94 | 1165 金合雲3a層 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 73.63 | 62.31 | 32.37 | 229.4 剥・風 |
| 854 | 544 | 100 | 94 1252 金合雲3a層 | 岩石 | 4c 完形 | 安山岩 | 67.88 | 62.35 | 27.88 | 178.73 剥・風 片面中央黑色付帶 |

| 相続地 | 原り上行 | 流域名 | 支流名 | 出水地点 | 所蔵 | 権介頭 | 種姓氏地 | 石碑 | 長さ(m) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 特記 |
|---------|------|-------------------------|-----|------|-------|--------|--------|-------|-------|-------------|--------|-------|----|
| 884 491 | 96 | 12741 包含層 A層 | 田口 | 田口 | 安山岩 | 99.50 | 76.00 | 54.00 | 688.3 | | | | |
| 885 | 101 | 96 12822 ~23 包含層 A-V帶上位 | 門口 | 穴毛 | 安山岩 | 82.63 | 58.64 | 47.77 | 276.3 | | | | |
| 886 | 101 | 96 1283 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | 安山岩 | 101.72 | 44.25 | 27.67 | 475.0 | 圓面 | | | |
| 887 | 96 | 1287 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 116.06 | 65.47 | 50.47 | 790.4 | | | | |
| 888 | 96 | 1288 包含層 A層 | 門口 | 穴毛 | 安山岩 | 121.56 | 71.90 | 40.36 | 495.9 | 圓面 | | | |
| 889 | 527 | 96 1287 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 107.00 | 58.00 | 36.50 | 318.3 | | | | |
| 890 | 96 | 1288 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 62.06 | 56.32 | 38.32 | 161.9 | | | | |
| 891 | 101 | 97 12912 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 113.71 | 69.43 | 35.51 | 363.5 | | | | |
| 892 | 101 | 97 12912 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 131.62 | 106.56 | 43.30 | 819.1 | | | | |
| 893 | 102 | 97 12912 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 117.01 | 65.81 | 28.94 | 347.3 | 圓面 + 縦溝 | | | |
| 894 | 622 | 97 12912 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 95.00 | 80.90 | 63.50 | 566.3 | | | | |
| 895 | 746 | 97 12912 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 128.00 | 77.00 | 47.50 | 589.6 | | | | |
| 896 | 97 | 12976 包含層 A層 | 門口 | 穴毛 | アシナガバ | 137.83 | 73.15 | 43.03 | 597.1 | 圓面 | | | |
| 897 | 102 | 97 12917 包含層 A層 | 門口 | 穴毛 | アシナガバ | 92.58 | 78.87 | 48.75 | 465.5 | | | | |
| 898 | 97 | 12917 包含層 A層 | 門口 | 穴毛 | アシナガバ | 132.14 | 59.31 | 39.99 | 469.7 | 圓面 | | | |
| 899 | 102 | 97 12917 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 128.54 | 71.58 | 33.21 | 779.0 | 圓面 + 縦溝 | | | |
| 900 | 102 | 97 12917 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 115.27 | 94.14 | 57.72 | 894.6 | | | | |
| 901 | 102 | 97 11125 包含層 A層 | 門口 | 穴毛 | アシナガバ | 106.47 | 77.81 | 31.66 | 360.4 | 圓面 | | | |
| 902 | 102 | 97 12921 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 94.36 | 83.88 | 46.63 | 586.5 | | | | |
| 903 | 97 | 12921 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 75.32 | 56.06 | 28.87 | 181.9 | + 銀飾物 | | | |
| 904 | 98 | 12922 包含層 A層 | 田口 | 安山岩 | 安山岩 | 118.50 | 73.50 | 39.00 | 513.8 | | | | |
| 905 | 102 | 98 1165 包含層 A層 | 門口 | 穴毛 | アシナガバ | 98.73 | 71.94 | 61.01 | 628.0 | | | | |
| 906 | 98 | 1165 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 84.09 | 65.87 | 44.53 | 347.8 | 圓面 | | | |
| 907 | 98 | 1291 包含層 A層 | 田口 | 安山岩 | 安山岩 | 115.22 | 94.35 | 30.00 | 861.7 | 圓面 | | | |
| 908 | 102 | 98 1296 包含層 A層 | 門口 | 穴毛 | アシナガバ | 92.45 | 81.94 | 19.55 | 194.9 | | | | |
| 909 | 102 | 98 13615 包含層 A層 | 田口 | 安山岩 | 安山岩 | 87.76 | 74.61 | 47.83 | 468.2 | 圓面 - 銀 | | | |
| 910 | 103 | 98 1165 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 83.33 | 57.68 | 38.01 | 308.2 | *銀 赤色鉛筆 + 銀 | | | |
| 911 | 98 | 12917 包含層 A層 | 田口 | 穴毛 | アシナガバ | 82.99 | 78.24 | 27.64 | 206.6 | 圓面 + 銀 | | | |
| 912 | 103 | 98 1164 包含層 A層 | 門口 | 穴毛 | アシナガバ | 106.76 | 66.92 | 54.88 | 505.0 | 圓面 + 銀 | | | |

| 編號 | 測量點 | 圓柱形 直徑(公分) | 圓柱形 高度(公分) | 山土樣 | 砂 | 砾石 | 礫石 | 礫石細分類 | 礫石性質 | 石頭 | 長度(cm) | 闊(cm) | 厚度(cm) | 測量(公分) | | | | |
|-----|-----|---------------|---------------|-----------|-----------|-------|----|-------|------|---------|--------|--------|--------|--------------|--------|---------------------------------|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | 長 | 闊 | 厚 | | |
| 913 | 103 | 98 | 126.11 | 混合層 25 厘米 | | | | | | 7.7±1.5 | 145.36 | 81.69 | 25.14 | 88.5 | | | | |
| 914 | | 98 | 115.20 | 混合層 25 厘米 | 內石 | | | | | 15.46 | 55.83 | 35.28 | 55.1 | 圓面 | | | | |
| 915 | | 99 | 127.21 | 混合層 25 厘米 | 內石 | | | | | 86.59 | 72.89 | 45.16 | 38.9 | 像邊緣帶有孔洞 | | | | |
| 916 | 103 | 99 | 115.19 | 混合層 25 厘米 | 圓石 | | | | | 102.88 | 86.12 | 47.30 | 35.9 | 圓面 + 壓角形帶有孔洞 | | | | |
| 917 | 813 | 103 | 99 | 115.25 | 混合層 25 厘米 | 圓石 | | | | 120.11 | 43.31 | 21.18 | 99.7 | | | | | |
| 918 | 639 | 103 | 99 | 126.20 | 混合層 A 帶 | 圓石 | | | | 238.50 | 212.00 | 82.00 | 154.1 | | | | | |
| 919 | 103 | 99 | 126.21 | 混合層 B 帶 | 圓石 | | | | | 109.46 | 68.67 | 35.91 | 39.9 | 小形 | | | | |
| 920 | 104 | 99 | 115.25 | 混合層 25 厘米 | 石頭 | | | | | 144.22 | 121.31 | 64.87 | 75.9 | -些孔 | | | | |
| 921 | 104 | 99 | 125.8 | 混合層 A 帶 | 石頭 | | | | | 196.00 | 150.30 | 63.05 | 205.6 | 赤色帶有孔洞 + 細 | | | | |
| 922 | 583 | 100 | 125.9 | 混合層 A 帶 | 神石 | | | | | 251.30 | 125.00 | 50.50 | 344.7 | | | | | |
| 923 | 104 | 100 | 127.11 | 混合層 25 厘米 | 台石 | | | | | 194.00 | 158.00 | 82.71 | 350.0 | 塊 | | | | |
| 924 | 702 | 100 | 127.12 | 混合層 25 厘米 | 台石 | | | | | 251.00 | 177.00 | 70.00 | 257.6 | | | | | |
| 925 | 590 | 104 | 110.15 | 混合層 25 厘米 | 台石 | | | | | 230.80 | 232.00 | 300.00 | 320.0 | | | | | |
| 926 | 432 | 100 | 110.20 | 混合層 25 厘米 | 台石 | | | | | 157.00 | 143.00 | 61.00 | 160.2 | | | | | |
| 927 | 101 | 125.9 | V 型上位 | 石頭 | | | | | | 25.50 | 12.98 | 3.54 | 1.0 | 平凸型 | | | | |
| 928 | 105 | 101 | 125.29 | V 型上位 | 7.00 | | | | | 30.50 | 14.00 | 4.30 | 1.4 | 平凹型 | | | | |
| 929 | 105 | 101 | 91.20 | V 型 + 圓上位 | 4.00 | | | | | 53.37 | 24.67 | 8.70 | 6.9 | | | | | |
| 930 | | 105 | 101 | 125.13 | 離位小列 | 石頭 | | | | | 29.84 | 34.06 | 2.73 | 3.5 | | | | |
| 931 | | 105 | 101 | 125.16 | V 型 | 16.00 | | | | | 21.50 | 17.00 | 7.00 | 2.1 | | | | |
| 932 | 105 | 101 | 116.19 | V 型上位 | 圓形石器 | | | | | | 24.24 | 39.92 | 11.51 | 9.7 | | | | |
| 933 | 105 | 104 | 125.18 | V 型 | 圓形石器 | | | | | | 29.00 | 30.00 | 7.00 | 6.0 | | | | |
| 934 | 105 | 101 | 116.19 | V 型 | 石頭 | | | | | | 35.69 | 24.34 | 9.22 | 7.6 | | | | |
| 935 | | 105 | 101 | 125.18 | V 型 | 斜面 | | | | | | 20.00 | 19.00 | 5.00 | 1.3 | | | |
| 936 | | 106 | 101 | 127.21 | V 型 + 1 倍 | 石頭 | | | | | | 32.00 | 31.00 | 21.50 | 18.9 | 中 + 7.725 | | |
| 937 | | 101 | 127.17 | V 型 + 1 倍 | 石頭 | | | | | | 34.95 | 104.23 | 50.34 | 766.4 | 青石 1 倍 | | | |
| 938 | | 101 | 116.19 | V 型上位 | 石頭 | | | | | | 60.92 | 82.85 | 48.22 | 228.2 | 板狀 1 倍 | | | |
| 939 | | 105 | 101 | 94.2 | V 型上位 | 圓形石器 | | | | | | 142.23 | 94.38 | 39.36 | 800.2 | TTS 大頭石 3 - 一端 ~ 1.5 處有裂隙 + 1/4 | | |
| 940 | | 105 | 101 | 101.16 | V 型 + 1 倍 | 石頭 | | | | | | 47.00 | 73.00 | 15.00 | 66.5 | | | |
| 941 | | 101 | 125.04 | V 型上位 | 綠石 | | | | | | 27.20 | 56.30 | 45.00 | 251.1 | 綠 | | | |

| 発掘場所 | 施設上部No. | 施設No. | 発土地点 | 基盤 | sondage | 現存状態 | 付箋 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(kg) | 参考文献 |
|------|---------|-----------------|---------------|----------------------|----------------------|------------------|------------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|------|
| 942 | 101 | 11F20 | V層上位 | 鉢石 | 1 完形 2 完形 | 断面 断面 | 99.01 110.72 | 60.23 79.90 | 26.73 37.79 | 270.5 511.0 | 瓦陶 | |
| 943 | 105 | 101 | 12F12 V層上位 | 鉢石 | 1 完形 2 完形 | 断面 断面 | 57.44 57.44 | 32.75 32.75 | 25.08 25.08 | 90.7 90.7 | 瓦陶 瓦 斧頭に黒色付箋 | |
| 944 | 101 | 9022 | V層上位 | 鉢石 | 4a - 1段欠 4b - 1段欠 | 断面 断面 | 65.23 62.51 | 19.02 19.02 | 128.6 128.6 | 無 | 木材底のまま 中空に黒色付箋 | |
| 945 | 102 | 12B22 ~ 23 V層上位 | 鉢石 | 4c - 完形 4c - 欠損 | はんまい岩 はんまい岩 | 断面 断面 | 82.90 86.03 | 70.71 68.11 | 30.38 23.91 | 263.2 201.7 | 瓦・輪・素材板のまま | |
| 946 | 106 | 102 | 12B8 ~ 9 V層 | 鉢石 | 4c - 欠損 | 断面 | 82.90 | 70.71 | 30.38 | 263.2 | 瓦 | |
| 947 | 102 | 12F22 ~ 23 V層上位 | 鉢石 | 4c - 欠損 | 4c - 1段欠 4c - 1段欠 | 断面 断面 | 68.11 68.78 | 23.91 63.72 | 28.57 28.57 | 167.13 | 瓦・輪 | |
| 948 | 105 | 102 | 12F12 V層上位 | 鉢石 | 4c - 1段欠 | 断面 | 65.23 65.23 | 19.02 19.02 | 128.6 128.6 | 無 | 木材底のまま 中空に黒色付箋 | |
| 949 | 102 | 12F12 V層上位 | 鉢石 | 4c - 1/3 4c - 1/3 | はんまい岩 はんまい岩 | 断面 断面 | 64.94 65.31 | 47.71 60.00 | 22.26 22.26 | 128.23 | 瓦・輪・内側が空洞に黒色付箋 | |
| 950 | 105 | 102 | 11F21 V層上位 | 鉢石 | 4c - 完形 | 断面 | 58.91 44.04 | 37.02 44.80 | 19.62 14.06 | 100.37 51.50 | 瓦・輪・内側が空洞 | |
| 951 | 105 | 102 | 12G1 V層上位 | 鉢石 | 4c - 完形 | 断面 | 58.91 44.04 | 37.02 44.80 | 19.62 14.06 | 100.37 51.50 | 瓦・輪・内側が空洞 | |
| 952 | 105 | 102 | 15G18 ~ 19 V層 | 鉢石 | 4d - 1段欠 | 断面 | 57.68 57.68 | 16.53 16.53 | 19.23 19.23 | 86.5 | 瓦 | |
| 953 | 102 | 12F21 V層 | 鉢石 | 4d - 1段欠 | 断面 | 97.34 97.34 | 68.58 68.58 | 36.29 36.29 | 315.7 | 瓦 | | |
| 954 | 105 | 102 | 12F22 V層上位 | 鉢石 | 4d - 完形 | 断面 | 80.00 80.00 | 74.50 74.50 | 40.00 40.00 | 339.4 | 瓦 | |
| 955 | 102 | 12F12 V層上位 | 鉢石 | 4d - 完形 | 断面 | 259.50 259.50 | 180.50 180.50 | 54.75 54.75 | 2500.0 | 瓦 | | |
| 956 | 102 | 16G10 V層上位 | 鉢石 | 4d - 完形 | 断面 | 259.50 259.50 | 180.50 180.50 | 54.75 54.75 | 2500.0 | 瓦 | | |

第6表 石製品観察表

| 規格番号 | 材り上り寸 | 規格番号 | 規格番号 | 出土地点 | | 形状 | 断面形状 | 石器 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 表面状況 | |
|------|-------|------|---------|---------|---------|--------|--------|---------|----------|----------|---------|-----------|------------------|
| | | | | 2号一枚 | 3号一枚 | | | | | | | | |
| 957 | 107 | 103 | 12P21 | 石器 | 土室 | 内嵌状跡有 | 1/2 | 赤色白苔 | 44.61 | 42.10 | 10.81 | 18.75 | |
| 958 | 107 | 103 | 12P21 | 地土 | 内嵌状跡無 | 1/2 | 赤色白苔 | (29.60) | (28.09) | (7.93) | (9.36) | 暗紅褐色 | |
| 959 | 906 | 103 | 12P21 | 地土 | 内嵌状跡有 | 1/2 | 黄褐色 | 61.62 | 66.61 | 6.727 | 20.21 | 新鮮な青い光沢 | |
| 960 | 699 | 107 | 103 | 12P21 | 地土 | 内嵌状跡無 | 1/3以下 | 赤色(赤苔) | (60.51) | (64.10) | (10.49) | (7.98) | 新鮮な青い光沢 |
| 961 | 538 | 107 | 103 | 11G15 | 地土 | 内嵌状跡有 | 1/3 | 赤色(赤苔) | (77.42) | (64.14) | (11.63) | (8.50) | 新鮮な青い光沢 |
| 962 | 306 | 107 | 103 | 11G5 | 地土 | 内嵌状跡有 | 1/2 | 赤色(赤苔) | (26.61) | (27.59) | (9.67) | (9.41) | 新鮮な青い光沢 |
| 963 | 107 | 103 | 11G14 | 地土 | 内嵌状跡有 | 1/2 | 赤色(赤苔) | (31.90) | (108.88) | (70.00) | (2.17) | 10人用石器 | |
| 964 | 107 | 103 | 12P22 | 23 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/2以下 | 赤色(赤苔) | 67.28 | (25.78) | (9.75) | 13.16 | 新鮮な青い光沢 |
| 965 | 103 | 103 | 12P21 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/3以下 | 赤色(赤苔) | (62.02) | (63.58) | (38.23) | (68.46) | 新鮮な青い光沢 | |
| 966 | 644 | 103 | 12P16 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/3以下 | 赤色(赤苔) | 235.00 | 32.75 | 18.06 | 238.80 | 黒褐色(黒い出し) | |
| 967 | 461 | 107 | 103 | 11G5 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/2以下 | 赤色(赤苔) | (62.33) | (29.56) | (14.69) | (28.36) | 新鮮な青い光沢 |
| 968 | 280 | 103 | 11G5 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/2以下 | 赤色(赤苔) | 64.50 | (61.12) | (9.96) | (36.04) | 新鮮な青い光沢 | |
| 969 | 103 | 12G1 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/2以下 | 赤色(赤苔) | 68.43 | (30.87) | (19.49) | (56.48) | 新鮮な青い光沢 | | |
| 970 | 302 | 107 | 104 | 11G5 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/3以下 | 赤色(赤苔) | 68.43 | (30.87) | (19.49) | (56.48) | 新鮮な青い光沢 |
| 971 | 107 | 104 | 12G2 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/3 | 赤色(赤苔) | (23.61) | (19.32) | (8.29) | (5.71) | 地図上では見えない | |
| 972 | 104 | 104 | 12G10 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/2 | 赤色(赤苔) | (63.51) | (67.50) | (36.31) | (56.79) | 新鮮な青い光沢 | |
| 973 | 315 | 108 | 104 | 12G19 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/2 | 赤色(赤苔) | (21.77) | (22.31) | (14.08) | (4.12) | 赤色 |
| 974 | 689 | 108 | 104 | 12P21 | 混合層 A 層 | 石器 | ? | 赤色(赤苔) | (45.13) | (60.22) | 37.48 | 55.80 | 新鮮な青い光沢 |
| 975 | 132 | 108 | 104 | 12G11 | 混合層 A 層 | 石器 | ? | 赤色(赤苔) | (45.79) | (40.73) | (20.16) | 18.79 | 新鮮な青い光沢 |
| 976 | 237 | 108 | 104 | 12G1 | 混合層 A 層 | 石器 | ? | 赤色(赤苔) | (63.89) | (64.50) | (21.61) | 81.90 | 新鮮な青い光沢 |
| 977 | 803 | 108 | 104 | 12P21 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/3 | 赤色(赤苔) | (148.79) | (105.20) | (17.63) | 269.60 | 半圓の尖った打痕 1 面側に斜面 |
| 978 | 765 | 108 | 104 | 12G1 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/3 | 赤色(赤苔) | (63.29) | (68.98) | (19.29) | 31.15 | 新鮮な青い光沢 |
| 979 | 108 | 104 | 12G1 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/3以下 | 赤色(赤苔) | 32.16 | 22.67 | 5.78 | 3.27 | 新鮮な青い光沢 | |
| 980 | 108 | 104 | 11G14 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/2 | 赤色(赤苔) | (38.49) | (59.74) | (20.02) | (10.66) | 新鮮な青い光沢 | |
| 981 | 444 | 108 | 104 | 11G14 | 混合層 A 層 | 石器 | 1/3以下 | 赤色(赤苔) | (28.16) | (65.72) | (10.05) | 7.51 | 新鮮な青い光沢 |
| 982 | 106 | 105 | 12G1 | 混合層 A 層 | 石器 | ? | 赤色(赤苔) | (27.00) | (19.93) | (8.28) | 3.63 | 新鮮な青い光沢 | |
| 983 | 662 | 108 | 105 | 11G19 | 混合層 A 層 | 石器 | 4 | 赤色(赤苔) | (67.57) | (49.90) | (18.15) | 26.17 | 新鮮な青い光沢 |
| 984 | 246 | 109 | 105 | 11G15 | 混合層 A 層 | 石器 | 1 | 赤色(赤苔) | (28.66) | (62.96) | (42.62) | 7.95 | 新鮮な青い光沢 |
| 985 | 109 | 105 | 11G15 | 混合層 A 層 | 石器 | 1 | 赤色(赤苔) | — | — | — | — | — | |

| 探査番号 | X (m) | Y (m) | 地盤構成 | 透水性 | 透水係数 | 孔隙率 | 固分率 | 残存失重 | 石質 | 長さ (cm) | | T ₃ (s) | 重量 (g) | 特徴事項 | |
|------|-------|-------|-----------------|--------------|------|-------|-----|---------|----------|---------|--------|--------------------|--------|------|--|
| | | | | | | | | | | 上 | 下 | | | | |
| 986 | 109 | 105 | 14G5 包含層 25層 | 透水 | 1 | 1/3以下 | 80% | 64.38 | 65.08 | 13.38 | 3.91 | | | | |
| 987 | 109 | 105 | 12G6 包含層 2層 | 透水? | 1 | 1/3以上 | 透水岩 | 61.79 | (22.86) | 14.72 | 15.02 | | | | |
| 988 | 109 | 105 | 11G4 包含層 1~25層 | 透水 | 1 | 1/3以上 | 透水岩 | 62.60 | 67.73 | (14.15) | 11.05 | | | | |
| 989 | 109 | 105 | 11G5 包含層 35層 | 透水? | 2 | 1/2? | 透水岩 | 69.03 | (103.88) | 15.38 | 11.95 | | | | |
| 990 | 109 | 105 | 12G3 包含層 A 層 | 透水 | 3 | 1/2? | 透水岩 | 51.84 | 25.92 | 9.33 | 17.07 | | | | |
| 991 | 109 | 105 | 11D9 包含層 A 層 | 透水 | 3 | 1/2? | 透水岩 | 65.91 | (45.89) | 12.01 | 9.51 | | | | |
| 992 | 109 | 105 | 12D2 包含層 A 層 | 透水 | 3 | 1/3以下 | 透水岩 | 64.93 | (36.14) | 64.20 | 30.70 | | | | |
| 993 | 109 | 105 | 14G5 包含層 A 層 | 透水 | 3 | 1/2? | 透水岩 | 61.12 | (36.49) | 14.77 | 11.57 | | | | |
| 994 | 109 | 105 | 12G1 包含層 25層 | 透水 | 3 | 完屈 | 透水岩 | 80.09 | | 35.70 | 108.70 | 半円形 素材? | 前面に黑色物 | | |
| 995 | 109 | 106 | 12G12 包含層 A 層 | 透水 | 4 | 1/3以下 | 透水岩 | (65.94) | (42.86) | (14.81) | 17.84 | | | | |
| 996 | 109 | 106 | 12G21 包含層 A 層 | 透水 | 4 | 極片 | 透水岩 | 69.40 | (14.86) | (15.29) | 9.70 | | | | |
| 997 | 109 | 106 | 12G1 包含層 A 層 | 透水 | 4 | 1/3以下 | 透水岩 | 63.36 | (27.70) | (9.36) | 5.19 | | | | |
| 998 | 109 | 106 | 12G5 包含層 A 層 | 透水 | 4 | 1/3以下 | 透水岩 | 61.97 | (31.83) | (14.17) | 9.34 | | | | |
| 999 | 109 | 106 | 12G17 包含層 2~35層 | 透水 | 4 | 1/3以下 | 透水岩 | (27.28) | (30.47) | (7.28) | 4.22 | | | | |
| 1000 | 109 | 106 | 13G1 包含層 A 層 | 透水 | 4 | 1/3 | 透水岩 | 64.62 | (38.30) | (14.15) | 25.19 | | | | |
| 1001 | 109 | 106 | 12G20 包含層 A 層 | 透水 | 4 | 極片 | 透水岩 | 62.36 | (19.16) | (7.09) | 2.25 | | | | |
| 1002 | 106 | 106 | 13G6 包含層 25層 | 透水 | 4 | 1/2? | 透水岩 | 61.92 | (19.40) | (9.67) | 4.33 | | | | |
| 1003 | 109 | 106 | 12G17 包含層 2~35層 | 透水 | 4 | 1/2? | 透水岩 | (44.56) | (38.92) | (13.79) | 5.64 | | | | |
| 1004 | 106 | 106 | 12G3 包含層 A 層 | 透水 | 5 | 完屈 | 透水岩 | 69.89 | 70.01 | 26.36 | 98.62 | 圓柱形試験管 | | | |
| 1005 | 110 | 106 | 12G6 包含層 25層 | 透水 | 6 | 透水 | 透水岩 | 45.22 | 56.74 | 7.56 | 13.99 | 圓柱形試験管 | | | |
| 1006 | 110 | 106 | 11G9 包含層 25層 | 透水 | 1~2 | 透水 | 透水岩 | (65.09) | (65.85) | (8.89) | 13.44 | 圓柱形試験管 | | | |
| 1007 | 110 | 106 | 12G12 包含層 A 層 | 透水 | 1 | 2/3以下 | 透水岩 | (51.23) | (27.83) | (15.01) | 10.25 | 石英灰 | | | |
| 1008 | 110 | 106 | 12G6 包含層 A 層 | 透水 | 1 | 小崩 | 透水岩 | (47.07) | (33.34) | (14.98) | 19.39 | 青鶴 青鶴的 | | | |
| 1009 | 109 | 106 | 12F12 包含層 25層 | 透水 | 1 | 完屈 | 透水 | 72.07 | 34.69 | 12.00 | 33.70 | T644 | | | |
| 1010 | 110 | 106 | 12G11 包含層 25層 | 透水 | 1 | 完屈 | 透水 | 64.67 | 44.36 | 22.90 | 13.89 | 電子 T644 | | | |
| 1011 | 110 | 106 | 13G6 包含層 25層 | 透水 | 2 | 完屈 | 透水岩 | 26.02 | 25.38 | 13.35 | 5.08 | 玉 | | | |
| 1012 | 104 | 110 | 106 | 12G6 包含層 25層 | 透水 | 2 | 陽光岩 | 29.00 | 19.86 | 15.20 | 9.07 | 玉 | | | |
| 1013 | 580 | 110 | 106 | 12G8 包含層 A 層 | 透水 | 3 | 完屈 | 安山岩 | 79.61 | 55.93 | 43.12 | 262.28 | 西西 | | |
| 1014 | 466 | 110 | 106 | 12G1 包含層 25層 | 透水 | 3 | 完屈 | 安山岩 | 90.92 | 55.06 | 26.74 | 202.38 | 片岩 | | |
| 1015 | 110 | 106 | 12G1 包含層 25層 | 透水 | 4 | アーチ | 透水岩 | 68.31 | (43.96) | 370.61 | 43.96 | | | | |

| 標識番号 | 泥り土の箇所 | 固結度No. | 密度(g/cm ³) | 地盤上地質 | 砂礫 | | 塊状砂岩 | | 塊状泥岩 | | 石炭 | | 瓦(?) | | 厚さ(cm) | | 表面(?) | | 特徴要項 | |
|------|--------|--------|------------------------|---------------|-----------------------|-------|-------|-----|------|----|----------|---------|---------|------------|------------|----|-------|----|------|----|
| | | | | | 粒径(mm) | 粒度 | 粒度 | 形状 | 粒度 | 形状 | 粒度 | 形状 | 粒度 | 形状 | 粒度 | 形状 | 粒度 | 形状 | 粒度 | 形状 |
| 1016 | 110 | 107 | 1276 | 含含層八層 | 粗粒石英岩 (ミクニ シラヒ) | 完形 | 完形 | 尖形 | 完形 | 尖形 | 49.44 | 18.85 | 5.72 | 6.5 | | | | | | |
| 1017 | 110 | 107 | 1277 | 含含層八層 | 粗粒石英岩 (ミクニ シラヒ) | 完形 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | 23.75 | 5.91 | 3.62 | 0.64 | | | | | | |
| 1018 | 110 | 107 | 11015 | 含含層八層 20mm | 粗粒石英岩 (ミクニ シラヒ) | 完形 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | 105.17 | 56.16 | 44.34 | 221.75 | | | | | | |
| 1019 | 107 | 107 | 1279 | 含含層八層 | 石炭 | 完形 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | 45.53 | 33.57 | 27.71 | 29.65 | | | | | | |
| 1020 | 110 | 107 | 11125 | 含含層八層 | 石炭 | 完形 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | 25.78 | 24.00 | 20.71 | 3.40 | To-Nd-Ts-H | | | | | |
| 1021 | 107 | 107 | 12721 | 含含層八層下位 | 石炭 | 1/2 | 塊状岩 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | (21.90) | (15.92) | 4.83 | To-Nd-Ts-H | | | | | | |
| 1022 | 110 | 107 | 1105 | 含含層八層 | 石炭 | 1/2 | 塊状岩 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | 29.99 | 26.87 | 21.12 | 4.93 | | | | | | |
| 1023 | 107 | 107 | 1266 | 含含層八層 | 石炭 | 1/3以下 | 塊状岩 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | (41.74) | (33.05) | (14.89) | 11.37 | | | | | | |
| 1024 | 110 | 107 | 1109 | 含含層八層 | 石炭 | 1/2 | 塊状岩 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | 35.82 | 31.29 | 22.02 | 33.06 | | | | | | |
| 1025 | 107 | 107 | 11615 | 含含層八層 | 石炭 | 2/3以下 | 塊状岩 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | (68.39) | (64.69) | (22.90) | 16.24 | | | | | | |
| 1026 | 111 | 107 | 98.9 | 瓦層 | 石炭 | 1/2 | 塊状岩 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | (192.50) | (83.10) | (17.05) | 156.85 | 断面地割引筋 | | | | | |
| 1027 | 111 | 107 | 12729 | V層 | 岩礫? | ? | ? | ? | ? | ? | (42.36) | (43.85) | (34.33) | 45.50 | 東材少 内隕状 | | | | | |
| 1028 | 107 | 107 | 11450 | 直層 | 石炭 | 1/2 | 塊状岩 | 尖形 | 尖形 | 尖形 | (62.69) | (55.41) | (19.99) | 121.09 | 直形 | | | | | |
| 1029 | 111 | 107 | 1105 | V層上部 | 碧流 | 1 | 1/3以下 | 塊状岩 | ? | ? | (28.70) | (25.49) | (7.51) | 3.21 | | | | | | |
| 1030 | 111 | 107 | 11019 | V層 | 云母 | 2 | 完形 | 塊状岩 | ? | ? | 98.23 | 62.63 | 7.33 | 30.13 | | | | | | |
| 1031 | 111 | 107 | 12727 | V層上部 | 碧流 | 4 | 1/3 | 塊状岩 | ? | ? | (72.65) | (46.77) | 26.51 | 54.12 | | | | | | |
| 1032 | 107 | 107 | 1276 | N層 | 碧流 | 4 | 完形 | 塊状岩 | ? | ? | (86.03) | (85.80) | 68.22 | 2.94 | | | | | | |
| 1033 | 107 | 107 | 12518 | 瓦層 | 円粒状石英岩 | 完形 | 尖形 | 尖形 | ? | ? | 60.76 | 65.30 | 18.87 | 97.74 | 側縫程度變形 | | | | | |
| 1034 | 107 | 107 | 12529 | 瓦層 | 円粒状石英岩 | 块状岩 | ? | ? | ? | ? | 37.86 | (62.56) | 10.65 | 8.68 | 側縫割れ形 | | | | | |
| 1035 | 107 | 107 | 12725 | 瓦層 | 円粒状石英岩 | 1/3以下 | 塊状岩 | ? | ? | ? | (19.98) | (67.53) | 43.07 | 25.82 | 側縫割れ形 塵面合形 | | | | | |
| 1036 | 107 | 107 | 12527 | 瓦層上部 | 円粒状石英岩 | 块状岩 | ? | ? | ? | ? | (21.98) | (18.17) | (8.72) | 0.77 | 側縫割れ形 | | | | | |
| 1037 | 111 | 107 | 11019 | V層上部 | 碧流 | 一些欠 | 1/3以下 | 塊状岩 | ? | ? | 58.96 | 52.56 | 12.06 | 27.6 | | | | | | |

第7表 土壠器観察表

| 探査孔 | 固結度No. | 方位 | 出土地点・部位 | 地盤 | 種類 | 種類 | 内面 | 外観 | 詰め | 法線 | 底面 | 底面 | 底面 | 底面 | 底面 | 底面 | 底面 | 底面 | 底面 |
|------|--------|-----|---------|----|-----|-----|-------------|-------------|-----|--------|-----|------|-------|----|----|----|----|----|----|
| 1038 | 111 | 108 | 11022 | 瓦層 | 共通層 | 明穴形 | 口縁:ヨコナガ、脚:ヘ | 口縁:ヨコナガ、脚:ヘ | ナタテ | (12.6) | 6.2 | 14.6 | 274.5 | | | | | | |

VI 自然科学的分析

1 雨滝遺跡出土の動物遺存体と内陸部における動物資源利用

石丸忠利子（総合地球環境学研究所）

(1) はじめに

雨滝遺跡は、現在の青森県八戸市内へと流れる馬淵川の上流、沿岸部から直線距離にして約35km内陸の岩手県二戸市金田一舌崎に所在する。これまでに明治大学による3回の学術調査が行われ、「亀ヶ岡式土器」と呼ばれる土器をはじめとした縄文晩期初頭から前葉の大量の遺物が確認されていく。また、平成19年財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターにより県道整備事業に伴う緊急発掘調査が実施され、縄文時代の小規模な遺物包含層や中世（室町時代）の建物跡なども確認されている。

この度、畠地帯総合整備事業にともない、平成20年7月から明治大学調査区の東方約150m付近にあたる地点で同センターにより緊急発掘調査が実施された。本調査区においても、縄文時代晩期初頭から前葉の大規模な遺物包含層が確認され、土器や石器などの人工遺物に加えて、当時の食糧であったと考えられるモニグルミやトチノミなどの炭化種実や動物の骨も検出された。今回、その動物遺存体の同定および観察をする機会を得たため、その内容を報告し本遺跡における動物資源の利用について考察してみたい。

(2) 出土動物遺存体の概要

取り上げられた動物遺存体は、その多くが火を受けたと考えられる白色化した小破片で、現場で直接採集されたものと遺物包含層から $120 \times 50 \times 20\text{cm}$ および $120 \times 50 \times 50\text{cm}$ の範囲でコラムサンプリングした土塊を0.5mmの目の網を用いた水洗選別によって採集された総重量43.4gの資料である。それらのうち動物種もしくは部位・部分を特定することができたのは100点の35.9gで、3綱7科8種類を確認した（第1表）。いずれも縄文時代晩期前葉（大洞B2-C1式）の時期に相当する資料である。以下、確認できた種ごとにその概要を記述する。また、骨角器および加工の痕跡が観察された資料も含まれていたため、それらについても報告する。

ホホジロザメ

12F6 地点3区間目東壁トレチで、ホホジロザメの遊離歯を1点確認した（写真NO.7）。両顎歯の形態は、二等辺三角形で強い鋸歯縁をもつのが特徴である。歯根部分は残存しておらずエナメル質部分のみであるため、加工が施されたものかは不明であるが、内陸部に位置する遺跡からサメの歯が出上していることは、生業範囲や沿岸部との交流を考える上で興味深いことである。ホホジロザメは、日本では各地の沿岸に生息し、内湾の浅海域にも出現する。大きなもので全長約8mにもなる大型種である。凶暴な人食いザメの一種とされ、縄文人にとってもホホジロザメは危険な魚であったといえる。

アオザメ

12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 2b 層および 3a 層で、アオザメの遊離歯をそれぞれ 1 点確認した（写真 NO.5・6）。両歯の形態は、ナイフ状で鋸歯縁や側尖頭はない特徴を持つ。いずれもエナメル質部分のみで歯根部分は残存していないため、加工が施されたかどうかは不明である。その大きさから比較的小型の個体のものもしくは後歯⁽¹⁾部分であったと考えられる。アオザメも日本では各地の沿岸域および外洋にも幅広く分布し、全長約 4m にまで大きくなる。人を襲った報告があり、当時ホジロザメ同様に危険な魚として認識されていたと推測される。ホホジロザメやアオザメなどのサメ類の歯あるいはそれらネズミザメ属の椎骨は、遺跡から出土することが多い部位であり、歯根部や椎骨の中心部分を穿孔したものが多く確認されている。よって、これらの資料においても加工が施され、装飾品あるいは垂飾りなどとして使用されていた可能性が高いと考えられる。

ウグイ亜科の一種

12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 3 層で、ヒメハヤ属もしくはウグイ属の下咽頭骨を 1 点確認した（写真 NO.8）。ヒメハヤ属およびウグイ属の咽頭歯列は、2 列で列ごとに内側に 4 もしくは 5 本、外側に 2 本の咽頭歯が並び、出土資料にその特徴が確認できる。ヒメハヤ属の現生骨格標本と比較できていないため、ウグイ亜科の一種とした。一部欠損しているため正確な復元はできないが、残存する咽頭骨長や咽頭骨幅から、体長約 15cm 前後の個体であったと推測される。現在の生息域から考えると、ヒメハヤ属であればアブラハヤ、ウグイ属であればマルタ・エゾウグイ・ウグイの可能性がある。全体的に薄茶色を呈し、火は受けていないと考えられる。このような小さな資料を確認することができたのは、0.5mm の日の鈍を用いた水洗選別が実施された成果だといえる。

コイ科の一種

種まで同定することはできないが、コイ科の一種と考えられる椎骨を 29 点確認した（写真 NO.9・10, NO.14~16）。11G1 地点包含層 3a 層、12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 2b 層および 3a 層、3 区間目ベルト①包含層 A 層の複数地点で採集されている。その多くが、火を受けて白色を呈するものであった（NO.14 と破片 1 点以外すべて）。第 1 椎骨 1 点、腹椎 11 点、尾椎 7 点、そのほかに椎骨破片が 10 点を数える。第 1 椎骨は、フナ属の標本と比較して類似しているが、その他の種との比較がおこなえてないのでコイ科の一種にとどめた。体長 20cm 前後のものと推測される。そのほかにもコイ科の咽頭骨の破片を 2 点確認したが、歯列部が残存していないので種は不明である。

サケ属の一種

12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 3a 層と 3 区間目ベルト①包含層 A 層で、サケ属の椎骨をそれぞれ 1 点確認した（写真 NO.11・12）。いずれも火を受けたと考えられ全体的に白色を呈する。

不明魚類

そのほかに 12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 3a 層で、種不明の第 1 椎骨を 1 点確認した（写真 NO.13）。全体的に薄茶色を呈し、火を受けていないと考えられる。これまでに比較した現生標本には一致するものもなく、写真掲載にとどめた。第 1 椎骨は形態の特徴から種まで同定できる可能性があるため、今後、現生標本との比較によって明らかにしたいと考えている。

ニホンジカ

ここでは、後述する骨角器の素材として利用されたもの以外の部位について記述する。12E3 地点包含層 A 層（取り上げ NO.569）と 12G1 地点包含層 3a 層でニホンジカの臼歯を確認した。いずれも残存状態は不良で、小破片であるため、本数や歯列等は不明である。また、種不明の四肢骨骨幹部の中には、ニホンジカの中手骨もしくは中足骨などの直線的な形態を持つ破片が多く含まれている。

イノシシ

12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 3a 層でイノシシの立方骨（足根骨のひとつ）を 1 点（写真 NO.23）と中手骨もしくは中足骨の遠位端（第 2 もしくは第 5）を 1 点（写真 NO.25）、12G1 地点包含層 3a 層下位で中節骨の近位端を 1 点（写真 NO.24）、遊離歯の破片を 11G15 地点包含層 2b 層と 11G20 地点包含層 3a 層でそれぞれ確認した。いずれも破片で、包含層 2b 層出土の臼歯破片以外すべて火を受けて白色を呈するものである。中節骨の近位端には、長軸に対して横方向に線状の解体痕と思われる痕跡を確認することができた。

ムササビ

3 区間日ベルト①包含層 A 層で、ムササビの距骨を 1 点確認した（写真 NO.17）。同包含層からは小型哺乳類の末節骨も出土しており、大きさ的には同種の可能性が高い（写真 NO.18）。いずれも火を受けたと考えられ、全体的に白色を呈する。東北地方北部の縄文遺跡においてムササビは比較的多く出土する種類で、三内丸山遺跡第六鉄塔地区（円筒下層 a・b 式期資料）や東道ノ上（3）遺跡（円筒下層 a 式期資料）などでは、哺乳類組成の 1 割から 4 割近くを占めている（齊藤 2007）。

ネズミ科の一種

12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 2b 層および 3a 層で、ネズミ類の切歯の破片を複数点確認した（写真 NO.20～22）。また、12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 2b 層では、ネズミ類のものと考えられる中足骨の破片も確認した。切歯以外は火を受けたと考えられ、全体的に白色を呈する。大きさ的にはアカネズミやヒメネズミなどの小型種のものである。

その他の小型哺乳類

種は不明であるが、3 区間日ベルト①包含層 A 層で、小型哺乳類の基節骨（写真 NO.19）や、尾椎（写真 NO.26）、中手骨と考えられる破片も確認された。大きさからはムササビやイタチなどと推測される資料である。

骨角器および加工痕のある資料

骨角器もしくは加工が施されていると判断できるものを 3 点確認した（写真 NO.1～3）。11F25 地点包含層 2a 層出土資料（写真 NO.1・2：取り上げ NO.520）は鹿角製で、両端部が欠損しているため全体の形態や用途は不明である。破片の一端に、円形や線状のくぼみを形成し、装飾が施されているのを確認することができる。これらの加工には、工具を回転したり反復運動することによって形成されたことを示す痕跡を観察することができる。雨滝遺跡出土遺物については、土偶や石匙などとともに石製勾玉も写真で報告されている（芹沢 1960）。その渋曲した残存形態や装飾形態から鹿角製勾玉あるいは腰飾のような装身具類であった可能性も指摘できるが、さらに周辺地域の出土類例を参考

にしながら検討する必要がある。

12G1 地点2・3区間ベルト包含層3a層出土資料（写真NO.3）は、火を受けて全体的に白色を呈し、ニホンジカの中手骨もしくは中足骨を素材にしていると考えられる。内側面の海綿状組織が確認できるため、端部近く部分の破片であることが分かる。一端（写真上部）は端部が一部残存し、表面が平滑に形成されている。また、外側面にあたる部分には長軸に調査して横方向に複数の擦痕を観察することができる。欠損のため、全体の形態や用途は不明である。

12G1 地点2・3区間ベルト包含層2b層出土資料（写真NO.4）も、ニホンジカの中手骨もしくは中足骨を素材とするものと考えられるが、特定するには至っていない。火を受けたと考えられ、表面の色調は全体的に白色と灰色を呈する。内側面には骨端部の海綿状組織を確認することができるが、その割れ口も平滑で光沢を持つことから、加工が施された資料と判断した。一端が欠損しているため、全体の形態や用途は不明である。

（3）雨滝遺跡の動物資源利用

以上、雨滝遺跡出土動物遺存体についてその概要を記した。これらの資料は、有機物の残存しにくい日本の土壤において、幸いにも現在にまで残された当時利用された動物資源の一部ではあるが、それらから見えてくる当時の動物との関わりあいや生業活動について若干考察してみたい。

確認できた動物組成は、イノシシやニホンジカの大型哺乳類に加えてムササビやネズミ類、さらにはコイ科やサケ属に加えて海産魚類であるサメ類が含まれる特徴をもつ。これらのことから、内陸部に位置する本遺跡において、イノシシやニホンジカなどの哺乳類を対象とした狩猟活動と、遺跡周辺の河川（馬瀬川）における漁撈活動によって動物資源を獲得していたことを知ることができる。なお、太平洋の沿岸部から直線距離にして約35km内陸に位置するにもかかわらず、海洋に生息するサメ類の歯が複数点確認されたことは、縄文晩期における活動範囲や交流を知るうえで非常に興味深いことである。本遺跡から東方約15kmに位置する畠内遺跡（青森県三戸郡南郷村）においても、縄文前期中葉の包含層からアオザメ、ヨシキリザメ、ホホジロザメなど複数種のサメの歯をはじめとしてマダライヤスズキなどの海産魚類も確認されており（小林1997）、縄文時代を通して内陸部と沿岸部との関わりが強かつたことがうかがえる。このような遠隔地域の遺跡間において、何らかの資源の交換を通じた積極的な文化の交流があったことが推測される。

また、本調査区は明治大学の調査地点から東方に約150m付近に位置し、その遺物包含層の平面的な広がりからも、縄文時代晩期の大集落が形成されていたことが想定され、周辺地域において様々な動物資源を利用していったことがうかがえる。さらに雨滝遺跡では、クジラの骨製斧や海産魚類と思われる人形の魚の骨も出土しているとされ、現時点ではそれらを実見することはできていないが、本報告を契機に今後それらの資料を含めて考察することが可能となれば、本遺跡における動物資源利用の実態をより具体的に復元できるものと期待される。

注

- (1) 一般には近心の歯ほど大きく、遠心にむかって小さくなる。歯上の位置によって、正中歯・前歯・中間歯・側歯・後歯などが区別できる場合がある（後藤・大森司2006）。

謝 辞

本報告をまとめるにあたり、以下の方々に多大なるご教示を賜り、ご協力をいただきました。ここに記して感謝申し上げる次第である（順不同、敬称略）。松井章、山崎健、藤田英美（以上、奈良文化財研究所）、湯本貴和はじめ研究室4の皆様（総合地球環境学研究所）、丸山浩治（財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター）

なお、種の同定作業は、奈良文化財研究所が所蔵する現生骨格標本および自ら所持する標本を使用しておこなった。

参考文献

- Ohdachi S.D., Ishibashi Y., Iwasa M., Saitoh T. 2009 *The Wild Mammals of Japan* Shoukadoh
 後藤行敏・大泰司紀之編 2006 (初版 1986) 「歯の比較解剖学」医歯薬出版株式会社
 小林和彦 1997 「畠内遺跡西括塚出土の動物遺存体」『畠内遺跡IV - 八戸平原開拓建設事業（世増ダム建設）に伴う遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第211集、青森県教育委員会
 齊藤慶史 2007 「円筒土器文化圏における食料獲得活動の地域性 - 青森県東北町東道ノ上 (3) 遺跡出土動物遺存体の分析 -」『考古学試叢』東北大大学院文学研究科考古学研究室・須藤隆先生追念論文集刊行会
 斉沢長介 1960 「石器時代の日本」笠地書館
 中坊徹次編 2000 「日本產魚類検索 - 全種の同定 -」 第二版、東海大学出版会

第1表 雨滝遺跡出土動物遺存体種名一覧

| | |
|--|--------------------------------|
| 軟骨魚綱 Chondrichthyes | サケ属の一種 <i>Oncorhynchus</i> sp. |
| ネズミザメ目 Lamniformes | |
| ネズミザメ科 Lamnidae | |
| ホホジロザメ <i>Carcharodon carcharias</i> | |
| アオザメ <i>Isurus oxyrinchus</i> | |
| 硬骨魚綱 Osteichthyes | |
| コイ目 Cypriniformes | |
| コイ科 Cyprinidae | |
| ウダイ亜科の一種 <i>Leuciscinae</i> gen. et sp. indet. | |
| コイ科の 一種 <i>Cyprinidae</i> gen. et sp. indet. | |
| サケ目 Salmoniformes | |
| サケ科 Salmonidae | |
| 哺乳綱 Mammalia | |
| 偶蹄目 Artiodactyla | |
| イノシシ科 Suidae | |
| イノシシ <i>Sus scrofa</i> | |
| シカ科 Cervidae | |
| ニホンジカ <i>Cervus nippon</i> | |
| 齧齒目 Rodentia | |
| リス科 Sciuridae | |
| ムササビ <i>Petaurus leucogenys</i> | |
| ネズミ科の一種 <i>Muridae</i> gen. et sp. indet. | |

* 学名表記は、中坊編 (2000)、Ohdachi et al. (2009) に従った。

第2表 雨滴遺跡出土動物遺存体観察一覧

| NO. | 発見記号 | 調査区 | 位置 | 日付 | 分類群 | 特 | 計数 | 計分 | 左右 | 種数 | 遺存 | 備考 | 施号 | |
|-----|-------|-------|-------------------|----------|------|---------|------|-----|----|------|---|--|----|--|
| 1 | AT-08 | 1276 | 3区南東部アレンチ④ 2段目 | 08/08/06 | 鰐骨魚鱗 | 心臓/リナメル | 混雜骨 | - | 1 | 0.11 | 魚類消失のため加工は無し、ニメル質部分加工なし | | | |
| 2 | AT-08 | 12F22 | 3区南東部2番層 | 08/09/15 | 鰐乳頭 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 1 | 0.39 | 白色、大型鰐乳頭 | | |
| 3 | AT-08 | 11G15 | 3区南東部3a層 | 08/09/03 | 鰐乳頭 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | 4 | 0.67 | 白色、大型鰐乳頭 | | | |
| 4 | AT-08 | 12G1 | 3区南東部3a層 | 08/08/25 | 鰐乳頭 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 1 | 0.91 | 白色、一部灰化、大型鰐乳頭 | | |
| 5 | AT-08 | 11G15 | 3区南東部3a層 | 08/09/04 | 鰐乳頭 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | 1 | 0.28 | 「白色」、「淡灰化」(裏面内部)、2片だが接合する、 左側骨生えかく「火炎帶有斑点」 | | | |
| 6 | AT-08 | 11G5 | 3区南東部3a層 | 08/08/25 | 鰐乳頭 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 1 | 1.13 | 白色、大型鰐乳頭のものと考えられる | | |
| 7 | AT-08 | 12G1 | 3区南東部3a層下段 | 08/09/12 | 鰐乳頭 | イノシシ | 下顎骨 | 直位 | - | 1 | 1.32 | 白色、骨格化済、近表面右方に横状の解体 痕あり | | |
| 8 | AT-08 | 12G6 | 3区南東部3a層 | 08/08/22 | 鰐乳頭 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 1 | 1.96 | 白色 | | |
| 9 | AT-08 | 11F25 | 3区南東部2番層 | 08/08/22 | 鰐乳頭 | ニホンジカ | 歯肉 | | - | 1 | 3.01 | 骨質線、取り上げKOSの 白色、要領感か（表面質あり） | | |
| 10 | AT-08 | 11G15 | 3区南東部2番層 | 08/07/15 | 鰐乳頭 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 1 | 0.98 | 白色、放外から外剥部分、大型鰐乳頭（ニホン ジカ？） | | |
| 11 | AT-08 | 12F22 | 3区南東部3a層 | 08/09/11 | 鰐乳頭 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | L | 1 | 6.82 | 白色 | | |
| 12 | AT-08 | 11G20 | 3区南東部3a層 | 08/07/29 | 鰐乳頭 | イノシシ? | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 1 | 0.07 | 白色 | | |
| 13 | AT-08 | 11G15 | 3区南東部2番層 | 08/08/22 | 鰐乳頭 | イノシシ? | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 2 | 3.01 | 裸露小碎片 | | |
| 14 | AT-08 | 12E3 | 3区南東部A級 | 08/09/03 | 鰐乳頭 | ニホンジカ | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 17 | 2.22 | 取り上げNO569、微小小碎片 | | |
| 15 | AT-08 | 12G1 | 3区南東部3a層 | 08/08/25 | 鰐乳頭 | ニホンジカ | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 17 | 0.41 | 微小小碎片 | | |
| 16 | AT-08 | 11G15 | 3区南東部3a層 | 08/08/27 | 鰐乳頭 | ニホンジカ | 四肢骨 | 骨頭部 | M | 1 | 0.04 | 白色 | | |
| 17 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐乳頭 | ネズミ等? | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 1 | 0.00 | 白色、骨格化済 | | |
| 18 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐乳頭 | ネズミ等? | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 1 | 0.00 | 黃色 | | |
| 19 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐乳頭 | コイ科 | 椎骨 | 直位 | M | 4 | 0.01 | 白色 | | |
| 20 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/9 | 鰐骨魚鱗 | オオゾメ | 茎端骨 | - | - | 1 | 0.01 | 色彩剥落のため加工は不明、ニメル質部分 加工なし | | |
| 21 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 1 | 0.71 | イノシシ/ニホンジカ | | |
| 22 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/03 | 鰐骨魚鱗 | 中型鰐乳頭 | 恵子? | 骨頭部 | - | 1 | 0.13 | 白色、ノサギ? | | |
| 23 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/03 | 鰐骨魚鱗 | ニホンジカ? | 手半寸? | 骨頭部 | - | 1 | 0.32 | 白色、青角等? 戰東北東有り、加工の可説 性あり | | |
| 24 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | クマ科未詳 | T | 埋藏 | L | 1 | 0.00 | 焼けていない | | |
| 25 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | クマ科未詳 | 骨頭部 | - | M | 1 | 0.11 | 白色、中型鰐乳頭 | | |
| 26 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | コイ科 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 2 | 0.04 | 白色（うち1点に茶色） | | |
| 27 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | コイ科 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 4 | 0.01 | 焼片 | | |
| 28 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | アオメ | 四肢骨 | - | - | 1 | 0.02 | 魚類消失のため加工は不規、ニメル質部分 加工なし | | |
| 29 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | ケタキ? | 骨頭部 | 破片 | M | 1 | 0.02 | 白色 | | |
| 30 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | コイ科 | 椎骨 | 直位 | M | 7 | 0.12 | 白色（うち1点は黒色） | | |
| 31 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | スズメバチ科 | 椎骨 | 直位 | M | 5 | 0.09 | 白色 | | |
| 32 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | コイ科 | 椎骨 | 直位 | M | 5 | - | 白色（うち1点は茶色）、(重量は30に含む) | | |
| 33 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | コイ科 | 椎骨 | 直位 | M | 1 | 0.02 | 白色、坊主頭に意想、人々とともに地獄 | | |
| 34 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | 不規 | 椎骨 | 直位 | M | 1 | 0.01 | 茶色、マヌケ柄に似る? | | |
| 35 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | イノシシ? | 手半寸? | 直位端 | - | 1 | 0.40 | 白色、骨格化済 | | |
| 36 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | イノシシ? | 四肢骨 | 直位 | L | 1 | 0.61 | 黄色、白色 | | |
| 37 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | ニホンジカ? | 足等? | 直位 | - | 1 | 0.72 | 白色、骨頭等? 云々に據るような前歴有り、 骨部は食器等と見らるる | | |
| 38 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | 不規 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 9 | 3.86 | 白色、イノシシ/ニホンジカの大型塊 | | |
| 39 | AT-08 | 12G1 | 2-3区南東部3a層 | 08/09/10 | 鰐骨魚鱗 | スズメバチ科 | 四肢骨 | 直位 | - | 4 | 0.70 | 白色、うち2点は鮮やか | | |
| 40 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | ウツクシ | 椎骨 | 直位 | M | 1 | 0.06 | 白色、一部欠損 | | |
| 41 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | ムササビ | 椎骨 | R | 1 | 0.08 | 白色、湖南部底端 | | | |
| 42 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 2 | 0.50 | 白色、うち1点はニホンジカ中足骨&脚後方 骨 | | |
| 43 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | 小型鰐乳頭 | 未詳骨 | - | 1 | 0.01 | 白色、ヌメキ模様なり小、白骨含層のムササビか? | | | |
| 44 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | 小型鰐乳頭 | 直位 | 骨頭部 | - | 2 | 0.07 | 白色、ヌメキ模様なり小、ムササビ・ウサギ・ イタチ等 | | |
| 45 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | 小型鰐乳頭 | 鳥含骨? | 骨頭部 | - | 1 | - | 白色、ヌメキ模様なり小、ムササビ・ウサギ・ イタチ人、(重量は44に含む) | | |
| 46 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | 中子骨? | 直位 | - | 1 | - | 白色、ヌメキ模様なり小、ムササビ・ウサギ・ イタチ人、(重量は44に含む) | | | |
| 47 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | コイ科 | 椎骨 | 直位 | M | 4 | 0.10 | 白色、ヌメキ模様なり小、ウゲイ属などや大 型にならぬ種と考られる | | |
| 48 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | コイ科 | 椎骨 | 直位 | M | 1 | - | 白色、ウゲイなどやコイ属、ウゲイ属などや大 型にならぬ種と考られる | | |
| 49 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | コイ科 | 椎骨 | 直位 | M | 1 | - | 白色、ウゲイなどやコイ属、ウゲイ属などや大 型にならぬ種と考られる | | |
| 50 | AT-08 | - | 3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | 不明 | 被骨頭 | 直位 | - | 2 | 0.02 | 白色、小型鰐乳頭 | | |
| 51 | AT-08 | 12G1 | 2-3区西端部①底含層A層 | 08/09/10 | 被骨魚鱗 | 不明 | 四肢骨 | 骨頭部 | - | 9 | 3.96 | 白色、大型鰐乳頭 | | |

※ なし:L = 左, R = 右, M = 中央, - = 小明瞭しくはしないのない

※ 痕跡の発現は検出していないもしもしくは受けているもの、1は発行していることを示す



写真1 骨角器①



写真3 骨角器③



写真2 骨角器② (写真1の側面写真)

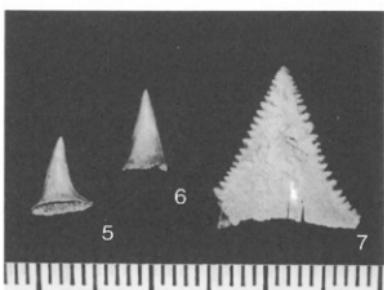


写真4 出土動物遺存体：魚類①



写真5 出土動物遺存体：魚類②

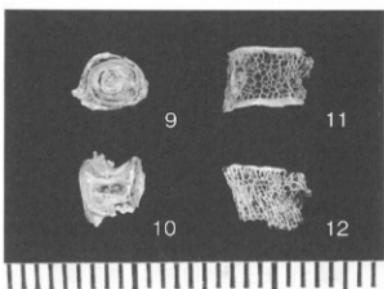


写真6 出土動物遺存体：魚類③

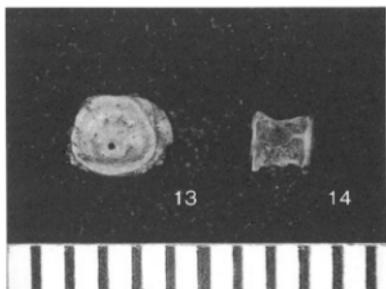


写真7 出土動物遺存体：魚類④

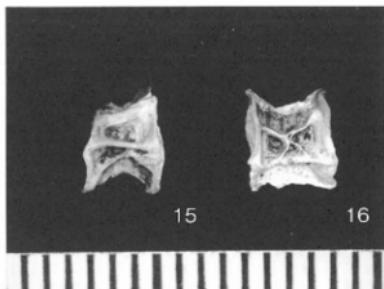


写真8 出土動物遺存体：魚類⑤



写真9 出土動物遺存体：哺乳類①

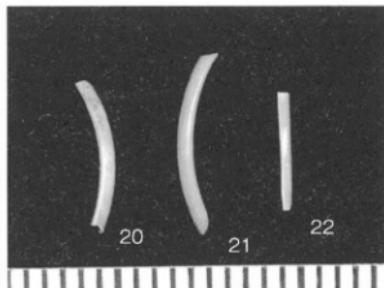


写真10 出土動物遺存体：哺乳類②



写真11 出土動物遺存体：哺乳類③

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1・2 鹿角製加工品 | 3・4 四肢骨製加工品 |
| 5・6 アオザメ歯 | 7 ホホジロザメ歯 |
| 8 ウグイ属咽頭骨(左) | 9 コイ科第一椎骨 |
| 10 コイ科尾椎 | 11・12 サケ属椎骨 |
| 13 不明魚類第一椎骨 | 14~16 コイ科腹椎 |
| 17 ムササビ距骨(右) | 18 小型哺乳類末節骨 |
| 19 小型哺乳類基節骨 | 20~22 ネズミ類切歯 |
| 23 イノシシ立方骨(左) | 24 イノシシ中節骨 |
| 25 イノシシ中手/中足骨(第2もしくは第5) | |
| 26 小型哺乳類尾椎 | |

2 雨滝遺跡縄文時代晚期遺物包含層の植物珪酸体分析報告

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

雨滝遺跡は、馬淵川右岸に形成された河岸段丘の南西向き緩斜面上に立地する。今回の発掘調査により、縄文時代や平安時代、近世の遺構や遺物が検出された。このうち、縄文時代の遺物包含層は捨て場とされ、一部が盛り土状を呈する。出土土器形式の主体は、縄文時代晚期前葉～中葉の大洞B C～C 1式である。

今回、縄文時代晚期遺物包含層等の古植生（特にイネ科植物）、稻作などイネ科作物の栽培に関する情報を得るために、植物珪酸体分析を実施した。

(1) 試 料

試料は、調査区断面に設けられた2地点（地点1と地点2）より採取された。その際、縄文時代の遺物包含層と下位層（基本層序V層上位層）が対象とされた。

地点1の分析試料は、6点（試料番号1-6）である。このうち、試料番号1が縄文時代の遺物包含層0層、試料番号2が同2 b層、試料番号3が同3 a層上位、試料番号4が同3 a層下位、試料番号5が同3 b層から採取され、試料番号6がその下位に堆積する基本層序V層上位である。

一方、地点2の分析試料も6点（試料番号7-12）である。試料番号7が縄文時代の遺物包含層1層、試料番号8が同2 a層、試料番号9が同2 b層上位、試料番号10が同2 b層下位、試料番号11が同3 a層上位から採取され、試料番号12が基本層序V層上位である。

(2) 分析方法

湿重5 g前後の試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム、比重2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。検鏡しやすい濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、ブリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。

400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）、およびこれらを含む珪化組織片を近藤（2004）の分類に基づいて同定し、計数する。

結果は、検出された分類群とその個数の一覧表で示す。また、検出された植物珪酸体の出現傾向から古植生について検討するために、植物珪酸体群集を図化した。その際、出現率は短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体の珪酸体毎に、それぞれの総数を基数とする百分率で求めた。

(3) 結 果

結果を表1、図1に示す。

各試料からは植物珪酸体が検出されるものの、保存状態が悪く、表面に多数の小孔（溶食痕）が認められる。以下に、各地点の産状を述べる。

・地点1

壁面最下部の試料番号6では、クマザサ属を含むタケ亜科、ヨシ属、ススキ属を含むウシクサ族、イチゴツナギ亜科などが認められる。検出された分類群の中では、クマザサ属を含むタケ亜科の産出が目立つ。

試料番号5から2にかけても同様な分類群が認められ、クマザサ属を含むタケ亜科の産出が目立つ。試料番号5から3にかけては、クマザサ属を含むタケ亜科の増加が見られるが、試料番号2では減少する。

試料番号1でも同様な分類群が認められ、クマザサ属の減少とヨシ属の増加が見られる。

なお調査対象とした各層位からは、イネ科などのイネ科作物に由来する植物珪酸体が全く検出されない。

・地点2

壁面最下層の試料番号12では、クマザサ属を含むタケ亜科、ヨシ属、ススキ属を含むウシクサ族、イチゴツナギ亜科などが認められる。

試料番号11から7にかけても同様な分類群が認められ、クマザサ属を含むタケ亜科の産出が目立つ。試料番号11から9にかけては、クマザサ属を含むタケ亜科の増加が見られるが、試料番号8と7では減少する。試料番号7では、ヨシ属がわずかに増加する。

なお地点2でも、調査対象とした各層位からは、イネ科作物に由来する植物珪酸体が全く検出されない。

(4) 考 察

地点1と地点2の縄文時代遺物包含層およびその下位の基本層序V層上位層では、ほぼ同様な分類群が検出された。これより、これらの土層が形成された頃、両地点の周辺ではクマザサ属、ヨシ属、ススキ属、イチゴツナギ亜科などのイネ科植物が生育していたと考えられる。

なお、基本層序V層上位層では乾いた場所に生育する種類の多いタケ亜科や温潤な場所に生育するヨシ属が見られたことから、周辺に乾いた場所や温潤な場所が分布していたことがうかがえる。

縄文時代遺物包含層の3b層から3a層上位にかけては、クマザサ属の産出が目立った。クマザサ属を含むタケ亜科の植物珪酸体は他のイネ科と比較して風化に強く、また生産量の多い点がこれまでの研究から指摘されており（近藤, 1982; 杉山・藤原, 1986）、他の種類よりも残留しやすい。ただし、宮脇（1987）の潜在自然植生などを参考にすれば、当時の森林植生は落葉広葉樹林であったと思われる。また調査区から出土した炭化種実にはオニグルミやトチノキが見られ、これら落葉広葉樹の存在がうかがえる。クマザサ属には、チシマザサなど落葉広葉樹林の林床に生育する種類がある。そのため、調査区周辺には落葉広葉樹林があり、その林床にクマザサ属が生育していたと思われる。

縄文時代遺物包含層の2b層から0層にかけてはクマザサ属が減少し、ヨシ属の増加が見られる。ヨシ属は温潤な場所に生育することを考慮すれば、これらの土層が形成される間に次第に温潤な場所

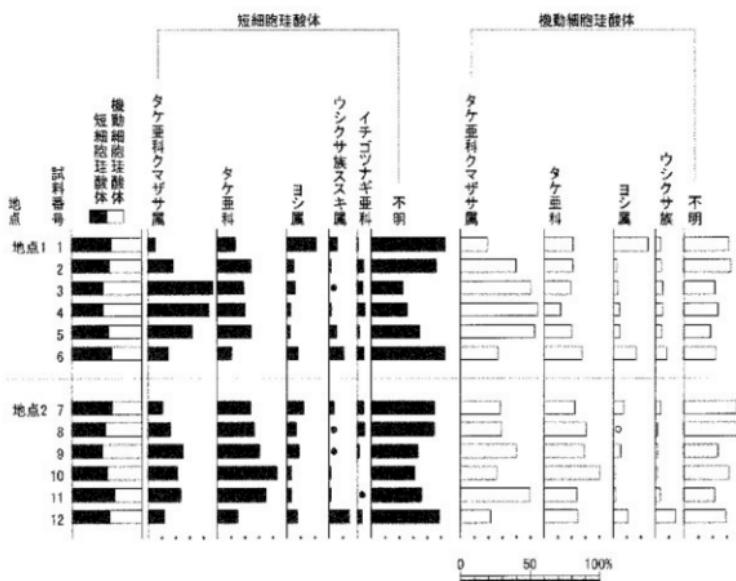


図1. 植物珪酸体群集の層位の変化

出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身複動細胞珪酸体の総数を基準として百分率で算出した。
なお、●○は1%未満を示す。

表1. 植物珪酸体分析結果

| 種類 試料番号 | 地点1 | | | | | | 地点2 | | | | | |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| イネ科葉部短細胞珪酸体 | | | | | | | | | | | | |
| タケ亞科クマザサ属 | 11 | 24 | 54 | 48 | 64 | 27 | 14 | 21 | 32 | 34 | 41 | 24 |
| タケ亞科 | 25 | 32 | 22 | 22 | 50 | 19 | 32 | 35 | 38 | 68 | 62 | 30 |
| ヨシ属 | 41 | 7 | 7 | 3 | 5 | 15 | 16 | 9 | 11 | 5 | 6 | 15 |
| ウシクサ族スキ属 | 12 | 2 | 1 | 2 | 11 | 19 | 5 | 1 | 1 | 2 | 3 | 30 |
| イチゴツナギ亞科 | 2 | 6 | 5 | 6 | 3 | 9 | 6 | 7 | 2 | - | 1 | 7 |
| 不明キビ型 | 55 | 34 | 12 | 18 | 27 | 65 | 33 | 32 | 15 | 28 | 25 | 77 |
| 不明ヒゲシバ型 | 26 | 10 | 3 | 2 | 13 | 14 | 13 | 10 | 10 | 6 | 16 | 9 |
| 不明ダンチク型 | 21 | 17 | 11 | 8 | 30 | 18 | 14 | 17 | 17 | 15 | 22 | 14 |
| イネ科葉身複動細胞珪酸体 | | | | | | | | | | | | |
| タケ亞科クマザサ属 | 29 | 46 | 73 | 75 | 102 | 39 | 29 | 43 | 68 | 40 | 56 | 39 |
| タケ亞科 | 32 | 24 | 28 | 16 | 38 | 40 | 23 | 45 | 50 | 62 | 27 | 44 |
| ヨシ属 | 38 | 3 | 5 | 6 | 9 | 24 | 8 | 1 | 9 | 2 | 2 | 19 |
| ウシクサ族 | 6 | 5 | 8 | 7 | 8 | 12 | 4 | 2 | 3 | 2 | 4 | 26 |
| 不明 | 48 | 38 | 31 | 32 | 35 | 32 | 38 | 56 | 40 | 49 | 24 | 53 |
| 合計 | 193 | 132 | 115 | 109 | 203 | 186 | 133 | 132 | 126 | 158 | 176 | 206 |
| イネ科葉部短細胞珪酸体 | 153 | 116 | 145 | 136 | 192 | 147 | 102 | 147 | 170 | 155 | 113 | 181 |
| 総計 | 346 | 248 | 260 | 245 | 395 | 333 | 235 | 279 | 296 | 313 | 289 | 387 |

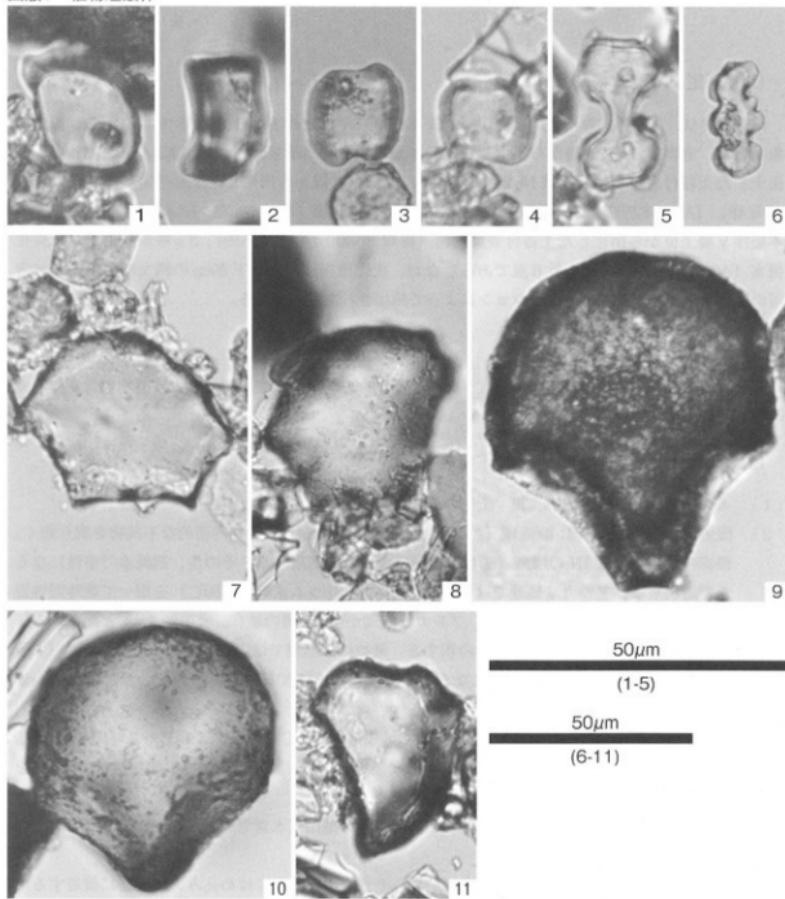
になった可能性がある。この点は、珪藻化石の産状を併せて調査し、調査区内の微地形等を考慮して、水域の有無等についてさらに検討することがのぞまれる。

ところで、地点1と地点2で調査対象とした層位からは、イネ属などのイネ科作物に由来する植物珪酸体が全く検出されなかった。本遺跡の東方に位置し、尾根の先端部に立地する軽米町の大日向II遺跡では、縄文時代晩期とされる住居内炉に稻穀やキビ族の灰が混入しており（パリノ・サーヴェイ株式会社 1995）、当該期の栽培植物についてはさらに資料の蓄積を図りたい。今後、同時期の堆積物について植物珪酸体分析、炭化物について種実遺体同定等を複合して実施することで、その実態が把握されるものと期待される。

引用文献

- 近藤 錦三, 1982, Plant opal 分析による黒色腐植層の成因究明に関する研究, 昭和 56 年度科学的研究費（一般研究 C）研究成果報告書, 32p.
- 近藤 錦三, 2004, 植物ケイ酸体研究, ベドロジスト, 48, 46-64.
- 宮脇 昭編著, 1987, 日本植生誌 東北・至文堂, 605p.
- パリノ・サーヴェイ株式会社, 1995, 大日向 II 遺跡 自然科学分析, 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 225 号 国道 395 号改良工事関連遺跡発掘調査 大日向 II 遺跡発掘調査報告書 - 第 2 次～第 5 次調査 - 第 1 分冊, 財團法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター, 492-521.
- 杉山 真二・藤原 宏志, 1986, 機動細胞珪酸体の形態によるタケア科植物の同定－古環境推定の基礎資料として－, 考古学と自然科学, 19, 69-84.

図版1 植物珪酸体



1. クマザサ属短細胞珪酸体(地点1;5)
2. クマザサ属短細胞珪酸体(地点2;9)
3. ヨシ属短細胞珪酸体(地点1;1)
4. ヨシ属短細胞珪酸体(地点2;12)
5. ススキ属短細胞珪酸体(地点1;6)
6. イチゴツナギ亞科短細胞珪酸体(地点2;12)
7. クマザサ属機動細胞珪酸体(地点1;5)
8. クマザサ属機動細胞珪酸体(地点2;9)
9. ヨシ属機動細胞珪酸体(地点1;1)
10. ヨシ属機動細胞珪酸体(地点2;12)
11. ウシクサ族機動細胞珪酸体(地点1;6)

3 雨滻遺跡における放射性炭素年代（AMS 測定）

（株）加速器分析研究所

（1）測定対象試料

雨滲遺跡は、岩手県二戸市釜沢字白山（北緯 $40^{\circ} 20' 26''$ 、東経 $141^{\circ} 16' 28''$ ）に所在する。測定対象試料は、遺物包含層 2a 層から出土した土器付着炭化物（掲載 No.441 : IAAA-82555）、3a 層から出土した土器付着炭化物（掲載 No.201 : IAAA-82556）、A 層から出土した土器付着炭化物（取り上げ No.481 : IAAA-82557）、3b 層から出土した土器付着炭化物（掲載 No.72 : IAAA-82558）、3b ~ 基本層序 V 層上位から出土した土器付着炭化物（掲載 No.70 : IAAA-82559）、3a 層から出土した炭化種実（A : IAAA-83252）、合計 6 点である。なお、炭化種実は、地表下 80cm の縄文時代晩期の包含層の土壤サンプルからフローテーションによって抽出されたものである。

（2）測定の意義

遺物自体の製作・使用年代、炭化種実（オニグルミ）の利用・廃棄年代、および遺物包含層の形成時期を明らかにしたい。

（3）化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。
- (2) 酸処理、アルカリ処理、酸処理 (AAA : Acid Alkali Acid) により内面的な不純物を取り除く。
最初の酸処理では 1N の塩酸 (80°C) を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では 1N の水酸化ナトリウム水溶液 (80°C) を用いて数時間処理する。なお、AAA 処理において、アルカリ濃度が 1N 未満の場合、表中に Aaa と記載する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では 1N の塩酸 (80°C) を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、 90°C で乾燥する。希釈の際には、遠心分離機を使用する。
- (3) 試料を酸化銅と共に石英管に詰め、真空下で封じ切り、 500°C で 30 分、 850°C で 2 時間加熱する。
- (4) 液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用して、真空ラインで二酸化炭素 (CO_2) を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出（水素で還元）し、グラファイトを作製する。
- (6) グラファイトを内径 1mm のカソードに詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着する。

（4）測定方法

測定機器は、3MV タンデム加速器をベースとした ^{14}C -AMS 専用装置 (NEC Pelletron 9SDH-2) を使用する。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシユウ酸 (HOx II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

(5) 算出方法

- (1) 年代値の算出には、Libby の半減期（5568 年）を使用する（Stuiver and Polash 1977）。
- (2) ^{14}C 年代（Libby Age : yrBP）は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950 年を基準年（0yrBP）として測る年代である。この値は、 $\delta^{13}\text{C}$ によって補正された値である。 ^{13}C 年代と誤差は、1 衍目を四捨五入して 10 年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が 68.2% であることを意味する。
- (3) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを示した値である。同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差 (%) で表される。測定には質量分析計あるいは加速器を用いる。加速器により $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ を測定した場合には表中に (AMS) と記す。
- (4) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{13}C 濃度の割合である。
- (5) 历年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。历年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の历年年代範囲であり、1 標準偏差 ($1\sigma = 68.2\%$) あるいは 2 標準偏差 ($2\sigma = 95.4\%$) で表示される。历年較正プログラムに入力される値は、下一桁を四捨五入しない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、历年較正年代の計算に、IntCal04 データベース (Reimer et al 2004) を用い、OxCalv4.0 較正プログラム (Bronk Ramsey 1995 Bronk Ramsey 2001 Bronk Ramsey, van der Plicht and Wcninger 2001) を使用した。

(6) 測定結果

遺物包含層から出土した土器付着炭化物の ^{14}C 年代は、441 (2a 層) が $2930 \pm 30\text{yrBP}$ 、201 (3a 層) が $3010 \pm 30\text{yrBP}$ 、取り上げ No.481 (A 層) が $3000 \pm 40\text{yrBP}$ 、72 (3b 層) が $2850 \pm 30\text{yrBP}$ 、70 (3b + 基本層序 V 層上位) が $2910 \pm 40\text{yrBP}$ である。また、3a 層から出土した炭化種実 (A : IAAA-83252) は $2780 \pm 30\text{yrBP}$ である。

土器採取試料の炭素含有率は、58~70% であり、炭化物としても十分に高い値であった。また、 $\delta^{13}\text{C}$ 値はおよそ -25~-30‰ であり、陸生由来の炭化物であることを示す。したがって、海洋リザーバー効果等による年代差を考慮する必要はない。そのほか、化学処理および測定内容に問題は無く、妥当な年代であると判断される。

また、炭化種実試料の历年較正年代 (1σ) は、996 ~ 987BC (4.3%)・980 ~ 897BC (63.9%) である。試料の炭素含有率は高く 68% であり、化学処理・測定内容にも問題がないことから、こちらも妥当な年代と判断される。

[調査担当者のコメント]

炭化物採取土器の型式学的年代は、441・201 が晩期中葉（大洞 C1 式）、取り上げ No.481、72・70 が晩期前葉（前 2 者が大洞 BC1~2 式、後者が B2 式）と考えられるもので、 ^{14}C 年代とは前後関係に若干の誤差を生じている。これが何に起因するものか不明であるが、無批判には受け入れ難い。炭化種実が突出して新しく出ている点にも注意する必要がある。

ただし、上器付着炭化物がバラつかずに 2850~3010yrBP の間に収まっている点は、当該期の実年

3 雨滴遺跡における放射性炭素年代 (AMS 測定)

代を考える上での資料として有効性を持つと考える。

参考文献

- Stuiver M. and Polash H.A. 1977 Discussion : Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19, 355-363
 Bronk Ramsey C. 1995 Radiocarbon calibration and analysis of stratigraphy : the OxCal Program, *Radiocarbon* 37(2), 425-430
 Bronk Ramsey C. 2001 Development of the Radiocarbon Program OxCal, *Radiocarbon* 43(2A), 355-363
 Bronk Ramsey C., van der Plicht J. and Weninger B. 2001 'Wiggle Matching' radiocarbon dates, *Radiocarbon* 43(2A), 381-389
 Reimer, P.J. et al. 2004 IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26cal kyr BP, *Radiocarbon* 46, 1029-1058

| 測定番号 | 試料名 | 採取場所 | 試料形態 | 処理方法 | $\delta^{13}\text{C}$ 補正あり | | |
|------------|-------------|-------------------------|------|------|------------------------------------|---------------------|--------------|
| | | | | | $\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS) | Libby Age (yrBP) | pMC (%) |
| IAAA-82555 | 掲載 441 | 遺構:遺物包含層 層位: 2a層 | 炭化物 | AaA | -24.18 ± 0.83 | 2,930 ± 30 | 69.43 ± 0.28 |
| IAAA-82556 | 掲載 201 | 遺構:遺物包含層 層位: 3a層 | 炭化物 | AaA | -26.92 ± 0.57 | 3,010 ± 30 | 68.73 ± 0.28 |
| IAAA-82557 | 取り上げ 481 | 遺構:遺物包含層 層位: A層 | 炭化物 | AaA | -29.83 ± 0.43 | 3,000 ± 40 | 68.86 ± 0.29 |
| IAAA-82558 | 掲載 72 | 遺構:遺物包含層 層位: 3b層 | 炭化物 | AaA | -29.77 ± 0.46 | 2,850 ± 30 | 70.10 ± 0.30 |
| IAAA-82559 | 掲載 70 | 遺構:遺物包含層 層位: 3b～V層上位 | 炭化物 | AaA | -25.43 ± 0.52 | 2,910 ± 40 | 69.64 ± 0.30 |

[#2687]

| 測定番号 | 試料名 | 採取場所 | 試料形態 | 処理方法 | $\delta^{13}\text{C}$ 補正あり | | |
|------------|-----|---------------------|------|------|------------------------------------|---------------------|--------------|
| | | | | | $\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS) | Libby Age (yrBP) | pMC (%) |
| IAAA-83252 | A | 遺構:遺物包含層 層位: 3a層 | 炭化物 | AaA | -21.64 ± 0.68 | 2,780 ± 30 | 70.73 ± 0.28 |

[#2838]

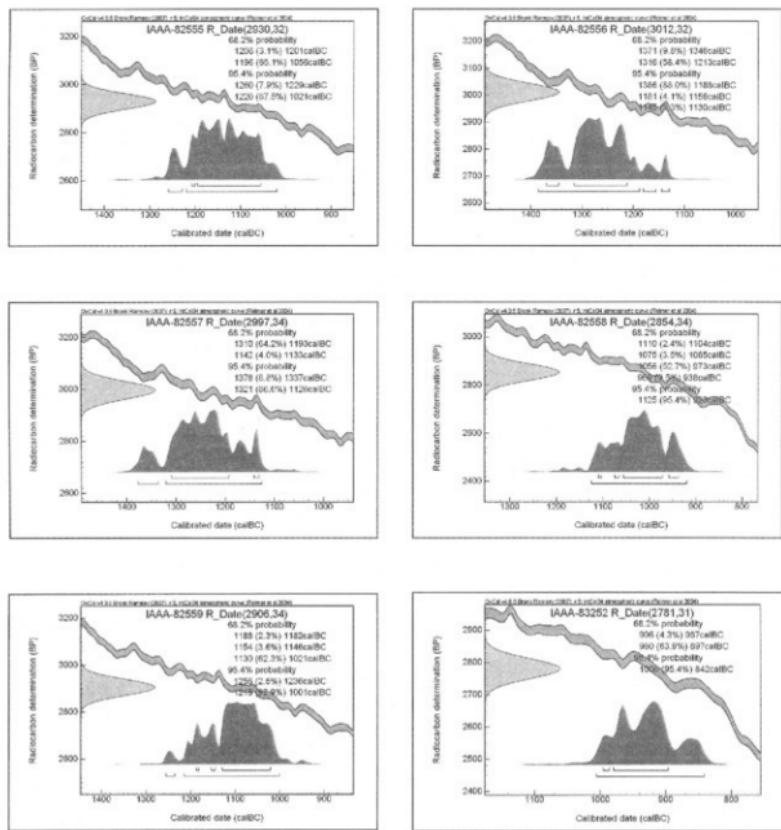
| 測定番号 | $\delta^{13}\text{C}$ 補正なし | | 曆年較正用 (yrBP) | 1 σ 历年代範囲 | 2 σ 历年代範囲 |
|------------|----------------------------|--------------|-----------------|---|----------------------------|
| | Age (yrBP) | pMC (%) | | | |
| IAAA-82555 | 2,920 ± 30 | 69.55 ± 0.25 | 2,930 ± 32 | 1208BC - 1201BC (3.1%) | 1260BC - 1229BC (7.9%) |
| | | | | 1196BC - 1056BC (65.1%) | 1220BC - 1021BC (87.5%) |
| IAAA-82556 | 3,040 ± 30 | 68.46 ± 0.26 | 3,012 ± 32 | 1371BC - 1346BC (9.8%) | 1386BC - 1188BC (88.0%) |
| | | | | 1316BC - 1213BC (58.4%) | 1181BC - 1156BC (4.1%) |
| IAAA-82557 | 3,080 ± 30 | 68.18 ± 0.28 | 2,997 ± 34 | 1310BC - 1193BC (64.2%) | 1378BC - 1337BC (8.8%) |
| | | | | 1142BC - 1133BC (4.0%) | 1321BC - 1126BC (86.6%) |
| IAAA-82558 | 2,930 ± 30 | 69.41 ± 0.29 | 2,854 ± 34 | 1110BC - 1104BC (2.4%) 1075BC - 1065BC (3.5%) | 1125BC - 920BC (95.4%) |
| | | | | 1056BC - 973BC (52.7%) 959BC - 938BC (52.7%) | |
| IAAA-82559 | 2,910 ± 30 | 69.58 ± 0.29 | 2,906 ± 34 | 1188BC - 1182BC (2.3%) | 1256BC - 1236BC (2.5%) |
| | | | | 1154BC - 1146BC (3.6%) | 1215BC - 1001BC (92.9%) |
| | | | | (62.3%) | |

[参考値]

| 測定番号 | $\delta^{13}\text{C}$ 補正なし | | 曆年較正用 (yrBP) | 1 σ 历年代範囲 | 2 σ 历年代範囲 |
|------------|----------------------------|--------------|-----------------|---|---------------------------|
| | Age (yrBP) | pMC (%) | | | |
| IAAA-83252 | 2,730 ± 30 | 71.22 ± 0.26 | 2,781 ± 31 | 996BC - 987BC (4.3%) 980BC - 897BC (63.9%) | 1006BC - 842BC (95.4%) |

[参考値]

3 雨漏遺跡における放射性炭素年代 (AMS 測定)



[参考]曆年較正年代グラフ

VII 総括

1 まとめ

(1) 遺構

今回の調査で検出された遺構は、以下のとおりである（第8図）。

縄文時代………遺物包含層1箇所（111m²）、堅穴住居状遺構1基、土坑1基、柱穴状土坑9個

平安時代以降……土坑2基、溝2条

近世以降………土坑2基

本遺跡は、馬淵川右（北東）岸の南西向きの緩斜面に立地する。標高は今次調査区で70~74mを測る。地形調査の結果、現地形には表れていない小規模な段丘が3面確認された（上位から順に「上段」「中段」「下段」）。この小段丘上段縁から中段中位付近にかけて、縄文時代晚期前葉から中葉に形成された大規模な遺物包含層が検出された。地形の高低差を利用して単純な投げ捨てではなく、平坦面に盛り上げられ、マウンド状を呈するものである。ただ、一部の調査に止まるため、全貌は明らかではない。

(2) 遺物

今回の調査で出土した遺物は、以下のとおりである。

縄文土器………1,108.645.2g（42×32×30cm³コンテナ換算約70箱）

土製品………112点・2,598.2g（42×32×10cm³コンテナ換算約2箱）

石器………製品1,272点・301,689.1g、剥片・素材35,003.2g（42×32×20cm³コンテナ換算約32箱）

石製品………95点・6,687.0g（42×32×10cm³コンテナ換算約4箱）

動物遺存体………43.4g（骨角器片1点（鹿角製）、加工痕のある資料2点（ニホンジカ・イノシシ）、ホホジロザメ・アオザメ遊離歯、ウグイ亜科下咽頭骨、コイ科椎骨、サケ属椎骨、ニホンジカ臼歯、イノシシ立方骨、ムササビ距骨、ネズミ類切歯）

植物遺存体………392.5g（オニグルミ、ツノハシバミ、ブナ科、コブシ、ヤマブドウ、トチノキ、コムギ、ムギ類、エノキグサの炭化種子・種実）

土師器………1点・274.5g

出土地点は、土師器、かんざしを除き1号遺物包含層が主体である。縄文土器は、その99%が晚期前葉から中葉のもので、大洞B2式からC2式に比定されるものである。

2 各事象の検討

(1) 1号遺物包含層出土土器の型式と層毎の出土状況・傾向

V章1節1目に記述のとおり、今回提示した資料のうち、復元資料については各器種内における型式組成を反映しているといえる。また、破片資料についても、その型式と出土層位の関係を論じる上

で重要な資料である。これらを前提とした上で、1号遺物包含層の各層位と出土土器各器種の様相を検討する。ただし、今回の調査は包含層のごく一部に手をかけたに過ぎず、当然その様相すべてを現したものではない。よって、母数不明であることから統計的に不確実であることを付記しておく。

土器型式について、大半は大洞B～C1式に比定されるものである。この細分方法については現在も議論の最中であるが、基本的には9区分を用い（山内1964）、B～BC式の細分については金子昭彦、小林圭一、村田章人各氏の各論考を参考とした（金子1991a・1992a・1993a・1995・1996、小林2003・2004・2005、村田2000）。なお、BC1式の基本的な判断要素として、粗形的な羊歯状文や矩形（方形）入組文等の存在を重視した。よって「最小公倍数」的であることをお断りしておく。

1号包含層A'層

遺物数が少ないため、層全体の様相をどの程度反映しているか不確実であることを前提として踏まえた上で記述する。鉢は口縁部が胴部より幾分狭まるⅦ類の器形を呈するものが多い。文様では截痕列が施され、C字文とK字文系の磨消繩文が施されるものがある（8）。台付鉢では大形のもの（11）があることが特徴的で、口縁部が長く直線的に外反するⅦ類の器形を呈する。羊歯状文は半彫ではなく沈線的で、これに扁平な入組三叉文の並置（半円沈線が加わる）が併存する。加えて、点列帯も存在する。壺はいずれも「三段」の器形を呈する。注口は1類で、肩部に点列帯があるのが特徴である。

各器種を通じて、点列帯は大洞B2式からBC1式に多く見られる要素と考えられている。12および15はこれを持つが、他の要素からBC2式に近いものと捉えられる。なお、C1式以降に比定される遺物は本層では確認されない。

1号包含層A層

深鉢はいずれも地文のみで、複雑な形態を呈するものは見られなかった。鉢の形態にはI・III・IV・VII・VIII・IX類がある。21はI類で、胴部の唐草状入組文および菱形文から、IV類の22は入組三叉文に粗い刺突が付随した粗形の羊歯状文から、それぞれBC1式に比定されよう。30もその可能性がある。23～29・31～38はBC2式と考えられるものである。31～33のように、口縁部から胴部上位にかけて羊歯状文が重層するものの存在が特徴的である。また、34～38のように、羊歯状文が扁平・直線化するものも一定数出土している。C1式に比定されるものはごく少数である（39）。台付鉢・台付浅鉢には、A'層と同様に大形のもの（42）、点列帯が施されるもの（44）が存在する。後者の口縁部文様は入組三叉文に見えるが、一部に刺突が存在することから羊歯状文の粗形の可能性がある。B2～BC1式に比定されよう。浅鉢では、横S字状の沈線が重層する46、II類の器形を呈し口縁・胴部にC・X字文の施文される47などがある。前者は沈線による文様帶区画がなく、B2式の範疇で捉えられる。壺は、大きさ関係なく「三段」の器形を呈するものが多い。52は大形で、I類の器形を呈する。頭部に地文がなく、入組三叉文が施文される。胴部上半には渦巻・菱形文の磨消繩文が、中位には無文帯が巡る。B2～BC1式に比定されるものと考えられる、53はVII類で、同類に分類されたものはこの1点のみである。長い胴部に羊歯状文が重疊する。BC2式である。54・55の無文壺は器形・大きさともA'層出土分と近似する。注口は、I・III類が存在する。I類の59は、器高が他に比して高い。口縁・頭部に入組三叉文の並置（半円沈線が加わる）と部分的な截痕列が、注口直下にはノ字文が施文される。BC1式と考えられるものである。他はBC2式に比定される。

1号遺物包含層3b層

深鉢では、口縁部に入組三叉文の施文される個体が出土している（70）。入組三叉文が扁平で単位同士が近接しており、同文様要素の中では新期の部類に入る可能性がある。本遺物は正立状態で口縁部以外は未破損のまま出土したもので、底部がV層まで達しており、埋設された可能性がある。これ

ら以外では、71・72のようにV類が見られ、羊齒状文もしくは口縁部突起の形態から両者ともBC2類と考えられる。鉢・台付鉢では、78~80がB2式と捉えられる。うち、79は三叉文の周間に刺突がランダムに付加されており、羊齒状文・截痕列の萌芽とも考えられる。80はII類で、同類はこの他1点(158)のみであるが、どちらも器面全体を使った大きなモチーフであることが特徴的である。これら以外は大半がBC2式と考えられる(81~106・111~113)。器形はI・III・IV・V・VI・IX類があり、多様である。82はIII類で、胴～口縁部が直線的な逆台形状の器形が特徴的である。口縁内面に沈線が巡り、胴部のK字文、胴部下位の羊齒状文Bおよび底部雲形文のネガ文様からBC2式と考えられる。浅鉢・台付浅鉢では、114・116・117のような胴部が短く、口縁部が長く直線的に外反する器形(II類)が見られる。前2者には点列帯が施文される共通点があり、114は三叉文の様相および截痕列が無いことからB2式、116は底部に施文された唐草状入組文からBC1式と推定される。114は、胴部の文様帶区画沈線が平行ではなく一部がV字状に尖るのも特徴的である。117の文様要素も114・116と似ており、また118は117と文様構成が似ることから、これらもBC1式と推定される。この他、塊形のIII類で口縁部に截痕列が施文される一群(121~126)、器高が低く皿型を呈するV類(119・120)、口縁部に平行沈線が施文され胴部は無文の一組(III類…128・129、V類…127)が見られる。いずれもBC2式相当と捉えられる。壺は、「二段」のI類(131・137)、長胴形のIV類(133)、V類(134・135)、VI類(139・142)、胴部下彫れの皿類(140・141)、胴部球形で頸部の長いX类(138)が見られる。131と133の文様は同モチーフで、B2式と考えられる。134は矩形入組文と羊齒状文Aが重複し、後者は柾形と捉えられることからBC1式と考えられる。135は羊齒状文BとK字文の存在からBC2式と捉えられる。このほか、132は胴部上位にC字文、中位以下に充填繩文が施文されている。頸部に肉彫的な截痕列が存在することからBC式の範疇で捉えられ、充填繩文のネガ文様からはBC2式と考えられる。ところで、131と132は第33図等に示したとおり、極めて近接しているが正立状態で出土している。埋設の可能性が高いが、土器型式面からは両者に時期差を生じることになる。注記は、I・II・IV・V類が存在する。前3者である144・143・145は、口縁～肩部に截痕列とX字文あるいはK字文が巡り、胴下半部上位に沈線が巡る。いずれもBC2式と考えられる。V類の146は3b層から3a層にかけて出土したもので、頸部に磨消繩文が、肩部に両端二叉の羊齒状文B(X字文)が巡る。器形はC1式に近いものの、文様および肩部突起列の不在から、BC2式の中でも新期に位置付けられるものと思われる。

1号遺物包含層3a層

深鉢は、口唇部が摘み上げられるように短く直立するV類が複数確認される。151・152は突起及び口縁部文様から、BC2式からC1式の過渡期に比定されようか。鉢の器形は様々であるが、文様種により傾向がみられる。IV類・VII類の157・156は、截痕列を伴うがその他の様相が古期的で、BC1~BC2式相当といえる。II類の158は前述のとおりである。これ以外は、I・IV・VI・VII・IX・X類があり、特にIX類が多い。IX類としたものは、いずれもBC2~C1式の範疇に含まれるようである。159~167はいずれにも羊齒状文が施文され、BC2式相当である。168~175・200・201には、斜行沈線もしくは平行沈線と上下交互の区画のある截痕列で構成される単純化された羊齒状文類似文様が施文されており、この文様の施文される段階が、BC2式とC1式の境界と考えられる。うち、168~170・200・201のそれは斜行沈線で構成され、この施文方法はいわゆる噛み合う羊齒状文(羊齒状文A)モチーフ(168・169)でも噛み合わない羊齒状文(羊齒状文B)モチーフ(170)でも共通する。いっぽう、171~175のそれは平行沈線で構成され、より羊齒状文の範疇から遠ざかるものと捉えられる。176~184・202・203は口縁部に截痕列もしくは羊齒状文B上半様の区画のある截痕列が施文

されるもので、177～182のように胴部に磨消縄文の施文されるものは、162・165・167と口唇部装飾および磨消縄文の面で共通性が見られ、同時期もしくは近接時期の所産と考えられる。また、189～191のように口唇部装飾が前面に半影で施文され、頸部に無文帯をもち、胴部に磨消縄文が施されるC1式の一群（IX.12b類）や、片口形（X類・197～199）が出土している。後者は、口部端に豆状の突起が付く。台付鉢の様相も、鉢と同傾向である。浅鉢・台付浅鉢では、215のようにII類の個体もあるが主体ではなく、III・V・VI類で磨消縄文が施文されるものが多く出土している。III類のうち、羊歯状文モチーフの有無、磨消縄文の状態（非雲形文系であること）から、210・212・214・216・218はBC2式に比定される。これら以外の同類では、口縁部の截痕列が沈線+刺突列に置き換わるものがあり（221・222・231）、C1式の構成要素と捉えられる。V・VI類は本層で突如増加する器形で、いずれもC1式に比定される。このほか、鉢168などと同じく、単純化された羊歯状文の施文されるものが見られる（219）。壺では、I・II・III・V・VI・VII～VIII類がみられる。237・238は器形不明であるが、おそらく239と同類になるものと推定される。文様からB2～BC1式相当と考えられる。239はBC2式である。V類の3点はいずれも雲形文が施文されるが、240はBC2式、ほかはC1式と考えられる。このほか、口縁内部に鋸状の出っ張りを持つ個体（250）が出土している。同遺物は、口唇部装飾と截痕列の様相からBC2～C1式の境界付近の所産と考えられる。注口は、いずれも肩部に突起があり、C1式と考えられる。266の香炉形は、胴部突起の特徴および胴部下半の磨消縄文からC1式に比定される。

1号遺物包含層2b層

深鉢では、I類のほかVI類（280・283・284）が出土しており、いずれも口縁部が無文となる。これらは鉢IX.12類と同形態・同手法である。鉢・台付鉢では、BC1式と推定されるものがあるが少数であり（289・VII.2類）、I・IX類で口縁部に截痕列・区画のある截痕列・沈線+刺突列のいずれか、あるいは平行沈線が施文されるもの（294～296・298・310・311・326～329）、口縁部が無文となり、その下位にこれら文様が施文されるもの（292・293・297・299～308・332・333）が多数出土している。後者のばい、截痕列系文様の施文されるものは少なく、大半が平行沈線となる。これらはすべて口唇部装飾および磨消縄文の様相からC1式に比定される。また、無文もしくは頸部に平行沈線を有するVII類（314～317・319・320）がまとった一定数出土していることも特徴的である。このうち、314は口唇部装飾からC1式に比定され、他についても同時期である可能性が高い。このほか、足付（321）、片口形（325）が出土している。台付浅鉢ではV類（334など）、浅鉢ではIII類（338など）、VI類（355など）の器形が卓越する。この様相は、施文土器・無文土器共通である。前2者の施文上器のばい、口縁部に截痕列・区画のある截痕列・沈線+刺突列のいずれか、あるいは平行沈線が施文されるもの（335・336・338～345・347・351・353・354）があるが、単純な截痕列の施文されるものは1点のみである。いっぽう、VI類の施文土器のばい、截痕列系文様が施文されるものではなく、すべて区画の平行沈線+磨消縄文のみとなる。この截痕列系文様の変遷と有無に関して、羊歯状文の変遷と併せて考えれば、截痕列・羊歯状文B上半様の截痕列（羊歯状文と共存）→区画のある截痕列→沈線+刺突列・沈線+区画のある刺突列（截痕列の簡略化？）→消滅と捉えられる（各器形共通）。この他の浅鉢類としては、足付（VII類）、方形（IX類）、片口形（X類）が出土している。X類・380の口部端には豆状の突起が付く。壺は数が少なく詳述を避けるが、VI類の完形品が2点出土している。注口はいずれもVI類で、C1式である。399は香炉形？で、胴部突起の特徴および胴部下半の磨消縄文からC1式に比定される。

1号遺物包含層 2a層

本層からは片口形の深鉢が出土している（VII類・423）。口部端に豆状の突起が付く点は、他層出土遺物と同様である。鉢・台付鉢では、424・440といったC字文系文様の施文されるBC2式が散見されるが、大半はC1式である。Ⅹ 12類の口縁部が無文となる一群（426～430・441～444・447）の出土比率が高い。浅鉢の様相は2b層と変わりない。

1号遺物包含層 1層および0層

出土数量が少なく、これに比例して復元個体も少ないため、詳述は避ける。1層出土土器は概ねC1式に比定される。いっぽう0層の鉢・台付鉢および浅鉢はBC2～C2式に比定されるものが混在している。この混在は何に起因するものか不明であるが、最上位層に当たるため後世の搅乱の影響を受けている可能性は否定できない。特筆点としては、0層出土のC2式に比定される大形の突起を有する鉢（489）の存在が挙げられる。

各層出土土器の傾向と堆積時期

以上、各層出土土器を概観してきた。いずれの層も、そのほとんどが複数型式を包含している。すなわち、A'層ではBC1～2式、A層ではB2～C1式、3b層ではB2～BC2式、3a層ではB2～C1式、2b層ではBC1～C2式、2a層ではBC2～C2式、1層ではC1式、0層ではBC2～C2式の出土が確認された。ただし、A'層および1層は局所的に確認したのみであるため、今回の出土遺物が本来的な内容をどの程度反映しているか、その可能性は他層に比して低い。また、1層および0層はその大半が表土・現行道路直下に位置するため、搅乱の影響が大きく、これを排除できない。後者は致命的な問題であるため、両層以外を対象に堆積時期を推定する。

堆積の連続性が確認されているA'層→A層、3b層→3a層→2b層→2a層と土器形式の関係を見たばあい、隣接層間で重複はありながらも概ね既知の型式変遷に沿って出土しているといえる。さらに各層出土土器型式の構成比を見てみると、A'層およびA層ではBC1～2式、3b層ではBC1～2式、3a層ではBC2～C1式、2b層・2a層・1層ではC1式が卓越する傾向が看取され、これが各層堆積・形成のピーク時期と考えられる。

(2) 個別出土状況で特筆されること

a) 土器埋設行為

包含層最下位にあたる3b層にて、埋設の可能性がある個体3点を確認した。12F11グリッドに位置する70、12F11・12F12グリッド境界付近に位置する131と132である。いずれも破損率が低く、正立状態で検出された。3点とも周辺土層を立ち割り埋設痕跡の精査を行ったが、いずれについてもその痕跡は確認されなかった（第33図など）。しかしながら、例えば70についていえば、器高37cmを測る深鉢であり、これが非人為で正立状態を保ち、破損せずにあるとは考えられない。しかも、その底部はV層まで達している。3b層面からV層まで掘削し、口縁上部まで埋設したと考えるのが自然であろう。なお、これら3点は出土層位・位置から判断して、極めて近接した時期にこの地に置かれたものといえる。

b) 4点の土器型式と出土状態—「雨滴式」土器型式に対する今次調査出土事象からの解釈

131と132は、写真図版18などに示したようにほぼ同一標高（数cmのレベル）で隣り合って出土した証であるが、前述通り土器型式には差異がありそうである。すなわち、131は大洞B2式に、132は同BC2式に比定された。また、同一グリッド、同一層で検出された70の土器型式は、B2式と考えられるものである。同一層面で出土したこれらは、「層位は土器型式に優先する」ことを前提

とすれば、同時併存していたといって大過あるまい。ただし隣接型式であれば、重複時期もあって然るべきである。例えば時間差があるとしても、132を埋設もしくは遺棄する際には131の存在を認知しているはずである。時間的な同時性もしくは連續性が看取される。

さらに、70の出土状態に関しても興味深い事象が確認された。正立状態にあった70の内部堆積土上位から、82が出土した点である。82はB2式ではなく、BC2式の範疇で理解されることから、型式学的には70との間に時期差（時間差）を生じる。その時期差を出土状態で表せば、「70の内部に土壤が堆積するまでの時間」となる。ただし、70がどのように埋設されたのか判然としないため、土器内部の埋没過程についても明確なプロセスを提示できないが、たとえ自然堆積であっても（本遺構の性格上その可能性は低いが）本遺跡が緩斜面地に立地することを考えれば、十年単位の時間差を想定するには無理がある^(注1)。何より、82をここに捨てた（置いた？）人間は、131・132の例と同様に、70がそこにあることを認知していたはずである。土器型式的には別様であっても、人間の行為的には連続しており、隣接している。

以上、4点の土器からみる大洞B2式～BC2式の変遷は、ごく短期間に進んだものと捉えられる^(注2)。つまりは、BC1式の存続期間が短期間であったということである。換言すれば、B2式・BC1式・BC2式の「存在」が重複する時期（製作時期ではなく「共生」時期）があったといえる。包含層3b層自体の様相もこれと矛盾しない。

「雨滴式」の議論が発生する原因が、やはり雨滴遺跡にははあるのである。B式とBC式=B2式とBC2式が同一層内に併存する。これは、現実的な層位学的には間違った結果ではない。併存する現象は事実である。cmオーダーでの分層が現実的に可能であれば別であるが、土器1個体は10cmを超える。対象物が收まりきらない層厚の分層は、余程の変化がない限り非現実的であり不可能である。

いっぽうで、包含層各層の土器様相を量的に下位から上位に通観したとき、B2式～BC1式～BC2式～C1式という流れが迫ることも事実である。

結論として、B2～BC2の各型式は、重複時期を持ちながらも、B2→BC1→BC2という流れで変遷したものと解釈されよう。

（3）遺物包含層範囲内における地形と出土土器型式の特徴—「盛土造構」に関する

IV章に記述のとおり、今回検出された遺物包含層は、小段丘上段から中段中部付近に形成されている。中段北部には窪地があり、この窪地とその他では包含層の堆積様相が異なる。上段は地形改変により包含層上位が欠落している可能性が高いため詳述しかねるが、A'層から0層にかけて大洞B2式からC2式までが出土している。窪地を挟んだ中段中部でも、3b層から0層にかけて同じくB2式からC2式が出土している。いっぽう、窪地中央部に入れたトレンチ②の調査結果では、包含層1～3a層およびA'層は堆積しておらず、出土土器は大洞BC2式以前に限られる（BC1式主体）ことが分かっている。

本包含層形成開始時期について、中段中部については、70・131・132からB2式からBC1式への移行期と推定される。中段北部窪地部分についても同様であろう。上段については、同時期か若干先行する可能性がある。問題はその後で、中段北部窪地部分は形成範囲の中心域から外れ、中段中部が主体域となりC1式期に至るまで継続して形成された結果、塚状に盛り上がる形態を呈する（第14～16図）。包含層形成前の地形がほぼ平坦であることを考えれば（第13図）、窪地に「捨てる」行動を取らず、あえてそこを避けて「盛る」行為を行ったと解釈される。そしてその「盛る」行為の開始時期は、中段北部窪地部分に確認されないC1式前後ということになる。

註

- 註1 例えば、「埋設後の一定期間、使用やメンテナンスが施され土壤が堆積しない」といったことがあれば、時間差は広がることとなる。
- 註2 あくまでも変遷期間を捉えたものであって、型式単体の年代幅とは別である。今次調査ではB2式の出土量が少なく、B1式に至ってはほぼ皆無であるため、B2式単体の存続期間は不明である。

引用・参考文献 (岩手県埋蔵文化財センターを跡岩文埋、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターを跡岩文埋と省略)

- 阿部芳郎 2005 「盛土遺構」と道丘集落—「発見の時代」から「検証」の段階へ—』『考古学集刊』特別号 明治大学文学部
- 阿部芳郎・曲輪ノ内貝塚調査團 2005 「曲輪ノ内貝塚調査検討会の記録』『考古学集刊』特別号 明治大学文学部
- 金子昭彦 1990 「いわゆる遼光器上偶の編年について(1) 大きさの違いを考慮して—』『岩手考古学』第2号 岩手考古学会
- 金子昭彦 1991a 「大洞B2式の磨削繩文について(上) 一東北地方北部を中心として—』『紀要』XII 跡岩文埋
- 金子昭彦 1991b 「いわゆる遼光器土偶の編年について(2) 一人形の土偶』『北奥古代文化』第21号 北奥古代文化研究会
- 金子昭彦 1992a 「大洞B2式の磨削繩文について(中) 一東北地方北部を中心として—』『紀要』XII 跡岩文埋
- 金子昭彦 1992b 「『雨滴式』の再検討』『北奥古代文化』第22号 北奥古代文化研究会
- 金子昭彦 1993a 「大洞B2式の磨削繩文について(下) 一東北地方北部を中心として—』『紀要』XII 跡岩文埋
- 金子昭彦 1993b 「小型「遼光器上偶の編年」『よねしろ考古学研究会』第8号 よねしろ考古学研究会
- 金子昭彦 1995 「岩手県上鷹生遺跡における土器口縁部の突起一大洞式前半の突起の事例研究—』『紀要』XV 跡岩文埋
- 金子昭彦 1996 「岩手県における大洞式前半の土器口縁部の突起—一般性と地域性の追求の試み—』『紀要』XVI 跡岩文埋
- 金子昭彦 2001a 「岩手県における繩文時代晩期の遺跡』『紀要』XXI 跡岩文埋
- 金子昭彦 2001b 「遼光器土偶と繩文社会』ものが語る歴史 4 同成社
- 金子昭彦 2002 「岩手県における繩文時代晩期の集落跡』『紀要』XXII 跡岩文埋
- 小林圭一 2003 「東北北半における繩文晩期前業の注口土器』『研究紀要』創刊号 嶺山形県埋蔵文化財センター
- 小林圭一 2004 「岩手県安代町唐田I遺跡出土の晩期繩文土器(前編) E III-011 住居跡出土土器の再検討』『研究紀要』第2号 嶺山形県埋蔵文化財センター
- 小林圭一 2005 「岩手県安代町曲山I遺跡出土の晩期繩文土器(後編) E III-011 住居跡出土土器の再検討』『研究紀要』第3号 嶺山形県埋蔵文化財センター
- 鈴木克彦 1980 「亀ヶ岡式土器の羊齒状文に関する考察』『考古風土記』第5号
- 鈴木克彦 1981 「亀ヶ岡式土器』『繩文文化の研究 4 繩文土器II』雄山閣出版
- 鈴木克彦 2001 「北日本の繩文後期土器編年の研究』雄山閣出版
- 鈴木公雄・林謙作編 1981 「繩文土器大成 4 晩期』講談社
- 須藤 隆 1984 「北上川流域における晩期前業の繩文土器』『考古学雑誌』第69巻第3号 日本考古学会
- 須藤 隆 1992 「東北地方における晩期繩文土器の成立過程』『東北文化論のための先史学歴史学論集』加藤稔先生追憶記念会
- 芹沢長介 1960 「石器時代の日本」笨地書館
- 芹沢長介 1962 「岩手県二戸郡兩流遺跡』『日本考古学年報 11(昭和33年度)』日本考古学協会
- 芹沢長介 1963 「岩手県二戸郡兩流遺跡』『日本考古学年報 6(昭和28年度)』日本考古学協会
- 高橋龍三郎 1981 「亀ヶ岡式土器の研究』『北奥古代文化』第12号 北奥古代文化研究会
- 高橋龍三郎 1993a 「大洞C2式土器の細分とネガ文様』『トト一世紀への考古学』櫻井清彦先生古稀記念会
- 高橋龍三郎 1993b 「大洞C2式土器細分のための諸課題』『先史考古学研究』第4号 阿佐ヶ谷先史学研究会
- 出鱗秀夫 1986 「「前付土器」から「晩期前業」までの土器文様の変遷過程』『紀要』VI 跡岩文埋

- 藤沼邦彦 1989 「亀ヶ岡式土器様式」『縄文土器大綱 4 後期 晩期 純縄文』小学館
- 藤沼邦彦・間根達人ほか 2005 『青森県東津軽郡平館村今津遺跡発掘調査報告書』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告2
- 藤沼邦彦・秋山真吾ほか 2008 『青森県二戸郡二戸町糸沢遺跡発掘調査報告書』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告6
- 藤沼邦彦・間根達人 2008 「亀ヶ岡式土器(亀ヶ岡式系土器群)」『総覧 縄文土器』湯アム・プロモーション
- 松山 力 1981 「第Ⅱ章 自然的環境」『中曾根Ⅱ遺跡発掘調査報告書』二戸市教育委員会
- 村越 順 1984 「亀ヶ岡式遺跡」考古学ライブラリー19 ニュー・サイエンス社
- 村田卓人 2000 『羊齒状文の施文原則』『埼玉考古』第35号 埼玉考古学会
- 八木勝枝 2004 「北上川中流域の盛上遺構—縄文時代晚期包含層分析からの一視点~」『岩手考古学』第16号 岩手考古学会
- 山内清男 1930 「所謂亀ヶ岡式土器の分布と縄文式土器の終末」『考古学』第1巻第3号 東京考古学会
- 山内清男 1964 「縄文式土器・総論」『日本原始美術』1 縄文式土器。講談社
- 山内清男 1979 『日本先史土器の縄文』先史考古学会
- 山内清男・平山久夫ほか 1971 「山内清男先生と語る」『北奥古代文化』第3号 北奥古代文化研究会
- 秋田県教育委員会 2001 「向陽山A遺跡 遺物図—森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書II—」秋田県埋蔵文化財調査報告書第370集
- 青森県教育委員会 2009 『青森県遺跡地図』
- 青森県埋蔵文化財調査センター 1995 『泉山遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第181集
- 青森県埋蔵文化財調査センター 2001 『十勝内(1)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第304集
- 一戸町教育委員会 1986 『陣前』一戸町文化財調査報告書第17集
- 一戸町教育委員会 1995 『山井遺跡』一戸町文化財調査報告書第36集
- 岩手県立博物館 1982 『岩手の土器—県内出土資料の集成』
- 御岩埋文 1981 『二戸バイパス開通遺跡発掘調査報告書』二戸市上田向遺跡・大潤遺跡・火行塚遺跡。岩埋文調査報告書第23集
- 御岩埋文 1983 『荒谷A遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第23集
- 御岩埋文 1985 『曲田I遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第87集
- 御岩文埋 1986 『狗板遺跡発掘調査報告書』岩文埋調査報告書第98集
- 御岩文埋 1986 『手代森遺跡発掘調査報告書』岩文埋調査報告書第108集
- 御岩文埋 1992 『ハツ長II遺跡発掘調査報告書』岩文埋調査報告書第168集
- 御岩文埋 1997 『上鷹生遺跡発掘調査報告書』岩文埋調査報告書第253集
- 御岩文埋 1998 『大日向II遺跡発掘調査報告書—第6次～第8次調査—』岩文埋調査報告書第273集
- 御岩文埋 2000 『長倉I遺跡発掘調査報告書』岩文埋調査報告書第336集
- 御岩文埋 2002 『米沢遺跡発掘調査報告書』岩文埋調査報告書第376集
- 御岩文埋 2006 『大橋遺跡発掘調査報告書』岩文埋調査報告書第481集
- 御岩文埋 2008 『(4)雨滝遺跡』『平成19年度発掘調査報告書』岩文埋調査報告書第524集
- 御岩文埋 2008 『上町遺跡発掘調査報告書』岩文埋調査報告書第532集
- 大迫町教育委員会 1979 『小田遺跡発掘調査報告書』大迫町埋蔵文化財報告第4集
- 淨法寺町教育委員会 2001 『上杉沢遺跡』
- 八戸市教育委員会 1988 『八幡遺跡発掘調査報告書』八戸市埋蔵文化財調査報告書第26集
- 八戸道跡調査会 2002 『足川中居遺跡(長田沢地区)』八戸道跡調査会埋蔵文化財調査報告書第2集
- 宮城県教育委員会 1990 『猪苗遺跡』宮城県文化財調査報告書第132集

写 真 図 版



道路遠景と周辺の地形（南から）



調査区遠景（南から）



調査前風景（南から）



調査区北端小段丘縁の現況（西から）

写真図版2 調査前風景



小段丘上段～中段塊断面（東から）



小段丘中段北端トレンチ1断面（西から）

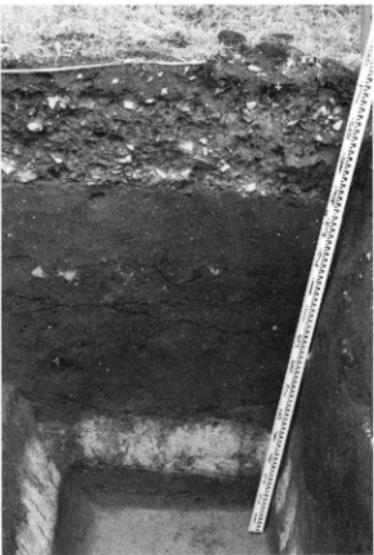


小段丘中段トレンチ2断面（西から）

写真図版3 基本層序（1）



小段丘中段 12G6 付近断面（西から）



小段丘中段南半断面 1（西から）



小段丘中段南半断面 2（西から）



小段丘中段南端断面（西から）

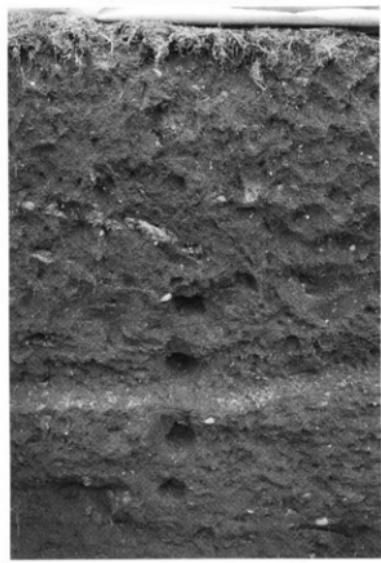
写真図版 4 基本層序（2）



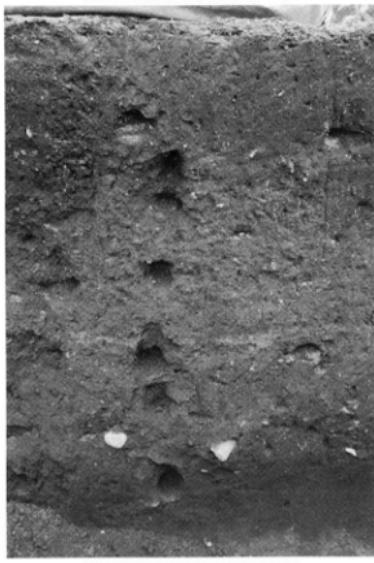
小段丘下段北部断面（西から）



小段丘下段南部断面 3（西から）



土壤分析試料採取地点 1（西から）



土壤分析試料採取地点 2（西から）

写真図版 5 基本層序（3）、土壤分析試料採取土層

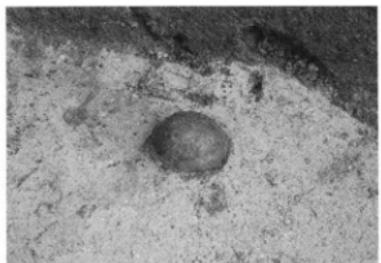


1号竪穴住居状遺構平面（東から）



1号竪穴住居状遺構断面（西から）

写真図版 6 竪穴住居状遺構（1）



1号竖穴住居状遺構 p1 出土状況（西から）



1号竖穴住居状遺構 p2 出土状況（北から）



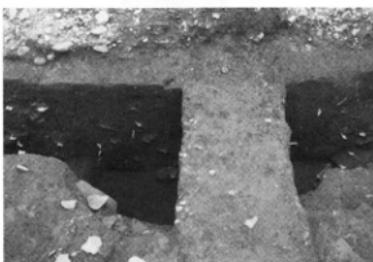
1号土坑平面（南から）



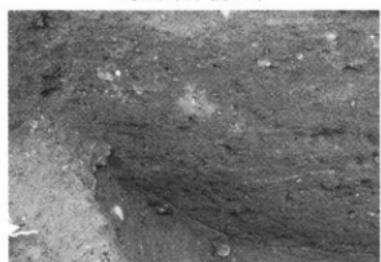
1号土坑断面（西から）



2号土坑平面（南から）



2号土坑断面（南から）



2号土坑断面 To-a 確認状況（西から）



3号土坑断面（北西から）

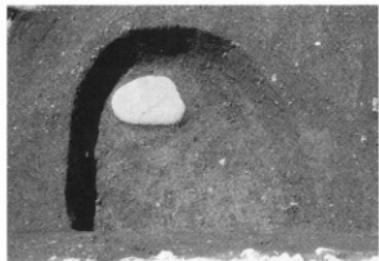
写真図版 7 竪穴住居状遺構（2）、土坑（1）



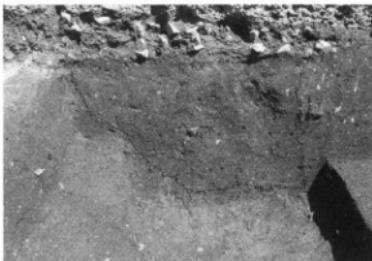
4号土坑平面（西から）



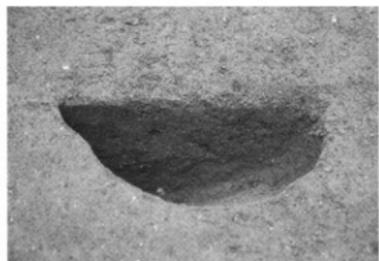
4号土坑断面（南から）



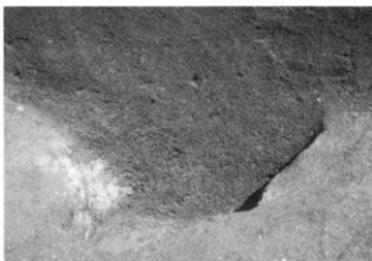
5号土坑平面（北から）



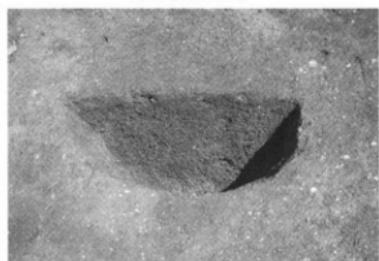
5号土坑断面（南から）



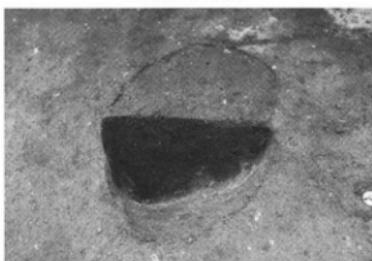
P1断面（南から）



P2断面（西から）

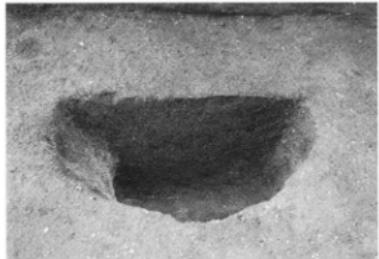


P3断面（西から）

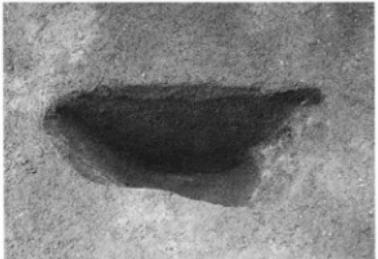


P4断面（東から）

写真図版8 土坑（2）、柱穴状土坑（1）



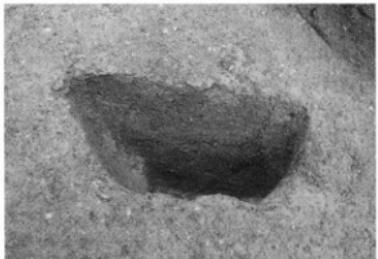
P5 断面（東から）



P6 断面（東から）



P8 断面（南から）



P9 断面（南西から）



1・2号溝平面（北から）



1号溝断面（南から）



2号溝断面（南から）

写真図版9 柱穴状土坑（2）、溝

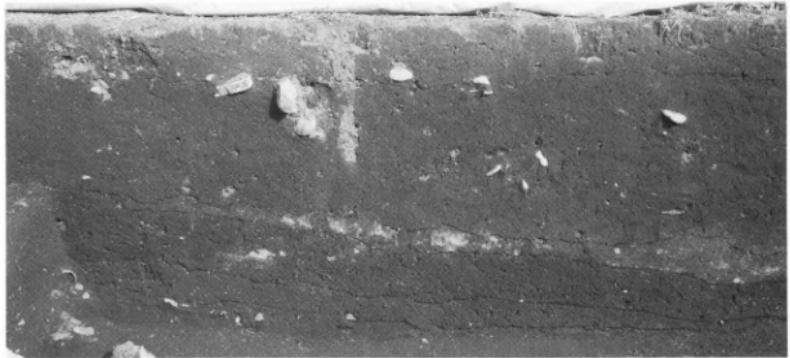


遺物包含層完掘断面（北から）



遺物包含層完掘断面（南から）

写真図版10 遺物包含層（1）



遺物包含層断面①（西から）

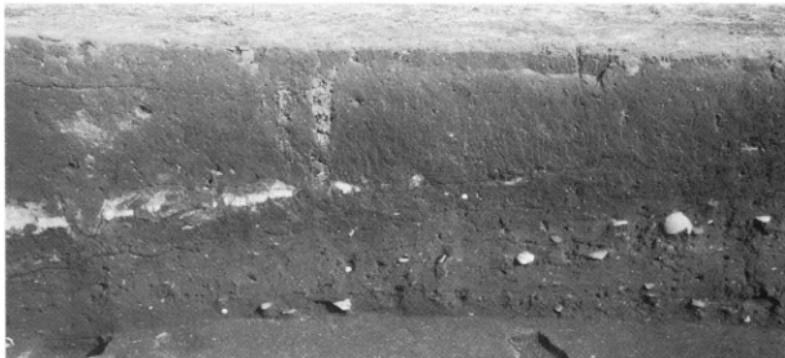


遺物包含層断面②（西から）



遺物包含層断面③（西から）

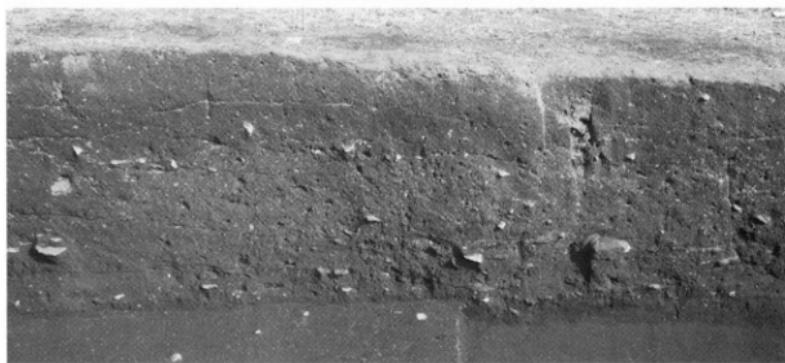
写真図版11 遺物包含層（2）



遺物包含層断面④（西から）

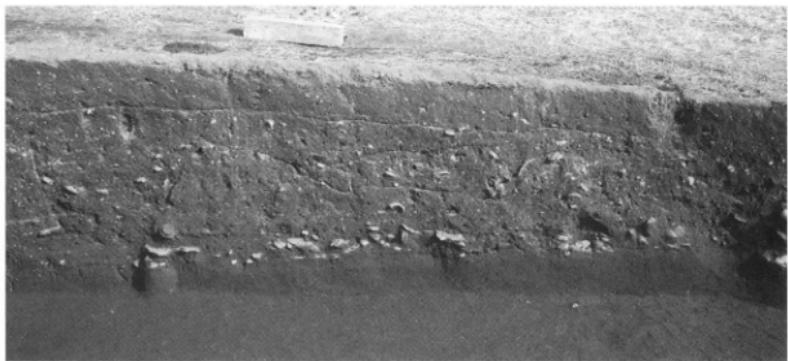


遺物包含層断面⑤（西から）



遺物包含層断面⑥（西から）

写真図版12 遺物包含層（3）



遺物包含層断面⑦（西から）



遺物包含層断面⑧（西から）



遺物包含層断面⑨（西から）



トレンチ 2 遺物包含層 A~A' 層遺物出土状況（西から）



トレンチ 2 遺物包含層 44・60・65 出土状況



遺物包含層 A' 層 15 出土状況



遺物包含層 A~A' 層遺物出土状況 12E グリッド（西から）

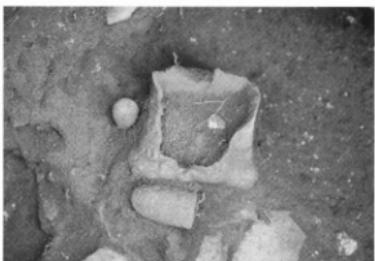
写真図版14 遺物包含層（5）



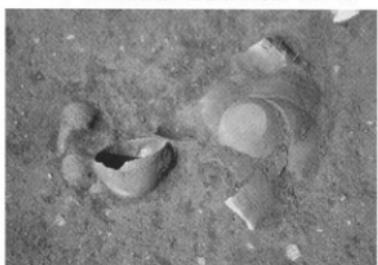
トレンチ 1 遺物包含層 A 層遺物出土状況（西から）



遺物包含層 A 層 20・28・59 出土状況



遺物包含層 A 層 524・973 出土状況



遺物包含層 A 層 21・25・53 出土状況



遺物包含層 A 層 12 出土状況



遺物包含層 A 層 61 出土状況



遺物包含層 A 層 55 出土状況

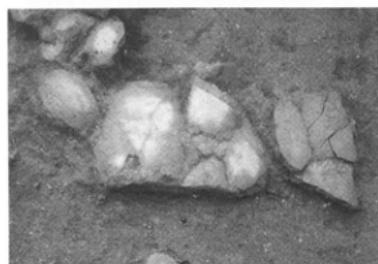
写真図版15 遺物包含層（6）



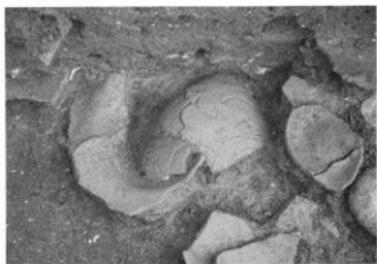
遺物包含層 3b 層遺物出土状況 東半（北東から）



遺物包含層 3b 層遺物出土状況 西半（南西から）



遺物包含層 3b 層 73・123・125 出土状況



遺物包含層 3a 層下位 214 出土状況



遺物包含層 3a 層下位 198 出土状況



遺物包含層 3b 層 113 出土状況

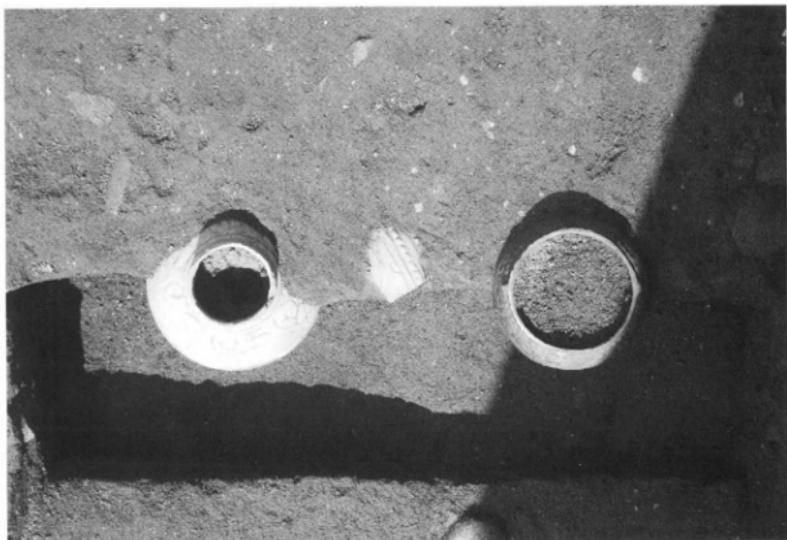
写真図版16 遺物包含層（7）



遺物包含層 3b 層 70・82 出土状況（南から）



遺物包含層 3b 層 70 出土状況断面（北から）



遺物包含層 3b 層 131・132 出土状況（北から）



遺物包含層 3b 層 131・132 出土状況断面（南から）

写真図版18 遺物包含層（9）



遺物包含層 3b 層 134 出土状況



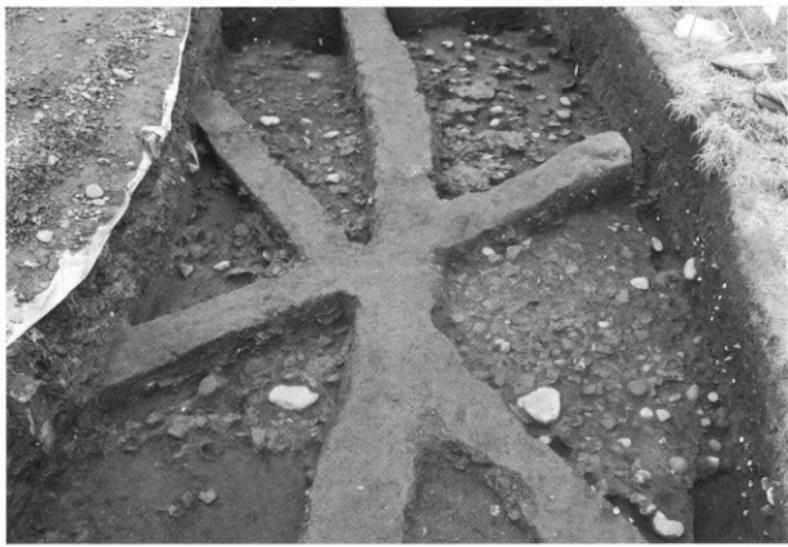
遺物包含層 3b 層 135 出土状況



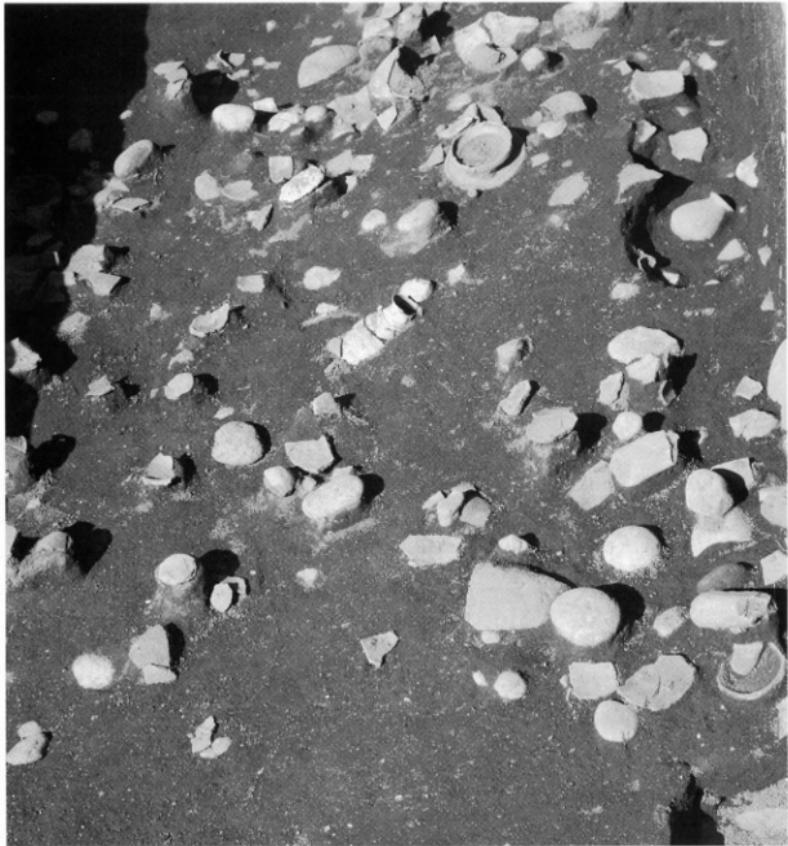
遺物包含層 3b 層 138 出土状況



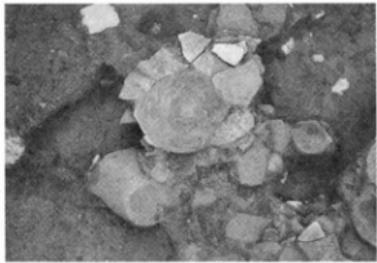
遺物包含層 3b 層 143 出土状況



遺物包含層 3a 層遺物出土状況（南から）



遺物包含層 3a 層遺物出土状況 12F17 グリッド付近（南から）



遺物包含層 3a 層 196 出土状況



遺物包含層 3a 層 107 出土状況

写真図版20 遺物包含層 (11)



遺物包含層 3a 層 1014 出土狀況



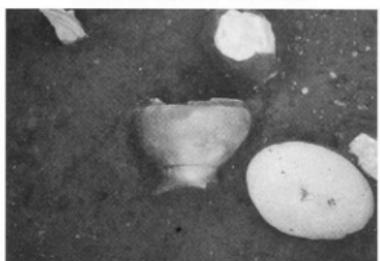
遺物包含層 3a 層 171 出土狀況



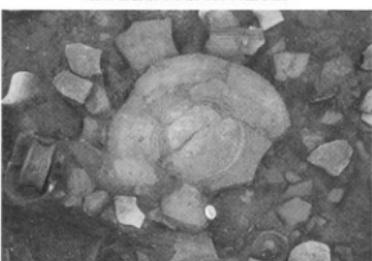
遺物包含層 3a 層 460 - 461 出土狀況



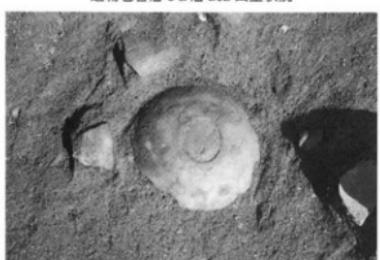
遺物包含層 3a 層 203 出土狀況



遺物包含層 3a 層 202 出土狀況



遺物包含層 3a 層 234 出土狀況



遺物包含層 3a 層 596~605 出土狀況

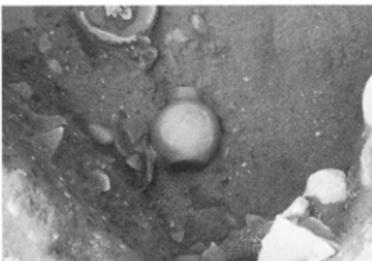


遺物包含層 3a 層 205~240, 241, 259 出土狀況

写真図版21 遺物包含層 (12)



遺物包含層 3a 層 261 出土状況



遺物包含層 3a 層下位 254 出土状況



遺物包含層 3b~a 層 146 出土状況



遺物包含層 3a 層 527 出土状況



遺物包含層 3a 層 539 出土状況



遺物包含層 3a 層 540 出土状況



遺物包含層 3a 層 959 出土状況

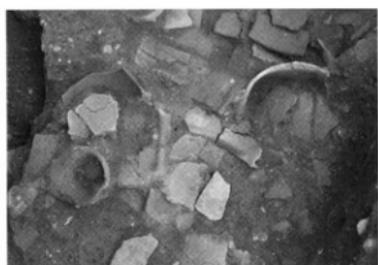


遺物包含層 3a 層 978 出土状況

写真図版22 遺物包含層 (13)



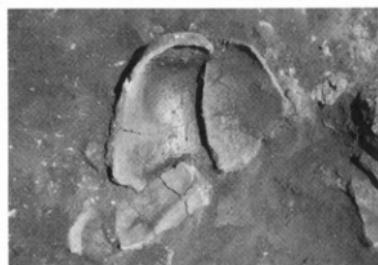
遺物包含層 2b 層遺物出土狀況（南から）



遺物包含層 2b 層 280・288 出土狀況



遺物包含層 2b 層深鉢出土狀況

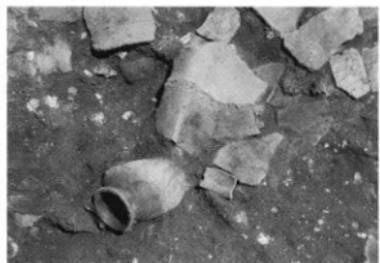


遺物包含層 2b 層 307 出土狀況



遺物包含層 2b 層 298・358 出土狀況

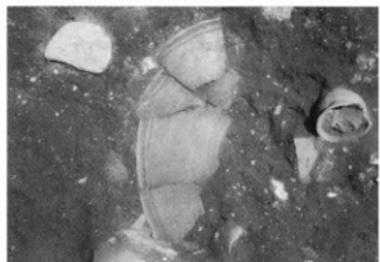
写真図版23 遺物包含層（14）



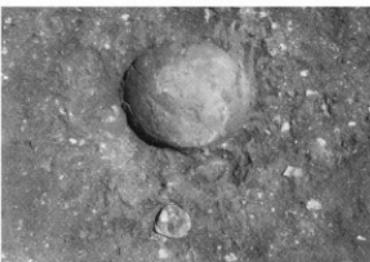
遺物包含層 2b 層 330 出土狀況



遺物包含層 2b 層 349 出土狀況



遺物包含層 2b 層 379 出土狀況



遺物包含層 2b 層 376 出土狀況



遺物包含層 2b 層 386 出土狀況



遺物包含層 2b 層 390 出土狀況



遺物包含層 2b 層 548 出土狀況



遺物包含層 2b 層 970 出土狀況

写真図版24 遺物包含層 (15)



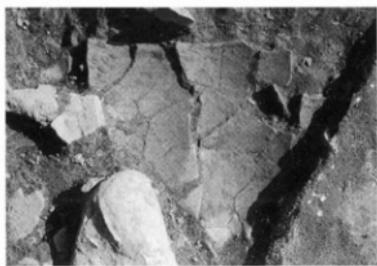
遺物包含層 2a 層遺物出土状況 11G・12G グリッド（南から）



遺物包含層 2a 層 423 出土状況



遺物包含層 2a 層鉢・浅鉢出土状況

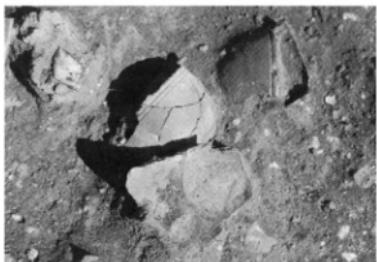


遺物包含層 2a 層 420 出土状況



遺物包含層 2a 層 418 出土状況

写真図版25 遺物包含層 (16)



遺物包含層 2a 層 431 出土状況



遺物包含層 2a 層 441 出土状況



遺物包含層 2a 層 459 出土状況



遺物包含層 2a 層 436 出土状況



遺物包含層 1 層遺物出土状況 11G・12G グリッド (南から)

写真図版26 遺物包含層 (17)



調査区 2 市道白山線分北端平面（南から）



調査区 2 市道白山線分南半平面（南から）



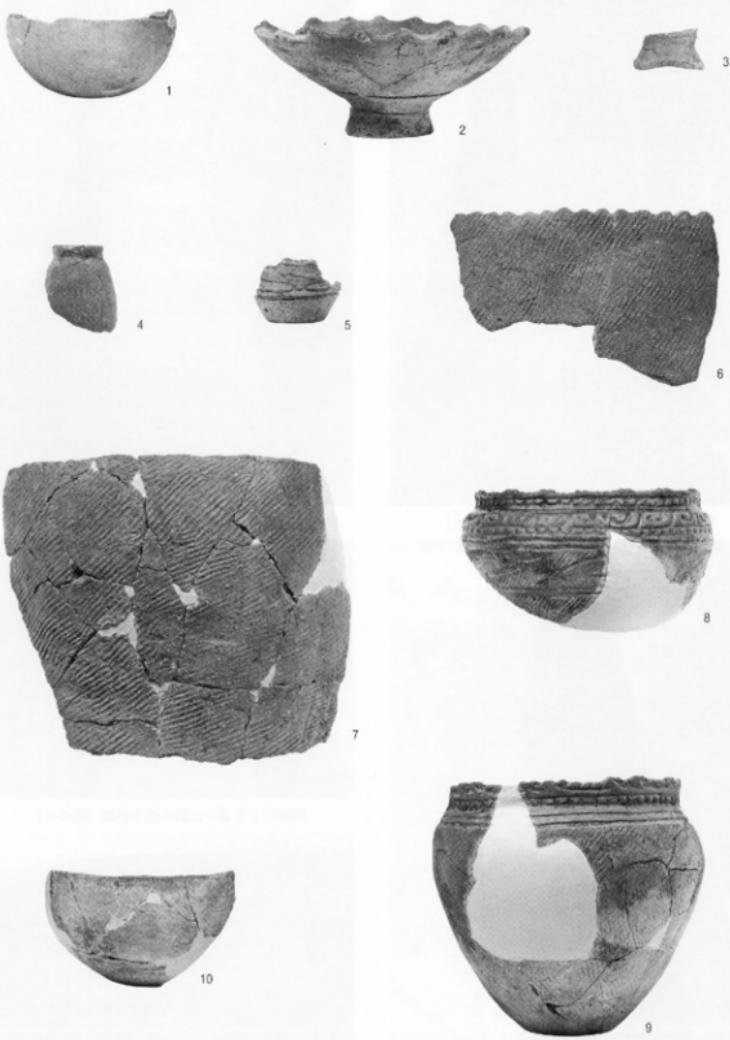
調査区 2 トレンチ 2 平面（南西から）



調査区 2 市道白山線分南半断面（東から）



調査区 2 トレンチ 2 V層遺物出土状況（東から）



1・3・4 S = 1:2 その他S = 1:3

写真図版28 積穴住居状遺構、土坑、遺物包含層出土土器（1）



11



12



13



15



14

S = 1 : 3

写真図版29 遺物包含層出土土器（2）



16



18



17



19

S = 1 : 3

写真図版30 遺物包含層出土土器（3）



20



21



22



23



25

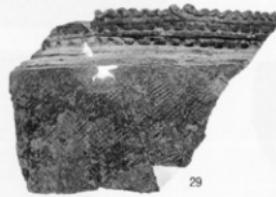
27



26



24



29



28

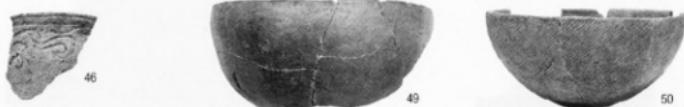
S = 1 : 3

写真図版31 遺物包含層出土土器 (4)



S = 1:3

写真図版32 遺物包含層出土土器（5）



S = 1 : 3

写真図版33 遺物包含層出土土器（6）



S = 1 : 3

写真図版34 遺物包含層出土土器（7）



62



63



64



65



66



67



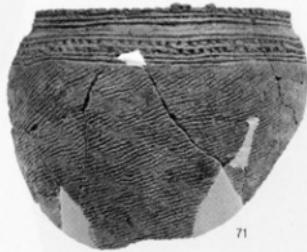
68



70



69



71

66 ~ 69 S = 1 : 2 その他S = 1 : 3

写真図版35 遺物包含層出土土器（8）



72



76



73



75



74

S = 1:3

写真図版36 遺物包含層出土土器 (9)



77



78



79



80



81



83



82



84



85



86



87



88



89



90

S = 1 : 3

写真図版37 遺物包含層出土土器 (10)



S = 1 : 3

写真図版38 遺物包含層出土土器 (11)



105



106



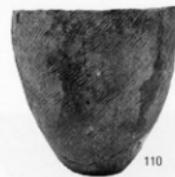
107



108



109



110



111



112



113

S = 1 : 3



S = 1 : 3

写真図版40 遺物包含層出土土器 (13)



127



129



128



130



131



132



133



134



135

S = 1 : 3

写真図版41 遺物包含層出土土器 (14)



136



137



138



139



142



141



140



143



144

S = 1 : 3

写真図版42 遺物包含層出土土器 (15)



145



146



147



148



149



150



152



151



153

147 ~ 149 S = 1:2 その他S = 1:3

写真図版43 遺物包含層出土土器 (16)



154



155



158



156



157



163



159



160



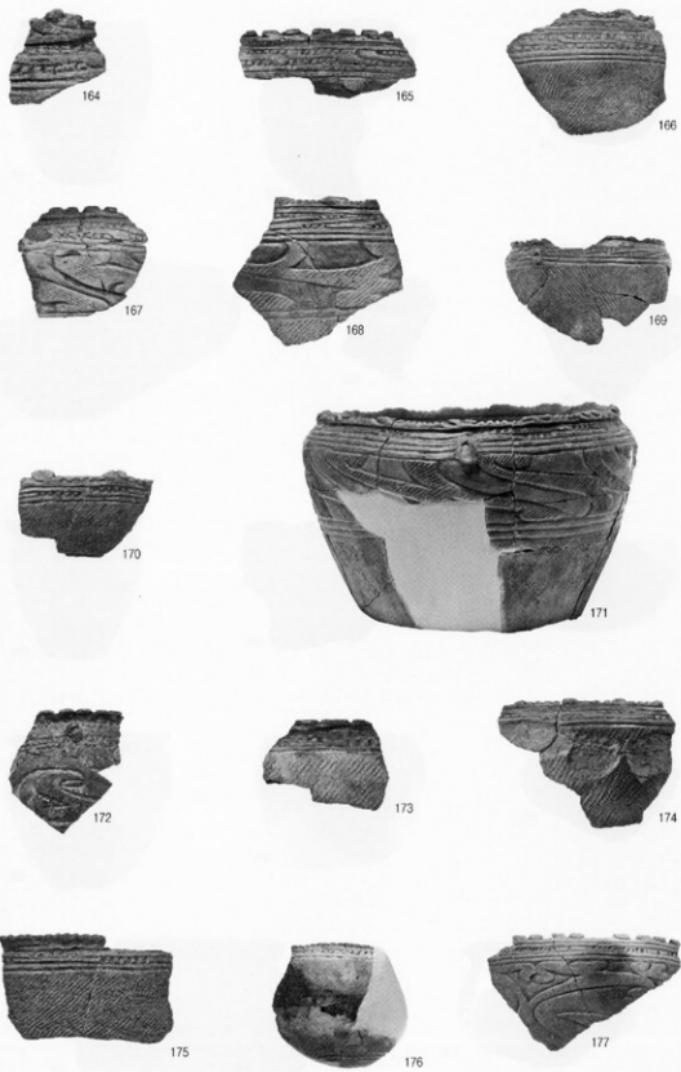
161



162

S = 1 : 3

写真図版44 遺物包含層出土土器 (17)



S = 1 : 3

写真図版45 遺物包含層出土土器 (18)



178



179



180



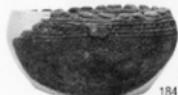
181



182



183



184



185



186



187



188



189



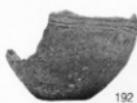
190



191

S = 1 : 3

写真図版46 遺物包含層出土土器 (19)



192



193



194



195



196



197



200



198



199



201



202



203

S = 1 : 3

写真図版47 遺物包含層出土土器 (20)



204



205



206



207



208



209



210



211



212



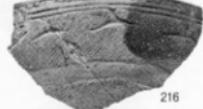
213



214



215



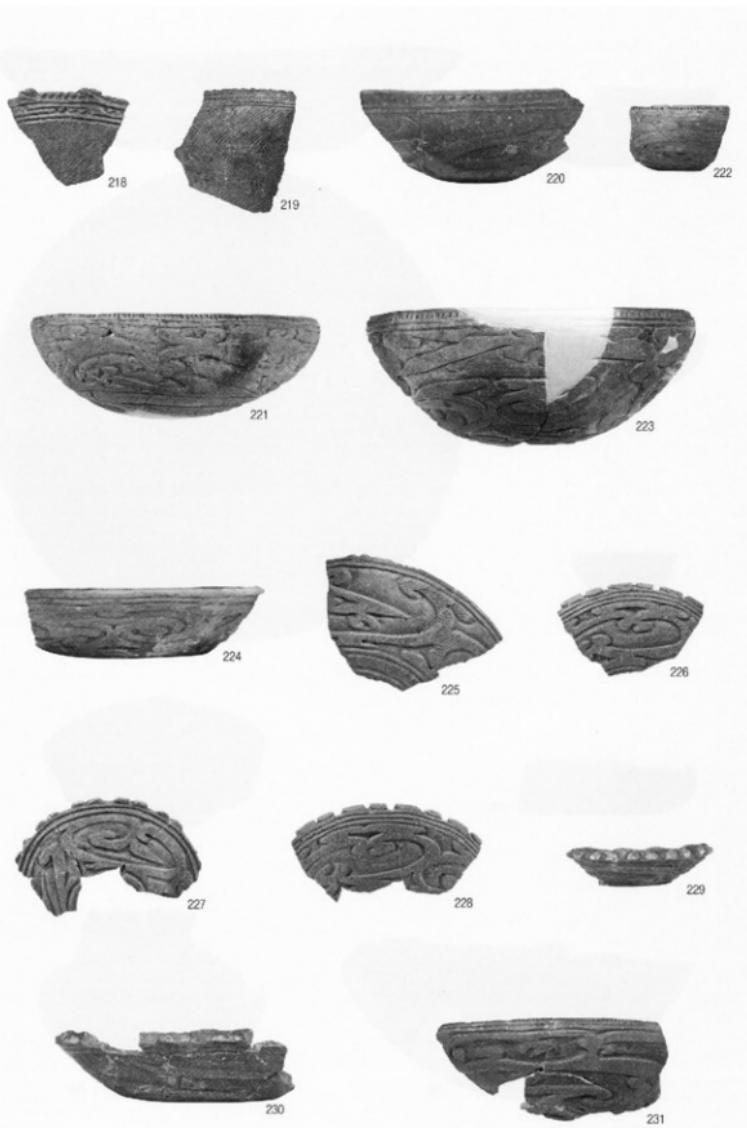
216



217

S = 1 : 3

写真図版48 遺物包含層出土土器 (21)



S = 1 : 3

写真図版49 遺物包含層出土土器 (22)



232



233



234



235



236



237



238



239

S = 1 : 3

写真図版50 遺物包含層出土土器 (23)



S = 1 : 3

写真図版51 遺物包含層出土土器 (24)



249



251



252



250



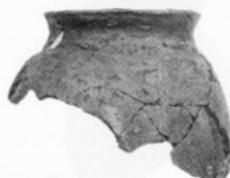
253



254



255



256



257



258

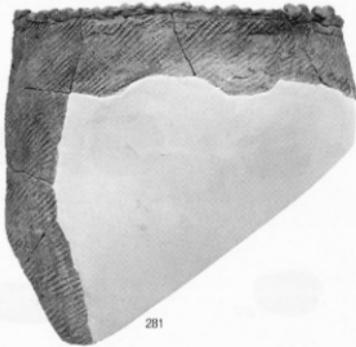
S = 1 : 3

写真図版52 遺物包含層出土土器 (25)



267 ~ 273 S = 1 : 2 その他 S = 1 : 3

写真図版53 遺物包含層出土土器 (26)



274 ~ 277 S = 1 : 2 その他S = 1 : 3

写真図版54 遺物包含層出土土器 (27)



283



284



285



286

S = 1 : 3

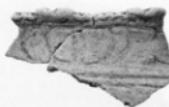
写真図版55 遺物包含層出土土器 (28)



287



289



290



288



291



292



293



294



295



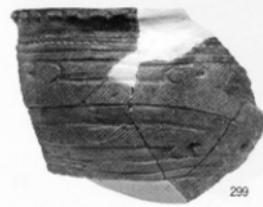
296



297



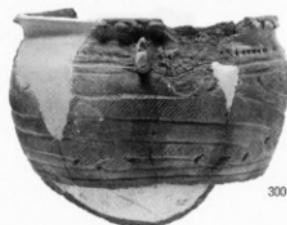
298



299

S = 1 : 3

写真図版56 遺物包含層出土土器 (29)



300



301



302



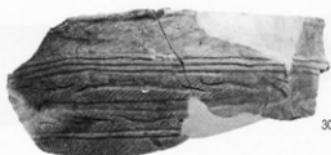
303



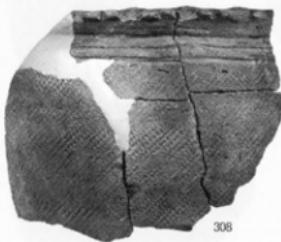
304



306



305



308



307

S = 1 : 3

写真図版57 遺物包含層出土土器 (30)



309



310



311



312



313



314



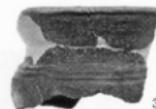
315



316



317



318



319



320

S = 1 : 3

写真図版58 遺物包含層出土土器 (31)



S = 1 : 3

写真図版59 遺物包含層出土土器 (32)



334



335



337



336



338



339



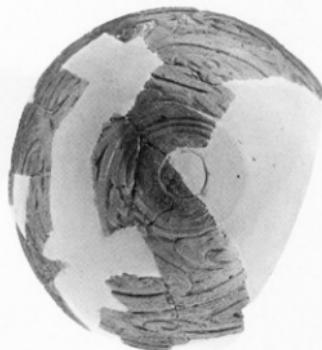
340



341



342



343



344



345

S = 1 : 3

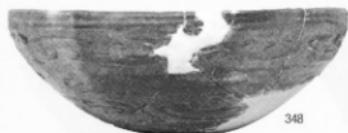
写真図版60 遺物包含層出土土器 (33)



346



347



348



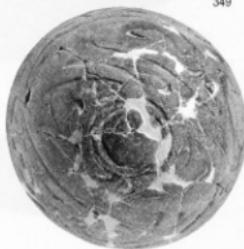
349



350



351



352



353



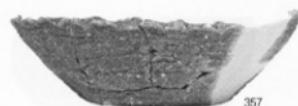
354



355



356



357

S = 1 : 3

写真図版61 遺物包含層出土土器 (34)



358



359



360



361



362



363



364



365



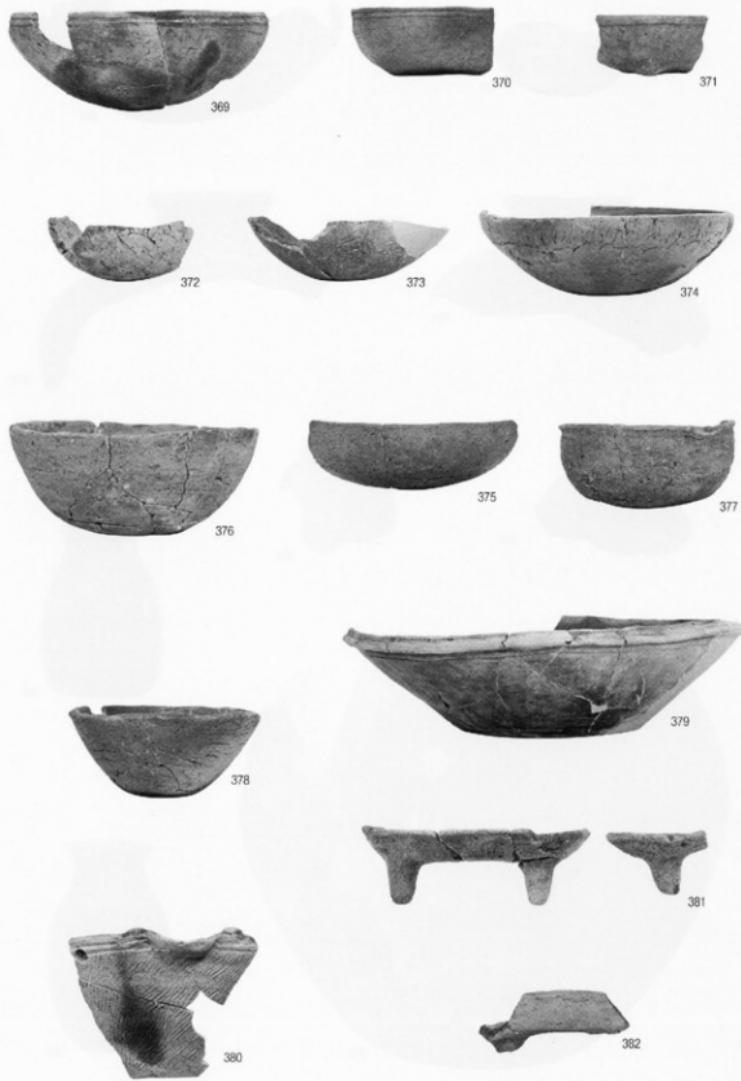
367



368

S = 1 : 3

写真図版62 遺物包含層出土土器 (35)



S = 1 : 3

写真図版63 遺物包含層出土土器 (36)



383



384



385



386



387



388



389



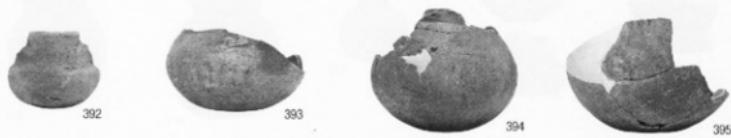
390



391

 $S = 1 : 3$

写真図版64 遺物包含層出土土器 (37)



400 ~ 408 S = 1:2 その他S = 1:3

写真図版65 遺物包含層出土土器 (38)



409



410



411



412



413



414



415



416



417



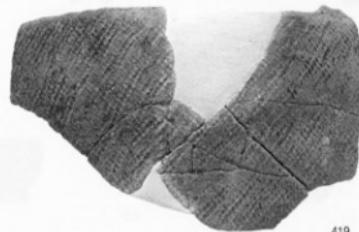
418



422



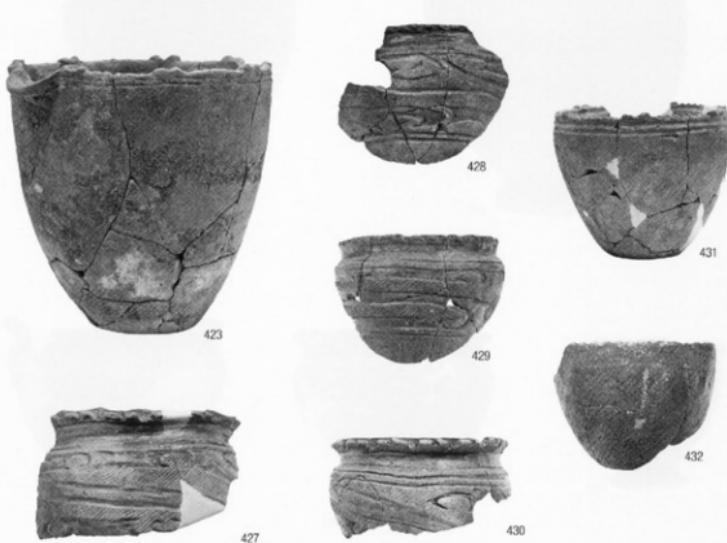
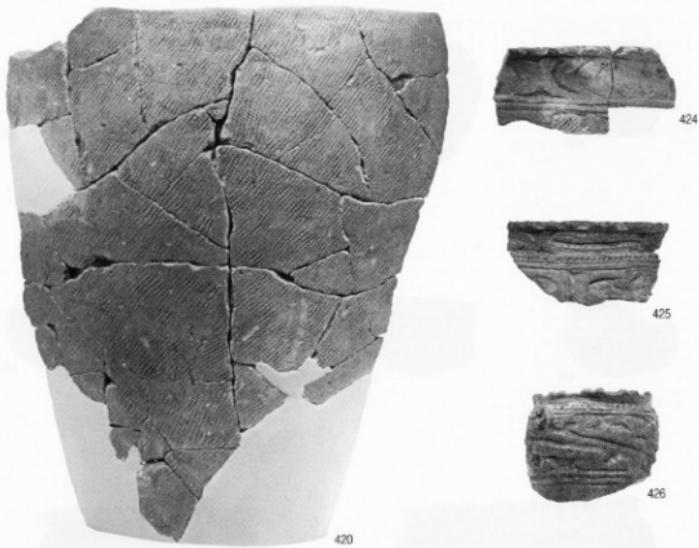
421



419

409 ~ 417 S = 1 : 2 その他 S = 1 : 3

写真図版66 遺物包含層出土土器 (39)



S = 1 : 3

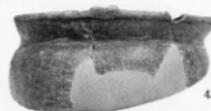
写真図版67 遺物包含層出土土器 (40)



433



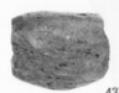
434



435



436



437



438



439



440



441



442



443



444

S = 1 : 3

写真図版68 遺物包含層出土土器 (41)



445



446



447



448



449



450



452



453



454



456



455



457



458



459



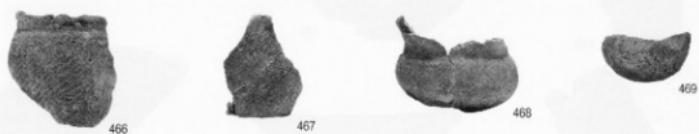
461



460

S = 1 : 3

写真図版69 遺物包含層出土土器 (42)



464 ~ 477 S = 1 : 2 その他 S = 1 : 3

写真図版70 遺物包含層出土土器 (43)



481



482



483



484



485



486



487



488



489



490



491



492

S = 1 : 3



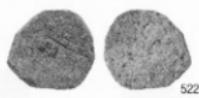
507 S = 1:2 その他S = 1:3

写真図版72 遺構外出土土器（1）



518~521 S = 1:2 その他S = 1:3

写真図版73 遺構外出土土器（2）



524



526



527



529

S = 1 : 2

写真図版74 土坑・遺物包含層出土土製品（1）



S = 1 : 2

写真図版75 遺物包含層出土土製品（2）



543



544



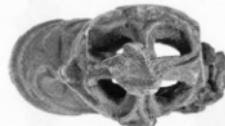
545



547



546



549



548



550



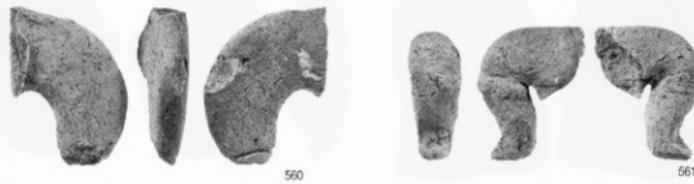
551



552

S = 1 : 2

写真図版76 遺物包含層出土土製品（3）



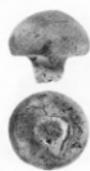
S = 1 : 2

写真図版77 遺物包含層出土土製品（4）



S = 1 : 2

写真図版78 遺物包含層出土土製品（5）



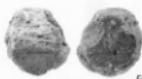
585



586



587



588



589



590



591



593



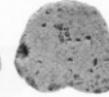
594



595



596



597



598



599



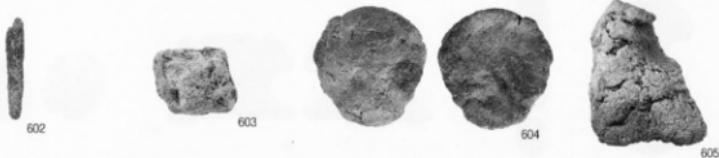
600



601

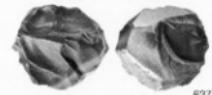
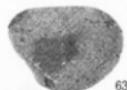
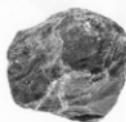
S = 1 : 2

写真図版79 遺物包含層出土土製品（6）



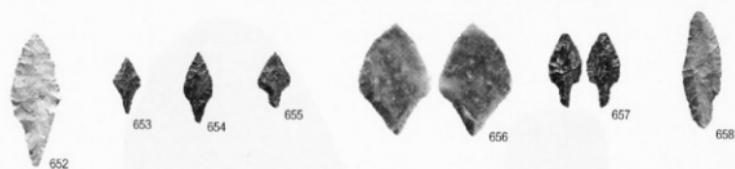
S = 1 : 2

写真図版80 遺物包含層出土土製品（7）、遺構外出土土製品



627~631・633 S = 1 : 3 その他S = 1 : 2

写真図版81 土坑・柱穴状土坑・溝出土石器



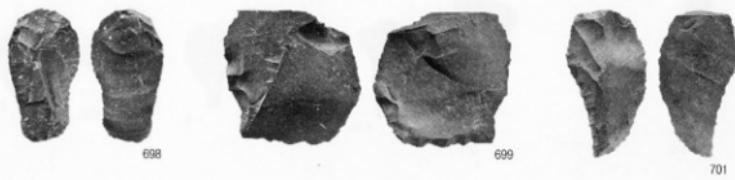
S = 1 : 2

写真図版82 遺物包含層出土石器（1）



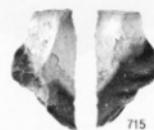
S = 1 : 2

写真図版83 遺物包含層出土石器（2）



S = 1:2

写真図版84 遺物包含層出土石器（3）



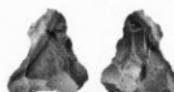
715



716



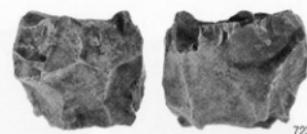
717



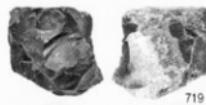
718



720



723



719



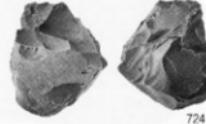
721



725



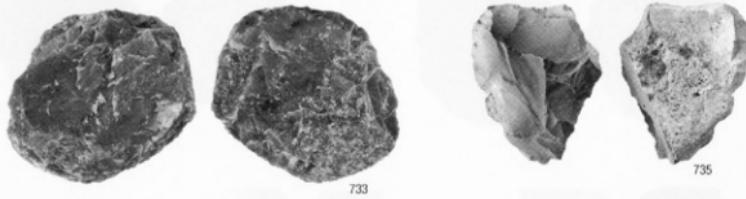
722



724

S = 1 : 2

写真図版85 遺物包含層出土石器（4）



S = 1 : 2

写真図版86 遺物包含層出土石器（5）



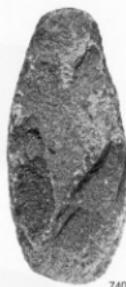
737



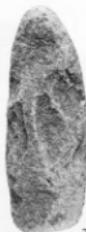
738



739



740



741



742



743



744



745



746



747



748



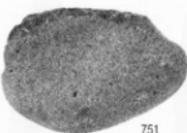
749



750

S = 1 : 3

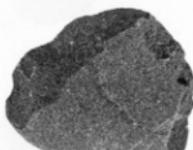
写真図版87 遺物包含層出土石器 (6)



751



754



752



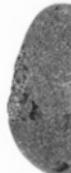
755



753



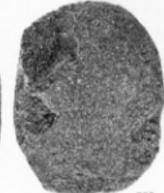
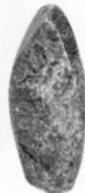
756



757



759

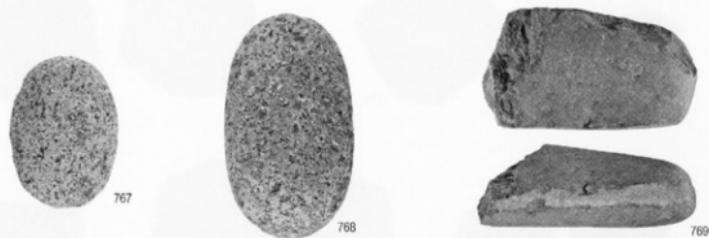
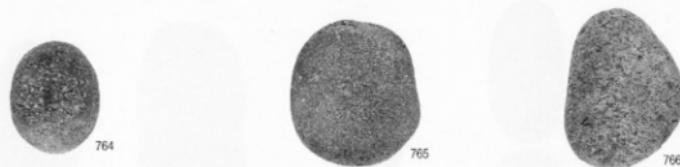
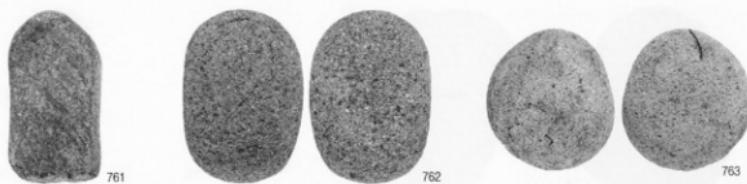


758



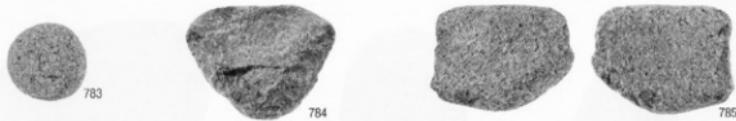
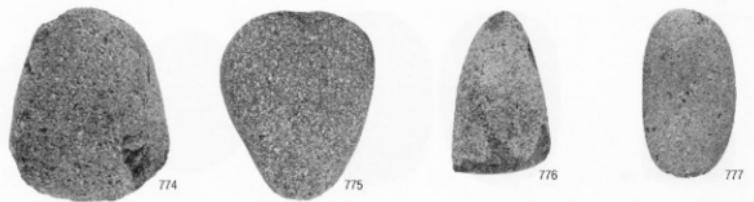
S = 1 : 3

写真図版88 遺物包含層出土石器（7）



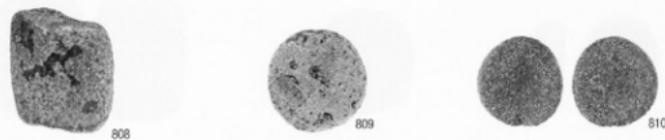
S = 1 : 3

写真図版89 遺物包含層出土石器 (8)



S = 1 : 3

写真図版90 遺物包含層出土石器（9）



S = 1 : 3

写真図版91 遺物包含層出土石器 (10)



811



812



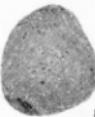
813



814



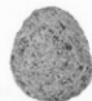
815



816



817



818



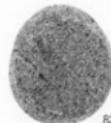
819



820



821



822



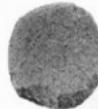
823



824



825



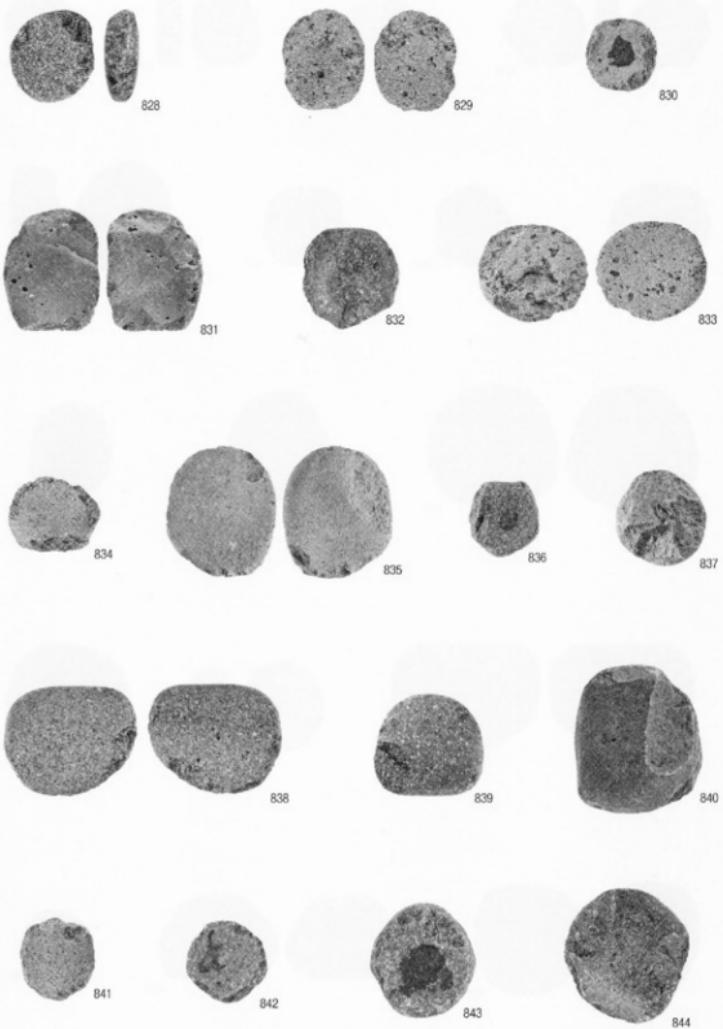
826



827

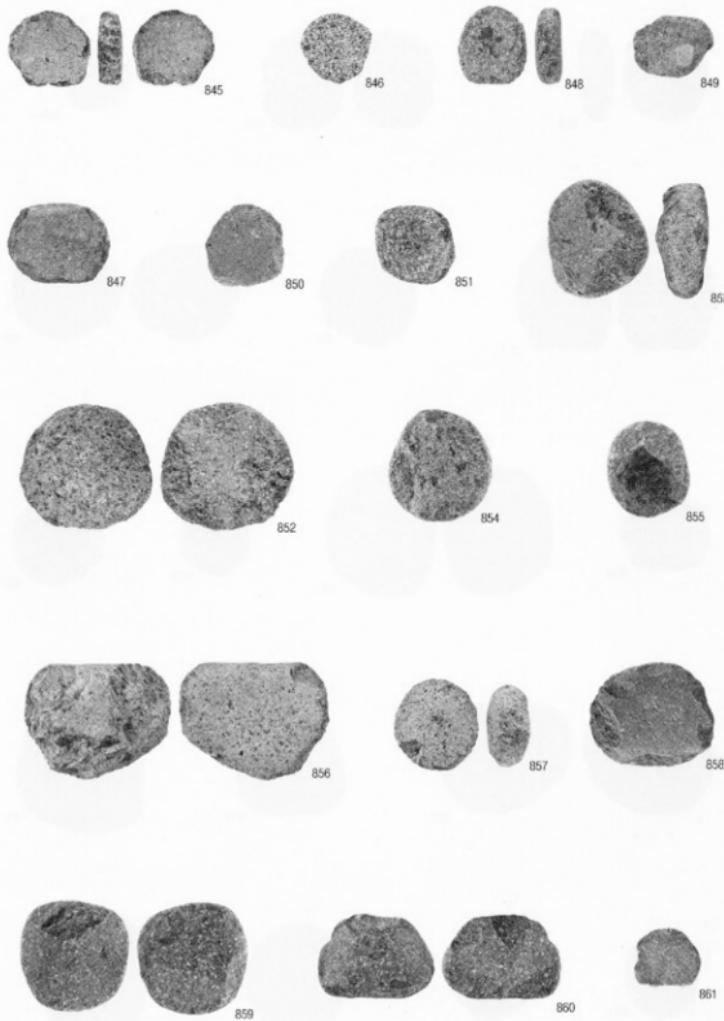
S = 1 : 3

写真図版92 遺物包含層出土石器 (11)



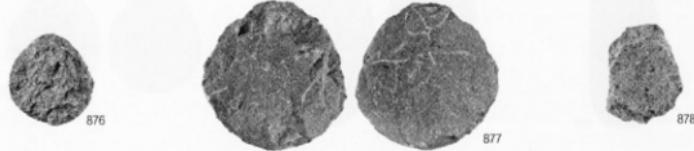
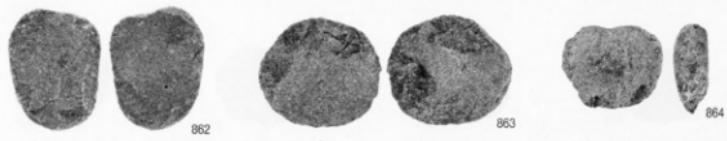
S = 1 : 3

写真図版93 遺物包含層出土石器 (12)



S = 1 : 3

写真図版94 遺物包含層出土石器 (13)



S = 1 : 3

写真図版95 遺物包含層出土石器 (14)



879



880



881



882



883



884



885



886



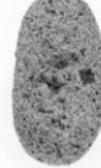
887



888



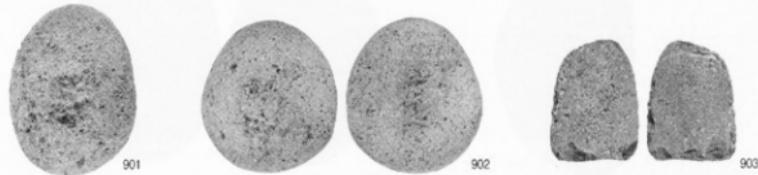
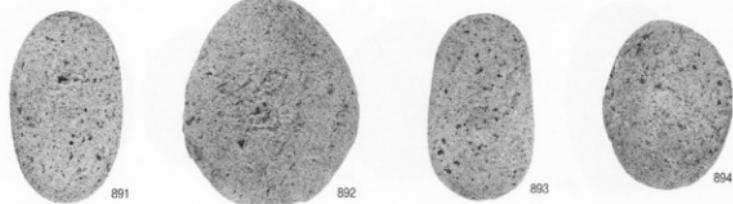
889



890

S = 1 : 3

写真図版96 遺物包含層出土石器 (15)



S = 1 : 3

写真図版97 遺物包含層出土石器 (16)



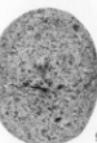
904



905



906



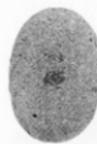
907



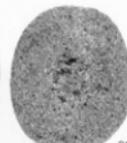
908



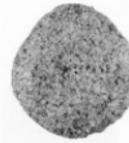
909



910



911



912



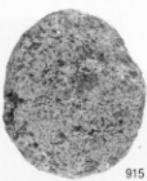
913



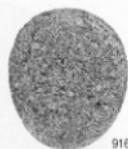
914

S = 1 : 3

写真図版98 遺物包含層出土石器 (17)



915



916



918



917



920



919



921

S = 1 : 3

写真図版99 遺物包含層出土石器 (18)



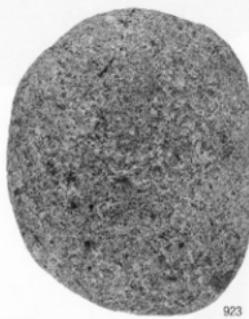
922



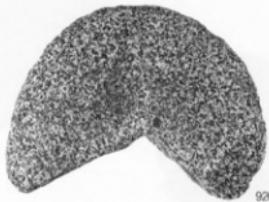
925



924



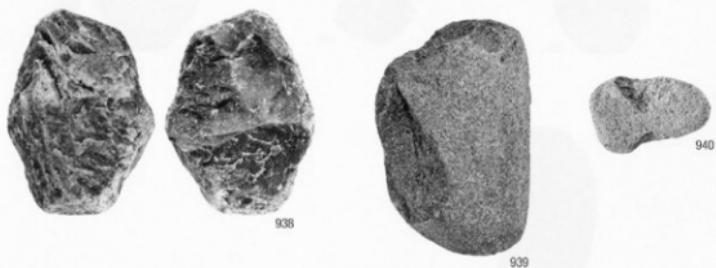
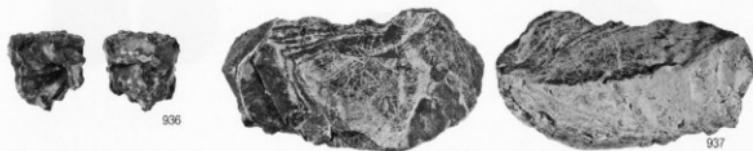
923



926

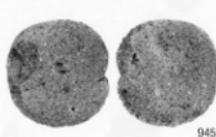
 $S = 1 : 3$

写真図版100 遺物包含層出土石器 (19)



939 ~ 944 S = 1 : 3 その他S = 1 : 2

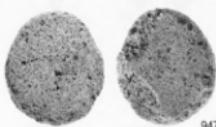
写真図版101 遺構外出土石器（1）



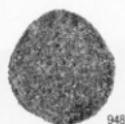
945



946



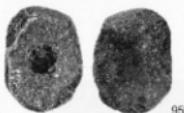
947



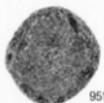
948



949



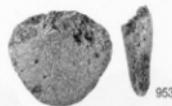
950



951



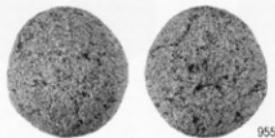
952



953



954



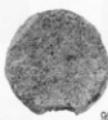
955

S = 1 : 3

写真図版102 遺構外出土石器（2）



957



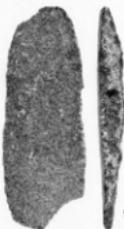
958



959



960



961



962



963



964



965



966



967



968



969

959・964・967 S = 1:3 その他S = 1:2

写真図版103 土坑・柱穴状土坑・遺物包含層出土石製品（1）



972



974



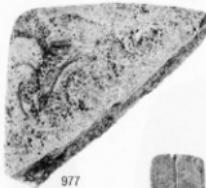
973



975



976



977



960



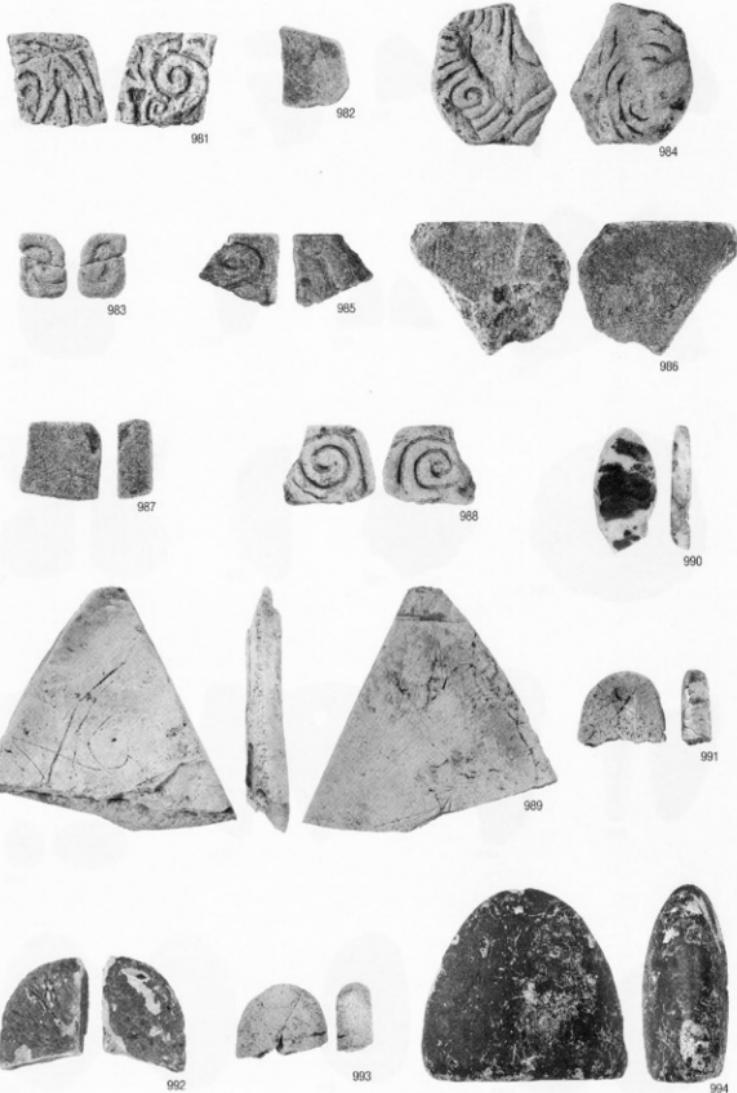
979



978

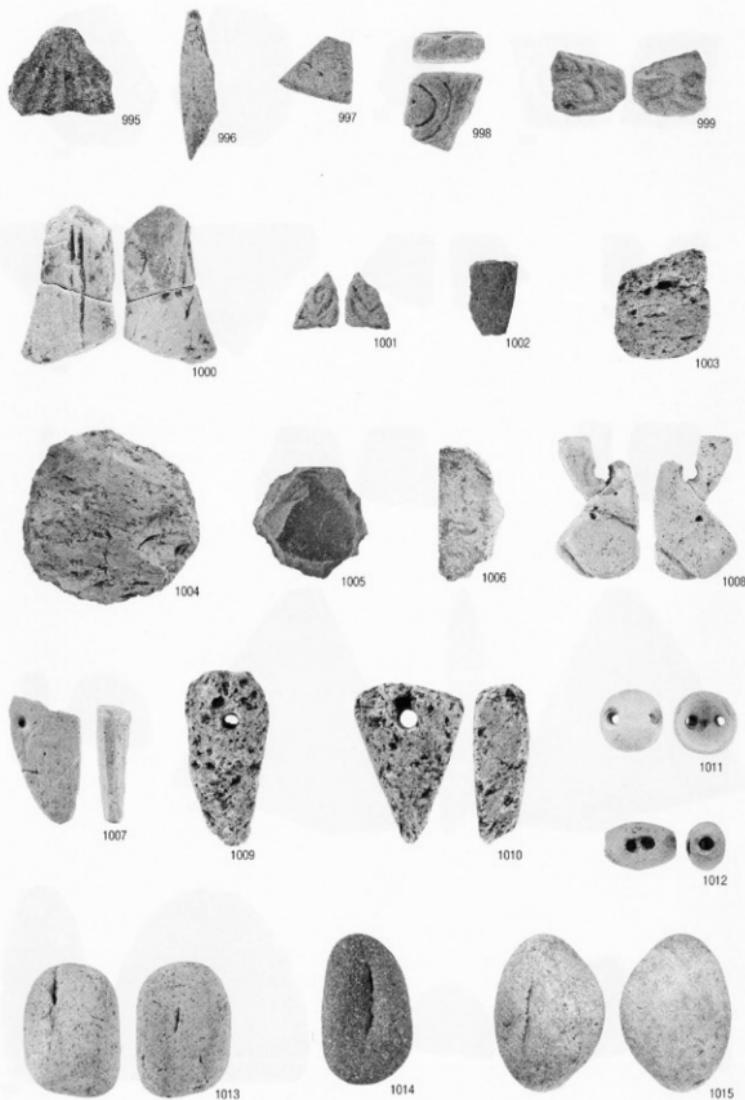
S = 1 : 2

写真図版104 遺物包含層出土石製品（2）



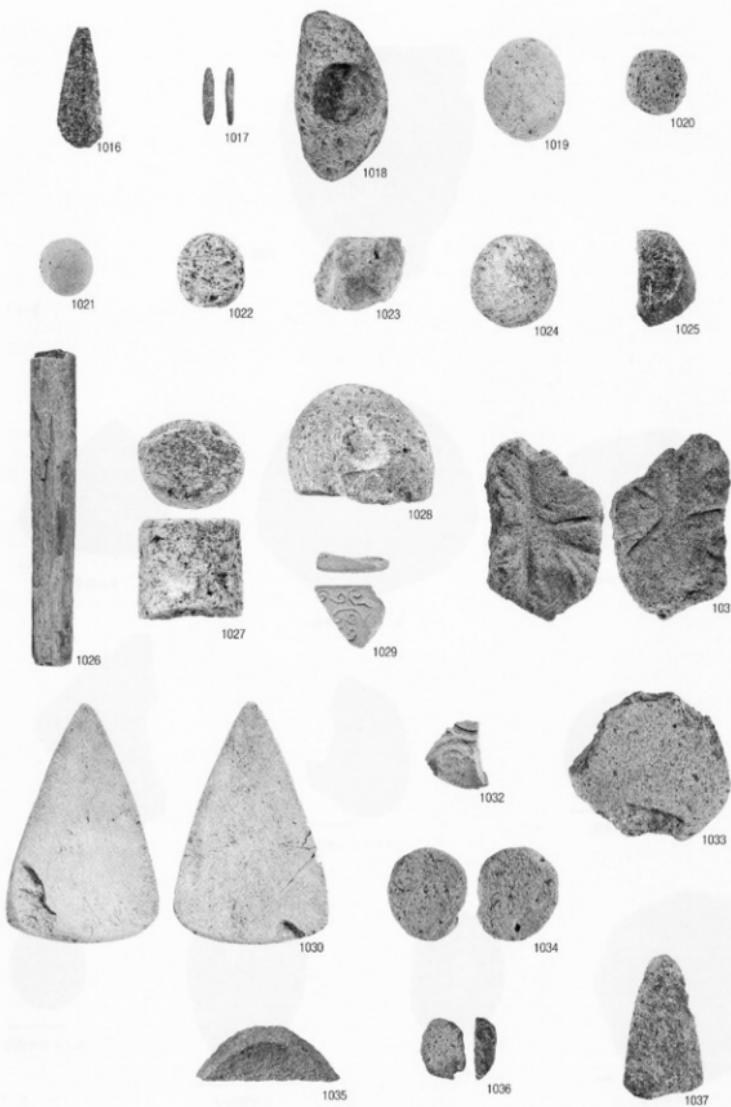
S = 1 : 2

写真図版105 遺物包含層出土石製品（3）



1013 ~ 1015 S = 1 : 3 その他S = 1 : 2

写真図版106 遺物包含層出土石製品 (4)



1018 - 1026 S = 1 : 3 その他S = 1 : 2

写真図版107 遺物包含層出土石製品（5）、遺構外出土石製品



1038

S = 1 : 3



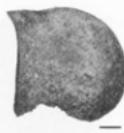
オニグルミ内果皮



ツノハシバム果実



ブナ科果皮



コブシ種皮



ヤマブドウ種子



トテノキ種皮



トテノキ子葉



コムギ種子



ムギ種子



エノキグサ種子

S = 1 mm

写真図版108 土師器・植物遺存体

報告書抄録

| | | | | | | | | |
|-----------------|--|------------|---|---|--|-------------------------------|-------------------|--|
| ふりがな 書名 | あまたきいせきはつくつちょうさほうこくしょ 雨滝遺跡発掘調査報告書 | | | | | | | |
| 副書名 | 畠地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区関連遺跡発掘調査 | | | | | | | |
| 卷次 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 | | | | | | | |
| シリーズ番号 | 第 562 号 | | | | | | | |
| 編著者名 | 丸山浩治 | | | | | | | |
| 編集機関 | (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター | | | | | | | |
| 所在地 | 〒 020-0853 岩手県盛岡市下飯岡 11 地割 185 番地 TEL (019) 638-9001 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 2010 年 3 月 26 日 | | | | | | | |
| ふりがな 所収遺跡名 | ふりがな 所在地 | コード 市町村 | 遺跡番号 | 北緯 ° ° ° | 東経 ° ° ° | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
| あまたきいせき 雨滝遺跡 | いわてけいにのへし 岩手県二戸市 豊沢字白山 5 ほか | 03213 | IE79-1126 | 40 度 20 分 26 秒 | 141 度 16 分 28 秒 | 2008.07.01 ～ 2008.09.30 | 398m ² | 畠地帯総合 整備事業 (担い手育成型) 舌崎 地区に伴う 緊急発掘調査 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 | | | |
| 雨滝遺跡 | 集落跡 | 縄文時代 | 遺物包含層 111m ² (埋設土器 3 個含む) 竪穴住居状遺構 1 基 土坑 1 基 柱穴状土坑 9 個 | 縄文土器 土製品 石器 石製品 骨角器 動物遺存体 植物遺存体 | 主に大洞 B2 式から C1 式期に形成された 大規模な遺物包含層。 C1 式期には盛土状に 形成される。多量の 遺物が良好な状態で 出土。 | | | |
| 要約 | 雨滝遺跡は、IGR いわて銀河鉄道金田一温泉駅の北西約 3.3km、岩手・青森県境付近の馬淵川屈曲部に位置し、同河川右（北東）岸の南西向きの緩斜面に立地する。標高は今次調査区で 70~74 m を測る。戰後、本遺跡は明治大学により昭和 28 年（1953 年）、昭和 33 年（1958 年）、昭和 38 年（1963 年）の 3 度にわたり学術的な発掘調査がなされたが、その調査地点は今次調査区の東方約 150 m の位置にあたる。 地形調査の結果、現地形に表れていない小規模な段丘が 3 つ確認され、その上段から中段中位にかけて大規模な遺物包含層が形成されていた。包含層形成時期の主体は縄文晩期前葉の大洞 B2 式期から中葉の大洞 C1 式期で、該期の土器、土製品（土偶、亀形土製品、玉類、土器片円板など）、石器、石製品（岩偶、岩版、石棒類、玉類など）、骨角器、動物遺存体（獸骨、魚骨・歯など）、植物遺存体（トチ、クリなど）が多量に出土した。 | | | | | | | |

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 562 集

雨滝遺跡発掘調査報告書

畠地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区関連遺跡発掘調査

印 刷 平成 22 年 3 月 23 日

発 行 平成 22 年 3 月 26 日

編 集 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒 020-0853 岩手県盛岡市下飯岡 11 地割 185 番地

電話 (019) 638-9001

発 行 岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室

〒 028-6103 岩手県二戸市石切所字荷渡 6-3

電話 (0195) 23-9207

副岩手県文化振興事業団

〒 020-0023 岩手県盛岡市内丸 13 番 1 号

電話 (019) 654-2235

印 刷 山口北州印刷株式会社

〒 020-0184 岩手県盛岡市青山 14 丁目 10 番 5 号

電話 (019) 641-0585

